

第 62 図 杭列出土遺物 (2)

第 15 表 杭列出土遺物観察表 (2) (第 62 図)

番号	種別	器種	法量・胎土	遺構	備考	図版
1	鉄製品	蹄鉄	縦 [9.8] 横 [8.2] 厚 0.5 重 122.5	杭列 1		97-1
2	銅製品	煙管	長 [2.0] 小口径 1.1 重 2.9	杭列 2	吸口か	98-1
3	鉄製品	鍋	縦 [5.9] 横 [8.9] 厚 0.3 重 43.5	杭列 2		
4	瓦	転用砥具	長 5.1 幅 7.0 厚 1.3 胎土 AHIK	杭列 2	平瓦転用 刃ならし痕・擦痕あり	
5	瓦	軒平瓦か	長 [2.5] 幅 [12.5] 厚 2.0 胎土 AIK	杭列 2	暗灰色 瓦当模様不明瞭	88-1
6	硝子製品	筭	長 上 [6.5] 下 [5.0] 幅 0.9 厚 0.5 重 9.0	杭列 2	透明 中実 中心に縦の窪み	102-7
7	土製品	人形	幅 2.7 高 [4.4] 厚 2.0 重 16.6	杭列 8	杭列 8 周辺の焼土範囲 京都系 透明釉・緑釉	

(7) 木樋・竹樋

木樋は 4 条検出され、その全てが店子町屋範囲で検出された。竹樋は 3 条検出された。このうち 1 条は池状遺構の関連施設として後述する。規模等の基本情報は第 16 表、遺構図面は第 63～66 図にまとめた。

第 1 号木樋 (第 63 図)

C 6-A 1 グリッドで検出された。一部の検出に留まるため構造に不明な点が多いが、東西方向の樋に、南東へ延びる別の樋が接続していたと考えられる。いずれも凹状に板を組み、上部に蓋板を乗せる簡易な構造である。幅は 18～26cm 程度で小形である。樋全体の高低差 (流水方向) は明確では無かった。遺物は少なく陶磁器は細片のみであった。上絵付け・金彩を施した近代の磁器皿

が 1 点出土しているが、他は近世の資料である。

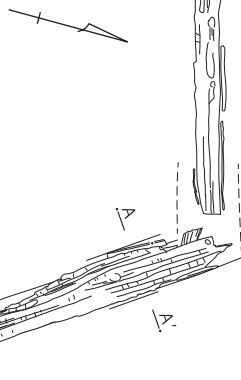
第 2 号木樋 (第 63 図)

C 6-B 1・2 グリッドから検出された、東西方向に延びる木樋である。側壁の板材は比較的明瞭に確認できる。セクション図 (第 63 図右下) では分かり難いが、水平な板材は底板と考えられる。蓋板と思われる板の残骸も僅かに検出されている。遺存部の底面は東側が僅かに高い。遺物が少なく詳細な時期を特定し難いが、第 1 号建物跡に壊されており (第 7 図基本土層③参照)、焼土層が上面に被っているのが確認されているので、19 世紀初頭以前の木樋と思われる。

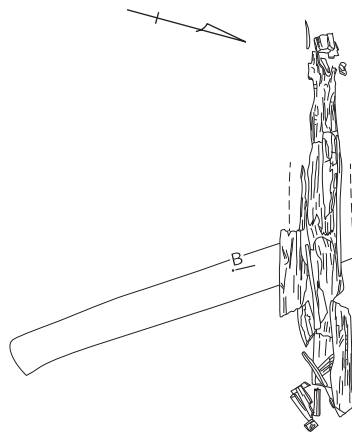
第 4 号木樋 (第 63 図)

C 6-A 2 グリッドに位置する。木樋本体が検出されるまで遺構の存在が認識できなかった

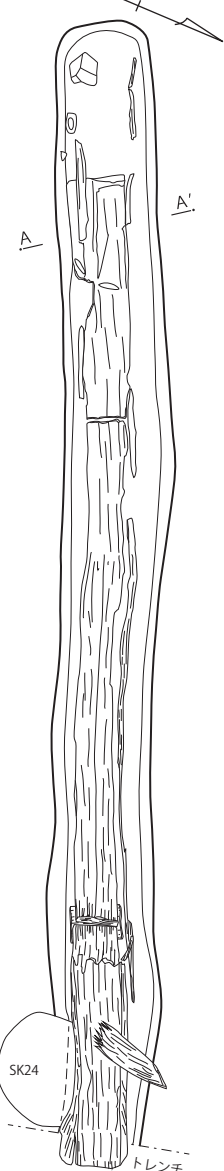
第1号木樋 (蓋検出状況)



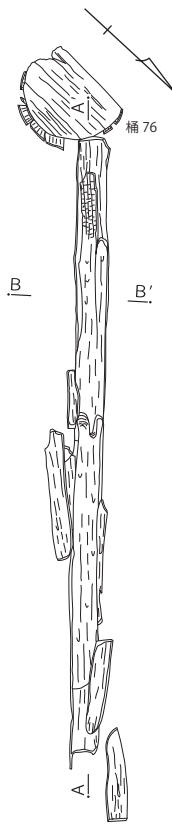
(底板検出状況)



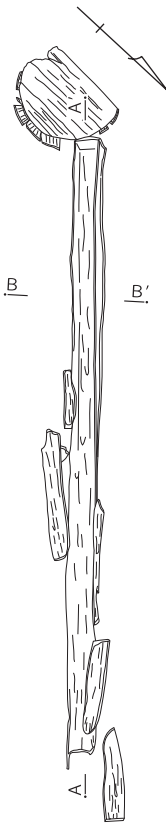
第2号木樋



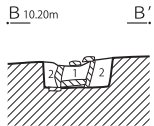
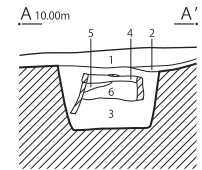
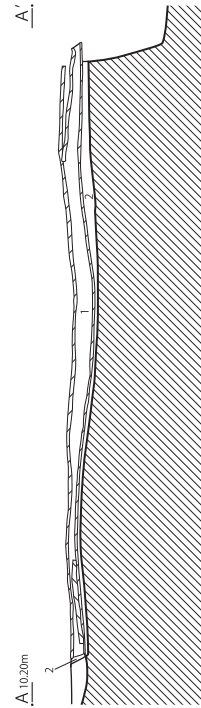
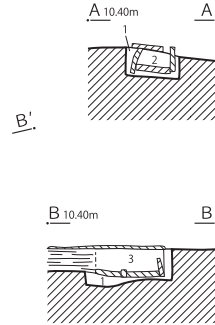
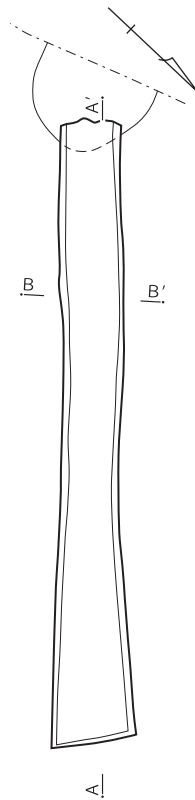
第4号木樋 (蓋検出状況)



(底板検出状況)



(掘方検出状況)



第1号木樋

- 1 灰褐色砂質土 褐鉄粒子 (φ1~2mm) 少量 シルト粒子 (φ2~5mm) 含む 粘性なし しまりあり 掘方
- 2 灰褐色砂質シルト 褐鉄粒子 (φ1~3mm) 少量 粘性・しまりあり
- 3 灰褐色砂質シルト 橙色粒子 (φ3~10mm) 多量 炭化物粒子 (φ2~3mm) 含む 粘性・しまりあり

第2号木樋

- 1 灰褐色砂質シルト 白色粒子 (φ1mm)・褐鉄粒子少量 シルト粒子 (φ2~3mm) 含む 粘性なし しまりあり
- 2 黒褐色土 (炭化物・焼土層) 炭化物粒子 (φ2~3mm) 多量 灰・シルト少量 粘性なし しまり強
- 3 暗灰褐色砂質シルト 褐鉄粒子 (φ1~2mm) 少量 粘性 極弱 しまりあり
- 4 暗灰褐色砂質シルト 褐鉄粒子 (φ1~2mm) 含む シルト粒子 少量
- 5 砂層
- 6 灰色シルト 炭化物粒子 (φ1~2mm)・褐鉄粒子含む

第4号木樋

- 1 暗灰褐色土 シルト層 砂質 褐鉄粒子 (φ2~3mm) 多量 シルト粒子少量 粘性あり しまり弱
- 2 灰褐色土 シルト層 砂質 炭化物粒子 (φ2~5mm) 少量 橙色粒子 (φ2~3mm)・褐鉄粒子多量 粘性・しまりあり 掘方

第63図 木樋 (1)

め、掘方上部の様相は不明である。底面は北東から南西に向かって緩やかに低くなる。南西端では第76号埋設桶に接続する。桶は幅13cmと小形である。出土遺物は無く、時期は不明である。

第7号木桶 (第64図)

C6-B1グリッドから検出された東西方向に延びる木桶で、西側は調査区外である。底板は確認されていないが、蓋状の板が検出されており木桶とした。ただし、細い杭が側板内側に打たれており、杭列・溝跡の類であった可能性も残る。

第67図1～7は出土した陶磁器である。磁器に蛇の目状高台の猪口(1)や卵殻手坏(3)がある。非掲載遺物にも瀬戸美濃系磁器の端反碗破片があり、19世紀前葉以降の廃絶である。重複し、本跡より新しい第29号埋設桶からは近代の碇子が出土している。また本跡より古い第66号土壇は19世紀初頭頃に帰属するため、本跡の構築は19世紀前～中葉と考えられる。

第1号竹樋 (第65図)

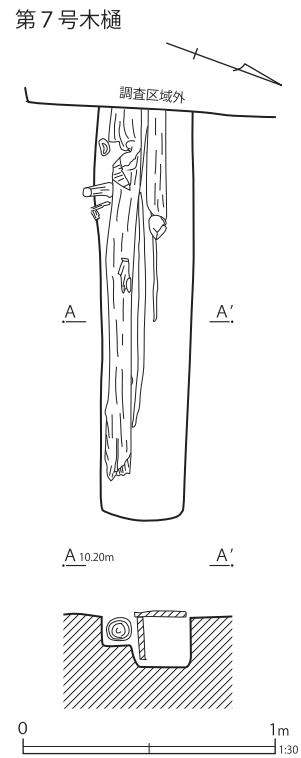
C6-A2・3グリッドから検出された竹樋である。東側調査区外から西方向に延び、途中でクランクして北方向に延びる。本陣敷地境に沿っているが、全体が店子町屋の範囲を通過する。総延長9.8mが検出されたが、北側は攪乱により壊される。この間、クランク部分等で角材をくりぬいた継手が2か所検出された。継手の孔の高さは、西側の継手の方が僅かに3cm程低い。

第67図8～15は出土した陶磁器である。9の肥前系磁器湯呑形碗のように19世紀第2～3四

半期の遺物が多い。12は酸化コバルト染付の磁器急須であり、他に外面瑠璃釉単彩の磁器爛徳利や笠間系陶器甕も出土している。銅版転写染付の磁器爛徳利口縁部細片が1点出土しているが、混入と判断される。遺物から19世紀後半の早い段階に構築されたものと推定される。

第2号竹樋 (第66図)

C6-C4グリッドからE3グリッドにかけて、調査区中央を北東-南西に貫く竹樋である。本陣敷地内から店子町屋の範囲まで検出された。遺存長約19mの間に継手は2か所確認された。いずれも角材を刳り貫いている。北東部では第88号埋設桶に合流する。南西部では第6号井戸跡の掘方と重複し遺構が確認できなくなるが、井戸側本体との関連は捉えられていない。流水方向については記録が不十分であるが、北東側に向かって高いようであり、井戸跡と併存する可能性は低い。

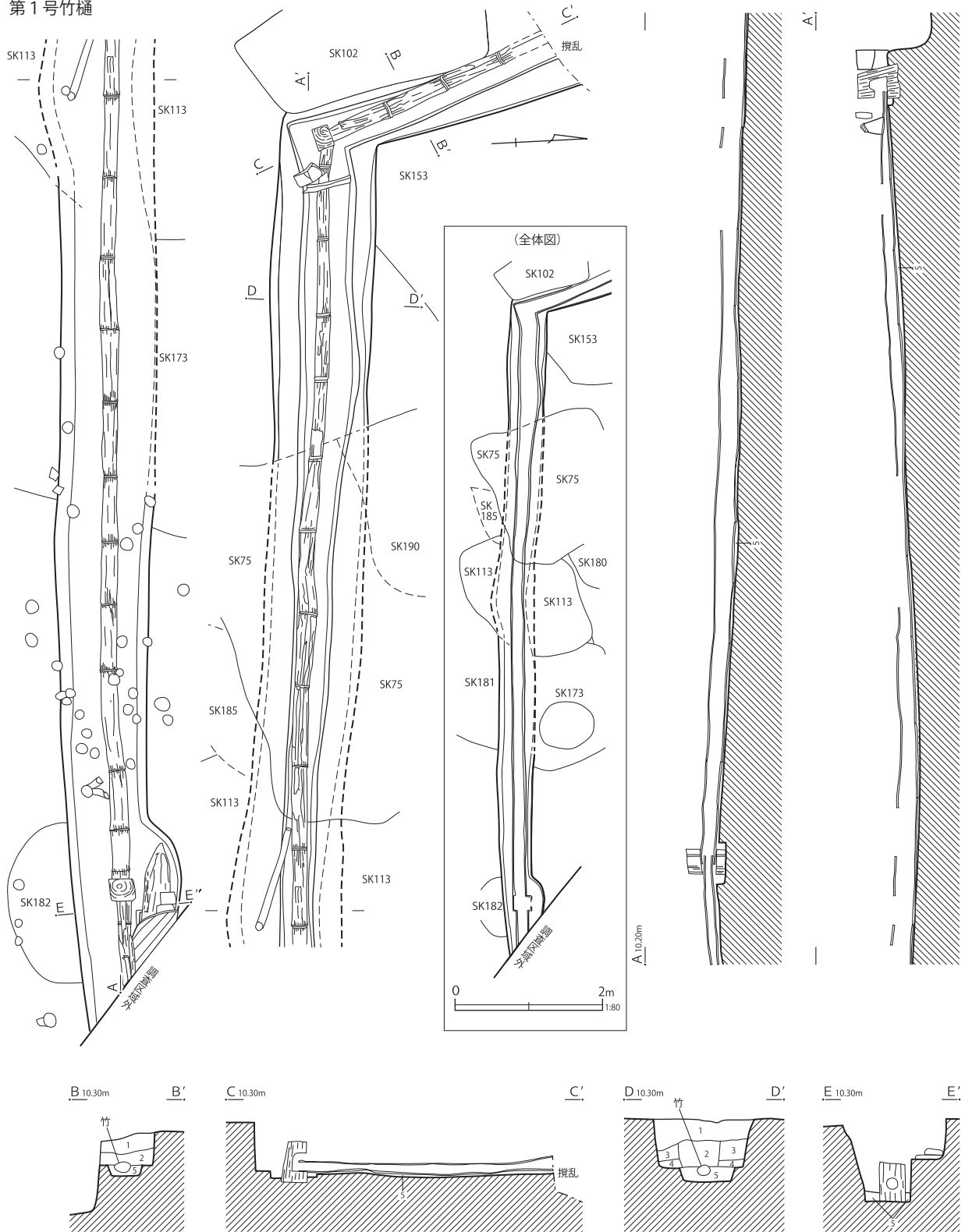


第64図 木桶(2)

第16表 第一面木樋・竹樋一覧表 単位:m

番号	グリッド	長さ	幅	深さ	主軸方位	備考
木樋1	C6-A1/2	(1.24)	0.18	0.12	N-35° -W	内法幅0.14 深0.07 掘方長(1.42) 幅0.21 深0.11 銭種不明銅銭2出土
	B1/2	(1.58)	0.26	0.12	N-74° -E	
木樋2	C6-B1/2	4.40	0.23	0.25	N-67° -E	内法幅0.20 掘方長(4.46) 幅0.44 深0.25 SB1・SK24より古, SK145より新
木樋4	C6-A2	2.70	0.13	0.11	N-47° -E	内法幅0.10 深0.70 掘方長2.45 幅0.33 深0.11 桶76重複
木樋7	C6-B1	1.62	-	0.17	N-70° -E	掘方長1.62 幅0.36 深0.20 桶29より古 SK66/106/107より新
竹樋1	C6-A2/3	(9.80)	0.09	0.05	N-86° -W N-19° -W	掘方長(9.80) 幅0.56 深0.42 SK75/113/114/153/181/185/190より新
竹樋2	C6-C4・D4・E3/4	19.13	0.07	0.07	N-26° -E	掘方長19.13 幅0.38 深0.26 桶88接続 SK178/179より古
竹樋3	C6-C3	2.87	0.14	0.10	N-70° -E	掘方長さ4.60 幅0.39 深0.34 SD3・SK97/250より新 SG1関連施設

第1号竹樋

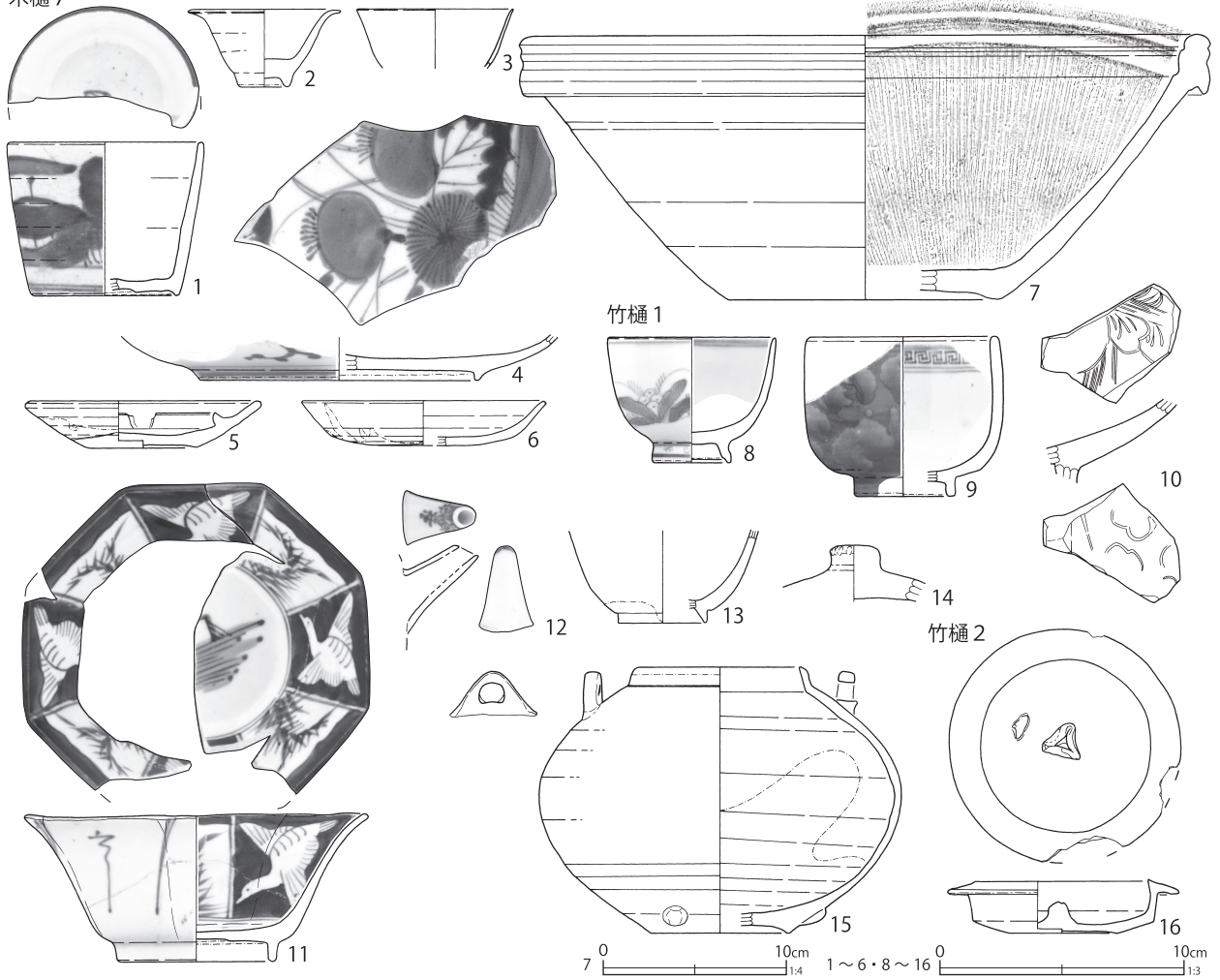


第1号竹樋

- | | | | | | |
|---|----------|--------------------------|-------------------------|------------------|------|
| 1 | 褐色砂質シルト | シルト粒子 (φ3~5mm)・褐鉄粒子斑状に多量 | 炭化物粒子 (φ5mm) 少量 | 粘性・しまりあり | |
| 2 | 灰褐色砂質シルト | シルト粒子 (φ5~7mm) 含む | 炭化物粒子少量 | 褐鉄粒子 (φ2~5mm) 含む | |
| 3 | 灰褐色砂質シルト | 炭化物粒子少量 (φ2~3mm) | シルト粒子 (φ3~5mm)・褐鉄粒子少量 | 粘性・しまりあり | |
| 4 | 灰褐色土 | シルト質 | シルトブロック (φ5~15mm) 斑状に多量 | 粘性あり | しまり弱 |
| 5 | 暗灰褐色土 | シルト質 | (φ2~3mm)炭化物粒子少量 | 粘性・しまりあり | |

第65図 竹樋 (1)

木樋7

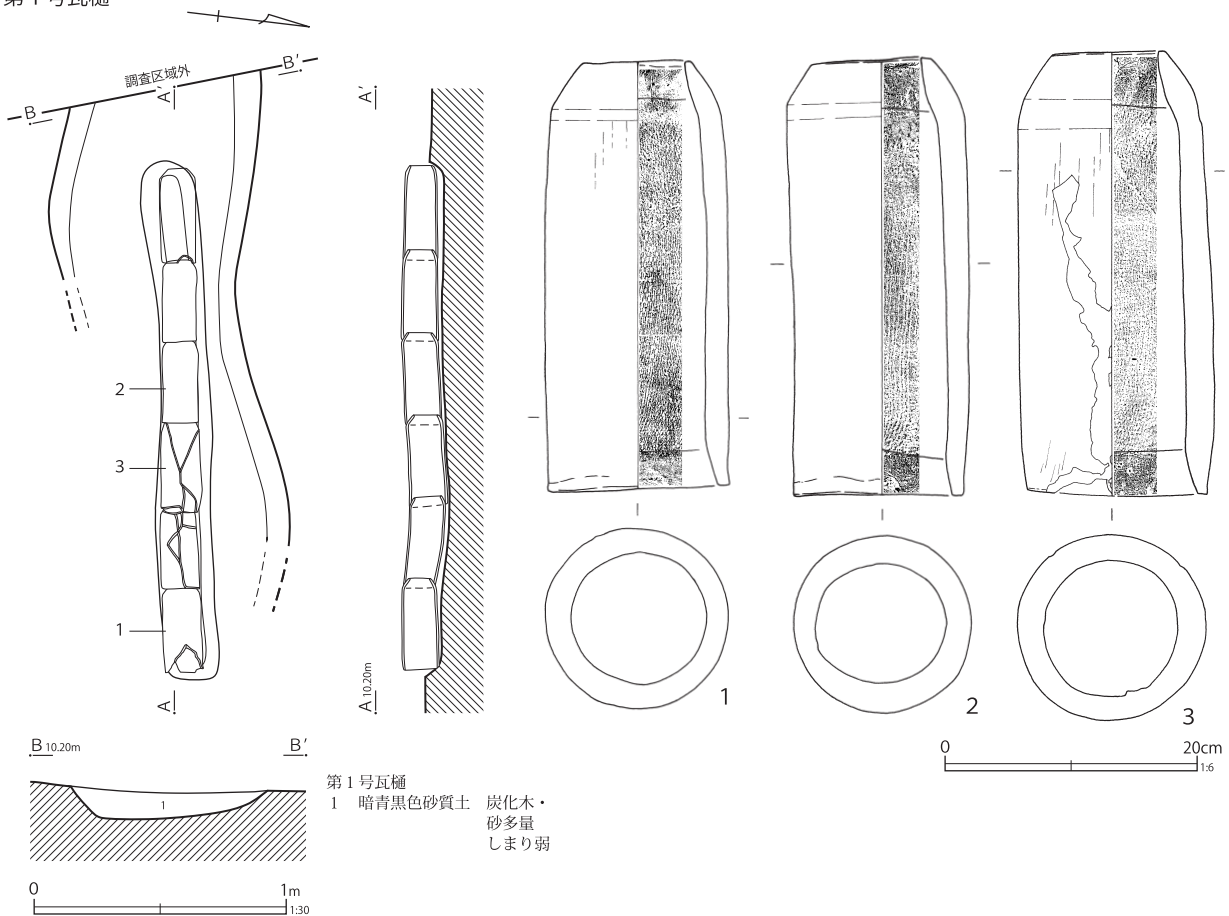


第 67 図 木樋・竹樋出土遺物

第 17 表 木樋・竹樋出土遺物観察表 (第 67 図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	遺構	備考	図版
1	磁器	猪口	(7.8)	6.2	(5.8)	—	40	良好	灰白	木樋7	肥前系 施釉・染付 口紅 被熱	
2	磁器	坏	5.7	3.1	1.9	—	100	良好	白	木樋7	肥前系 施釉	
3	磁器	坏	(6.3)	[2.4]	—	—	15	良好	白	木樋7	瀬戸美濃系か 施釉 被熱	
4	磁器	皿	—	[1.8]	(11.2)	—	10	良好	白	木樋7	肥前系 施釉・染付	
5	陶器	灯明皿	(9.2)	1.9	4.4	K	70	良好	灰白	木樋7	瀬戸美濃系か 柿釉 重焼痕 胎土鉄粒子多量	
6	陶器	灯明皿	(9.8)	1.8	(3.6)	I	40	良好	褐灰	木樋7	志戸呂系 鉄釉 口縁部煤付着	
7	陶器	播鉢	(36.0)	14.4	(15.0)	DEIKL	15	普通	赤	木樋7	堺明石系 内面播目	
8	磁器	坏	(6.7)	5.1	3.1	—	40	良好	白	竹樋1	瀬戸美濃系 施釉・鉄絵	
9	磁器	碗	(7.6)	6.5	(3.9)	—	40	良好	灰白	竹樋1	肥前系 施釉 (外面鉄釉に緑釉散らし) 内面染付	27-7
10	磁器	鉢	—	[3.5]	—	—	5	良好	灰白	竹樋1	肥前系 施釉・色絵	
11	磁器	鉢	13.7	6.0	(6.2)	—	70	良好	白	竹樋1	肥前系 施釉・染付	
12	磁器	急須	—	[3.5]	—	—	5	良好	白	竹樋1	瀬戸美濃系 施釉 外面酸化コバルト染付	
13	陶器	碗	—	[3.7]	(3.6)	I	5	良好	灰白	竹樋1	大堀相馬系 糠白釉	27-8
14	陶器	蓋	—	[2.3]	—	EIK	90	良好	にぶい橙	竹樋1	松岡系 外面海鼠釉 (土瓶)	27-9
15	陶器	土瓶	(6.6)	10.8	(5.0)	IK	30	良好	灰白	竹樋1	外面青緑釉 注口欠失	
16	陶器	蓋	7.0	2.1	4.5	K	90	良好	灰白	竹樋2	上面灰釉 最大径 9.4 (土瓶)	

第1号瓦樋



第68図 瓦樋

第18表 瓦樋出土遺物観察表 (第68図)

番号	種別	器種	長さ	長径	短径	胎土	残存	焼成	色調	遺構	備考	図版
1	土製品	瓦樋	34.2	14.8	14.6	AIK	100	普通	灰白	瓦樋1	外面縦方向ナデ 内面ゴザメ	
2	土製品	瓦樋	35.1	14.6	14.2	ACIK	100	普通	灰白	瓦樋1	外面縦方向ナデ 内面ゴザメ	
3	土製品	瓦樋	35.5	15.0	15.0	ACIK	90	普通	灰白	瓦樋1	外面縦方向ナデ 内面ゴザメ	

(9) 池状遺構と関連施設

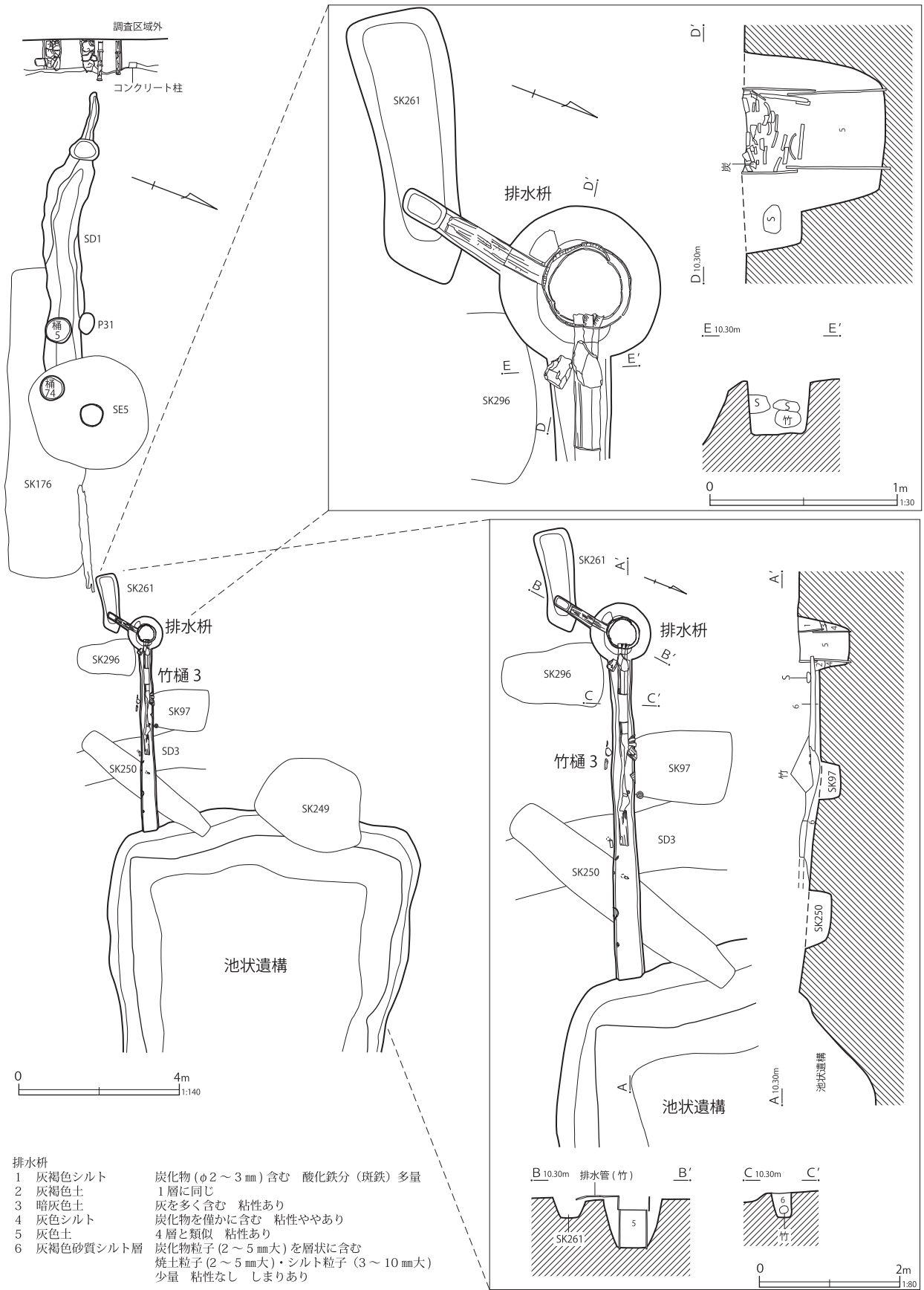
本陣敷地内から検出された池状遺構とその関連施設(第3号竹樋・排水柵)について以下に記述する。

池状遺構 (第69~71図)

C6-B4、C3~4グリッドに位置し、長軸10.58m、短軸7.42m、深さ1.20mの長方形を呈する。土層堆積は複雑で、何度も改修が行われたと考えられる。最終段階では周囲に側壁の板を打ち、中心部に畔状の区画を設けていたらしい。なお、中心部底面付近に板で、60×40cm程の方形

に囲った区画が検出された。この部分や池側壁の板材には、ヤマに「田」と「一」を組み合わせた焼き印が認められる(写真図版17-5)。

上面を広く覆う第1~3層は最終埋没の埋め戻し層で、明治末~大正期頃までの近代陶磁器が多量に含まれる。一方、西部からは19世紀第2~3四半期の遺物が多く出土しており、第8層に帰属すると考えられる。6・7層もこの段階の形成と推定される。東部からは、被熱した陶磁器類が多量に出土し、第39号土層の陶磁器と多くが接合した。この接合関係については第31表の遺物



第69図 池状遺構と関連遺構

観察表（第39号土壌の陶磁器観察表）に示した。これらは9・12・13層に帰属すると推定される。被熱遺物については、より古い段階の遺構を壊した際に混在した可能性もあるが、出土量が多く、池の構築時期が19世紀前葉まで遡るものと想定しておきたい。

第72～79図が池から出土した遺物である。観察表「遺構」欄には、畦状の場所を境に東・西に分けて出土位置を示した。遺物の時期幅は広く、多種多様な遺物が出土している。第72～75図は陶磁器類で、文字資料や焼継ぎ資料を中心に示した。5は外面に漢字を陰刻する磁器坏で、内面には「永楽年製」と思われる染付銘の一部が残る。10は「本」墨書がある磁器皿である。11には、構築材の焼き印と同じ、ヤマに「匚」と「一」を組み合わせた墨書がある。第72図4と第76図19は明治末期の資料であるが、栗橋地区の歴史や当時の世相を表す歴史史料として掲載する。前者は「日英同盟」「祝 萬歳」と銅版転写染付された磁器碗で、1902（明治35）年の日英同盟締結を記念する。当時の社会情勢を示す資料である。後者は硝子製牛乳瓶で、エンボスで「特別上等 全乳」「搾取所 愛光舎/販賣所 門奈」銘がある。門奈は鉄道の大宮停車場角地に門奈佐七が構えた店名で、明治42年に出店、『大宮案内』（明治43年出版）には大宮停車場構内販売の記述に続

き「牛乳・新聞・雑誌・茶販売 門奈」とみえる。愛光舎は明治38年に角倉賀道が大宮に設けた牧畜場と考えられ、この牛乳瓶が鉄道で栗橋に運ばれた蓋然性が高い。これらの出土品から、19世紀第2四半期頃に構築された池が、幾度か改修された後、明治末～大正期頃に廃絶したものと考えられる。

第76図には玩具類や瓦・銭貨等を示した。10は大型の泥面子で、胎土は灰白色である。京都系であろうか。24は明治32年の硬貨で、遺構の最終廃絶時期を示す資料として掲載する。第77図には金属製品、第78図には石製品、第79図には木製品を示した。

第3号竹樋・排水枡（第69図）

池状遺構の南西隅には第3号竹樋が取り付く。池状遺構との接続部は竹管が遺存せず、掘方のみの検出であり、詳細な構造は確認できなかった。樋は西に4.6m延び、排水枡に接続する。排水枡は桶を二段積み上げた構造で、一見、井戸跡に類似するが、竹樋が池状遺構に向かって高くなっていること、調査時点で顕著な湧水がみられなかったことから、池に付属する排水枡と判断した。竹管は上段の桶側面を貫通して排水枡に接続する。また、排水枡南壁には桶内の水を排水する別の竹管が設置されていた。隣接する第261号土壌はこの竹管を通して排水を受ける施設の一部と

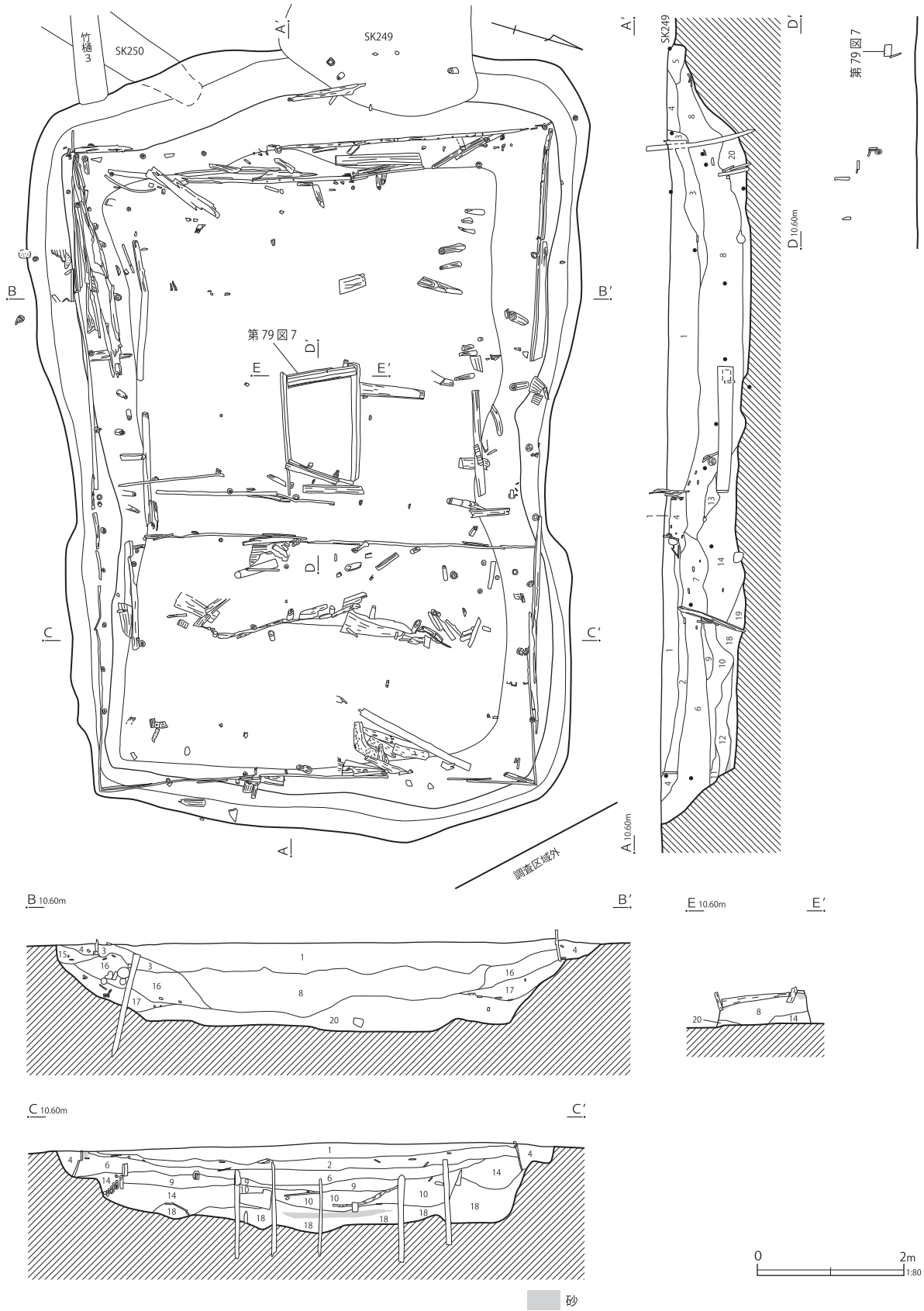
池状遺構

- 1 明褐色砂質シルト（砂質土+シルト混合層） 1～10 cm大のシルトブロック 斑状に極多量 褐鉄含む 砂多量 粘性あり しまりあり
- 2 黒褐色シルト質土 木質、木製品（一部腐蝕のため黒化）極多量 粘性なし しまりなし
- 3 灰褐色砂質土 砂主体 1～2 cm大のシルト粒子少量 2～12 mm大の炭化物粒子少量 褐鉄やや多量 粘性強 しまり弱
- 4 灰褐色砂質シルト 2～3 mm大の炭化物粒子、焼土粒子少量 1～5 cm大の暗褐色シルトブロック斑状に多量 砂・褐鉄含む 粘性弱 しまりあり
- 5 明灰褐色砂質シルト 2～3 mm大の炭化物粒子少量 1～4 cm大の灰色シルトブロック斑状に多量 砂・褐鉄少量 粘性弱 しまりあり
- 6 暗灰褐色砂質シルト 2～5 mm大の炭化物粒子少量 1 cm大の灰色シルトブロック斑状を含む 暗灰色シルト主体 褐鉄含む 粘性あり しまり弱
- 7 灰褐色砂質シルト 2～5 mm大のシルト粒子少量 砂含む 1～2 cm大のシルトブロック少量
- 8 暗褐色砂質シルト 褐色砂質土主体 1～5 cm大の暗灰色シルトブロック斑状に極多量 2～5 mm大の炭化物粒子含む 褐鉄含む 粘性・しまりあり
- 9 暗灰褐色砂質シルト 5 mm大の炭化物粒子少量 砂主体 1 cm大の灰色シルト粒子含む 粘性・しまりあり

- 10 暗褐色砂質シルト 2～5 mm大の炭化物粒子少量 砂主体 1 cm大の灰色シルト粒子含む 粘性・しまりあり
- 11 明灰色砂質土 砂質土 1 cm大のシルト粒子少量 粘性・しまりなし
- 12 暗褐色砂質シルト 5～7 mm大の炭化物粒子少量 2～5 cm大の灰色シルト粒子斑状に多量 砂含む 粘性・しまりあり
- 13 明灰褐色砂質シルト 2～3 cm大のシルトブロック・褐鉄・砂含む 粘性極めて弱 しまりあり
- 14 暗灰褐色砂質シルト 5～10 mm大の炭化物粒子含む シルト主体 灰白シルトブロック（1～2 cm大）少量
- 15 暗灰褐色砂質シルト 2～5 mm大の炭化物粒子少量 シルト主体 粘性・しまりあり
- 16 灰褐色砂質シルト 褐色砂質土主体 1～2 cm大のシルトブロック含む 2～3 mm大の炭化物粒子少量 粘性極めて弱 しまりあり
- 17 暗灰褐色砂質シルト 1～5 cm大のシルト粒子斑状に多量 1～2 cm大の炭化物粒子・砂含む 粘性やや強い しまりあり
- 18 明灰色砂質シルト 2～3 mm大のシルト粒子少量 粘性・しまり弱
- 19 明灰褐色砂質シルト 5～20 mm大のシルトブロック斑状にやや多量 砂多量 褐鉄少量 粘性あり しまり弱
- 20 暗灰褐色シルト質土 2～5 mm大の炭化物粒子少量 粘性あり しまり弱（木質が腐食した痕跡あり）

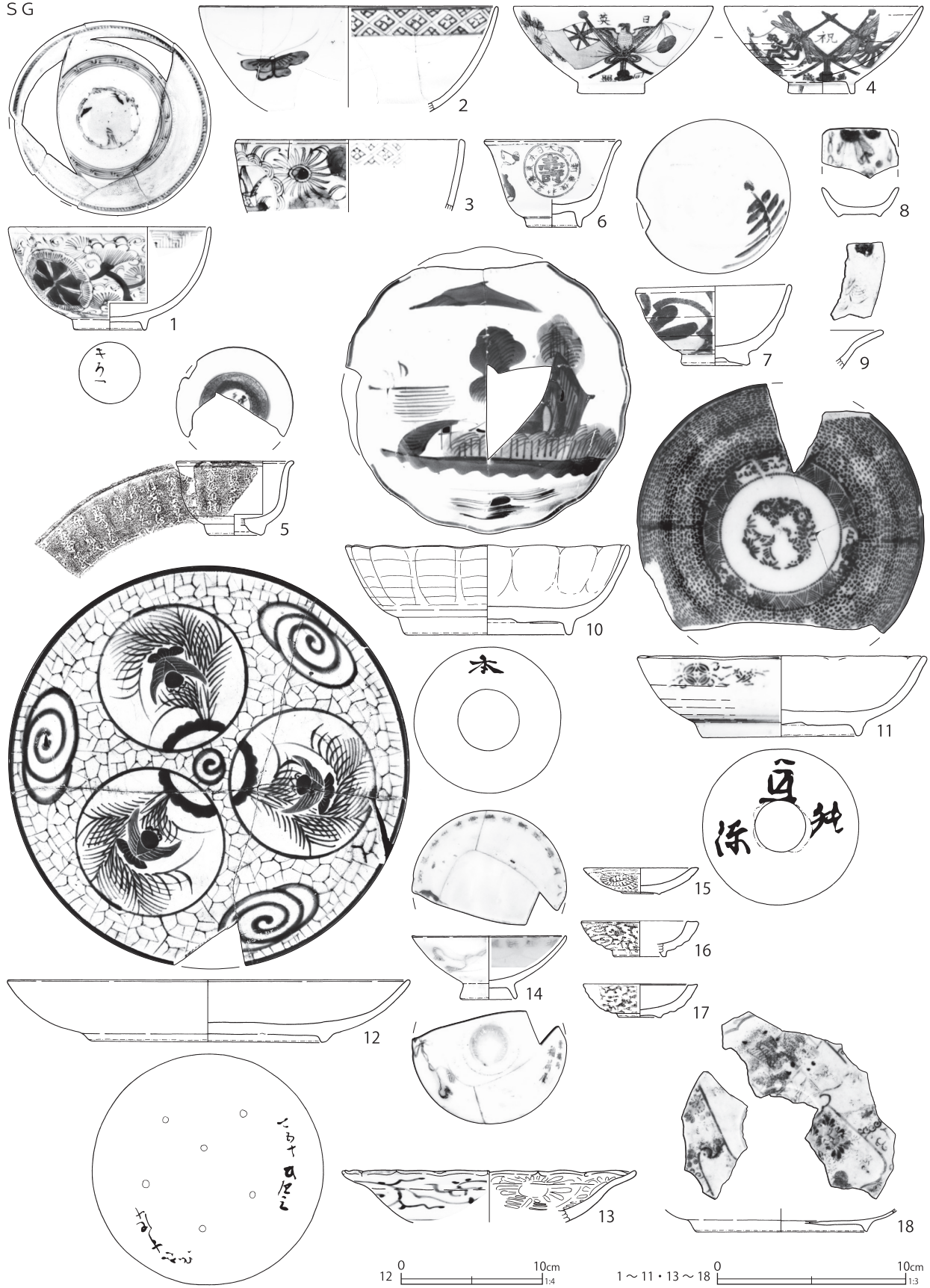
第70図 池状遺構（1）

SG

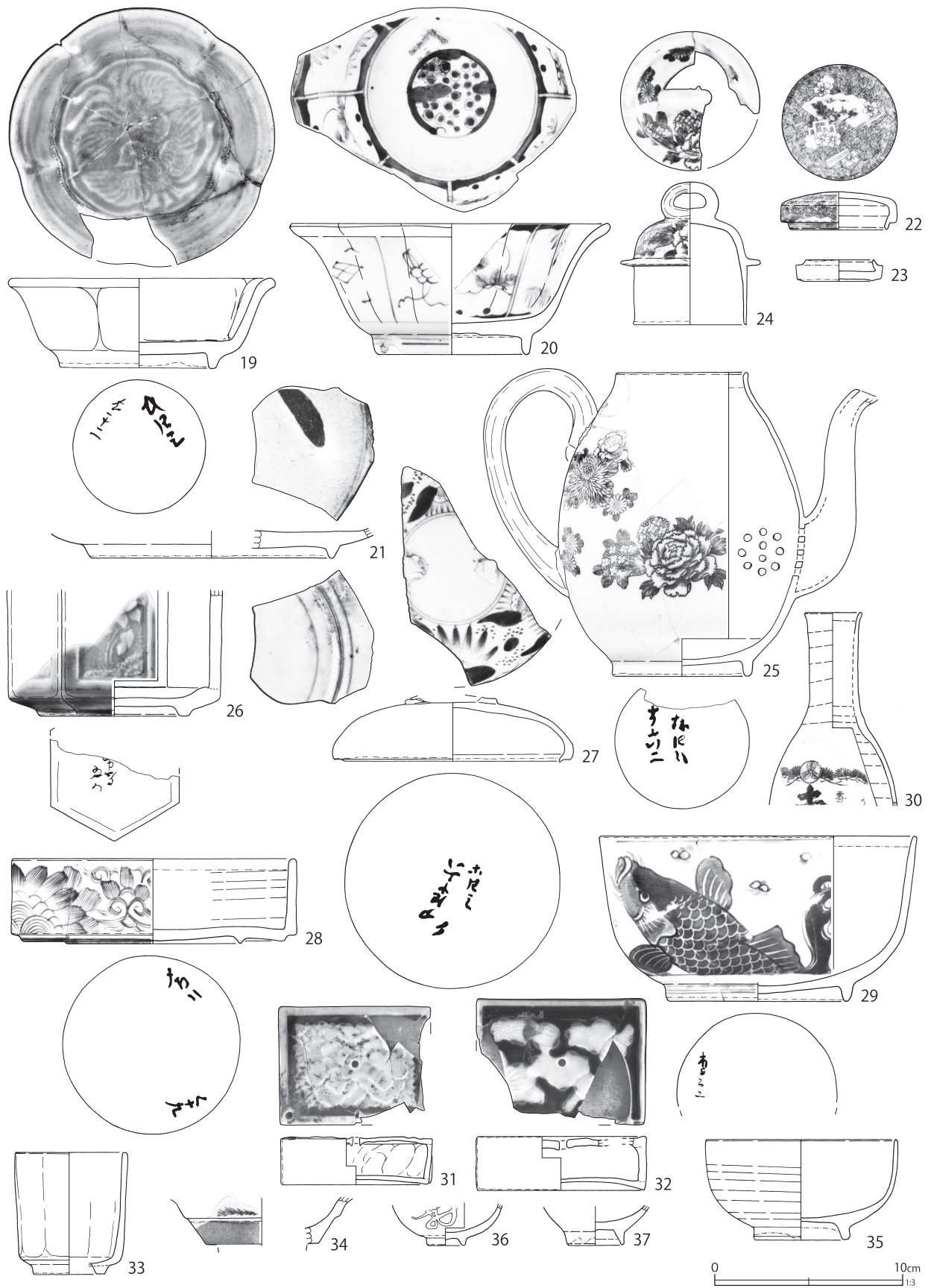


第71図 池状遺構 (2)

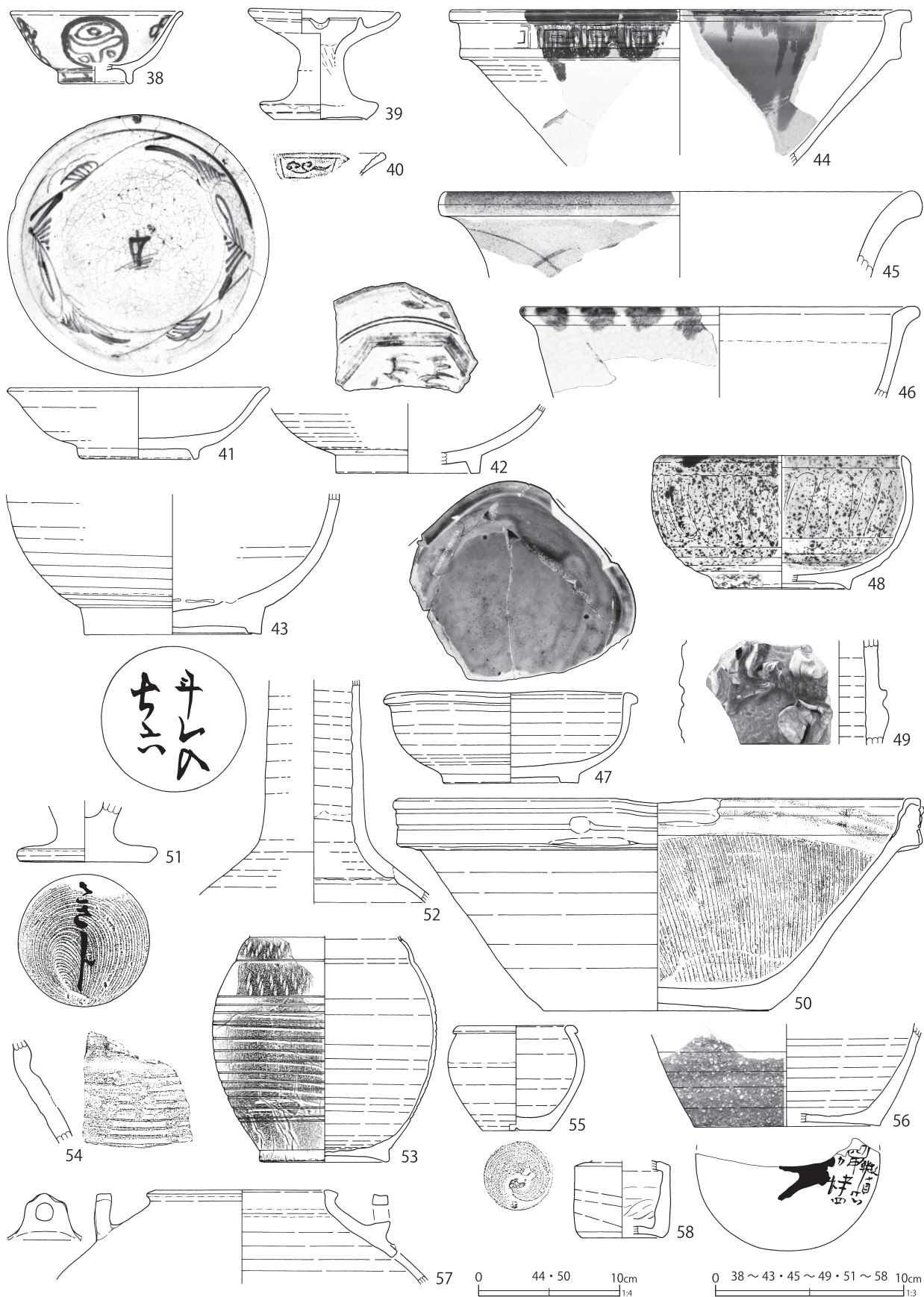
SG



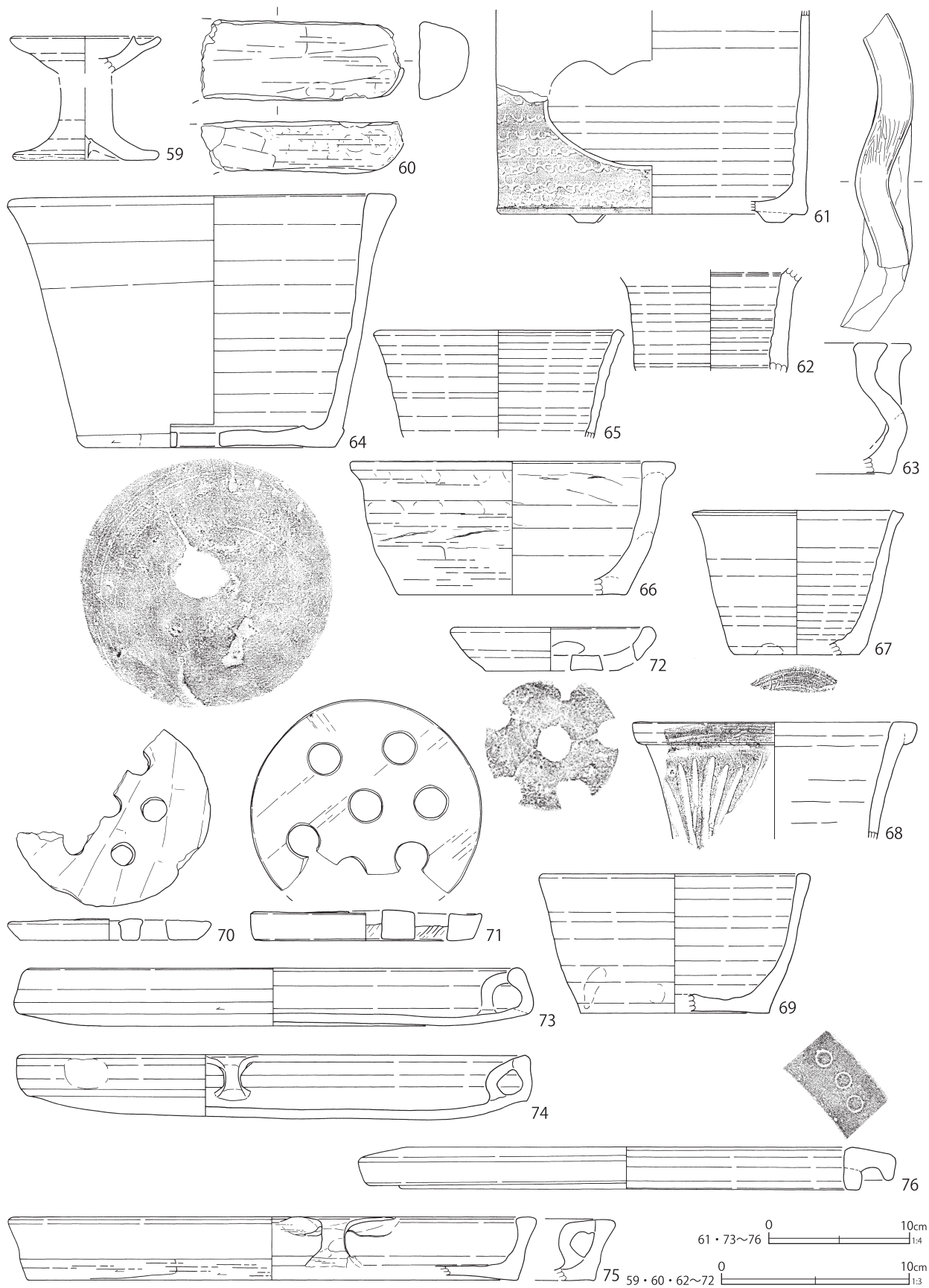
第72図 池状遺構出土遺物(1)



第73図 池状遺構出土遺物(2)



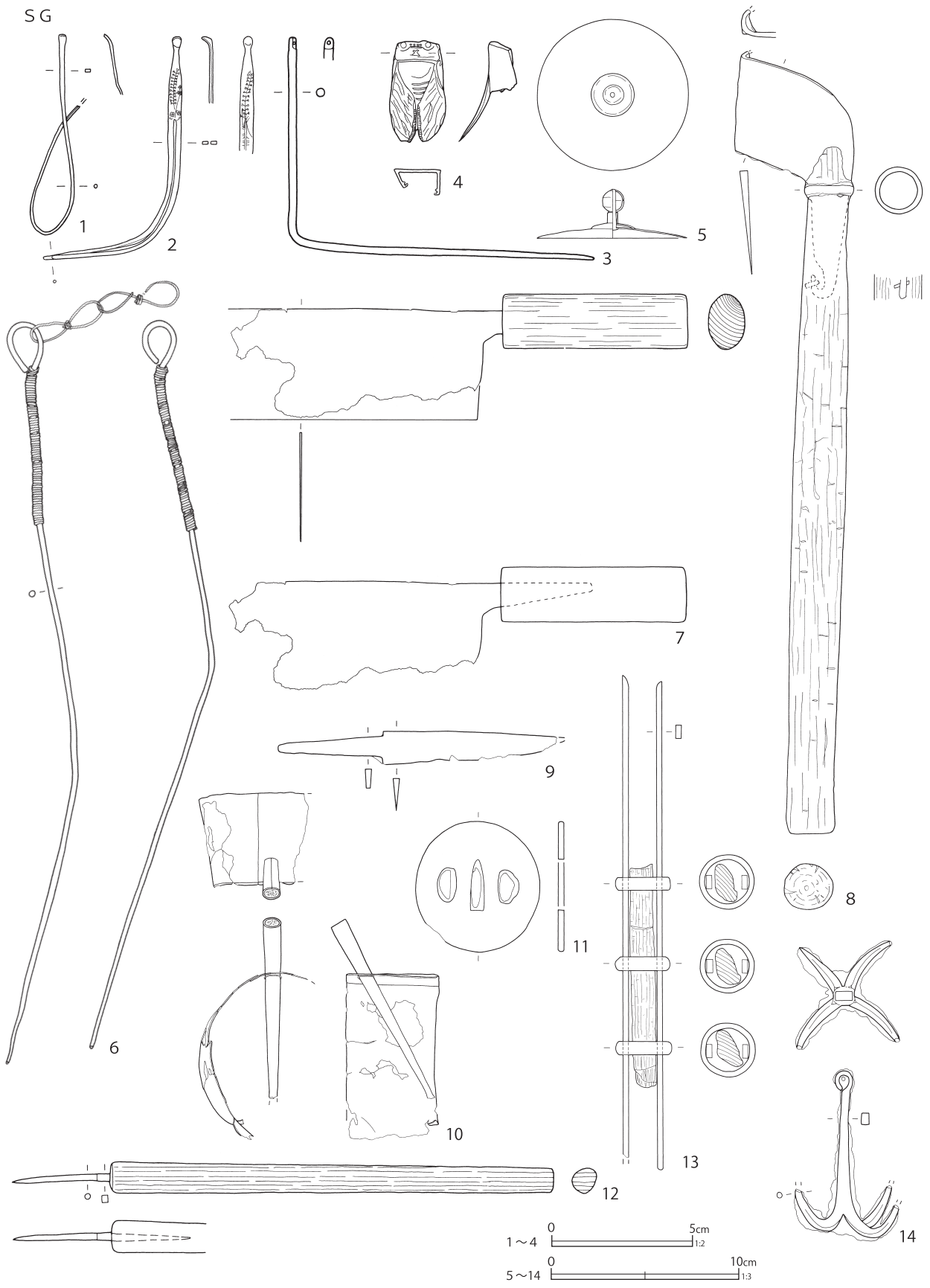
第74図 池状遺構出土遺物（3）



第 75 図 池状遺構出土遺物 (4)



第76図 池状遺構出土遺物（5）



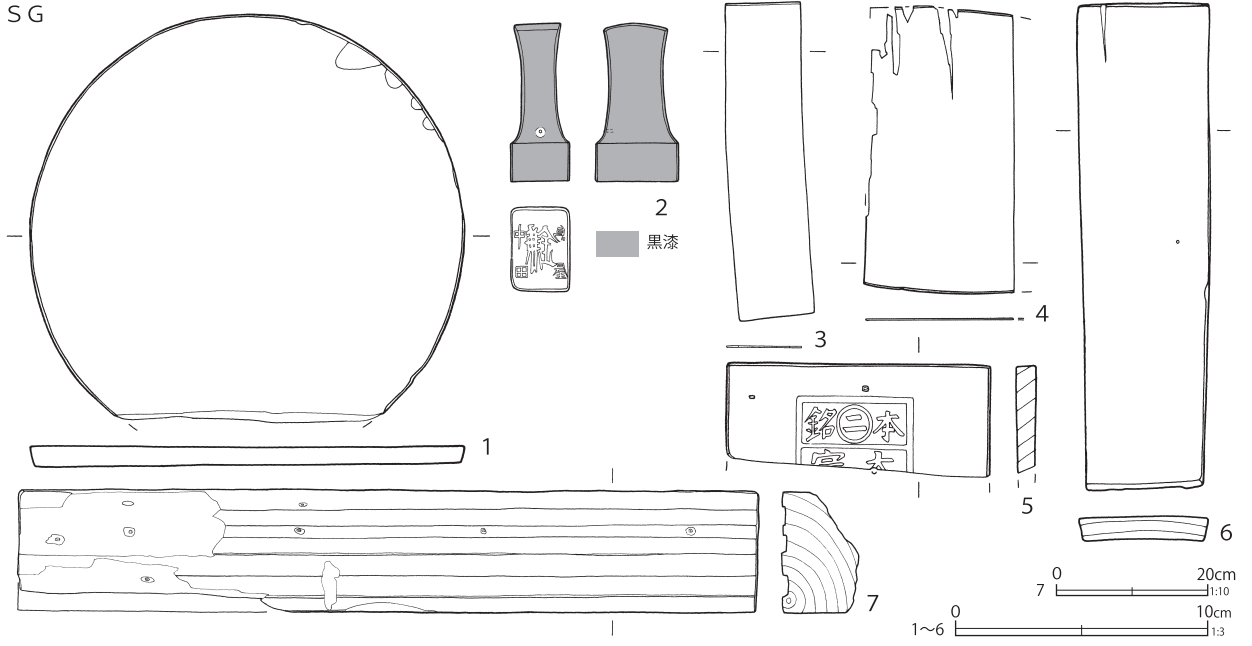
第 77 図 池状遺構出土遺物 (6)

SG



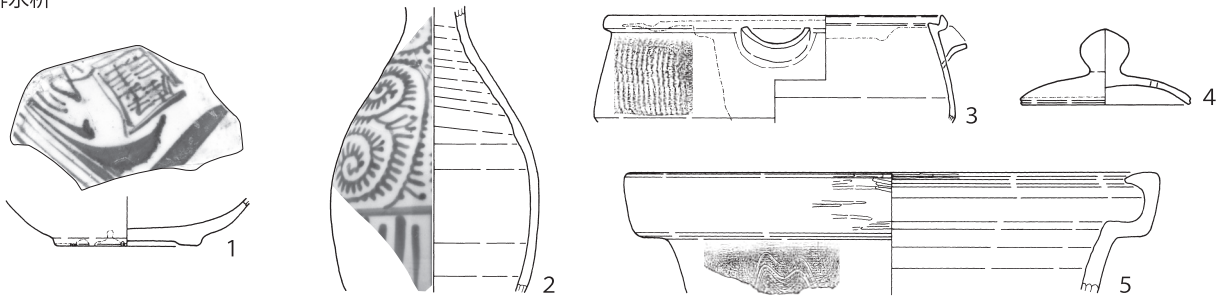
第 78 図 池状遺構出土遺物 (7)

SG

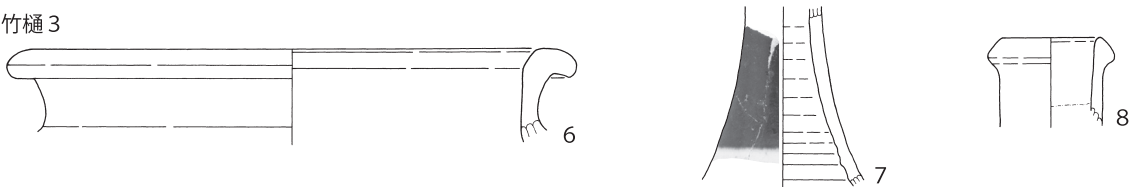


第79図 池状遺構出土遺物(8)

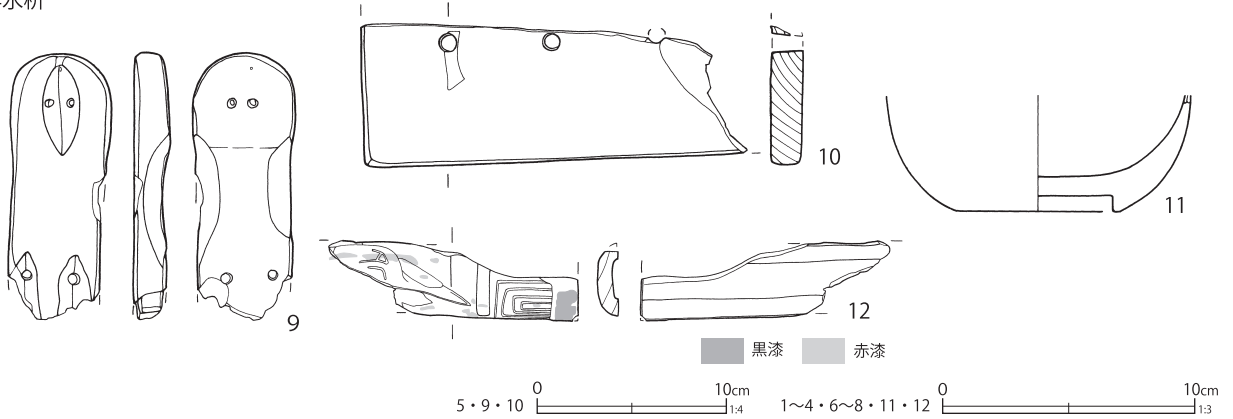
排水枡



竹樋3



排水枡



第80図 排水枡・第3号竹樋出土遺物

第19表 池状遺構出土遺物観察表(1) (第72~75図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	遺構	備考	図版
1	磁器	碗	10.5	5.4	3.6	—	85	良好	白	SG 東	肥前系 施釉・染付 焼継痕・焼継印(赤) 被熱	28-1 75-5
2	磁器	碗	(15.6)	[5.5]	—	—	20	良好	白	SG 東	肥前系 施釉・染付	
3	磁器	碗	11.8	[3.8]	—	—	50	良好	白	SG 東	肥前系 施釉・染付 弱く被熱	
4	磁器	碗	10.5	4.6	3.3	—	95	良好	白	SG 西	瀬戸美濃系 施釉 外面銅版転写染付「日英 / 同盟」「祝 / 萬歳」銘	28-2
5	磁器	坏	6.0	3.9	(2.8)	—	45	良好	白	SG 西	瀬戸美濃系 施釉・陰刻文 内面染付 口紅	
6	磁器	坏	7.0	4.6	2.8	—	90	良好	白	SG 東	瀬戸美濃系 施釉 外面銅版転写染付(色銅版)「壽」「大日本東濃泉村後藤新八」銘	28-3
7	磁器	碗	8.0	4.2	3.3	—	95	良好	白	SG 東	瀬戸美濃系 外面鉄絵 同文別個体4あり	
8	磁器	皿	4.1	1.5	2.3	—	60	良好	白	SG 西	瀬戸美濃系 施釉 内面染付 強く被熱(長皿)	
9	磁器	皿	—	[2.0]	—	—	5	良好	白	SG 西	肥前系 施釉 内面色絵 強く被熱	
10	磁器	皿	14.7	4.7	8.6	—	90	良好	白	SG 西	肥前系 施釉 口紅 内面染付 墨書「本」	28-4
11	磁器	皿	15.0	4.3	8.2	—	85	良好	白	SG 西	瀬戸美濃系 施釉 型紙摺絵染付 墨書	28-6
12	磁器	皿	28.4	4.4	16.2	—	90	良好	灰白	SG 東	肥前系 施釉 口紅 内面染付 焼継痕・焼継印(赤)	28-5 75-8
13	磁器	皿	(15.4)	[2.7]	—	—	15	良好	白	SG 西	肥前系 施釉 内面青磁釉・陽刻状施文 外面染付	
14	磁器	坏	8.1	3.3	2.9	—	60	良好	白	SG 東	瀬戸美濃系 施釉・上絵付(金・青・赤「栗橋町稻荷屋」他銘)	
15	磁器	紅皿	6.0	1.3	1.8	—	100	良好	白	SG 西	瀬戸美濃系 型成形 施釉 外面型押文	
16	磁器	紅皿	(6.1)	1.7	(2.7)	—	30	良好	白	SG 西	肥前系 型成形 施釉 外面型押文	
17	磁器	紅皿	(6.0)	1.8	(2.2)	—	15	良好	白	SG 西	肥前系 型成形 施釉 外面型押文	
18	磁器	皿	—	[1.2]	(9.0)	—	50	良好	白	SG 東	施釉 上絵付(金・赤・緑)極めて薄手	
19	磁器	鉢	13.5	4.7	8.0	—	95	良好	白	SG 東	瀬戸美濃系 クロム青磁釉 焼継痕・焼継印(赤)	28-8 75-9
20	磁器	鉢	(16.5)	6.8	7.9	—	45	良好	白	SG 西	肥前系 施釉・染付 内底面釘書	28-9
21	磁器	皿	—	[1.4]	(12.8)	—	15	良好	灰白	SG 西	肥前系 施釉・染付 強く被熱	
22	磁器	蓋	6.1	1.9	5.0	—	100	良好	白	SG 東	瀬戸美濃系 施釉 外面銅版転写染付(合子)	
23	磁器	合子	3.5	1.1	3.6	—	100	良好	白	SG 東	瀬戸美濃系 施釉 赤色物質(紅か)付着	
24	磁器	蓋	—	7.5	(5.9)	—	50	良好	白	SG 東	施釉 上面銅版転写染付 25の蓋	
25	磁器	水注	6.8	16.2	7.1	—	80	良好	白	SG 東	施釉・銅版転写染付 焼継痕・焼継印(赤)	28-11
26	磁器	瓶類か	—	[4.8]	(7.8)	—	40	良好	白	SG 西	瀬戸美濃系 板作成形 外面施文・クロム青磁釉 底部布目圧痕	28-10 75-12
27	磁器	蓋	—	[3.4]	(11.3)	—	35	良好	白	SG 東	肥前系 施釉 外面染付 焼継痕・焼継印(赤)	28-12
28	磁器	段重	14.9	4.4	9.2	—	100	良好	白	SG 東	肥前系 施釉 外面染付 焼継痕・焼継印(赤)	28-7
29	磁器	蓋物	16.5	8.7	9.3	—	85	良好	白	SG 東	肥前系 施釉 外面染付 焼継痕・焼継印(赤)	28-13
30	磁器	爛徳利	2.8	[10.2]	—	—	40	良好	白	SG 西	瀬戸美濃系 施釉 外面銅版転写染付	
31	磁器	水滴	8.0	2.5	7.7	—	70	良好	白	SG 西	瀬戸美濃系 板作成形 外面施釉・染付	
32	磁器	水滴	8.8	2.8	8.8	—	60	良好	白	SG 西	瀬戸美濃系 板作成形 外面施釉・染付	
33	陶器	碗	5.8	6.4	3.8	IK	70	普通	灰白	SG 東	軟質施釉(緑釉) 近代 長筒湯呑碗形	29-1
34	陶器	碗	—	[2.4]	—	IK	20	良好	灰	SG 西	萩焼 藁灰釉(開口碗)	
35	陶器	碗	9.9	5.3	4.9	IK	85	良好	灰白	SG 東	飴釉 近代	29-2
36	陶器	坏	—	[2.2]	2.0	—	40	良好	灰白	SG 西	京都信楽系 施釉 上絵付(赤)	29-3
37	陶器	坏	—	[2.0]	2.8	K	40	良好	灰黄	SG 西	大堀相馬系 糠白釉(貫入多い)	29-4
38	磁器	坏	8.8	3.8	3.6	—	70	良好	灰白	SG 東	瀬戸美濃系 施釉 外面鉄絵	29-5
39	陶器	灯火具	7.8	5.8	4.9	HK	100	良好	灰黄	SG 西	底部離糸切痕 灰釉(不透明・白濁)	29-6
40	陶器	皿	—	[1.2]	—	K	5	普通	灰白	SG 東	型成形 軟質施釉(緑釉) 平面形多角形	29-7
41	陶器	皿	13.5	3.8	6.0	I	100	良好	灰白	SG 西	瀬戸美濃系 施釉 内面染付(太白手)	
42	陶器	鉢	—	[3.6]	(7.4)	IK	25	良好	灰白	SG 東	瀬戸美濃系 灰釉 内面上絵付(赤・緑・茶他)	29-8
43	陶器	片口鉢	—	[7.4]	9.4	IK	70	良好	灰	SG 西	瀬戸美濃系 灰釉 内面重焼痕 墨書	
44	陶器	鉢	(32.4)	[11.1]	—	IK	10	良好	黄灰	SG 西	糠白釉 内面緑釉流掛 口縁部鉄釉流掛・施文	
45	陶器	鉢	(25.0)	[4.5]	—	IK	5	良好	灰白	SG 西	瀬戸美濃系 施釉(にぶい褐色) 外面鉄絵	29-9
46	陶器	植木鉢か	(20.8)	[4.8]	—	IK	10	良好	灰白	SG 西	瀬戸美濃系 外面長石釉 口縁部鉄釉流掛	
47	陶器	鉢	(12.2)	4.8	7.0	IK	60	良好	灰白	SG 西	淡路民平か 黄色釉	
48	陶器	鉢	(12.8)	7.0	(7.0)	IK	20	良好	灰白	SG 西	大堀相馬系 施釉(黒斑多い) しのぎ状施文	

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	遺構	備考	図版
49	陶器	花生	—	[5.5]	—	IK	20	良好	灰白	SG 西	灰釉 外面貼付文・緑釉流掛 被熱	29-10
50	陶器	播鉢	36.8	14.9	16.0	DG	65	良好	にぶい赤褐	SG 東	堺明石系 砂目底 内面播目(底部放射状)	
51	陶器	花生	—	[3.2]	7.0	IK	90	良好	灰	SG 西	瀬戸美濃系 底部糸切痕(右) 鉄釉 墨書「さ さト」	29-11 75-16
52	陶器	徳利	—	[11.7]	—	—	20	良好	淡黄	SG 西	灰釉	29-12
53	陶器	徳利	—	[11.9]	6.4	IK	70	良好	灰白	SG 東	外面鉄釉・上位緑釉・トビガンナ状施文	29-13
54	陶器	甕	—	[5.5]	—	EI	10	良好	暗灰黄	SG 西	信楽系か 内面施釉 外面施文・鉄化粧	
55	陶器	豆甕	(6.0)	5.5	3.6	IK	50	良好	灰白	SG 西	底部離糸切痕 柿釉	
56	陶器	壺	—	[5.4]	(9.8)	DE	30	良好	灰白	SG 東	信楽系 外面施釉 長石粒目立つ	29-14
57	陶器	土瓶	(9.0)	[4.9]	—	IK	10	良好	灰	SG 西	松岡系 外面海鼠釉	
58	陶器	瓶類	—	[4.0]	(4.2)	K	25	良好	灰白	SG 西	外面柿釉 胎土炆器質(インク瓶)	
59	施釉土器	灯火具	(7.7)	—	7.4	AIK	60	良好	橙	SG 西	透明釉	
60	瓦質土器	十能	—	[2.8]	—	CHI	30	普通	浅黄橙	SG 東	燻す	
61	瓦質土器	焜炉	—	[15.0]	(21.8)	CFIK	30	普通	黒	SG 東	砂目底 外面施文 燻す	
62	陶器	涼炉	—	[5.3]	—	AH	30	普通	浅黄橙	SG 東	京都産 白色土器質 涼炉の中筒のみ遺存	
63	瓦質土器	仕切盤	—	6.9	—	CIK	10	普通	にぶい黄橙	SG 東	底部ナゲ調整 口縁部ミガキ 燻す	
64	瓦質土器	植木鉢	(18.0)	13.4	13.2	AIJK	70	普通	灰白	SG 東	底部糸切痕・ナゲ調整 胎土粉質 被熱	
65	瓦質土器	植木鉢	(12.6)	[5.7]	—	AI	25	普通	褐灰	SG 東	燻す	
66	瓦質土器	植木鉢	(16.9)	7.0	(12.0)	CEIK	20	普通	にぶい黄橙	SG 東	砂目底 口縁上端部ミガキ 燻す	
67	瓦質土器	植木鉢	(10.0)	7.6	(6.6)	AIK	25	普通	灰白	SG 東	底部糸切痕 燻す	
68	瓦質土器	植木鉢	(14.5)	[6.2]	—	AHIK	15	良好	灰白	SG 東	外面しのぎ状施文 口縁部ミガキ 燻す	
69	瓦質土器	植木鉢	(14.0)	7.4	(10.0)	CHI	40	普通	にぶい黄橙	SG 東	底部ヘラナゲ調整 燻す	
70	土師質土器	目皿	(10.6)	1.1	(9.4)	ADE	45	普通	橙	SG 東	砂目底 円孔7か 雲母多く含む	
71	瓦質土器	目皿	12.2	1.6	11.5	HIK	85	普通	にぶい黄橙	SG 東	円孔7	
72	土師質土器	目皿	10.3	2.3	7.1	CGIK	90	普通	にぶい橙	SG 東	底部糸切痕 円孔5 上面変色	
73	土師質土器	焙烙	(34.8)	4.0	(36.2)	CHIK	45	普通	にぶい黄橙	SG 西	砂目底	
74	土師質土器	焙烙	35.5	4.6	35.3	CEHK	85	普通	にぶい橙	SG 東	底部シワ状痕 煤付着	
75	瓦質土器	焙烙	(36.0)	4.4	(34.8)	CHIK	20	普通	灰白	SG 東	砂目底 外面煤付着	
76	瓦質土器	竈鏝	31.5	3.0	32.5	EIK	75	普通	灰白	SG 西	上面刻印 煤付着	

第20表 池状遺構出土遺物観察表(2)(第76図)

番号	種別	器種	法量・胎土	遺構	備考	図版
1	土師質土器	小壺	口径3.0 高2.1 底径1.5 重12.1 胎土 AI	SG 東	橙色, 粉質 在地系 完存 底部離糸切	84-1
2	磁器	ミニチュア	径1.5 高0.5 重1.0	SG 東	蓋 瀬戸美濃系 完存 上面施釉・上絵付(緑・橙)	84-12
3	施釉土器	ミニチュア	口径2.6 高2.1 底形1.6 重12.3 胎土 AI	SG 西	羽釜 浅黄橙色 京都系 内面~外面鏝に緑釉	84-13
4	陶器	ミニチュア	底径3.6 高[9.5] 重71.2 胎土 DE	SG 東	徳利 にぶい黄橙色で長石・石英多い 地方窯系 底 部糸切痕 外面白化粧後銅緑釉(深緑色)	84-14
5	施釉土器	ミニチュア	口径(7.4) 高4.3 底径3.6 重71.2 胎土 AEHI	SG 西	火鉢 橙色 江戸在地系 底部離糸切 外面透明釉 口 縁部緑釉・白色釉	84-15
6	土製品	人形	長[3.8] 幅3.6 高1.7 胎土 HK	SG 西	亀 橙色 上下合型成形 内外面施釉 浮き玩具か	84-16
7	磁器	人形	高5.1 幅3.1 厚2.4 重29.4	SG 西	獅子舞 瀬戸美濃系 前後合型成形 中空 外面施釉・ 色絵(赤・緑・黒) 底部墨書	
8	土製品	鳩笛	長7.0 厚3.4 高3.4 重24.1 胎土 AD	SG 東	灰白色 京都系か 上下合型成形 上面着色(赤・緑)	84-17
9	土製品	人形	幅[1.9] 厚[1.7] 重5.0 胎土 AI	SG 東	大黒 前後合型成形 やや色調淡いが江戸在地系か	
10	土製品	泥面子	長3.7 幅2.8 厚0.9 重6.7 胎土 A	SG 東	般若 灰白色 京都系か 芥子面 型押成形	84-18
11	土製品	泥面子	径2.3 厚1.0 重5.7 胎土 AIK	SG 西	橙色 面打 表裏雲母付着 側面二次的な研磨	
12	土製品	碁石	径2.2 厚0.5 重2.0 胎土 A	SG 西	赤褐色	
13	瓦	軒棧瓦	長[4.1] 幅[7.6] 厚1.8 胎土 ACIK	SG 西	灰色 銀化	
14	瓦	軒棧瓦	長[2.4] 幅[7.2] 厚2.5 胎土 AGHIK	SG 西	灰色 胎土砂っぽい	
15	瓦	軒平瓦	長[4.4] 幅[18.2] 厚2.4	SG 西	灰白色 滴水瓦 胎土やや粉質で赤色粒子多い	88-3
16	瓦	軒棧瓦	長[10.5] 幅[20.1] 厚1.8 胎土 AHIK	SG 西	灰白色 銀化 刻印〇に「イ」胎土に赤色粒子多い	
17	瓦	軒棧瓦	長[6.7] 幅[9.9] 厚2.0 胎土 AEK	SG 東	灰白色 東海式 硬質 胎土に黒色粒子多い	
18	瓦	軒棧瓦	長[5.9] 幅[11.4] 厚1.9 胎土 AK	SG 東	灰白色 東海式 硬質 胎土に黒色粒子多い	88-2
19	硝子製品	瓶	口径2.0 高15.6 底径4.5	SG 東	「特別上等 全乳」「搾取所 愛光舎/販賣所 門奈」	
20	銅製品	銭貨	径24.4 厚0.8 重2.0	SG	寛永通宝(新) 背文字(「元」か)	
21	銅製品	銭貨	径23.4 厚1.1 重2.6	SG	寛永通宝(新)	
22	銅製品	銭貨	径22.5 厚1.0 重2.2	SG 西	寛永通宝(新)	

23	銅製品	銭貨	径 22.5 厚 1.0 重 2.2	SG 東	寛永通宝 (新)	
24	銅製品	銭貨	径 20.6 厚 1.7 重 4.4	SG 東	菊五銭白銅貨	
25	銅製品	銭貨	48.9 × 32.3 厚 2.7 重 22.0	SG	天保通宝	
26	銅製品	銭貨	径 26.8 厚 1.1 重 3.8	SG	文久永宝	
27	銅製品	銭貨	径 27.0 厚 1.0 重 3.7	SG 東	文久永宝	

第 21 表 池状遺構出土遺物観察表 (3) (第 77 図)

番号	種別	器種	法量	遺構	備考	図版
1	銅製品	管	長 [7.1] 幅 0.2 厚 0.1 重 1.6	SG		98-2
2	銅製品	管	長 8.0 幅 0.4 厚 0.1 重 4.3	SG		98-2
3	銅製品	管	長 11.0 厚 0.3 重 9.0	SG		
4	銅製品	飾金具	縦 3.5 横 2.0 厚 0.9 重 10.8	SG	蟬形	97-1
5	銅製品	蓋	口径 8.0 器高 2.6 厚 0.1 重 38.0	SG		97-4
6	鉄製品	火箸	長 39.3 厚 0.3 重 58.8	SG		
7	鉄製品	包丁	長 [24.4] 刃長 [13.3] 刃幅 [5.8] 背幅 0.1 重 75.0	SG	木柄付	97-1
8	鉄製品	鎌	長 [41.8] 刃長 [6.2] 刃幅 [5.5] 背幅 0.4 重 148.9	SG		
9	鉄製品	刀子	長 [14.8] 刃長 [9.3] 刃幅 1.7 背幅 0.4 重 25.5	SG		97-1
10	鉄製品	柄杓	長 [11.8] 厚 0.1 重 21.6	SG	柄内部に木質残存	
11	鉄製品	鐺	縦 6.9 横 6.7 厚 0.3 重 81.8	SG	丸形 角耳	97-1
12	鉄製品	錐	長 28.7 錐先長 5.2 錐先厚 0.3 重 19.1	SG	木柄付	97-1
13	鉄製品	鳶口	長 [25.7] 幅 0.3 厚 0.7 重 89.1	SG	木柄残存	97-1
14	鉄製品	錨	縦 8.9 横 5.5 厚 0.3 重 53.4	SG		97-1

第 22 表 池状遺構出土遺物観察表 (4) (第 78 図)

番号	種別	器種	長さ	幅	厚さ	重さ	石材	遺構	備考	図版
1	石製品	石板	[9.2]	[13.2]	[0.4]	105.4	粘板岩	SG 東	側面工具痕 罨線	
2	石製品	石板	[6.8]	[9.2]	0.4	39.8	粘板岩	SG 東	側面工具痕 罨線	
3	石製品	石板	[4.7]	[7.9]	0.2	16.9	粘板岩	SG 西	穿孔 1	
4	石製品	石板	[5.5]	[8.5]	0.4	22.6	粘板岩	SG 西	罨線	
5	石製品	石板	[3.9]	[4.5]	0.3	7.0	粘板岩	SG 西	側面工具痕	
6	石製品	石板	[6.5]	[7.0]	0.3	20.7	粘板岩	SG 西		
7	石製品	不明	[3.4]	2.7	1.4	21.5	滑石	SG 東	刃物痕か	101-2
8	石製品	不明	4.4	2.0	2.0	37.7	石灰岩か	SG 東	白色 砂質 軟質 剥離が激しい	
9	石製品	砥石	16.0	6.1	0.9	114.0	粘板岩	SG 東	ノコギリ痕か 砥面 3 酸化鉄付着	
10	石製品	砥石	5.8	5.3	4.4	216.8	粘板岩	SG 東	全面砥面	
11	石製品	砥石	[19.5]	5.7	1.2	159.6	ホルンフェルス	SG 東	幅広工具痕 ノコギリ痕か 刃物痕 砥面 2 粘板岩質	
12	石製品	砥石	[17.7]	5.6	4.8	799.9	砂岩	SG 東	砥面 5 以上 細粒・硬質	
13	石製品	砥石	19.0	3.5	3.3	248.8	流紋岩	SG 西	砥面 4 被熱	
14	石製品	不明	[8.2]	8.9	7.5	469.3	凝灰岩	SG 東	側面ノミ痕 下面・側面下段研磨か	100-4
15	石製品	不明	8.3	7.6	6.9	142.1	角閃石安山岩	SG 東	多孔質 自然面遺存 先の尖る工具で穿孔 2	100-5
16	石製品	石筆	[1.6]	1.6	1.7	6.4	滑石	SG 西	端部工具痕か	101-2
17	石製品	石筆	5.3	0.6	0.6	3.9	滑石	SG 西		101-2
18	石製品	石筆	[4.0]	0.6	0.5	2.2	滑石	SG 西		101-2
19	石製品	石筆	[3.6]	0.6	0.6	3.3	滑石	SG 西	端部工具痕か	101-2
20	石製品	石筆	[3.7]	0.7	0.7	2.0	滑石	SG 西		101-2
21	石製品	石筆	[3.5]	0.7	0.6	2.9	滑石	SG 西		101-2
22	石製品	石筆	[2.9]	0.5	0.5	1.9	滑石	SG 西		101-2

考えられる。第80図は排水枡と付属する竹樋の遺物である。1は景德鎮窯系磁器の蛇の目高台皿で、17世紀代の所産である。このほか、陶器鉄釉土瓶蓋(4)や地方窯系陶器のすず徳利(7)等、19世紀中葉頃の陶磁器が出土した。非掲載

遺物には陶器の青緑釉土瓶や土器目皿がある。排水枡は19世紀中葉頃に機能し、比較的短期間で使用されなくなった可能性が高い。池状遺構の最終埋没段階には機能していなかったものと推定される。

第23表 池状遺構出土遺物観察表(5)(第79図)

番号	種別	器種	長さ	幅	厚さ	口径/径	高さ	底径	木取り	遺構	備考	図版
1	木製品	樽	—	—	0.8	17.1	—	—	板目	SG西	蓋 表面墨書「梅」(第76表6)	104-6
2	木製品	印鑑	6.2	2.3	3.3	—	—	—	芯持材	SG東	黒漆「鳥屋/鎌/中田」	
3	木製品	経木	12.5	3.0	0.05	—	—	—	柱目	SG東	表裏面墨書「下八〇九」「八己」(第76表3)	104-3
4	木製品	経木	11.3	[5.9]	0.05	—	—	—	柱目	SG東	表裏面墨書「七サ□□□」「三十一銭ノ分」(第76表4)	104-4
5	木製品	箱	[4.4]	10.4	0.8	—	—	—	板目	SG東	側板 表面墨書 裏面焼印(第76表5)	114-5
6	木製品	木札	19.2	5.1	0.9	—	—	—	板目	SG東	表面墨書(第76表2)	104-2
7	木製品	敷居	97.4	15.9	10.2	—	—	—	芯持材	SG西	鉄釘残 スギ	

第24表 排水枡・第3号竹樋出土遺物観察表(第80図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	遺構	備考	図版
1	磁器	皿	—	[1.9]	(5.6)	—	10	良好	白	排水枡	中国景德鎮窯系 施釉 内面染付 高台脇砂付着	29-15
2	磁器	徳利	—	[11.2]	—	—	40	良好	灰白	排水枡	肥前系 外面施釉・染付	
3	陶器	行平	(13.2)	[4.2]	—	K	25	良好	灰	排水枡	柿釉 外面トビガンナ状施文	
4	陶器	蓋	—	2.9	6.6	IK	30	普通	灰白	排水枡	上面鉄釉(土瓶)	
5	瓦質土器	焜炉	(27.2)	[6.4]	—	CIK	15	良好	灰	排水枡	外面楡歯波状文 口縁部ミガキ 強く還元	
6	陶器	瓶掛	(20.4)	[3.6]	—	E	5	普通	灰白	竹樋3	瀬戸美濃系 緑釉	
7	陶器	徳利	—	[7.0]	—	IK	5	不良	灰白	竹樋3	外面鉄・灰釉掛分	
8	陶器	徳利	(3.8)	[3.5]	—	IK	5	不良	灰白	竹樋3	鉄釉	
番号	種別	器種	長さ	幅	厚さ	口径/径	高さ	底径	木取り	遺構	備考	図版
9	木製品	下駄	[14.5]	4.6	—	—	1.9	—	板目	排水枡	無眼下駄	
10	木製品	板	[7.1]	[20.2]	1.7	—	—	—	板目	排水枡	孔3 焼印(第76表28)	104-28
11	木製品	漆椀	—	—	—	—	[4.6]	6.4	横木取り	排水枡	内面赤漆 外面黒漆	
12	木製品	鞘	[2.5]	[9.8]	0.6	—	—	—	板目	排水枡	表面赤漆・黒漆, 線状の文様 側面黒漆	

(10) 溝跡

溝跡は10条検出された。遺構図を第81～84図に示し、位置・規模等については、第25表にまとめた。以下、各溝跡について記述する。

第1号溝跡(第81図)

C6-D2グリッドに位置し、長さ7mを検出した。東部は第5号井戸跡と重複する。第85図1は中世の古瀬戸系陶器盤類であるが、他に銅版転写染付の磁器碗・急須が出土しており、19世紀後半の埋没と考えられる。

第3号溝跡(第82図)

C6-B3からC3グリッドにかけて18.2mにわたって検出された木組みの溝で、本陣西側の区画と推定される。杭を打ち込み側板を押さえる構造で、南方で検出された第5号杭列と一連の遺構と捉えられる。両者の総延長は約43.4mとなる。

第85図3～30は出土した陶磁器で、時期幅が

広い。明治六年の五十銭硬貨が出土しており、明治前期の廃絶と思われるが、酸化コバルト染付磁器はやや少なく、主な機能時期は19世紀中葉頃と推定される。第92図1～6はミニチュア・玩具等である。6は平面形六角形の土製品で燈籠を模した箱庭道具と考えられる。第93図1は鉄釘、4は硝子製髪飾り類である。

第4・16号溝跡(第81図)

B6-J2、C6-A2グリッド付近に位置する溝跡で、一部が重複するが両者の新旧関係は明らかではない。周囲の遺構重複が激しく、遺存していたのは溝跡全体の一部分である。

第4号溝跡は覆土に焼土を多く含む。出土遺物が少なかったが、被熱した肥前系磁器広東碗を含む。第16号溝跡は当初、土壌として調査したもののだが、整理段階で形状から溝跡と判断した。南側で深くなり、下層には焼土が多く含まれていた。陶磁器は全体に18世紀のものが多く、肥前系磁

器の小広東碗も含まれる。京都信楽系陶器の透明釉灯明皿が最新である。いずれの溝跡も19世紀前葉頃の廃絶と考えられ、少なくとも第4号溝跡については火災との関連が考えられる。

第5号溝跡 (第83図)

C6-C3・D3グリッドに位置する。長さ1.7mが検出されたに過ぎず、深さ10cmと浅いことから、上部の大部分が削平されたと考えられる。溝内に杭が複数残り、杭列6の延長部分に一致する。本来は側板を有した溝で、店子町屋内の区画溝であったと推定される。

第6号溝跡 (第83図)

C6-D3、E3・4グリッドに位置する。東西方向に6m程延び、南に屈曲して4m程延びる。

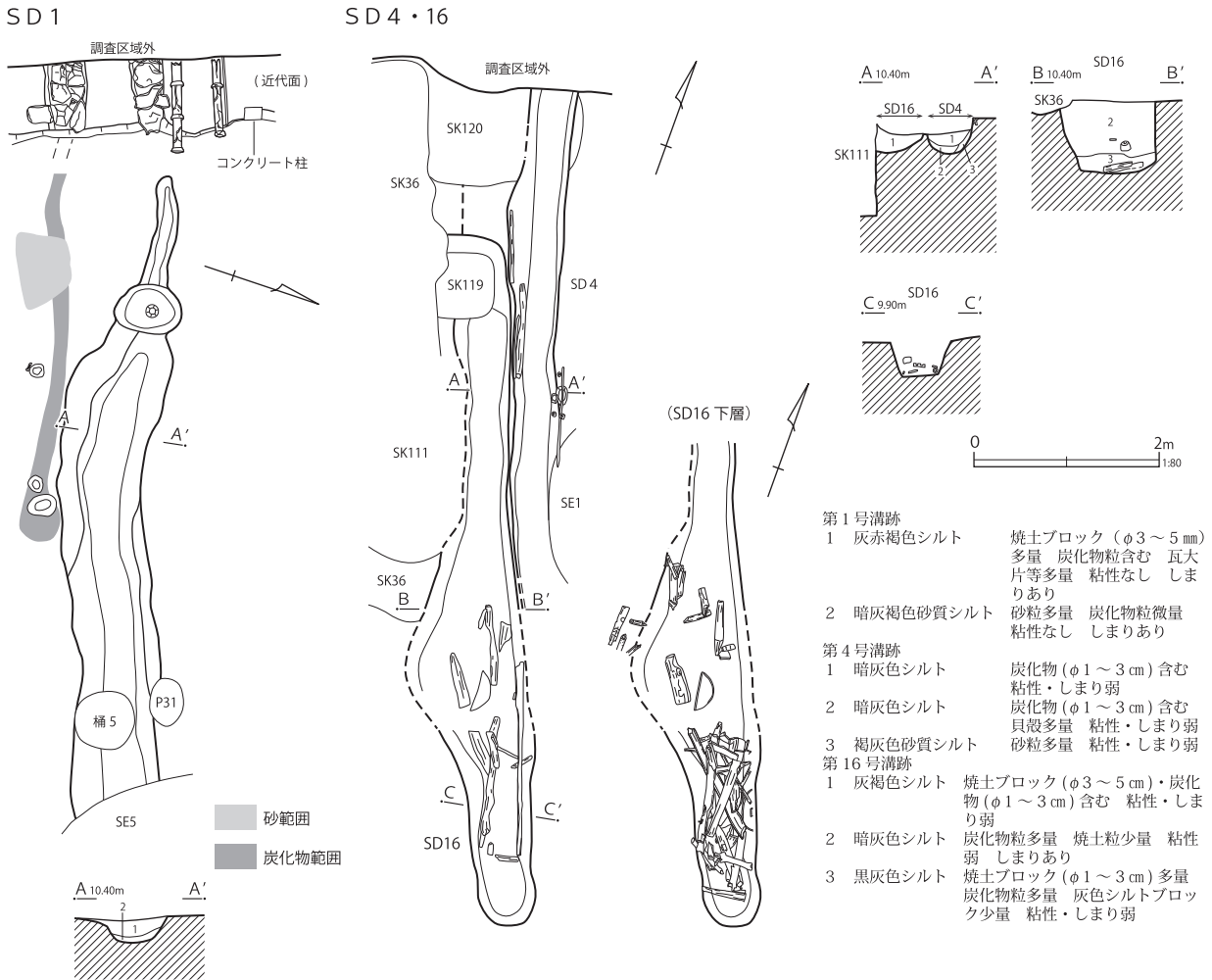
北側は本陣出入口部が想定される部分に接しており、その区画であった可能性がある。

第7号溝跡 (第83図)

本陣敷地内にあたるC6-E5グリッドで、長さ5m強を検出した。深さ10cmと浅く、削平を受けていると推定される。本陣敷地内における何らかの区画と推定される。

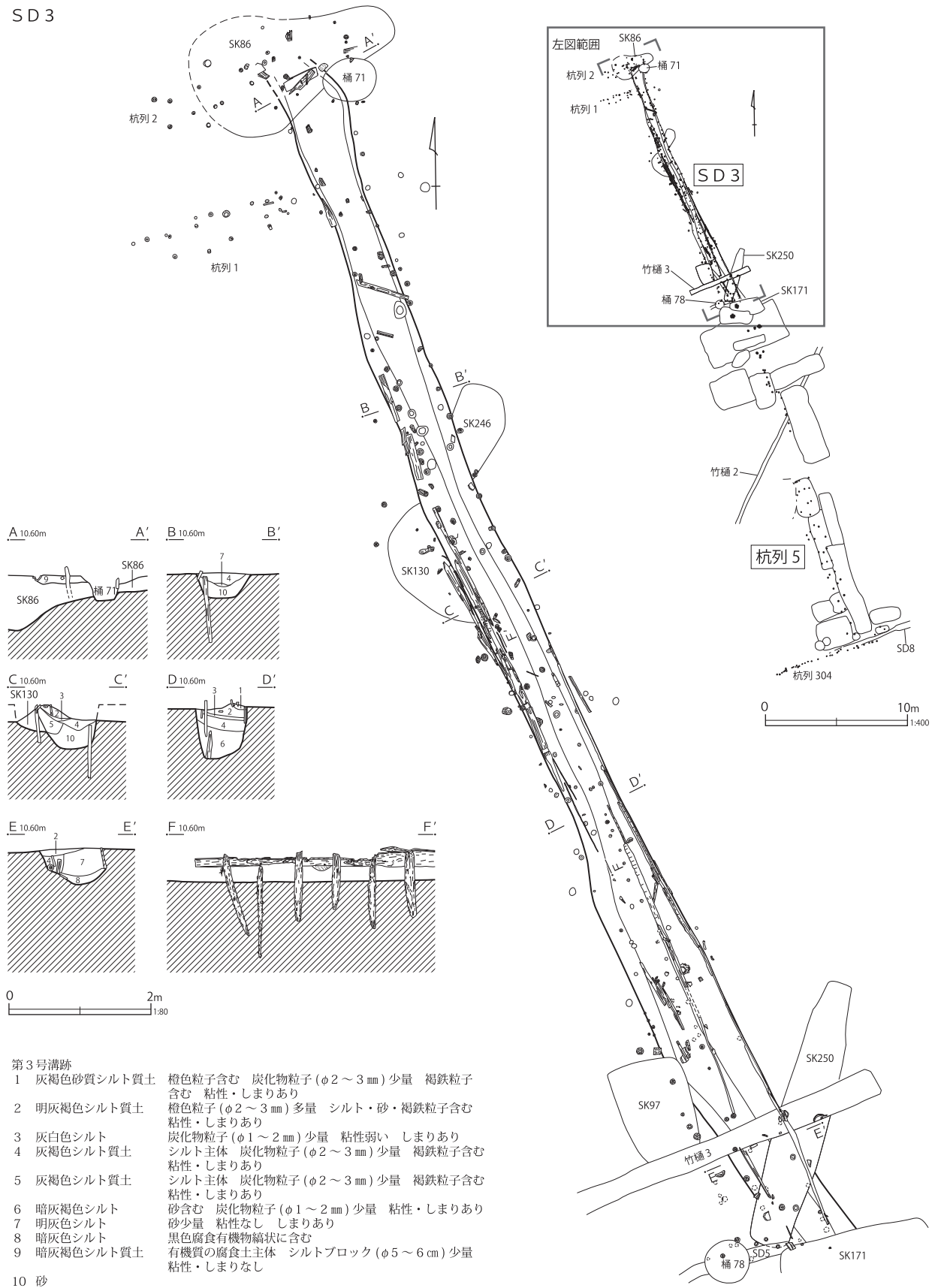
第8・9号溝跡 (第84図)

C6-E6、F5グリッド付近で並行して検出された溝跡で、本陣敷地と南側の町屋地区を画す溝である。一部重複し、第8号溝跡のほうが新しい。基本土層② (第6図) から、『本陣跡I』で報告した第306号杭列が第8号溝跡に伴う杭と認識される。また、第9号杭列は第9号溝跡の延伸



第81図 溝跡 (1)

SD 3



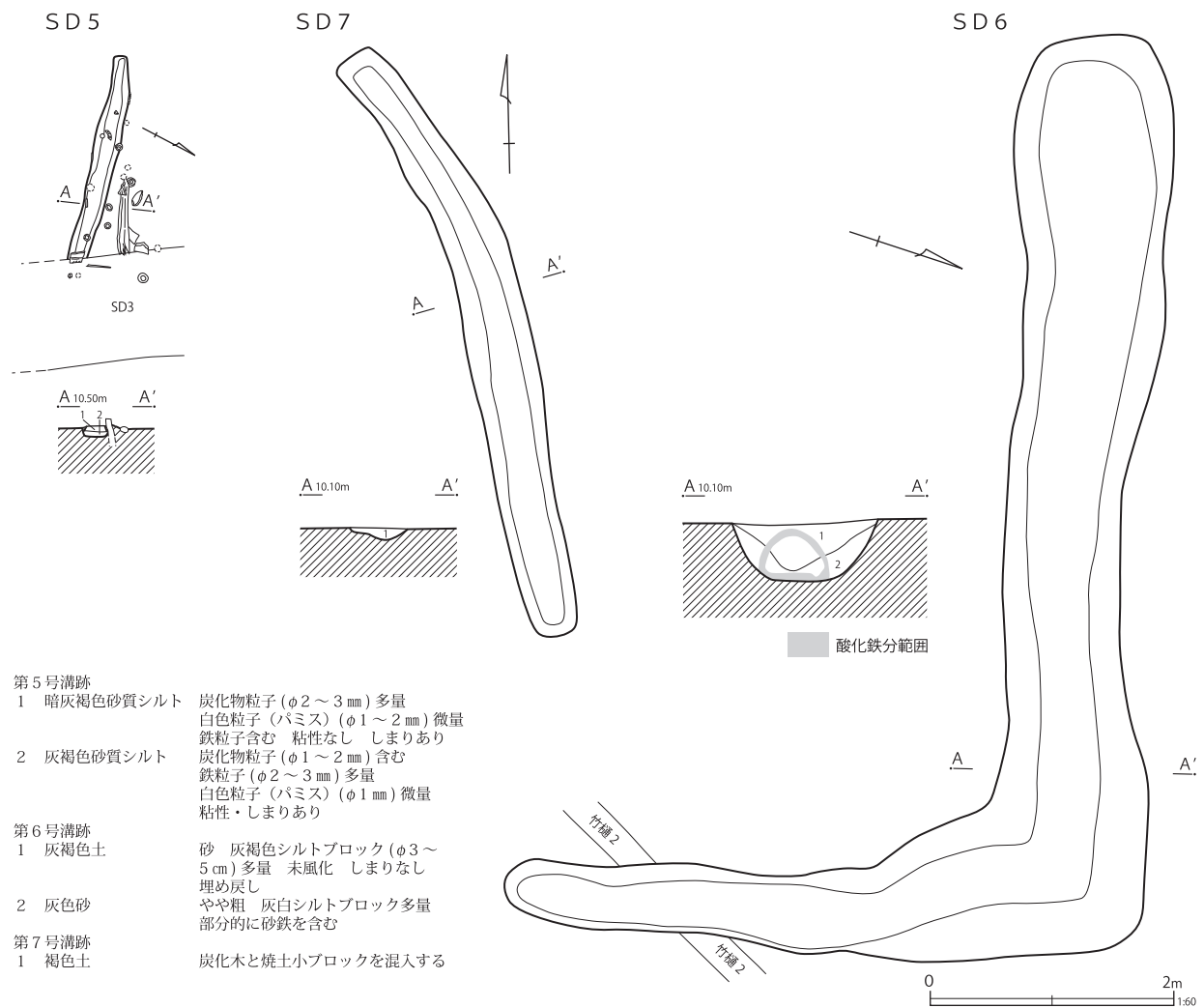
第82図 溝跡(2)

部である可能性が高い。第9号溝跡から出土した陶磁器を第86～90図35～142に示した。全体としては瀬戸美濃系磁器端反碗が多く、瀬戸美濃系陶器の灯明皿も多く出土した。50は陰刻文で加飾する磁器端反碗、81は小形の磁器火鉢である。

107は陶器の把手であるが、器種は判然としない。122は施釉土器のカンテラで、栗橋宿跡では少量しか出土していない。下限を示す遺物では、瀬戸美濃系磁器湯呑形碗が含まれる。19世紀第2四半期の様相で、第8号溝跡はそれより新しい段階

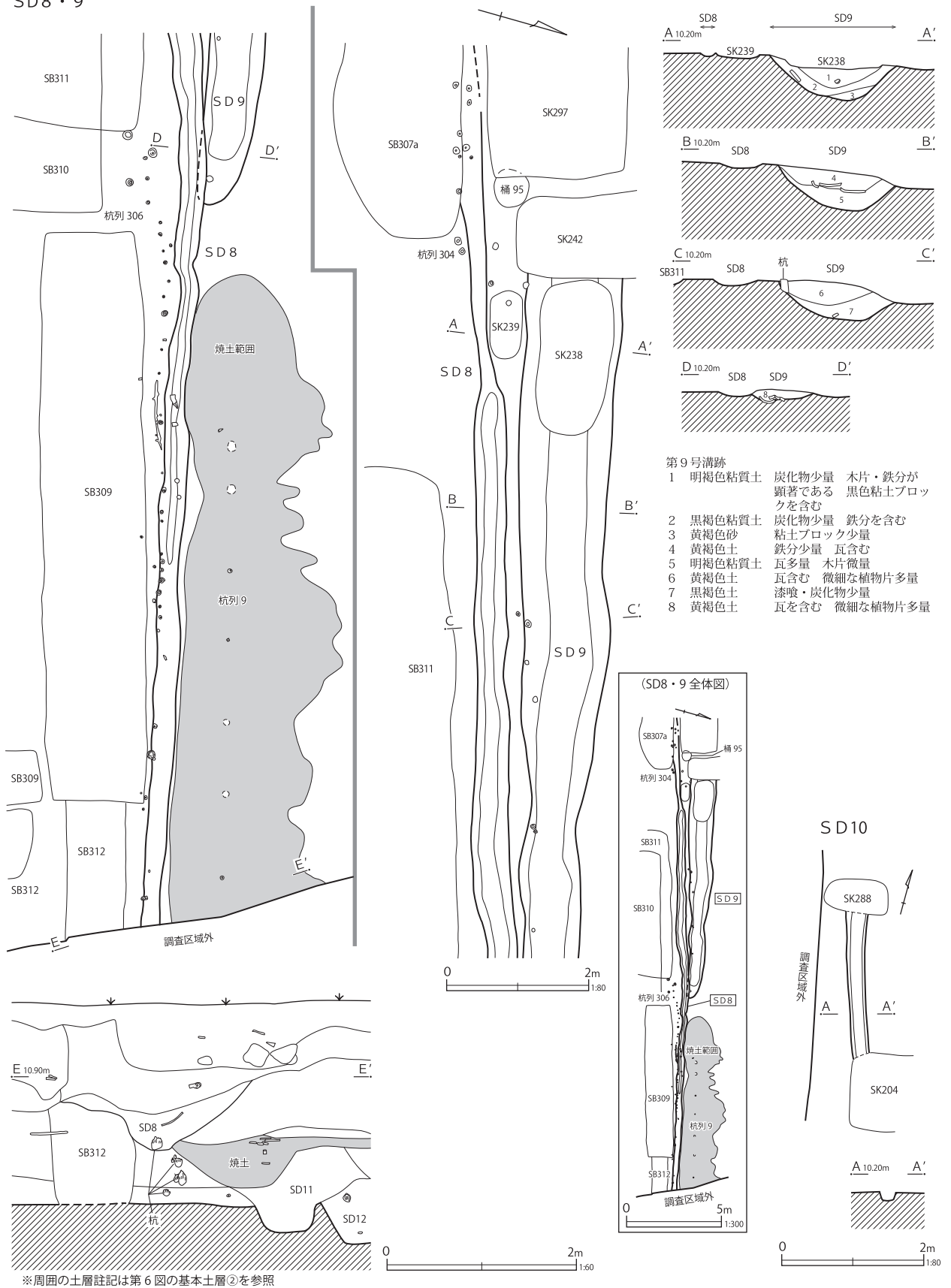
第25表 第一面溝跡一覧表 単位：m

番号	グリッド	長さ	幅	深さ	主軸方向	備考
1	C6-D2	7.00	1.05	0.28	N-71° -E	桶5より古 SK176より新 Pit31重複 寛永通宝(新古各1)出土
3	C6-B3・C3	18.20	1.12	0.78	N-21° -W	竹樋3より古 SK86/130/250より新 SD5・SK97/171/246/249/277重複
4	B6-J2・C6-A2	5.75	0.61	0.22	N-16° -W	SK38/120より古
5	C6-C3・D3	1.70	0.22	0.10	N-73° -E	桶78重複
6	C6-D3・E3/4	11.35	1.15	0.52	N-74° -E N-18° -W	竹樋2・SK180より古
7	C6-E5	5.10	0.55	0.10	N-17° -W	
8	C6-E5/6・F4/5	(25.56)	2.72	0.71	N-72° -E	SD9・周囲の焼土範囲より新 幅・深さの計測値は調査区壁断面から計測
9	C6-E5・F4/5	12.12	1.76	0.64	N-76° -E	SD8・SK238より古 SK242重複
10	C6-F3	2.07	0.30	0.13	N-72° -E	SK204/288重複
16	C6-A2	9.04	0.72	0.80	N-23° -W	SK45/111/119より古

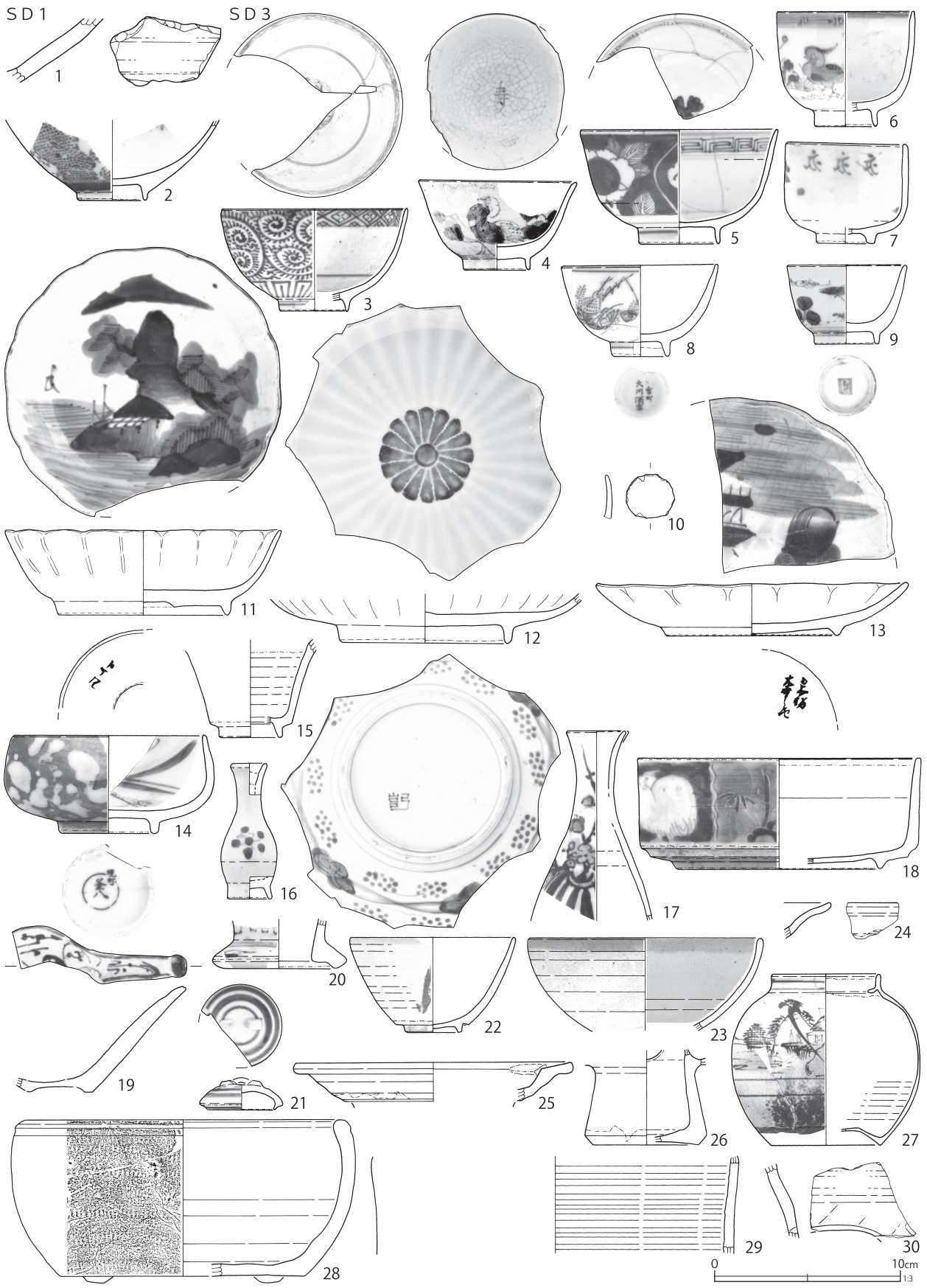


第83図 溝跡(3)

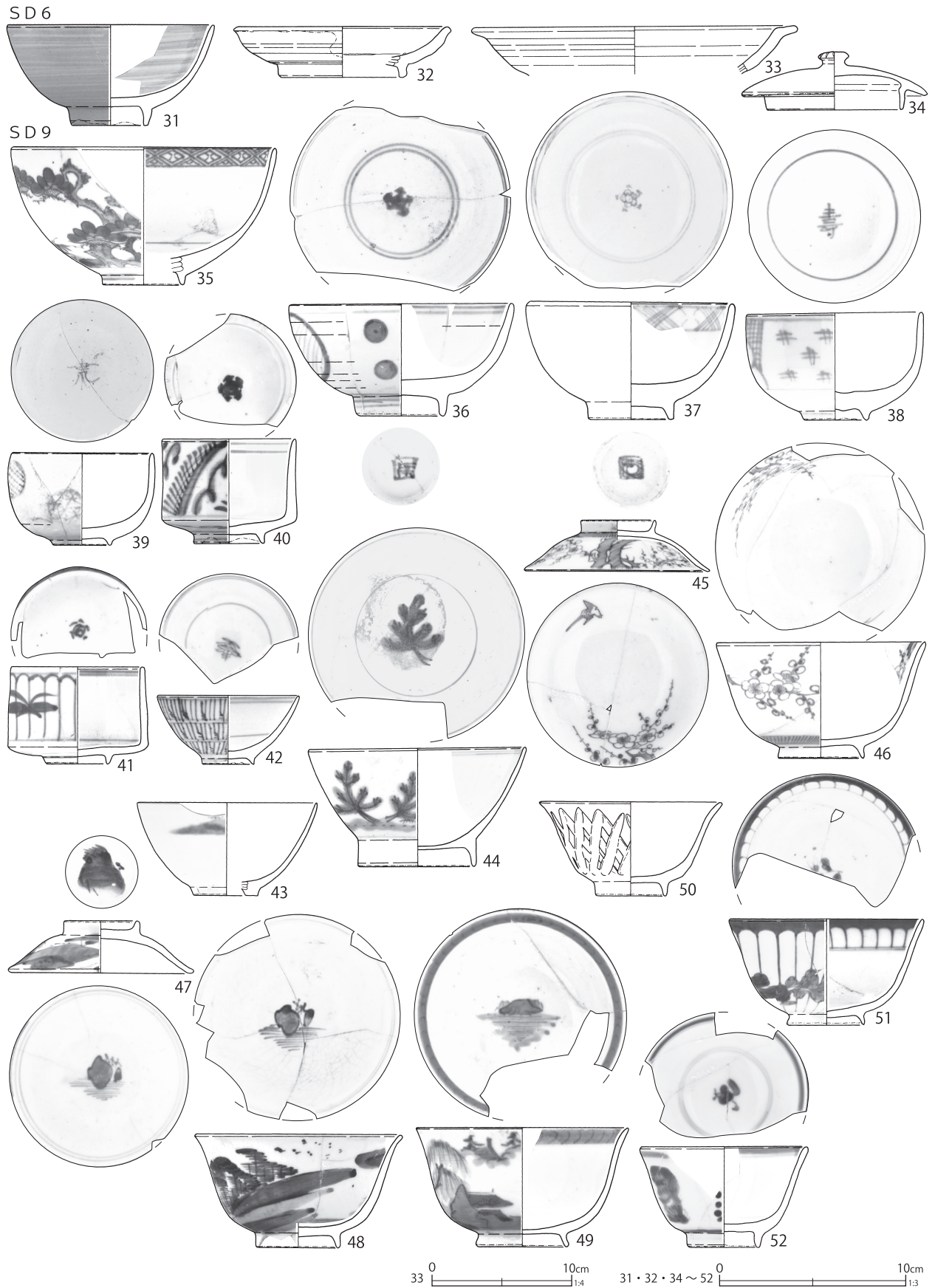
SD8・9



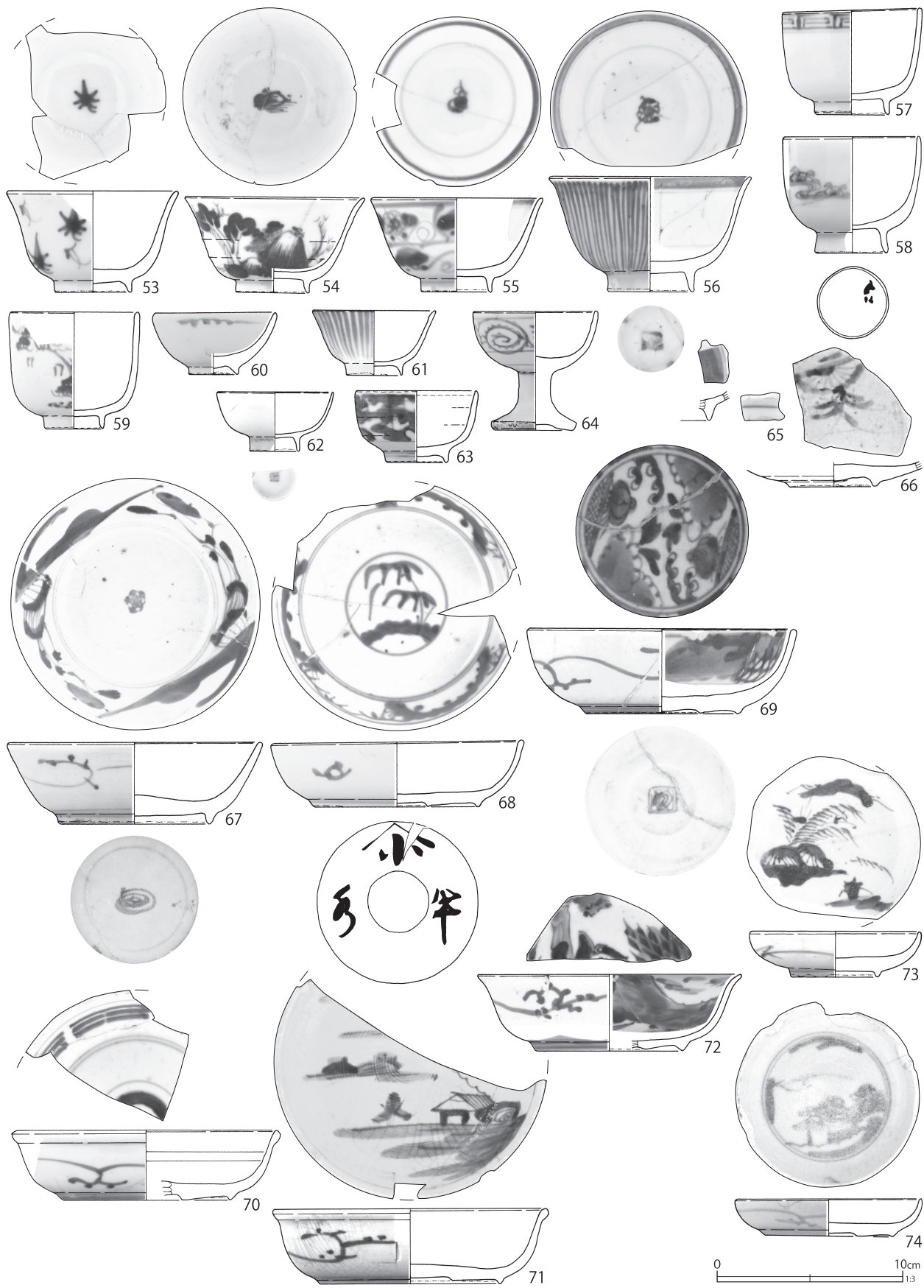
第84図 溝跡(4)



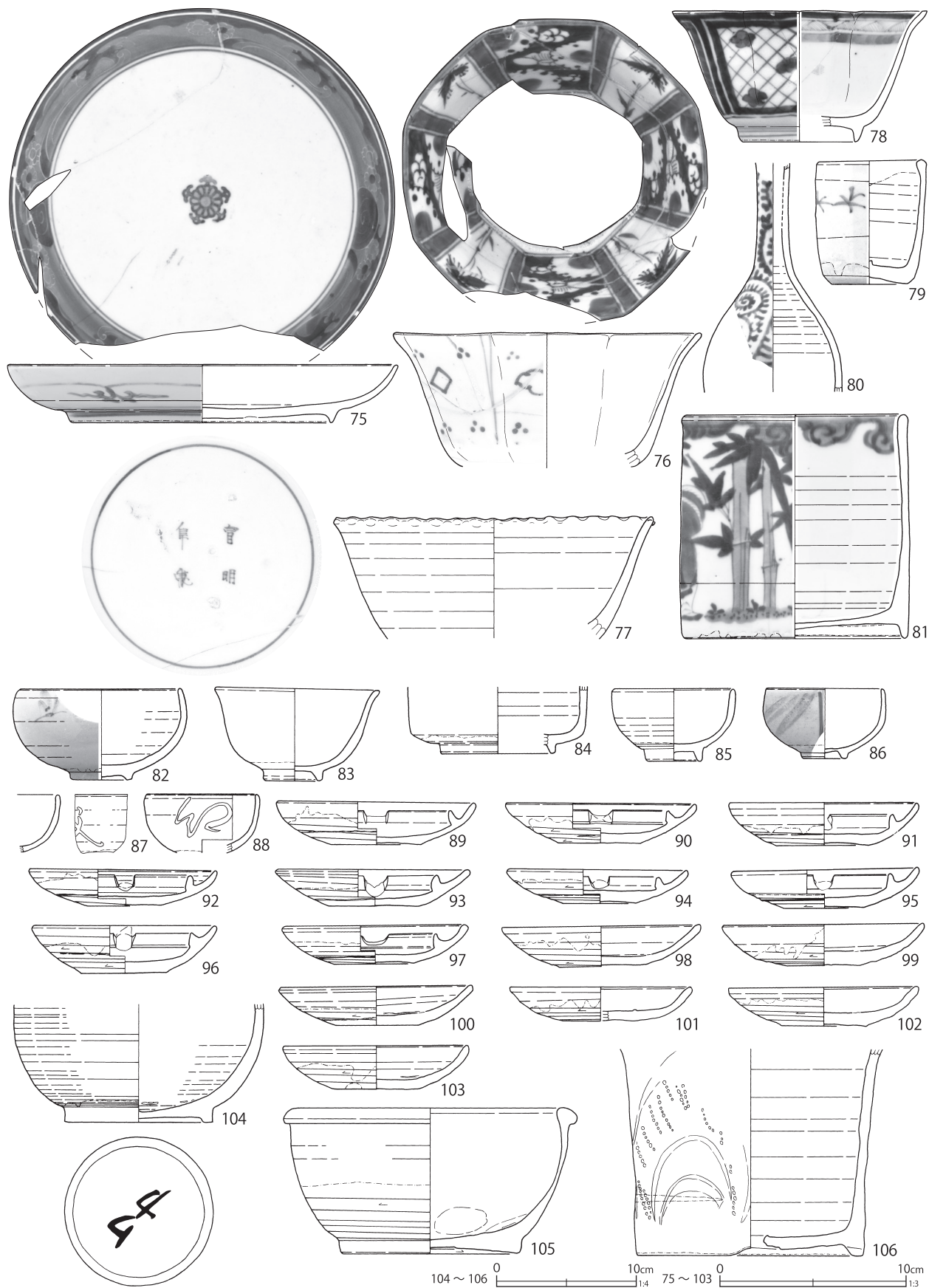
第 85 図 溝跡出土遺物 (1)



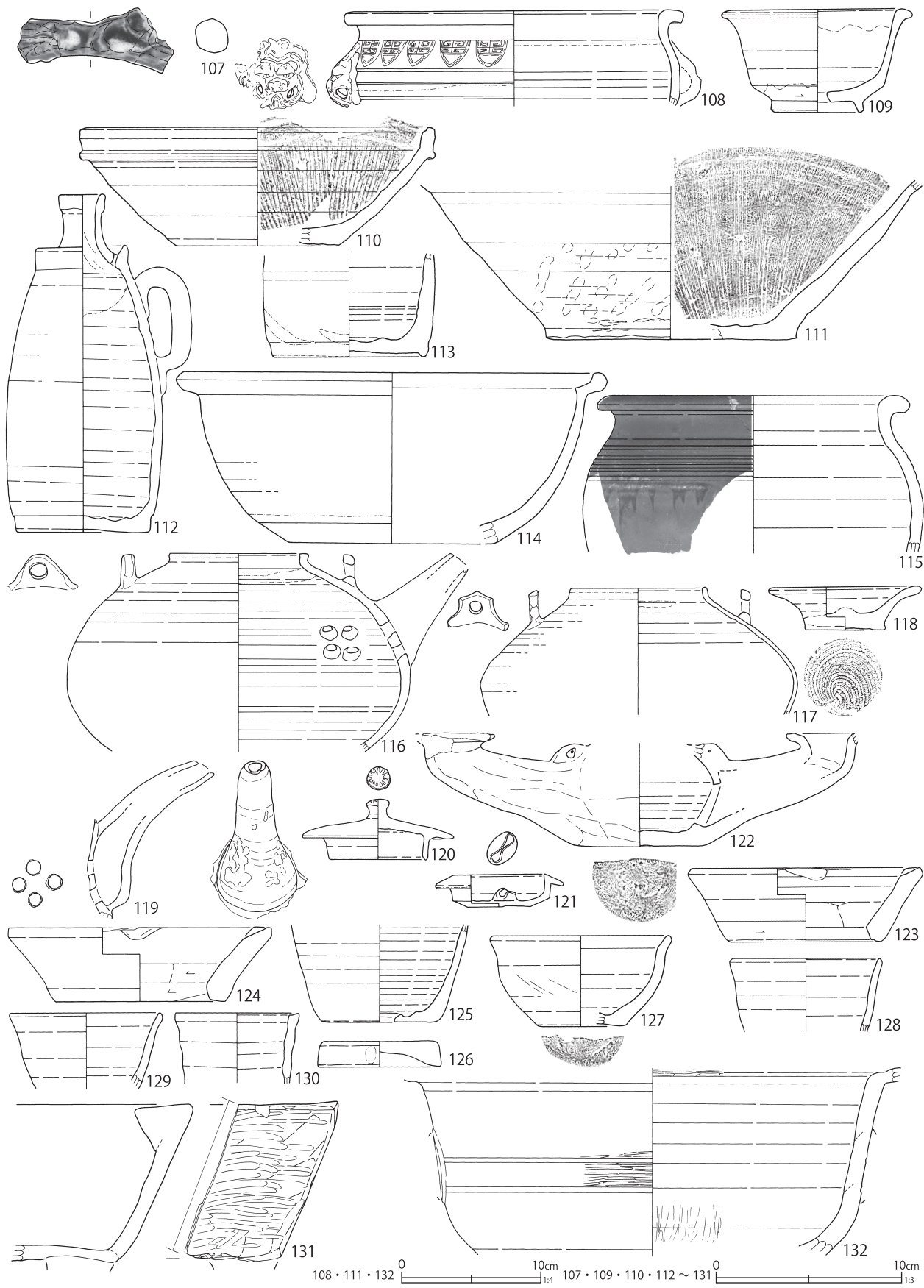
第 86 图 沟迹出土遗物 (2)



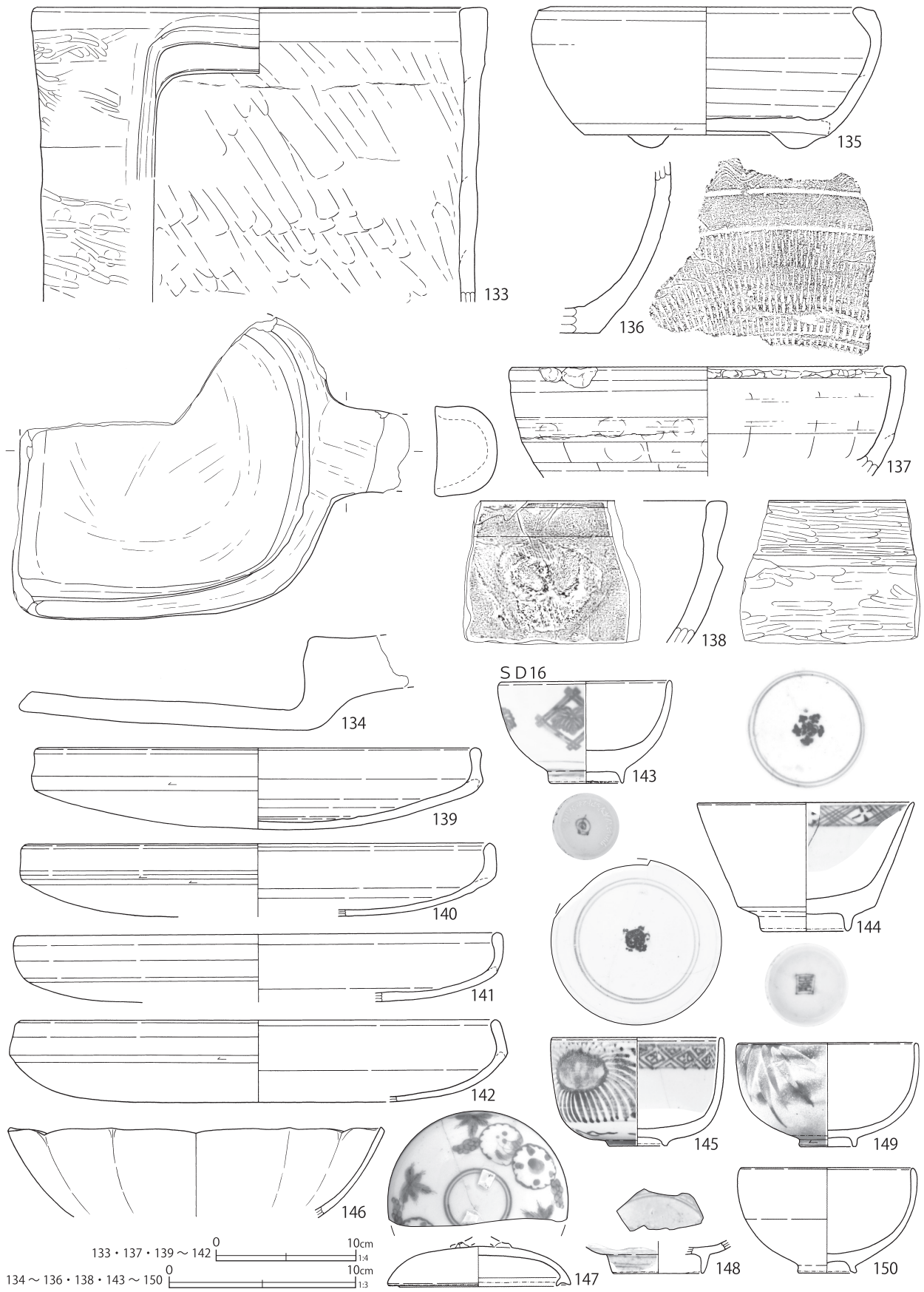
第 87 図 溝跡出土遺物 (3)



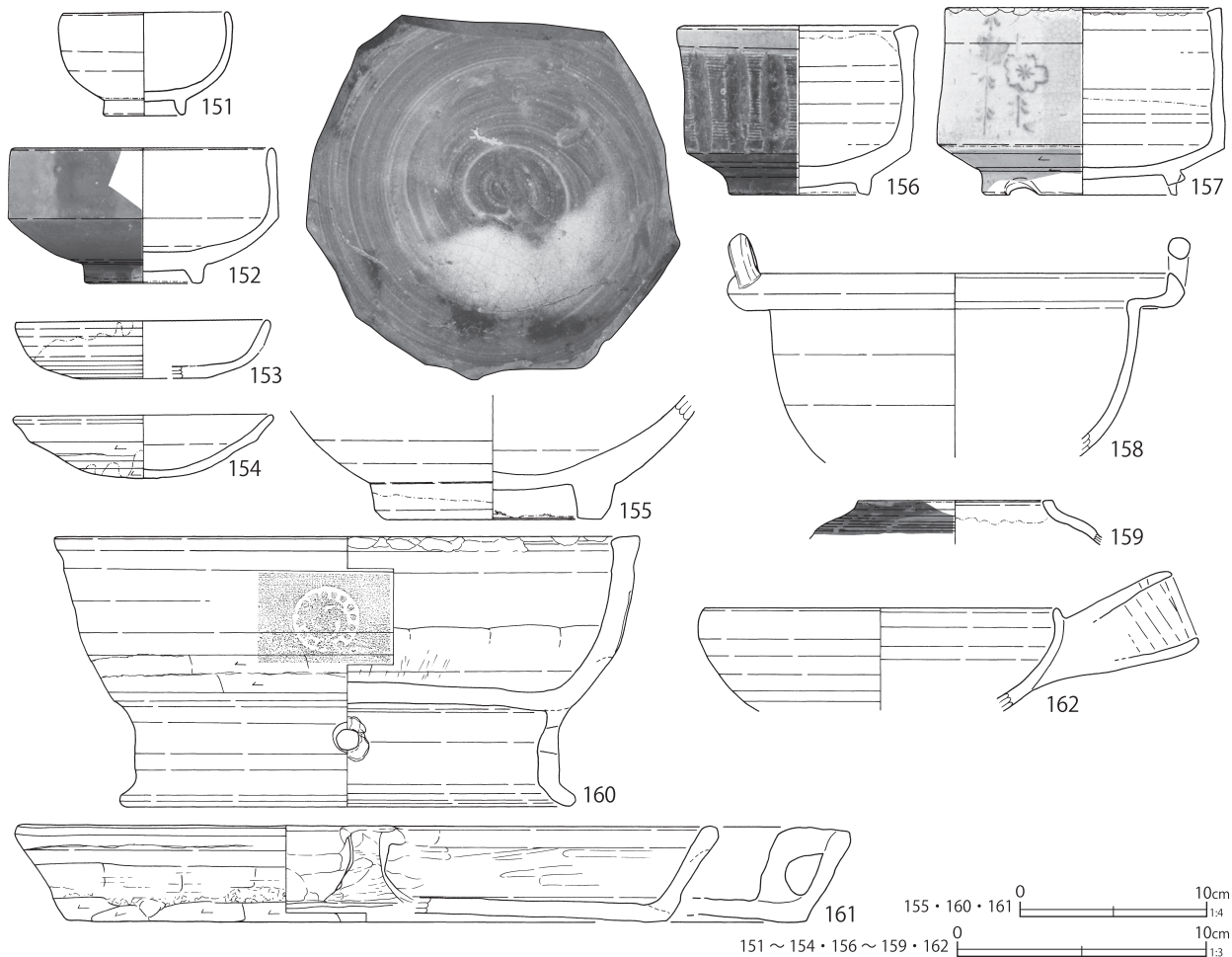
第88図 溝跡出土遺物(4)



第 89 図 溝跡出土遺物 (5)



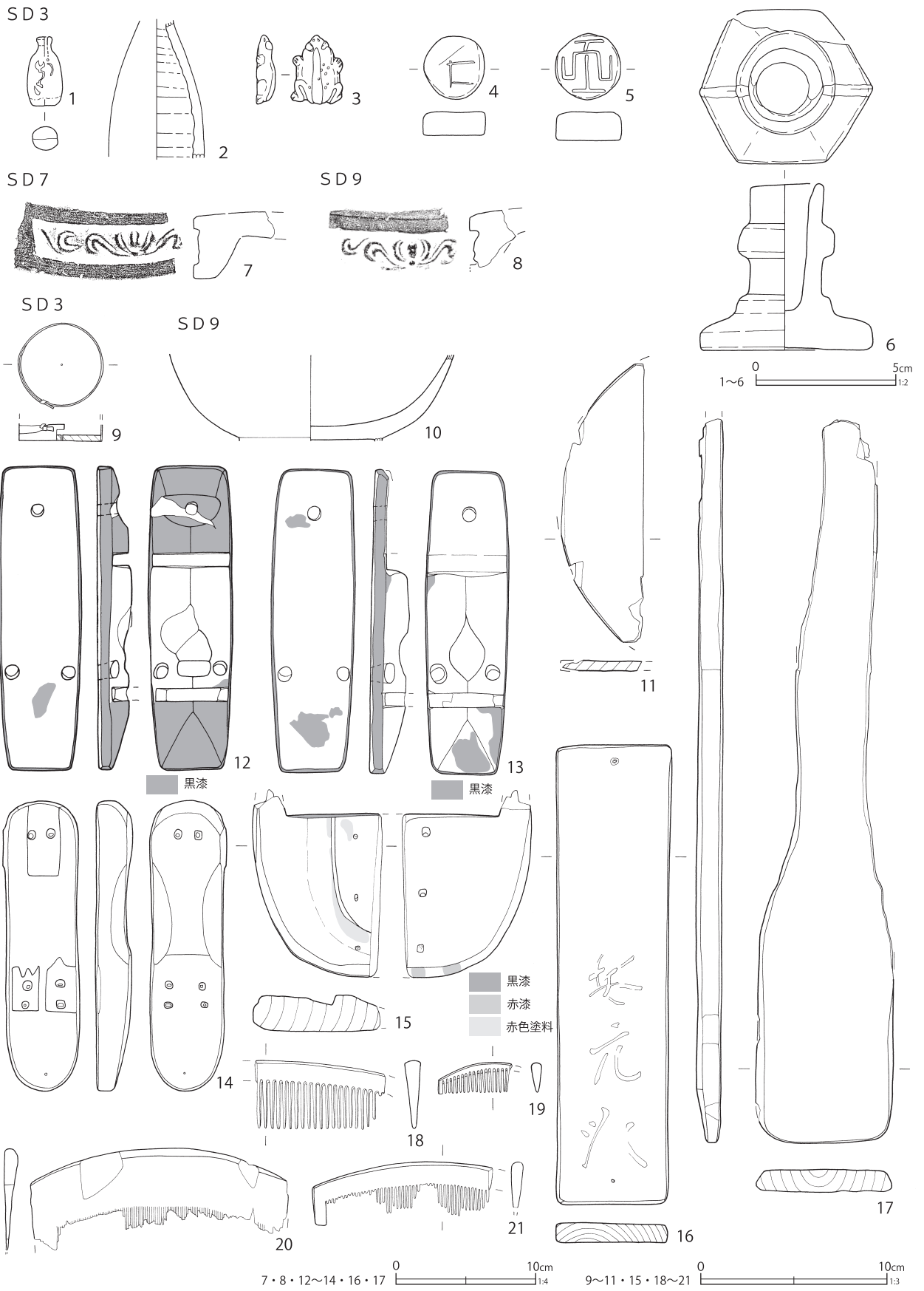
第90図 溝跡出土遺物（6）



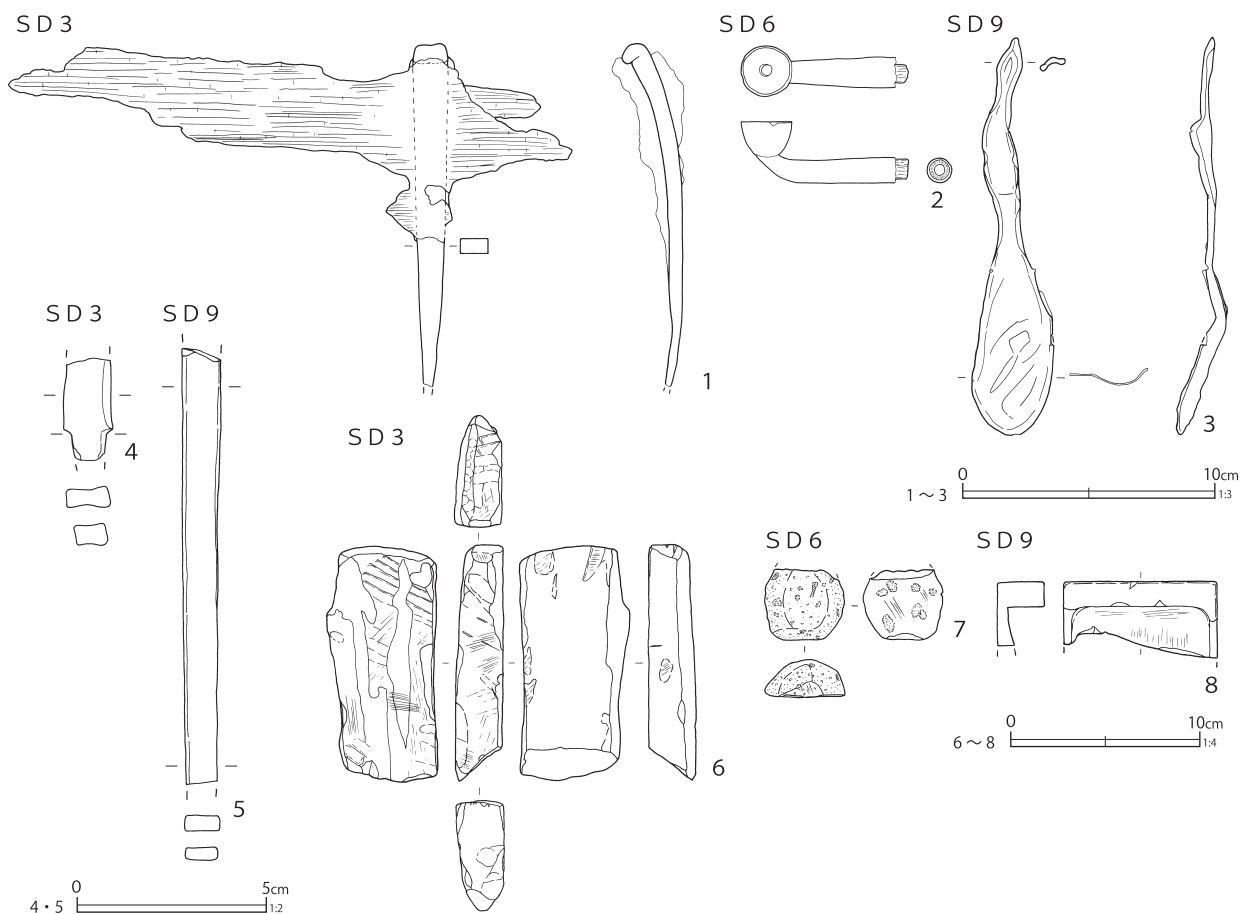
第 91 図 溝跡出土遺物 (7)

第 26 表 溝跡出土遺物観察表 (1) (第 85 ~ 91 図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	遺構	備考	図版
1	陶器	盤類	—	[3.4]	—	K	5	良好	灰白	SD1	古瀬戸 灰釉	30-1
2	磁器	碗	—	[4.3]	3.5	—	40	良好	白	SD1	瀬戸美濃系 施釉・型紙摺絵染付	
3	磁器	碗	9.8	5.5	(3.6)	—	65	良好	白	SD3	肥前系 施釉・染付 焼継痕	75-17
4	磁器	碗	8.4	4.8	3.5	—	70	良好	白	SD3	瀬戸美濃系 施釉・染付	
5	磁器	碗	(10.5)	6.1	(4.2)	—	35	良好	白	SD3	肥前系 施釉・染付 焼継痕	30-3
6	磁器	碗	(7.2)	[6.2]	(3.2)	—	45	良好	白	SD3	瀬戸美濃系 施釉・染付	
7	磁器	碗	6.2	5.4	2.9	—	65	良好	白	SD3	瀬戸美濃系 施釉 外面染付	30-2
8	磁器	坏	8.2	4.9	2.8	—	60	良好	白	SD3	瀬戸美濃系 施釉 外面染付	
9	磁器	坏	(6.2)	4.2	3.3	—	50	良好	白	SD3	瀬戸美濃系 施釉 外面染付	30-3
10	磁器	碗	縦 2.3 横 2.6 重 2.8			—	5	普通	白	SD3	肥前系 施釉 円盤状製品転用	
11	磁器	皿	14.6	4.5	9.0	—	80	良好	白	SD3	肥前系 施釉 内面染付 口紅 焼継痕・焼継印 (赤)	30-2
12	磁器	皿	—	[2.6]	8.8	—	90	良好	白	SD3	肥前系 施釉 (内面青磁釉)・染付	
13	磁器	皿	(16.4)	2.8	(9.0)	—	25	良好	白	SD3	肥前系 施釉 内面染付 焼継痕・焼継印 (赤)	30-3
14	磁器	鉢	(10.1)	5.2	4.9	—	50	良好	白	SD3	瀬戸美濃系 施釉・酸化コバルト染付	
15	磁器	植木鉢	—	[5.2]	(3.2)	—	15	良好	白	SD3	瀬戸美濃系 外面～内面上位瑠璃釉淡彩	30-2
16	磁器	德利	1.8	7.2	2.3	—	100	良好	白	SD3	肥前系 施釉 外面染付 小形	
17	磁器	爛德利	(3.1)	[10.1]	—	—	30	良好	白	SD3	瀬戸美濃系 施釉 外面染付	30-2
18	磁器	段重	(15.1)	5.9	(10.8)	—	40	良好	白	SD3	肥前系 施釉 外面染付 被熱	
19	磁器	蓮華	長 [9.8] 高 5.6			—	70	良好	白	SD3	肥前系 施釉・染付	30-2
20	磁器	盃か	—	[2.6]	(6.0)	—	5	普通	白	SD3	瀬戸美濃系 施釉 外面染付	
21	磁器	蓋	—	[1.5]	3.6	—	60	普通	白	SD3	肥前系 施釉 外面染付	



第92図 溝跡出土遺物(8)



第93図 溝跡出土遺物(9)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	遺構	備考	図版
22	陶器	碗	8.8	5.0	2.7	I	60	良好	灰白	SD3	京都信楽系 施釉 外面鉄絵	
23	陶器	碗	(12.3)	[5.0]	—	K	35	良好	灰白	SD3	瀬戸美濃系 灰釉 口縁部瑠璃釉	
24	陶器	皿	—	[1.9]	—	I	5	良好	にぶい褐	SD3	肥前系 藁灰釉	
25	陶器	皿	(14.8)	[1.9]	—	I	15	良好	灰白	SD3	瀬戸美濃系 緑釉 (総織部)	
26	陶器	灯火具	—	[5.0]	(5.6)	H	30	良好	灰白	SD3	京都信楽系 施釉	
27	陶器	土瓶	(5.6)	9.1	(5.8)	H	20	良好	灰白	SD3	施釉 外面三彩・鉄絵 下位煤付着	
28	瓦質土器	火鉢	(16.8)	8.7	(13.0)	AIK	30	普通	灰白	SD3	外面施文 胎土粉質 燻す	
29	陶器	涼炉	—	[5.2]	—	AHI	5	普通	にぶい黄橙	SD3	京都系 白色土器	
30	陶器	涼炉	—	[3.9]	—	HI	5	普通	浅黄橙	SD3	京都系 白色土器	
31	陶器	碗	11.0	5.3	4.0	K	55	良好	灰黄	SD6	肥前系 刷毛目釉	
32	陶器	皿	(11.2)	2.7	(6.5)	K	20	良好	淡黄	SD6	瀬戸美濃系 灰釉 内面直重焼痕	
33	陶器	鉢	(22.9)	[3.4]	—	I	5	普通	浅黄橙	SD6	瀬戸美濃系 灰釉	
34	陶器	蓋	—	3.1	7.2	K	95	良好	灰白	SD6	上面青緑釉 最大径10.0 (土瓶)	
35	磁器	碗	(14.0)	7.3	(4.2)	—	30	良好	白	SD9	肥前系 施釉・染付	
36	磁器	碗	11.8	6.0	4.4	—	75	普通	灰白	SD9	肥前系 施釉・染付	
37	磁器	碗	10.8	6.2	4.2	—	80	良好	灰白	SD9	肥前系 施釉 (外面青磁釉)・染付	
38	磁器	碗	9.2	5.7	3.2	—	95	良好	白	SD9	肥前系 施釉・染付	
39	磁器	碗	7.4	4.9	3.0	—	90	不良	白	SD9	肥前系 施釉・染付	
40	磁器	碗	(7.0)	5.5	3.7	—	50	普通	白	SD9	肥前系 施釉・染付	
41	磁器	碗	(7.0)	5.1	3.2	—	40	良好	白	SD9	肥前系 施釉・染付	
42	磁器	碗	(7.4)	3.6	2.7	—	50	良好	白	SD9	肥前系 施釉・染付	
43	磁器	碗	(9.5)	4.9	(3.3)	—	20	良好	白	SD9	肥前系 施釉 外面染付	
44	磁器	碗	11.5	6.2	6.1	—	90	良好	白	SD9	肥前系 施釉・染付 焼継痕	
45	磁器	蓋	3.9	2.7	9.8	—	98	良好	白	SD9	肥前系 施釉・染付 同文別個体1有	

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	遺構	備考	図版
46	磁器	碗	11.1	6.1	4.5	—	75	良好	白	SD9	肥前系 施釉・染付 同文別個体1有	
47	磁器	蓋	3.8	2.8	9.6	—	95	良好	白	SD9	肥前系 施釉・染付 同文別個体1有	
48	磁器	碗	10.9	6.0	4.3	—	80	良好	白	SD9	肥前系 施釉・染付 同文別個体1有	
49	磁器	碗	11.3	6.3	4.7	—	75	良好	白	SD9	肥前系 施釉・染付 焼継痕	
50	磁器	碗	9.5	5.0	3.7	—	95	良好	白	SD9	瀬戸美濃系 施釉 外面陰刻状文 同文別個体1有	
51	磁器	碗	(10.2)	5.6	4.0	—	40	普通	白	SD9	肥前系 施釉・染付	
52	磁器	碗	(8.8)	[5.3]	3.7	—	60	良好	白	SD9	瀬戸美濃系 施釉・染付 同文別個体2有	
53	磁器	碗	(9.0)	5.3	4.0	—	60	良好	白	SD9	瀬戸美濃系 施釉・染付 同文別個体1有	
54	磁器	碗	9.5	5.1	3.8	—	95	良好	白	SD9	瀬戸美濃系 施釉・染付 同文別個体有	
55	磁器	碗	9.0	5.0	3.7	—	95	良好	白	SD9	瀬戸美濃系 施釉・染付	
56	磁器	碗	10.5	6.1	(4.5)	—	75	良好	白	SD9	瀬戸美濃系 施釉・染付	
57	磁器	碗	7.3	5.7	3.8	—	100	良好	白	SD9	瀬戸美濃系 施釉 外面染付 同文別個体2有	
58	磁器	碗	7.2	6.2	3.7	—	70	良好	白	SD9	瀬戸美濃系 施釉 外面染付 焼継痕・焼継印(赤) 同文別個体1有	
59	磁器	碗	(6.7)	6.2	3.0	—	55	普通	白	SD9	瀬戸美濃系 施釉 外面染付	
60	磁器	坏	6.4	3.3	2.4	—	95	良好	白	SD9	瀬戸美濃系 施釉 外面染付	
61	磁器	坏	6.6	3.4	(2.9)	—	50	良好	白	SD9	瀬戸美濃系 施釉 外面染付	
62	磁器	坏	(6.1)	3.1	(2.6)	—	35	良好	白	SD9	瀬戸美濃系 施釉 外面染付	
63	磁器	合子	6.4	3.8	3.2	—	70	良好	白	SD9	肥前系 施釉 外面染付	
64	磁器	仏飯器	6.5	6.3	4.1	—	90	良好	白	SD9	肥前系 施釉 外面染付 同文別個体1有	
65	磁器	皿	—	[1.4]	—	—	5	良好	白	SD9	中国景德镇窯系 施釉・染付	30-4
66	磁器	皿	—	[1.2]	(4.6)	—	15	普通	灰白	SD9	肥前系 施釉 内面染付(初期伊万里様式)	
67	磁器	皿	13.4	4.3	7.8	—	100	良好	白	SD9	肥前系 施釉・染付 高台畳付部付着物あり	
68	磁器	皿	13.4	3.5	8.7	—	85	良好	白	SD9	肥前系 施釉・染付 墨書	30-6
69	磁器	皿	14.1	4.5	8.0	—	60	普通	白	SD9	肥前系 施釉・染付 被熱 焼継痕・焼継印(白)	
70	磁器	皿	(14.0)	3.7	(9.0)	—	25	良好	白	SD9	肥前系 施釉・染付	
71	磁器	皿	14.6	3.9	9.6	—	50	良好	白	SD9	肥前系 施釉・染付	
72	磁器	皿	(14.0)	(4.1)	(7.8)	—	40	良好	白	SD9	肥前系 施釉・染付 漆継痕	
73	磁器	皿	(9.0)	2.4	4.6	—	70	良好	白	SD9	肥前系 施釉・染付	
74	磁器	皿	9.8	2.0	6.8	—	90	良好	白	SD9	肥前系 施釉・染付 発色悪い	
75	磁器	皿	20.7	3.1	12.7	—	85	良好	白	SD9	肥前系 施釉・染付	30-7
76	磁器	鉢	16.3	[7.1]	—	—	75	良好	白	SD9	肥前系 施釉・染付 焼継痕	
77	磁器	鉢	(16.8)	[6.5]	—	—	30	良好	白	SD9	肥前系 青磁釉 焼継痕	
78	磁器	鉢	(13.6)	7.0	(6.0)	—	30	良好	白	SD9	肥前系 施釉・染付	
79	磁器	香炉	5.3	6.6	4.1	—	80	良好	灰白	SD9	肥前系 外面施釉・染付	
80	磁器	徳利	—	[12.2]	—	—	25	良好	白	SD9	肥前系 外面施釉・染付	
81	磁器	火鉢	(11.6)	11.9	11.7	—	35	普通	白	SD9	瀬戸美濃系 施釉・染付	
82	陶器	碗	(8.4)	4.8	3.2	I	80	良好	灰白	SD9	京都信楽系 施釉 外面鉄絵	
83	陶器	碗	(8.8)	5.0	3.0	K	80	良好	灰白	SD9	京都信楽系 施釉(貫入多い)	
84	陶器	蓋物か	—	[3.5]	(6.0)	I	15	良好	灰	SD9	志戸呂系 外面鉄釉 内面露胎 胎土石器質	
85	陶器	坏	(6.4)	3.8	2.8	I	70	良好	灰白	SD9	瀬戸美濃系 灰釉	
86	陶器	坏	(6.2)	3.7	(2.3)	K	35	普通	灰白	SD9	京都信楽系 施釉 外面上絵付(緑・赤)	
87	陶器	坏	—	[3.1]	—	IK	5	良好	灰白	SD9	京都信楽系 施釉 外面上絵付(赤)	
88	陶器	坏	(5.8)	[3.1]	—	IK	20	普通	灰白	SD9	京都信楽系 施釉 外面上絵付(赤)	30-8
89	陶器	灯明皿	10.5	2.3	4.8	I	95	良好	灰白	SD9	瀬戸美濃系 柿釉・重焼痕	
90	陶器	灯明皿	10.1	2.1	4.4	HK	90	普通	灰白	SD9	瀬戸美濃系 柿釉・重焼痕	
91	陶器	灯明皿	(10.0)	2.2	(5.0)	I	50	良好	黄灰	SD9	瀬戸美濃系 柿釉・重焼痕	
92	陶器	灯明皿	(10.0)	1.9	(4.0)	IK	80	普通	灰白	SD9	瀬戸美濃系 柿釉・重焼痕	
93	陶器	灯明皿	10.1	1.9	4.8	IK	85	良好	褐灰	SD9	瀬戸美濃系 柿釉・重焼痕	
94	陶器	灯明皿	9.5	1.8	4.0	EHK	90	良好	灰白	SD9	瀬戸美濃系 柿釉・重焼痕	
95	陶器	灯明皿	9.7	2.0	4.4	I	95	普通	灰白	SD9	瀬戸美濃系 柿釉・重焼痕	
96	陶器	灯明皿	9.6	2.5	4.5	HI	95	普通	浅黄橙	SD9	瀬戸美濃系 柿釉・重焼痕	
97	陶器	灯明皿	(9.6)	[2.0]	(4.2)	DI	50	普通	灰白	SD9	瀬戸美濃系 柿釉・重焼痕	
98	陶器	灯明皿	10.6	2.1	4.6	GH	100	普通	にぶい赤褐	SD9	瀬戸美濃系 柿釉 内面重焼痕 煤付着	
99	陶器	灯明皿	10.6	2.2	4.0	HIK	95	普通	灰白	SD9	瀬戸美濃系 柿釉 内面重焼痕	

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	遺構	備考	図版	
100	陶器	灯明皿	10.1	2.0	4.4	IK	80	良好	褐灰	SD9	瀬戸美濃系 柿釉・重焼痕	30-10	
101	陶器	灯明皿	9.6	1.8	4.0	IK	70	良好	灰白	SD9	瀬戸美濃系 柿釉 内面重焼痕		
102	陶器	灯明皿	10.0	2.1	4.5	I	55	良好	灰白	SD9	瀬戸美濃系 柿釉 内面重焼痕 煤付着		
103	陶器	灯明皿	(9.8)	[2.3]	(4.5)	HI	55	良好	灰白	SD9	瀬戸美濃系 柿釉・重焼痕		
104	陶器	片口鉢	—	[8.4]	10.0	I	30	良好	灰白	SD9	瀬戸美濃系 灰釉 内面目跡 墨書		
105	陶器	こね鉢	(18.8)	10.4	12.5	EHIK	50	良好	灰白	SD9	瀬戸美濃系 灰釉 内面目跡 5		
106	陶器	植木鉢	—	[14.7]	16.0	IK	30	良好	灰白	SD9	瀬戸美濃系 内面鉄釉刷毛塗状 外面緑釉・施文		
107	陶器	不明	長 [8.4]			I	5	普通	黄灰	SD9	瀬戸美濃系 灰釉 一部のふ釉 把手か		30-5
108	陶器	瓶掛	(23.0)	[6.9]	—	IK	25	良好	灰白	SD9	瀬戸美濃系 外面緑釉・施文 内面鉄釉刷毛塗状		
109	陶器	植木鉢	9.2	5.5	4.6	IK	65	不良	灰白	SD9	瀬戸美濃系 外面灰釉 焼成前穿孔		
110	陶器	播鉢	(18.4)	6.3	(8.7)	IK	30	良好	赤	SD9	堺明石系 内面播目 小形		
111	陶器	播鉢	—	[11.0]	(18.0)	DK	20	普通	灰白	SD9	丹波系 内面播目		
112	陶器	油德利	2.2	18.1	7.1	EI	95	普通	灰黄褐	SD9	瀬戸美濃系 外面柿釉・底部拭き取り		
113	陶器	德利	—	[5.5]	8.0	FI	20	不良	灰白	SD9	瀬戸美濃系 外面灰釉・底部拭き取り		
114	陶器	鍋	(22.2)	9.1	(11.0)	E	25	普通	浅黄橙	SD9	柿釉 外面下位少量煤付着		
115	陶器	甕	(15.0)	[8.3]	—	IK	30	普通	灰白	SD9	瀬戸美濃系 柿釉 外面鉄釉流掛		
116	陶器	土瓶	(7.4)	[10.6]	—	H	45	良好	灰白	SD9	外面青緑釉 内面煤付着		
117	陶器	土瓶	(7.0)	[6.7]	—	IK	10	良好	灰	SD9	松岡系 外面灰釉・一部海鼠釉状	30-9	
118	陶器	蓋	7.6	2.3	4.2	IKL	95	不良	灰白	SD9	瀬戸美濃系 外面一部釉散る		
119	陶器	土瓶	—	[8.4]	—	IK	5	普通	橙	SD9	外面鉄釉・円形に剥離 胎土土器質		
120	陶器	蓋	—	3.2	5.1	HK	95	良好	灰白	SD9	上面青緑釉 最大径 8.1 (土瓶)		
121	陶器	蓋	—	1.7	3.3	I	80	良好	灰白	SD9	上面鉄釉 最大径 6.9 (土瓶)		
122	施釉土器	カンテラ	—	6.0	(7.0)	HIK	40	良好	橙	SD9	透明釉 孔に銅線遺存 双口部煤付着		
123	土師質土器	器台	(12.2)	[3.9]	(8.0)	ACHIK	20	不良	にぶい橙	SD9	胎土粉質		
124	土師質土器	器台	(14.0)	3.9	(9.0)	AHI	25	普通	にぶい黄橙	SD9	胎土粉質		
125	土師質土器	植木鉢	—	[5.2]	(6.2)	ACHK	25	普通	灰白	SD9	底部糸切痕 胎土粉質		
126	土師質土器	蓋	(5.8)	1.4	(6.2)	AEHI	40	普通	にぶい橙	SD9	胎土粉質 内面布圧痕ナゲ消し 被熱・赤化		
127	土師質土器	植木鉢	(9.3)	4.8	(4.2)	ACHI	30	普通	にぶい橙	SD9	底部糸切痕 胎土粉質		
128	土師質土器	植木鉢	(7.9)	[3.9]	—	ACI	20	普通	にぶい橙	SD9			
129	土師質土器	植木鉢	(8.0)	[4.0]	—	ACHI	5	普通	にぶい黄橙	SD9	胎土粉質		
130	土師質土器	焼塩壺	(6.6)	[3.7]	—	AHIK	25	良好	にぶい橙	SD9	胎土粉質		
131	瓦質土器	火鉢	—	[8.4]	—	CFH	5	普通	にぶい黄橙	SD9	方形火鉢 外面ミガキ 燻す 転用砥具		
132	瓦質土器	火鉢	—	[13.1]	—	CFGH	30	良好	褐灰	SD9	外面ミガキ・施文 燻す 内面火箸状痕顕著		
133	瓦質土器	焜炉	(31.8)	[21.0]	—	CI	50	普通	灰白	SD9	外面粗くミガキ 内面煤付着		
134	瓦質土器	十能	—	[5.0]	—	CIK	60	普通	灰白	SD9	底部シワ状痕 燻す 長 [21.2]		
135	瓦質土器	火鉢	(16.2)	7.5	(13.0)	CEHI	50	普通	橙	SD9	被熱・全体赤変		
136	瓦質土器	火鉢	—	[9.1]	—	HIK	5	不良	褐灰	SD9	外面櫛歯状・トビガンナ状施文 燻す		
137	瓦質土器	火鉢	(28.0)	[7.8]	—	CDEHI	10	普通	灰白	SD9	口縁部二次敲打		
138	瓦質土器	火鉢	—	[7.6]	—	HIK	5	良好	灰白	SD9	外面ミガキ 内面突起剥落痕		
139	土師質土器	焙烙	31.1	5.8	31.6	CEIK	75	良好	灰白	SD9	底部シワ状痕 外面煤付着		
140	土師質土器	焙烙	(33.0)	[5.2]	(32.9)	CHIK	30	普通	にぶい黄橙	SD9	砂目底 外面煤付着		
141	土師質土器	焙烙	(34.0)	4.8	(33.4)	CHI	15	良好	にぶい橙	SD9	砂目底		
142	土師質土器	焙烙	(33.6)	[5.8]	(35.6)	CHI	20	良好	にぶい赤褐	SD9	砂目底		
143	磁器	碗	9.0	5.4	3.9	—	75	良好	白	SD16	肥前系 施釉 外面染付		
144	磁器	碗	(11.4)	6.8	4.5	—	80	良好	白	SD16	肥前系 施釉 (外面青磁釉)・染付 漆継痕		
145	磁器	碗	9.0	5.7	3.0	—	80	良好	白	SD16	肥前系 施釉・染付		
146	磁器	鉢	(19.7)	[4.8]	—	—	20	良好	白	SD16	肥前系 施釉 口紅 漆継痕		
147	磁器	蓋	—	2.0	(9.7)	—	50	良好	灰白	SD16	肥前系 施釉 外面染付		
148	陶器	碗	—	[1.7]	(4.8)	I	5	普通	灰白	SD16	瀬戸美濃系 施釉・染付		
149	陶器	碗	(9.4)	5.5	2.9	IK	30	普通	灰白	SD16	京都信楽系 施釉 外面上絵付 (赤・緑) 被熱		
150	陶器	碗	(9.2)	5.6	(3.0)	HK	50	良好	灰白	SD16	京都信楽系 施釉 被熱		
151	陶器	坏	6.5	4.1	3.1	I	100	普通	浅黄橙	SD16	瀬戸美濃系 灰釉 被熱		
152	陶器	碗	(10.3)	[5.4]	4.3	HIK	50	良好	灰白	SD16	瀬戸美濃系 灰・鉄釉掛分		
153	陶器	灯明皿	(10.0)	2.2	(5.0)	I	25	良好	黄灰	SD16	瀬戸美濃系 柿釉		
154	陶器	灯明皿	(10.2)	2.5	5.3	K	20	良好	灰褐	SD16	志戸呂系 鉄釉 口縁部煤付着		

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	遺構	備考	図版
155	陶器	鉢	—	[6.6]	11.7	IK	80	良好	にぶい赤橙	SD16	肥前系 内面刷毛目釉 外面鉄化粧	
156	陶器	香炉	9.2	6.7	5.5	IK	70	普通	灰白	SD16	瀬戸美濃系 外面灰・鉄釉掛分・施文	
157	陶器	香炉	(10.7)	7.4	7.6	DI	90	良好	灰白	SD16	瀬戸美濃系 灰釉 外面摺絵 口縁部二次敲打痕	
158	陶器	鍋	17.2	[8.9]	—	K	40	普通	黄灰	SD16	柿釉	
159	陶器	土瓶	(7.8)	[1.7]	—	IK	20	良好	灰白	SD16	外面鉄釉・灰釉流掛・糸目状沈線	
160	瓦質土器	火鉢	31.2	14.4	23.8	CEI	60	不良	浅黄橙	SD16	砂目底 外面菊花スタンプ文 被熱・赤化	
161	瓦質土器	焙烙	(36.8)	5.1	(32.0)	CI	25	普通	灰白	SD16	底部シワ状痕 内面ヘラミガキ状 一部被熱・赤化	
162	土師質土器	把手付鍋	(14.0)	[5.6]	—	AHI	20	普通	浅黄橙	SD16	胎土粉質 把手穿孔 1	

第27表 溝跡出土遺物観察表(2) (第92図)

番号	種別	器種	法量・胎土					遺構	備考	図版
1	施釉土器	ミニチュア	口径0.4 底部径0.8 高2.4 重3.0 胎土A					SD3	徳利 橙色 外面透明釉・白色文字 前後合型成形	84-19
2	陶器	ミニチュア	高[5.0] 重14.4(2破片) 胎土HI					SD3	徳利 外面青緑釉	
3	土製品	泥面子	長2.4 幅1.8 厚0.6 重2.1 胎土AEK					SD3	蛙 橙色 完形 在地系 型押成形・刺突文	84-20
4	土製品	泥面子	径2.2 厚0.8 重5.1 胎土CEK					SD3	橙色 土器転用 全面擦って成形	
5	土製品	泥面子	径2.3 厚1.0 重6.6 胎土AI					SD3	橙色 面打 江戸在地系 表面雲母付着 型押成形	
6	土製品	箱庭道具	幅6.1 高6.0 重94.0 胎土AI					SD3	灯籠 にぶい黄橙色 江戸在地系 前後合型成形	85-1
7	瓦	軒平瓦か	長[5.9] 幅[12.8] 厚1.8 胎土AHIK					SD7	灰白色	
8	瓦	軒棧瓦	長[3.2] 幅[9.5] 胎土ACIK					SD9	灰色	

番号	種別	器種	長さ	幅	厚さ	口径/径	高さ	底径	木取り	遺構	備考	図版
9	木製品	曲物	—	—	—	4.7	[0.9]	—	板目	SD3		
10	木製品	漆鉢	—	—	—	—	[4.6]	—	横木取り	SD9	内外面赤漆 高台内黒漆	
11	木製品	曲物	[14.9]	[4.4]	0.6	—	—	—	板目	SD9	表面墨書 上に「上」(第76表20)	104-20
12	木製品	下駄	21.7	6.0	—	—	[2.5]	—	板目	SD9	陰卯下駄 全面黒漆 13と対	
13	木製品	下駄	21.7	6.0	—	—	[2.6]	—	板目	SD9	陰卯下駄 全面黒漆 12と対	
14	木製品	下駄	20.8	4.9	—	—	2.6	—	板目	SD9	無眼下駄	
15	木製品	獅子頭	[10.0]	[6.9]	1.9	—	—	—	板目	SD9	表裏面赤漆 側面黒漆 釘穴3	91-3
16	木製品	木札	33.0	8.3	1.4	—	—	—	板目	SD9	表面焼印 鉄釘残 (第76表21)	104-21
17	木製品	櫛	[51.8]	身幅9.8 厚1.7 柄幅5.3 厚1.7				—	板目	SD9		
18	木製品	櫛	[6.9]	3.7	0.8	—	—	—	榎目	SD9		
19	木製品	櫛	[3.9]	1.6	0.5	—	—	—	榎目	SD9		
20	木製品	櫛	13.7	[5.3]	0.7	—	—	—	榎目	SD9		
21	木製品	櫛	[9.6]	3.2	0.6	—	—	—	—	SD9		

第28表 溝跡出土遺物観察表(3) (第93図)

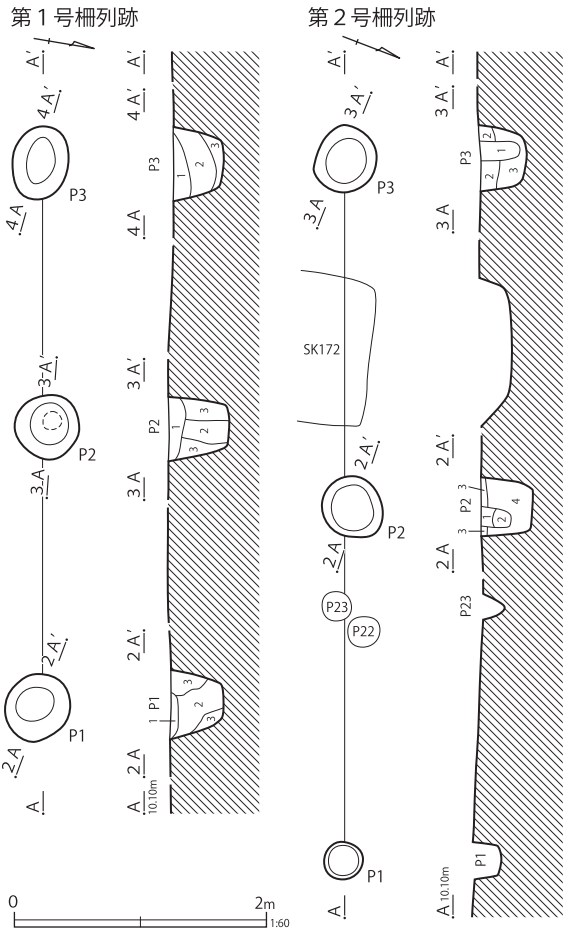
番号	種別	器種	法量					遺構	備考	図版
1	鉄製品	釘	長[13.5] 幅1.1 厚0.6 重79.5					SD3	打ち込んだ木材残存	
2	銅製品	煙管	長[6.1] 火皿径2.0 小口径1.0 重11.1					SD6	雁首 羅字残存	98-1
3	銅製品	匙	長15.8 幅3.2 厚0.05 重10.9					SD9		97-1
4	硝子製品	筭	長[2.7] 幅1.2 厚0.6 重5.0					SD3	透明 中実 表面中央窪む	102-7
5	硝子製品	筭	長[11.5] 幅1.0 厚0.4 重15.7					SD9	黄褐色 中実	102-7
6	石製品	砥石	長12.3 幅5.8 厚2.5 重259.0					SD3	ホルンフェルス 幅広工具痕 刃物痕 砥面1 被熱 置砥を破損後に使用か	
7	石製品	磨石	長[3.7] 幅4.2 厚2.0 重17.5					SD6	角閃石安山岩 多孔質 自然面使用	101-3
8	石製品	硯	長[4.0] 幅8.1 器高[2.5] 重79.5					SD9	ホルンフェルス 内面墨付着	101-1

と思われる。

第10号溝跡 (第84図)

調査区南西際、日光道中に面した部分から検出された溝で、南北両端は別の遺構と重複する。

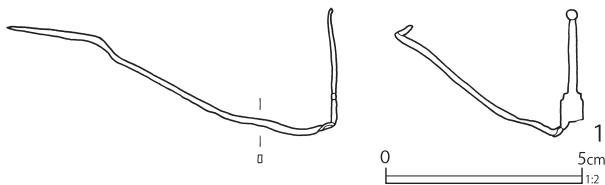
検出長約2.0m、幅30cm、深さ13cmの細い溝であり、店子町屋の敷地内で機能したものと考えられる。



- 第1号柵列跡ピット1・2
- 1 暗黄褐色土 砂と少量の焼土粒子を混入
 - 2 暗褐色土 大ブロックで構成されており、ボソボソしている 青味が強く粘質である(柱痕)
 - 3 黒褐色土 暗黄褐色土をブロック状に混入
- 第1号柵列跡ピット3
- 1 暗黄褐色土 均質な砂質土で混入物は殆んど認められない
 - 2 黒褐色土 炭や板材などを多量に含み、ボソボソしている しまり弱
 - 3 黒褐色土 混入物が少なく、粘質である
- 第2号柵列跡ピット2
- 1 黒褐色土 均質な層で混入物は含まない
 - 2 黒褐色土 ブロック状に堆積しており、しまり極弱
 - 3 黒褐色土 灰褐色土を斑に混入
 - 4 黒褐色土 1層より灰褐色土の量が多く、明るい色調を呈する
- 第2号柵列跡ピット3
- 1 黒褐色土 炭粉を多量に含む 土層中に炭化物小ブロックを混入 しまり弱(柱痕)
 - 2 黒褐色土 黄褐色小ブロックを霜降り状に混入
 - 3 暗褐色土 地山か 黄褐色土小ブロックを斑に混入

第94図 柵列跡

柵列2



第95図 柵列跡出土遺物

(11) 柵列跡

2箇所でピットが等間隔に検出されている。建物跡の一部の可能性もあるが、対となる遺構が検出できなかったため、柵列跡として報告する。検出位置は本陣敷地西側の遺構が希薄な部分で、本陣敷地への出入口が想定される部分である。

第1号柵列跡 (第94図)

C6-D3・4グリッドに位置し4.3mが検出された。主軸方位はN-80°-Eである。ピットは3基で、ピット1・2間は207cm、ピット2・3間は223cm離れる。規模はピット1が55×50cm、深さ42cm・ピット2が51×51cm、深さ47cm・ピット3が58×44cm、深さ40cmである。

第2号柵列跡 (第94図)

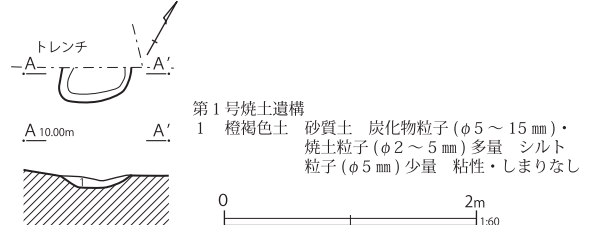
C6-D3グリッドに位置し5.54mが検出された。主軸方位はN-69°-Eである。ピットは3基で、ピット1・2間は279cm、ピット2・3間は275cm離れる。規模はピット1が30×30cm、深さ23cm・ピット2が51×46cm、深さ41cm・ピット3が51×47cm、深さ35cmである。

(12) 焼土遺構

第1号焼土遺構 (第96図)

C6-A2グリッドで検出された。遺存状態は悪く長軸55cm、短軸27cm、深さ9cmが遺存する。栗橋宿跡からは類似の遺構が多く検出されており、竈のような施設の一部と考えられる。

第1号焼土遺構



- 第1号焼土遺構
- 1 橙褐色土 砂質土 炭化物粒子(φ5~15mm)・焼土粒子(φ2~5mm)多量 シルト粒子(φ5mm)少量 粘性・しまりなし

第96図 焼土遺構

第29表 柵列跡出土遺物観察表 (第95図)

番号	種別	器種	法量	遺構	備考	図版
1	銅製品	管	長[8.4] 幅0.1 厚0.2 重2.0	柵列2 Pit3		

(13) 土壌

土壌は263基が検出された。位置、規模等の基本的な情報は第30表に、遺構図は第97～123図にまとめた。以下に特徴的な土壌について記述する。なお、覆土に焼土を多く含み、焼け歪んだ陶磁器や土壁、炭化した木製品が多く出土する土壌が複数検出された。火災処理に関わる土壌と思われる。以下「火災処理土壌」と略して呼称する。

第1号土壌 (第97図)

店子町屋範囲と想定されるC6-D2グリッドに位置する。一辺1.5m程の隅が欠ける方形土壌の西側に、厚さ5mmの板で長方形の枠(長さ134cm、幅45cm)が生まれ、東側も別に厚さ1cmの

板が組まれる。土壌内を二区画に分かつ構造で、板は各木組みの仕切り部分で二重となる他は、掘方の壁に沿って巡り、内側から松杭で押さえている。底板は無いが、木製枘形穴蔵に類する遺構である。磁器には第124図1の小広東碗がみられる。陶磁器は被熱したものが多く、重複関係の無い第16号土壌との接合関係がみられるので、第16号土壌とほぼ同時期の廃絶と考えられる。

第2・9号土壌 (第97・98図)

いずれも火災処理土壌である。第2号土壌はC6-C2・3グリッド付近、第9号土壌はC6-C1・2グリッドに位置する。両者は5m以上離れているが、陶磁器の接合関係が極めて多く認

第30表 第一面土壌一覧表 単位：長・短軸 m 深さcm

番号	グリッド	形態	長軸	短軸	深さ	備考	挿図	番号	グリッド	形態	長軸	短軸	深さ	備考	挿図
1	C6-D2	不整形	1.52	1.50	40	SK27aより新	97	34	C6-B2	不整形	0.84	0.83	92	SK32より古	100
2	C6-C2/3, D2	不整形	(4.55)	2.46	110	SK6より古	97	36	B6-J2, C6-A2	不整形長方形	6.00	1.98	130	桶17/18, SK40より古 SD4/16, SK111/117より新	102
3	C6-C2	楕円形	(1.76)	1.22	47	桶35より古	97	37	C6-A1	楕円形	1.08	0.78	32	桶45より新	100
4	C6-C2	不整形楕円形	2.98	1.66	52	Pit1/34より古	97	38	C6-A2	隅丸長方形	2.44	1.14	31	桶11より古 SD4, SE1より新	100
5	C6-C2	隅丸長方形	(1.02)	0.82	34		97	39	C6-A2	隅丸長方形	1.57	0.90	52	桶15, SK50より古	100
6	C6-C2, D2	円形	0.80	0.77	40	SK2より新	97	40	B6-J2, C6-A2	不整形円形	1.08	(0.88)	26	SK36より新	102
7	C6-C2, D2	隅丸長方形	4.64	1.82	115	SK1154より古	97	41	B6-J2	不整形	1.23	0.73	62		102
8	C6-B2, D2	不整形楕円形	(1.06)	1.02	68	桶35より古	98	42	B6-J2	不整形	1.10	(1.08)	5	SK120より古	102
9	C6-C1/2	隅丸長方形	(4.24)	2.28	69	SK19, SB2より新	98	43	C6-A2	隅丸長方形	2.02	0.48	74	SK125より新 桶40より古	102
10	C6-C1/2	不整形楕円形	(3.06)	2.10	88	SK16重複	98	45	C6-A2	不整形	1.24	0.31	14	SD16より新	102
11	C6-C2	不整形長方形	1.29	0.78	23		98	46	C6-A2	隅丸長方形	3.08	1.71	128	桶12より古 SK58より新	102
12	C6-C2	不整形長方形	1.06	0.82	38		98	47	C6-A1/2	不整形円形	0.90	(0.56)	24	SK40重複	102
13	C6-C2	隅丸長方形	1.40	1.10	60	SK31より新	98	48	C6-A2	不整形	1.30	1.13	60	SK58より新	103
15	C6-B2	円形	0.73	0.61	22	SK18より新	98	50	C6-A2	不整形楕円形	(1.22)	0.92	58	SK39/58より新	100
16	C6-B2, C2	不整形長方形	3.93	1.42	78	SK10重複	98	52	C6-A1	隅丸長方形	(2.46)	1.10	66	SK135より新 栗橋宿5次SB4重複	102
17	C6-B2	円形	0.49	0.46	25	SK161より新	98	53	C6-A1	楕円形	2.66	0.80	46	SK135/136より新	103
18	C6-B1	不整形	3.64	(2.48)	120	SK15より古	99	54	C6-A1	楕円形	1.25	0.58	34		103
19	C6-C2	不整形	(1.80)	0.90	34	SK9より古	98	55	C6-A1	楕円形	1.14	0.46	18		103
20	C6-C1	不整形長方形	1.00	(0.90)	50		99	56	C6-A1	楕円形	1.42	0.30	8		103
21	C6-B1	円形	0.47	(0.41)	25	SK18重複	99	58	C6-A2	不整形楕円形	2.20	(2.13)	88	SK46/48/50より古	100
22	C6-B1	楕円形	0.80	0.60	19	SK18重複	99	60	C6-A2	不整形	(1.32)	0.75	72	SK48重複	103
23	C6-B1	円形	0.68	0.66	30	杭列1より古	99	61	B6-J2, C6-A2	不整形	1.25	0.80	8		103
24	C6-B2	楕円形	0.50	0.44	10	木種2より新	99	62	B6-J2, C6-A2	不整形	1.18	0.94	32		103
25	C6-A1	長方形か	2.86	1.62	138	桶26より古	100	63	C6-A1/2, B1/2	不整形	3.86	1.60	33	桶25, SK64より古 SK103より新	104
26	C6-B2	不整形	(2.00)	1.86	24	SK32, SB1重複	99	64	C6-A1/2, B1/2	隅丸長方形	(3.27)	0.93	44	SB1, SK65より古 SK63/108より新	104
27a/b	C6-D2	不整形長方形	2.75	0.72	60	a = SK1より古	99	65	C6-A2, B2	不整形	4.22	1.95	55	SB1, SK33/92/93/95/96より古 SK64/144/145より新	103
28	C6-B2, C2	円形	0.58	0.50	12		98								
29	C6-A1/2	長方形	(1.94)	1.38	48	桶40, SK63/103/104/105より新	101								
30	C6-B1/2	不整形長方形	(6.40)	2.00	96	SB1, SK145より新 桶32より古	99								
31	C6-C2	不整形	0.92	0.45	33	SK13より古	98								
32	C6-B2	隅丸長方形	2.33	0.77	85	SK33より古 SK34より新	100								
33	C6-B2	円形	0.72	0.67	50	SK32/65, SB1より新	100								

番号	グリッド	形態	長軸	短軸	深さ	備考	挿図	番号	グリッド	形態	長軸	短軸	深さ	備考	挿図
66	C6-A1	不整形	2.07	1.70	73	木樋7より古 SK107より新	104	113	C6-A3	不整形	1.80	1.40	40	竹樋1,SK75より古 SK181/185より新	108
67	C6-A2	楕円形	1.15	(0.40)	63	SK92/93/94より新	103	114	C6-A3	不整形	(1.59)	(1.06)	35	竹樋1より古 SK173より新	108
68	C6-A2	楕円形	1.55	(1.36)	41	SK131より新	103	117	C6-A2	不整形	(1.52)	(1.02)	66	SD16,SK36/118より古	109
71	C6-A1	不整形長方形	(1.84)	0.73	40	桶31より古	104	118	C6-A2	不整形	(0.86)	(0.78)	70	SK117より新	109
74	C6-A2	不整形楕円形	1.40	1.31	74	SB1より古	104	119	C6-A2	不整形	0.72	(0.62)	24	SK36より古 SD16より新	108
75	C6-A2/3	不整形	2.00	1.90	40	桶52,竹樋1より古 SK80/113/156 181/185/190より新	105	120	B6-J2, C6-A2	不整形	(1.60)	(1.02)	120	SK36より古 SD4,SK42より新	108
76	C6-A2/3, B2/3	不整形	3.44	2.35	77	桶72,SK87より古 SK157より新	105	122	C6-A1	隅丸長方形	1.18	0.74	24	P12,桶21/46より古 SK197より新	108
77	C6-A3, B3	不整形	(1.59)	1.35	34		105	123	C6-B3	楕円形	(0.70)	0.47	28		105
78	C6-A2/3	不整形	(1.54)	1.22	64	SK156より新	105	124	C6-A1/2	不整形	(1.53)	(0.90)	60	SK125より新	109
79	C6-A2	不整形	1.29	(0.96)	54	P35より古	106	125	C6-A1/2	楕円形	1.48	0.93	60	SK43/124より古	109
80	C6-A2/3	不整形	2.27	2.00	53	桶52,SK75より古 SK156より新	105	126	C6-A1	不整形	(0.86)	0.64	40		107
81	C6-A2	不整形	1.49	(1.48)	-		106	127	C6-D3	隅丸長方形	2.25	1.12	65	SK285より新	109
82	C6-B3	楕円形	1.22	0.78	17		105	128	C6-D3	隅丸長方形	2.30	1.14	45		109
83	C6-A3, B3	不整形	1.95	1.77	60		105	130	C6-B3, C3	不整形	1.84	(0.86)	36	SD3より古	109
84	C6-A2	不整形	1.65	1.00	40		106	131	C6-A2	隅丸長方形	1.72	0.79	60	SK68より古	109
85	C6-A2	不整形	1.46	1.22	85		106	132	C6-A1	不整形	(1.27)	(0.79)	78	SK142/159より古	110
86	C6-B3	不整形	2.93	1.72	77	桶54/71・杭列2, SD3より古	106	133	C6-A1	楕円形	0.70	0.58	32		110
87	C6-A2, B2	不整形	2.45	1.53	65	SB1より古 SK76,174より新	106	135	C6-A1	不整形	(0.76)	(0.65)	34	SK136より新	110
88	C6-B3	不整形	1.12	1.17	54		106	136	C6-A1	不整形	1.78	0.98	27	SK135より古	110
89	C6-B3	楕円形	1.12	0.95	24		106	138	C6-A1	隅丸長方形	1.62	0.82	58	SK132/140/159より新	110
90	C6-A1	楕円形	1.06	0.63	24	桶28より古	107	140	C6-A1/2	不整形	0.81	(0.21)	52	SK138より古	110
91	C6-B2	円形	0.79	0.78	44	杭列2重複	107	142	C6-A1	不整形	1.00	(0.72)	40	SK132より新	110
92	C6-A2	不整形	1.81	(0.70)	53	SB1,SK67より古 SK65/93-96より新	106	144	C6-A2, B2	不整形	2.40	2.14	20	SB1,木樋2,SK65より古	110
93	C6-A2	不整形	(0.85)	(0.63)	58	SB1,SK67/92より古 SK65/94/95/96より新	107	145	C6-B2	不整形	1.32	0.75	42	SB1,木樋2,SK30/65より古	110
94	C6-A2	不整形	3.11	0.76	55	SB1,SK67/93より古	107	146	C6-B1/2	不整形	1.04	(0.68)	42	SK147より新	110
95	C6-B2	不整形	(1.86)	0.93	65	SB1,SK67/92/93より古 SK65より新	107	147	C6-B1	不整形	(0.60)	(0.72)	16	SK66・146より古	110
96	C6-B2	不整形	(0.65)	(0.49)	45	SB1,SK67/92/93より古 SK65/94より新	107	150	C6-D3	楕円形	1.55	0.84	30	SK188より新	111
97	C6-C3	隅丸長方形	(1.37)	1.02	70	竹樋3より古	107	151	C6-D3/4	隅丸長方形	2.31	0.66	43	SK188より新	111
98	C6-B3	隅丸長方形	(0.73)	0.53	24		106	153	C6-A2	不整形長方形	1.88	1.40	88	桶51,竹樋1,SK102/190より古	107
99	C6-B2	円形	0.99	0.96	12		107	156	C6-A2/3	不整形	(1.93)	1.89	50	SK75/78/80より古	111
100	C6-B3	不整形円形	1.14	(0.65)	22	桶62,SK199より古	107	157	C6-A3, B3	不整形	2.07	1.55	65	桶66/72,SK76より古	111
101	C6-A2	楕円形	0.97	0.72	36	木樋4より古	104	159	C6-A1	不整形	1.40	(0.40)	62	SK138より古 SK132より新	110
102	C6-A2	隅丸長方形	1.28	0.61	24	桶51より古 竹樋1,SK153より新	107	160	C6-B2	隅丸長方形	1.56	0.72	47	桶9より古	112
103	C6-A1/2	隅丸長方形	(0.58)	0.57	23	SK29/63より古	104	161	C6-B2	隅丸長方形	2.03	1.03	65	SK17/165より古	112
104	C6-A1	隅丸長方形	0.56	(0.47)	25		104	162	C6-E2/3	隅丸長方形	4.64	2.25	26	SE7重複	112
105	C6-A1	隅丸長方形	0.60	(0.54)	27	SK195より新	104	164	C6-B2	不整形	0.68	(0.20)	33		112
106	C6-B1	不整形	(1.66)	(1.20)	55	桶73/77より古 SK107より新	107	165	C6-B2	隅丸長方形	0.95	0.60	22	SK161より新	112
107	C6-B1	不整形	1.56	1.10	55	桶73/77,SK106より古	107	166	C6-C3, D3	隅丸長方形	2.38	1.18	53	SK171/188/277より新	111
108	C6-A1	不整形	0.69	(0.27)	33	SK64より古	104	171	C6-C3/4, D3/4	隅丸長方形	2.20	1.14	45	SD3・SK166より古 SK277より新	111
109	C6-A1, B1	不整形	0.94	(0.27)	37	SK195より新 SK63重複	104	172	C6-D3	隅丸長方形	1.43	1.18	29	SK284より新	112
111	C6-A2	不整形	2.21	1.58	99	SK36/38より古 SD16より新	108	173	C6-A3	楕円形	0.77	0.69	30	SK114より古	112
								174	C6-A2, B2	楕円形	2.14	1.50	50	SB1,SK87より古	106
								175	C6-B2	不整形	(1.47)	1.35	37	桶9より古	112
								176	C6-D3/2	隅丸長方形	7.62	1.92	115	SD1,SE5,桶5より古 SK269より新	112
								177	C6-D3/4	隅丸長方形	2.75	2.43	27		113
								178	C6-D3	隅丸長方形	(3.83)	1.36	54	竹樋2より新	113

番号	グリッド	形態	長軸	短軸	深さ	備考	挿図	番号	グリッド	形態	長軸	短軸	深さ	備考	挿図
179	C6-D4, E4	隅丸長方形	5.55	1.85	57	竹樋2より新	113	233	C6-E4	楕円形	0.89	0.63	38	SK232より新	117
180	C6-E3	隅丸長方形	1.22	0.96	21	SD6より新	113	234	C6-E4, F4	不整形	1.42	0.83	15		117
181	C6-A2	不整形	3.50	2.60	46	基礎2, 桶66, 竹樋1, SK75/113より古 SK185より新	108	235	C6-F4	不整形	(1.50)	1.32	26	SK283より新	118
182	C6-A3	楕円形	0.80	0.65	24	竹樋1より新	108	236	C6-F4	楕円形	0.70	0.45	29		117
185	C6-A2	隅丸長方形	(2.49)	1.02	33	竹樋1, SK75/113/181より古	105	237	C6-F4	不整形	1.40	1.15	41	SE9より古	117
186	C6-E2/3	不整形長方形	9.28	2.02	85	SK187より新	113	238	C6-F4	楕円形	2.16	1.04	9	SD9より新	118
187	C6-E2	不整形	0.74	0.40	25	SK186より古	113	239	C6-F4	楕円形	0.93	0.47	7		117
188	C6-C3/4, D3/4	不整形長方形	5.84	2.78	116	桶67, SK150/151/166/171より古 SK189/277/291より新	111	240	C6-E4	方形	3.54	3.44	52		119
189	C6-D3	不整形長方形	2.80	0.96	36	SK188より古	111	241	C6-E5	円形	0.45	0.38	10		117
190	C6-A2	不整形	1.98	(1.42)	61	竹樋1, SK102/153より古	105	242	C6-E4, F4	隅丸長方形	6.54	1.35	56	SK276より古	118
191	C6-A2	不整形	(1.99)	1.38	74		114	243	C6-E3	隅丸長方形	2.69	(1.75)	52	SK206より古	114
193	C6-A2	不整形	0.66	(0.42)	42		109	244	C6-B4	不整形	2.03	(1.41)	132	SK201より古	115
194	C6-A2	楕円形	1.29	0.50	20		109	245	C6-B4	不整形	1.21	(0.45)	52		115
195	C6-A1	隅丸長方形	(0.90)	0.55	24	SK105/109より古	104	246	C6-B3	不整形	(1.38)	0.76	9	SD3重複	119
196	C6-B2/3, C2/3	不整形	2.80	1.20	77	桶62より古 SK199より新	115	247	C6-B3	隅丸長方形	2.46	1.96	54	SG1より新	119
197	C6-A1	不整形	1.70	1.16	18	桶45/47, SK122より古	108	248	C6-E3/4	不整形	2.03	(1.45)	22	SE10, SK255より新	117
198	C6-B3	不整形	2.73	1.84	41	SE4より古	115	249	C6-C3	楕円形	2.79	2.22	74	SK277より新	119
199	C6-B3/2	不整形	1.75	(1.38)	41	桶62, 196より古 SK100より新	107	250	C6-C3	不整形長方形	(3.86)	0.73	40	竹樋3, SD3より古	120
200	C6-B3, C3	楕円形	1.32	0.90	30		114	251	C6-B3/4	楕円形	(0.76)	0.67	29		120
201	C6-B3/4	不整形	7.54	6.00	58	SE4より古 SK244より新	115	252	C6-E2	楕円形	0.77	(0.52)	19		120
202	C6-B3	楕円形	0.98	0.67	28		114	253	C6-F3	楕円形	0.93	0.47	23		120
203	C6-A3, B3	不整形	1.14	(0.52)	46		114	254	C6-E3	隅丸長方形	3.62	1.77	24	SK279より新	114
204	C6-F3	隅丸長方形	7.76	1.06	66	SK205より古	116	255	C6-E3	不整形	2.32	(1.64)	26	桶82, SK206/248より古 SE10より新	117
205	C6-F3	不整形	2.92	2.04	49	SK204より新	116	256	C6-F3	隅丸方形	0.55	0.54	16		120
206	C6-E3, F3	不整形	4.60	1.78	100	SK243/255より新	114	257	C6-F4	隅丸方形	1.53	1.25	45	SE8より新	120
207	C6-F3	楕円形	0.85	0.66	11	SE9より新	116	258	C6-E2/3	楕円形	2.09	1.62	50		120
208	C6-F3	不整形	0.55	0.45	11		116	259	C6-D3	楕円形	0.95	0.69	18		120
209	C6-F3	楕円形	4.82	1.58	48		116	260	C6-C3, D3	楕円形	1.10	0.72	31		120
210	C6-C3	隅丸長方形	1.86	1.86	58	桶63, SK211より古	114	261	C6-C3, D3	隅丸長方形	1.47	0.50	27	排水柵重複	120
211	C6-C3	不整形	1.76	(0.81)	22	桶63より古 SK210より新	114	262	C6-E2/3, F2/3	隅丸方形	2.63	2.53	32	SK295より古 SK266重複	120
212	C6-E3, F3	不整形	3.25	2.08	62		114	263	C6-D4	隅丸方形	0.74	0.70	55		121
213	C6-C2	不整形	0.74	0.65	23		116	264	C6-C3	不整形楕円形	1.77	1.11	22	SK277より新	121
214	C6-F2	隅丸方形	0.93	0.90	16		116	265	C6-C3	不整形	0.58	0.50	15	SK277より新	121
215	C6-E3	楕円形	(0.73)	0.58	62	竹樋2重複	116	266	C6-E3, F3	隅丸長方形	2.27	1.31	34	SK262重複	120
216	C6-E3	楕円形	0.84	0.53	55		116	267	C6-C3	不整形楕円形	1.62	0.85	27	桶65, SK277より新	121
217	C6-E3	楕円形	(0.72)	0.50	23		116	268	C6-D3	円形	0.51	0.47	49		121
219	C6-E3	楕円形	1.05	0.87	48		116	269	C6-D3	不整形	1.10	0.83	28	SK176, P30より古	109
221	C6-E5	不整形	0.77	0.52	27	SK224より古	116	270	C6-D3	楕円形	1.06	0.54	26		109
223	C6-E5	隅丸長方形	3.08	1.06	29	SD9重複	117	271	C6-D3	不整形	(1.04)	0.54	18		109
224	C6-E5	不整形	1.99	1.19	35	SK221より新	116	272	C6-D3	楕円形	0.89	0.63	71		121
225	C6-E5	隅丸長方形	1.87	1.49	38		117	273	C6-D3/4	隅丸長方形	2.48	1.49	71		113
226	C6-E6	隅丸長方形	1.74	0.65	17		117	274	C6-C3	隅丸長方形	1.32	0.99	33	桶68/75より古	121
227	C6-E6	隅丸長方形	1.47	0.64	42		117	275	C6-E4	隅丸長方形	(4.18)	(1.18)	29		118
228	C6-D5/4	円形	0.50	0.49	17		117	276	C6-E4	隅丸長方形	3.80	0.90	52	SK242より新	118
229	C6-D5	楕円形	2.13	1.89	20		117	277	C6-C3/4, D3/4	不整形	7.16	6.47	182	SD3, SK171/249/250/264より古	122
230	C6-E4	隅丸長方形	2.16	1.50	33	SE8より新	117	278	C6-E3	隅丸長方形	2.12	0.88	22		121
231	C6-E4	不整形	1.47	1.24	32		117	279	C6-E3	不整形	2.15	1.78	74	SK254より古	114
232	C6-E4	楕円形	(1.00)	0.64	36	SK233より古	117	280	C6-E4/3	楕円形	1.57	1.20	41		121
								281	C6-E3	円形	0.55	0.50	39		121
								282	C6-E3	不整形	(1.40)	1.14	41		116
								283	C6-F4	不整形	1.41	(0.95)	19	SK235/242より古	118
								284	C6-D3	楕円形	(0.53)	0.49	8	Sk172より古	112
								285	C6-D3	不整形楕円形	1.50	(0.86)	54	SK127より古	121
								286	C6-D3	円形	0.55	0.55	15		121
								287	C6-D3	円形	0.45	0.42	21		121

番号	グリッド	形態	長軸	短軸	深さ	備考	挿図	番号	グリッド	形態	長軸	短軸	深さ	備考	挿図
288	C6-F3	隅丸長方形	0.90	0.47	16	SD10 重複	121	297	C6-F4	隅丸長方形	2.47	2.00	45	桶 83/94 より古	118
289	C6-C3	不整形	3.93	0.95	60		123	298	C6-F3	隅丸長方形	0.35	0.34	16		120
290	C6-C3	不整形	1.60	1.40	21		121	299	C6-F3	隅丸長方形	1.02	0.65	38		123
291	C6-D3	不整形	0.46	0.25	10	SK188 より古	123	300	C6-E4	隅丸長方形	2.70	1.58	32		118
292	C6-D3	円形	0.54	0.50	13		123	1154	C6-D2	隅丸長方形	1.48	0.76	58	SK7 より新	123
295	C6-E3, J3	隅丸長方形	2.05	1.00	73	SK262 より新	120	1155	C6-D4	不整形	1.27	0.95	13		123
296	C6-C3, D3	隅丸長方形	1.45	0.91	48	SK277 より新	123	1156	C6-D4/5	不整形	3.18	1.45	13	SB16 重複	123

められた。このため、第125～129図の陶磁器は両者のものを一括して図示し、帰属遺構については観察表に示す。いずれも4mを越える長大な土壇であるが、第2号土壇は下層が焼土主体層、上層がシルト層で被覆されているのに対し、第9号土壇は砂層が覆土で、下部に炭化したものを含む木製品、建築材が廃棄されていた。第9号土壇は、壁面土層の観察から、焼土層に覆われる第2号建物跡より新しい。従って、建物跡が火災で廃絶し、焼土層が形成された後に、第9号土壇が火災処理のために掘られたと考えられる。

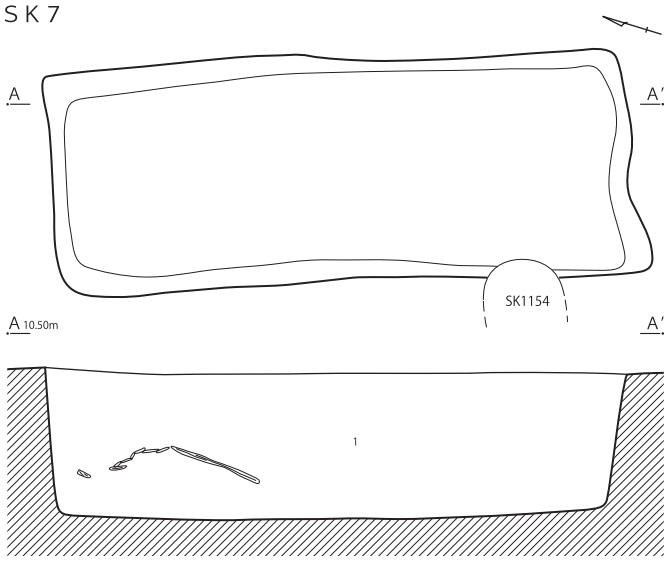
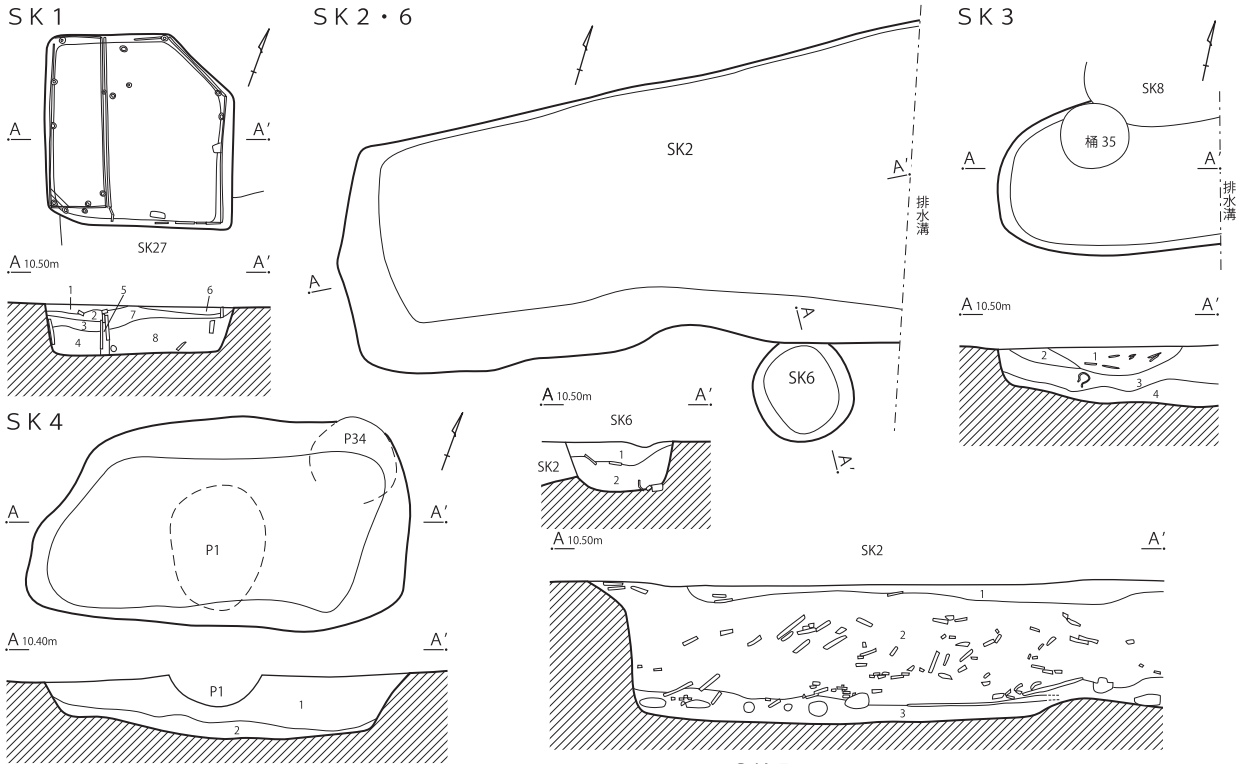
第125～129図は出土した陶磁器で、9～20は色絵を施す肥前系磁器小丸碗、21は瀬戸美濃系磁器端反碗で被熱する。22・23も瀬戸美濃系磁器だが被熱が認められず、後世の混入と思われる。35の磁器皿は、同文で大形のものが第30号土壇から出土している。45はサザエを模した磁器蓋物で肥前三川内産とみられる。46・47は藍色の単色釉に金彩で繊細な上絵付けを施す磁器瓶類である。48・49は萩焼である。藁灰釉の製品で被熱する。54は器種・産地とも不明の陶器蓋物で、被熱している。第188号土壇に同一個体の破片（第190図1023）があり、桶のタガを表している。桶を模した意匠と推定される。61は京都信楽系と思われる陶器土瓶で極めて薄手である。「火割請合」の刻印がある。被熱して破損する数破片から全体を図上復元した。71・72は、所謂「みがきかわらけ」である。陶磁器には後世の混在も少量あるが、被熱の有無でかなり分別される。被熱資料では瀬戸美濃系磁器端反碗（21）・肥前系

磁器八角鉢や陶器土瓶（59～61）が最新期の遺物である。『本陣跡 I』で報告した第301号土壇等と同時期、文化・文政期の火災処理に伴うと推定される。第225図1は、第2号土壇出土のミニチュアで焔炉の脚部であろう。

第228・229図1～18、22～24と第234～236図1～15、19～30に瓦を示した。軒瓦は第228図12・13・23に示す唐草の巻きが緩いタイプが多く出土した。東海式は第2号土壇から2点（第228図15・16）出土した。第235図19は本陣を勤めた池田家の家紋「揚羽蝶文」の鬼瓦で第9号土壇の出土である。被熱しており、火災で本陣の建物が被災したことが分かる。揚羽蝶文の鬼瓦は、第26・289号土壇、『本陣跡 I』報告の第314号土壇でも出土しているが、全て意匠の細部が異なる。第255図1～12は第2号土壇の金属製品で、4～12に図示したように釘が多く出土した。廃棄された建築部材に伴うものであろう。このほか炭化した布49.4gが第2号土壇から出土した。炭化布類は、『本陣跡 I』報告範囲の火災処理土壇で複数の出土例が確認されている。

第3号土壇（第97図）

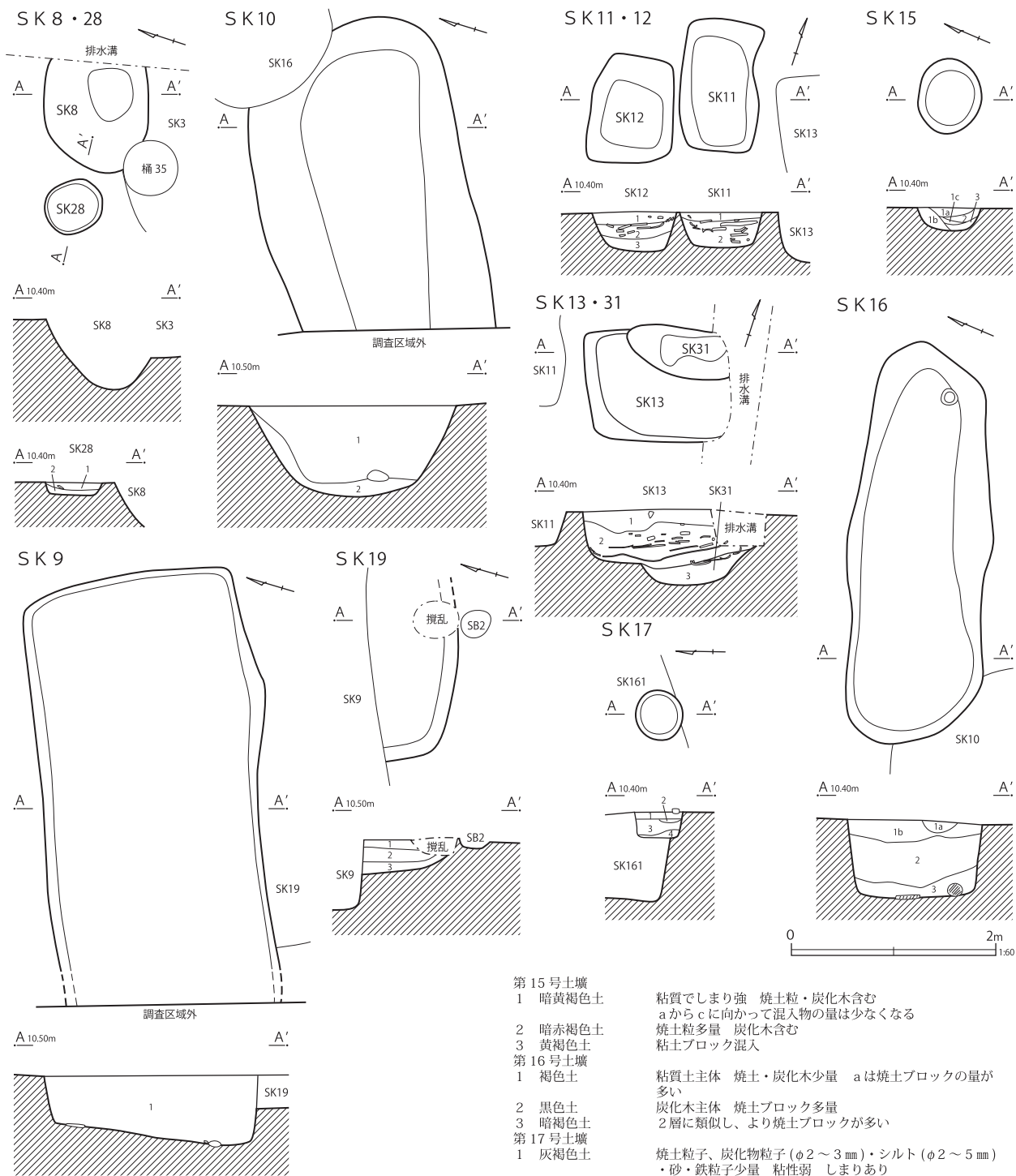
C6-C2グリッドに位置する楕円形の土壇である。第130～132図75～117は出土した陶磁器で、磁器湯呑形碗（76・77）が多い。82の蓋物は第7号土壇（第135図167）と同一個体の可能性もあるが、接合点は見出せなかった。86・87の坏には、内面に粉状の赤色物質が残り、85の坏にも漆膜状の物質が残る。第225図2～4はミニチュア類である。本跡では木製品の遺存状態



- 第1号土壌
- 1 灰褐色砂質土 炭化物粒子 (φ2~3mm) 含む 褐鉄粒子 (φ1~2mm) 少量 粘性なし しまりあり
 - 2 暗褐色土 (炭化物層) 炭化物粒子 (φ2~3mm) 極多量 焼土粒子 (φ1~2mm)・褐色土 (φ2~3mm) 少量 粘性あり しまり極弱
 - 3 黒褐色土 (炭化物層) 炭化物粒子 (φ3~5mm) 極多量 焼土粒子 (φ2~3mm) 含む 粘性あり しまり弱
 - 4 暗褐色土 (炭化物層) 炭化物粒子 (φ2~3mm) 極多量 褐色シルト (φ1~2mm) 少量 粘性・しまり極弱
 - 5 暗褐色土 (炭層) 炭化物ブロック極多量 シルト質土少量 粘性なし しまり弱
 - 6 明灰褐色土 炭化物粒子 (φ3~10mm) 微量 鉄粒子 (φ2~3mm) 多量 シルトブロック (φ3~5mm) 斑状に含む 粘性なし しまりあり
 - 7 灰褐色砂質シルト 炭化物粒子 (φ2~3mm)・焼土粒子 (φ2~3mm) 少量 粘性弱 しまりあり
 - 8 明褐色砂質土 炭化物粒子 (φ2~3mm) 少量 鉄粒子 (φ2~3mm)・砂質土 (φ3~5mm) を斑状含む 粘性極弱 しまりあり

- 第2号土壌
- 1 灰褐色砂質シルト 焼土ブロック (φ2~3mm)・炭化物ブロック (φ2~3mm) 含む 灰褐色シルトブロック・砂含む 粘性なし しまり強
 - 2 橙褐色砂質土 (焼土・炭化物層) 焼土ブロック (φ2~5mm) 極多量 炭化物ブロック (φ2~5mm) 多量 灰褐色シルトブロック少量 瓦を極多量 粘性・しまり弱
 - 3 暗灰褐色砂質土 (焼土・炭化物層) 焼土ブロック (φ2~5mm) 多量 炭化物ブロック (φ2~5mm) 極多量 灰褐色シルトブロック少量 炭化した木材多量 粘性あり しまり極弱
- 第3号土壌
- 1 暗灰褐色土 砂 (φ1mm)・シルトブロック含む 粘性極弱 しまりあり
 - 2 灰褐色砂質土 炭化物粒子 (φ3~5mm) 少量 シルトブロック (φ2~3mm)・鉄粒子含む 粘性弱 しまりあり
 - 3 灰褐色砂質土 炭化物粒子 (φ3~5mm) 少量 鉄粒子 (φ2~3mm) 含む
 - 4 暗灰褐色シルト質土 炭化物粒子 (φ3~10mm)・砂粒 (φ1mm以下) 少量 粘性あり しまり弱
- 第4号土壌
- 1 灰褐色砂 灰白色シルトブロック (φ5~10mm) 多量 下部にφ5cm程の円礫少量 砂の粒径は粗い 粘性なし しまり弱
 - 2 灰褐色砂 砂の粒径は細かい 焼土粒微量 灰褐色シルトブロック (φ5mm) 少量 粘性なし しまり弱
- 第5号土壌
- 1 暗灰褐色土 炭化物粒子 (φ5~10mm)・鉄粒子含む 灰色シルト薄層状に含む 砂少量 粘性・しまりあり
 - 2 灰色砂質土 鉄粒子 (φ1mm) 含む 粘性なし しまり強
 - 3 灰褐色シルト質土 炭化物粒子 (φ2~3mm)・シルトブロック (φ2~3mm)・砂少量 粘性・しまりあり
- 第6号土壌
- 1 灰褐色砂質シルト しまり・粘性弱 砂粒・木片多量
 - 2 暗灰褐色砂質シルト しまり・粘性弱 木片・陶磁器片含む
- 第7号土壌
- 1 赤褐色土 焼土層 瓦片多量 粘性なし しまり弱 埋戻し

第97図 土壌 (1)

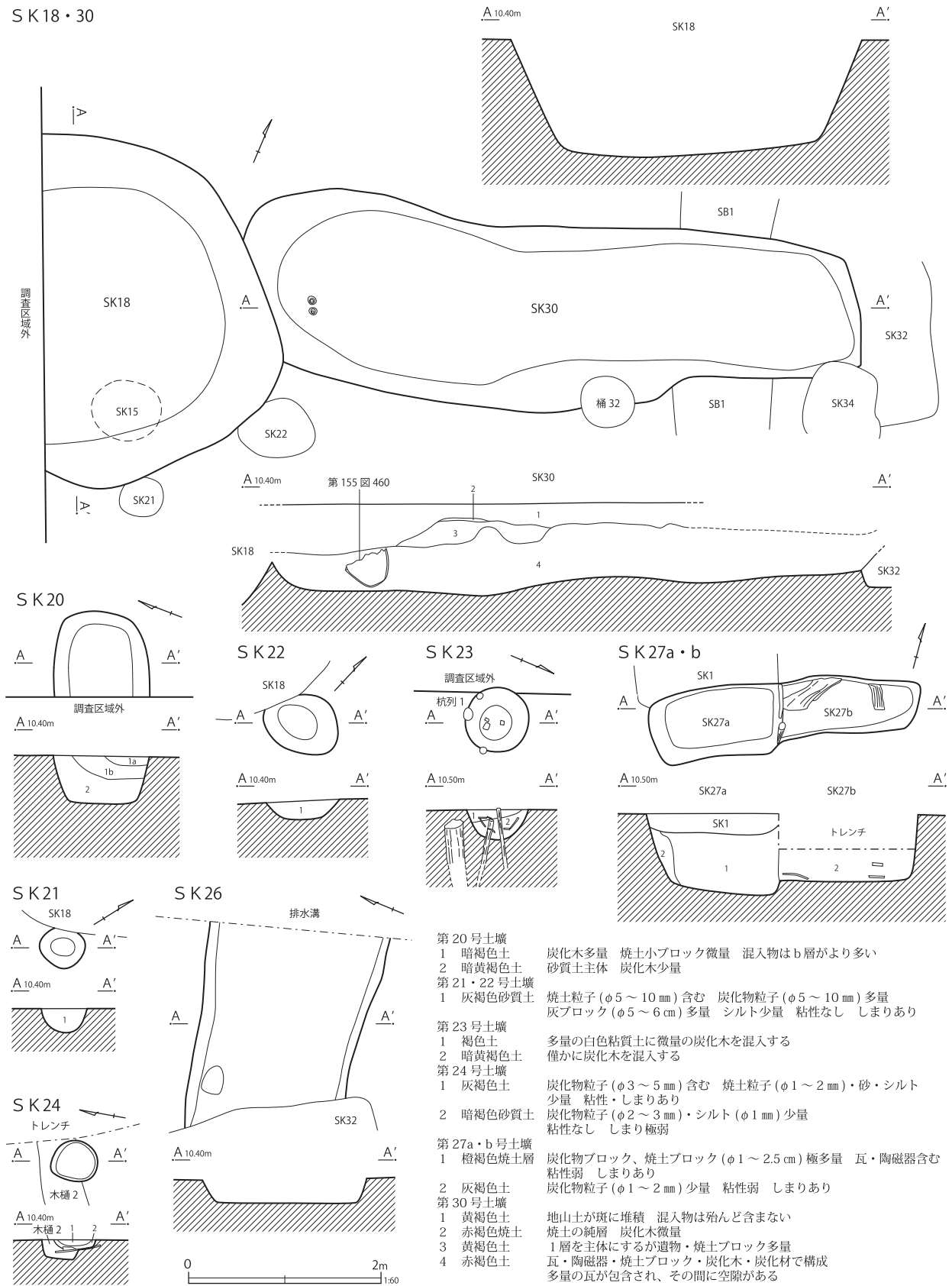


- 第9号土壌
 1 褐灰色砂 砂の純層 粘性なし しまり弱 埋戻し
 第10号土壌
 1 褐灰色砂 砂層の純層 粘性なし しまり弱 埋戻し
 2 灰褐色シルト 焼土粒・炭化物含む 粘性・弱しまり 埋戻し
 第11・12号土壌
 1 灰褐色砂質シルト 砂粒多量 炭化粒微量 粘性なし しまりあり
 2 暗褐色シルト 腐食木片極多量 粘性なし しまり弱
 3 暗灰褐色シルト 砂粒多量 木片微量 粘性弱・しまり弱
 第13・31号土壌
 1 灰褐色砂質シルト 砂粒多量 炭化粒微量 粘性なし しまりあり (SK13)
 2 暗灰色シルト 砂粒多量 木片・樹皮少量 粘性・しまり弱 (SK13)
 3 暗灰褐色シルト 木片・腐食木片多量 粘性・しまりあり (SK31)

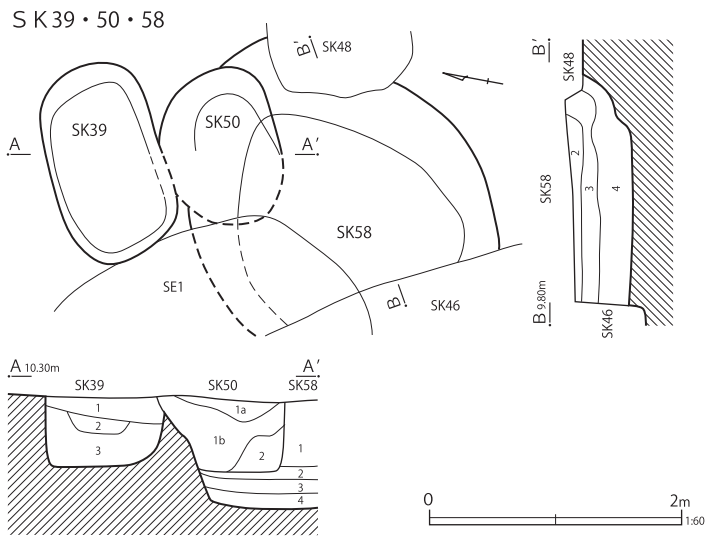
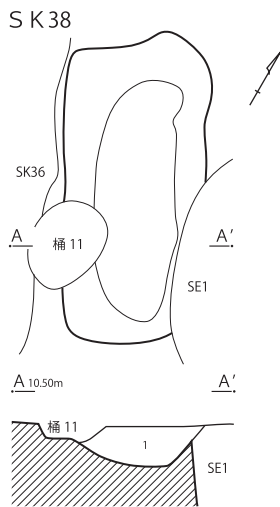
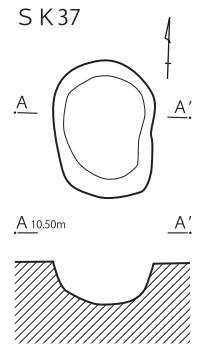
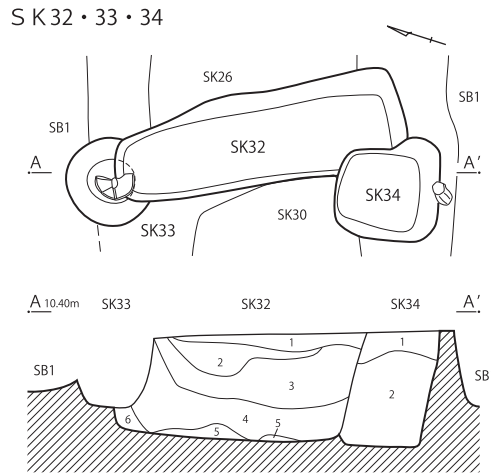
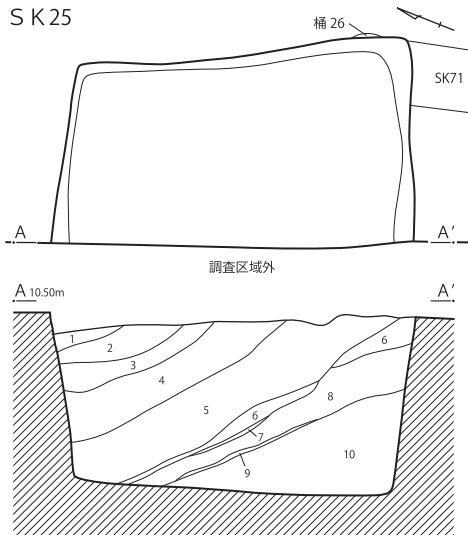
- 第15号土壌
 1 暗黄褐色土 粘質でしまり強 焼土粒・炭化木含む
 aからcに向かって混入物の量は少なくなる
 2 暗赤褐色土 焼土粒多量 炭化木含む
 3 黄褐色土 粘土ブロック混入
 第16号土壌
 1 褐色土 粘質土主体 焼土・炭化木少量 aは焼土ブロックの量が多い
 2 黒色土 炭化木主体 焼土ブロック多量
 3 暗褐色土 2層に類似し、より焼土ブロックが多い
 第17号土壌
 1 灰褐色土 焼土粒子、炭化物粒子(φ2~3mm)・シルト(φ2~5mm)
 ・砂・鉄粒子少量 粘性弱 しまりあり
 2 灰褐色土 焼土粒子(φ5~10mm)・砂・シルト含む 炭化物粒子(φ2~3mm)少量 粘性なし しまりあり
 3 灰褐色砂質土 炭化物粒子(φ2~3mm)含む 焼土粒子(φ2~3mm)少量 粘性弱 しまりあり
 4 灰褐色砂質土 炭化物粒子・焼土粒子(φ2~3mm)少量 粘性・しまりなし
 第19号土壌
 1 褐灰色シルト 粘性・しまり弱
 2 褐灰色砂質シルト 砂多量 炭化粒微量 粘性・しまり弱
 3 暗赤褐色シルト 焼土ブロック(φ3~5cm)・炭化物多量 しまり弱 粘性なし(焼土主体層)
 第28号土壌
 1 暗褐色土 炭化物粒子(φ3~5mm)含む 鉄粒子(φ2~3mm)少量 粘性あり しまり弱(木片・陶磁器含む)
 2 灰褐色土 シルト・砂含む 炭化物粒子(φ1~2mm)少量 粘性なし しまりあり

第98図 土壌(2)

SK18・30



第 99 図 土層 (3)



第 25 号土壌

- | | |
|----------|-----------------------------|
| 1 暗灰色土 | 地山の粘質土ブロック主体 炭化木・焼土・遺物混入 |
| 2 暗褐色土 | 多量の炭化木を含み暗色を呈する 焼土ブロック・遺物混入 |
| 3 暗灰色土 | 1層より遺物を多く含む |
| 4 暗灰色土 | 焼土ブロック・遺物混入 2層より焼土多い |
| 5 暗赤褐色土 | 多量の焼土で構成されている 炭化木・遺物混入 |
| 6 暗赤褐色土 | 5層より焼土多い |
| 7 黒色土 | ほぼ炭化木の純層 |
| 8 暗赤褐色土 | 6層より焼土多い |
| 9 黒色土 | ほぼ炭化木の純層 |
| 10 暗赤褐色土 | 5層に類似するが極端に遺物が少ない |

第 32 号土壌

- | | |
|---------|-------------------------------|
| 1 明褐色土 | 砂質土主体 焼土微量 炭化木小ブロック混入 |
| 2 褐色土 | 砂質土・焼土・炭化木が同程度混在 |
| 3 褐色土 | 瓦主体 砂質土・焼土・炭化木多量 空隙がある |
| 4 黒色土 | 炭化木主体 焼土多量 炭化木・焼土ブロックは3層より小さい |
| 5 黄褐色土 | 粘質の地山土を主体にし、炭化木、焼土を微量混在する |
| 6 暗灰褐色土 | 粘質のある地山土を主体にし、炭化木を少量混入する |

第 34 号土壌

- | | |
|----------|--|
| 1 明褐色土 | 砂質土主体 焼土微量 炭化木小ブロック混入 |
| 2 黒色土 | SK32の4層と似るが、炭化木の量より多く黒色味強い |
| 第 38 号土壌 | |
| 1 橙褐色土 | 焼土ブロック (φ1~7cm) 極多量 炭化木粒子 (φ1~5cm) 含む 粘性なし しまりあり |

第 39 号土壌

- | | |
|--------|----------------------------|
| 1 赤褐色土 | 大粒の焼土・炭化木で構成 |
| 2 灰褐色土 | 焼土・炭化木で構成 灰色地山土も多く混入 |
| 3 赤褐色土 | 焼土・炭化木で構成 1層に類似するがブロックは小さい |

第 50 号土壌

- | | |
|--------|----------------------|
| 1 灰褐色土 | 焼土・炭化木を含む bはその量がより多い |
| 2 暗灰色土 | 1層を基調とし灰色土の大形ブロックが混入 |

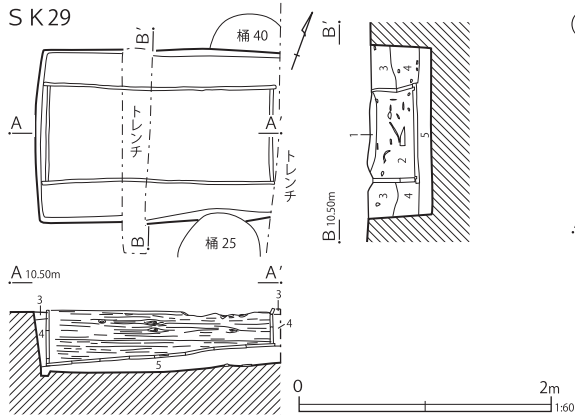
第 58 号土壌

- | | |
|---------|--|
| 1 暗黒灰色土 | 粘土ブロック主体 焼土ブロックと少量の炭化木を含む 下部は遺物の量がより多い |
| 2 暗黒灰色土 | 地山土の粘質土主体 炭化木を混在 |
| 3 明赤褐色土 | 細かな焼土粒子多量・炭化木を少量 |
| 4 黒色砂質土 | 炭化木・焼土多量 |

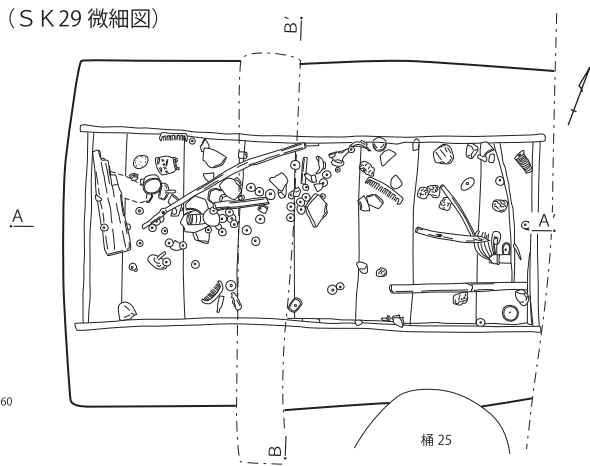
第 100 図 土壌 (4)

が良く、一部を第241~242図1~27に示す。碗皿類と蓋(1~5)、膳(6~9)、杓子(13~15)、箸(10~12)などが含まれる。第255図14~18は金属製品で、14は錠前である。第260図3・4は砥石で、3に成形時の幅広い工具痕が残

る。第263図61は基石、71は大形の玉髓製火打石である。今回の報告範囲では、大形の火打石が多く出土している印象である。19世紀中葉の土壌と考えられ、当該期における各種遺物の組み合わせを窺い知ることができる。



(SK 29 微細図)



第 29 号土壌

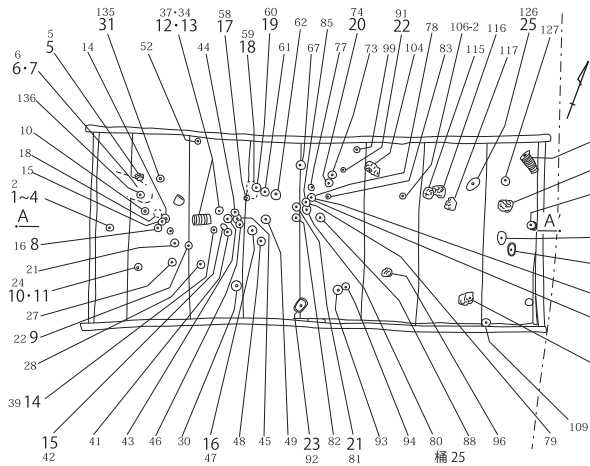
- 1 明灰褐色砂質土 炭化物粒子 (φ2~3mm) 少量 シルトブロック (φ1~1.5mm) 含む 黄橙色粒子層状に含む 粘性・しまりあり
- 2 灰褐色土 炭化物粒子 (φ2~3mm)・砂少量 陶器多量 粘性弱 しまりあり
- 3 灰褐色砂質シルト 焼土粒子 (φ3~5mm)・炭化物粒子 (φ5~10mm)・シルト粒子 (φ5~8mm) 含む 粘性弱 しまりあり (掘方)

- 4 暗灰褐色シルト 焼土粒子、炭化物粒子 (φ2~3mm) 少量 粘性・しまりあり (掘方)
- 5 暗灰褐色砂質シルト 炭化物粒子 (φ5~10mm) 中量 焼土粒子 (φ2~3mm) 少量 シルト粒子 (φ3~10mm) 斑状に少量 粘性・しまりあり (掘方)

SK 29 銭貨出土状況

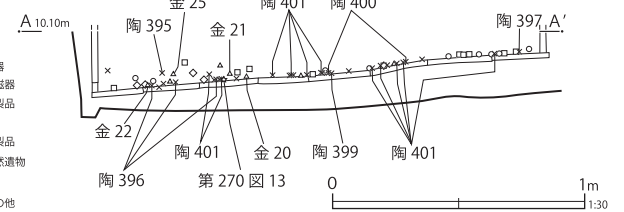
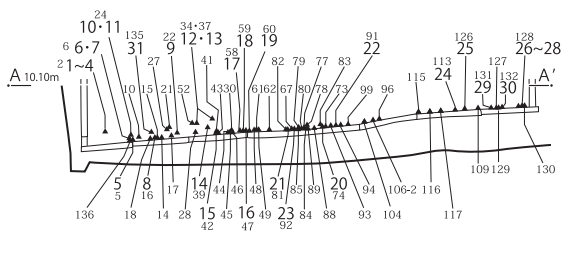
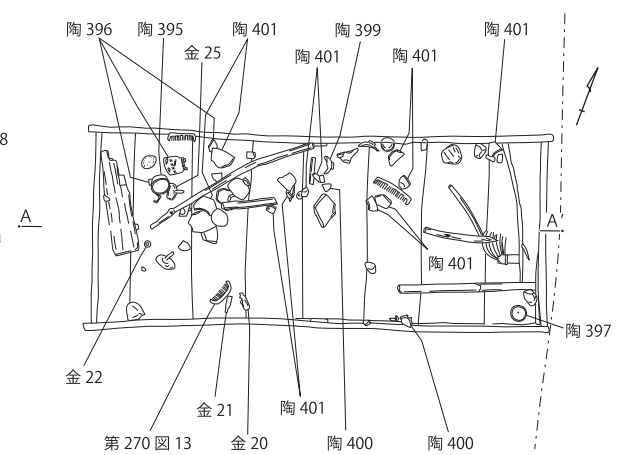
※ゴシック体は実測番号 (第 258・259 図参照)

明朝体 (文字サイズ小) は取り上げ番号 (第 81 表参照)



SK 29 実測遺物出土状況 (銭貨を除く)

※陶は陶磁器、金は金属製品を示す

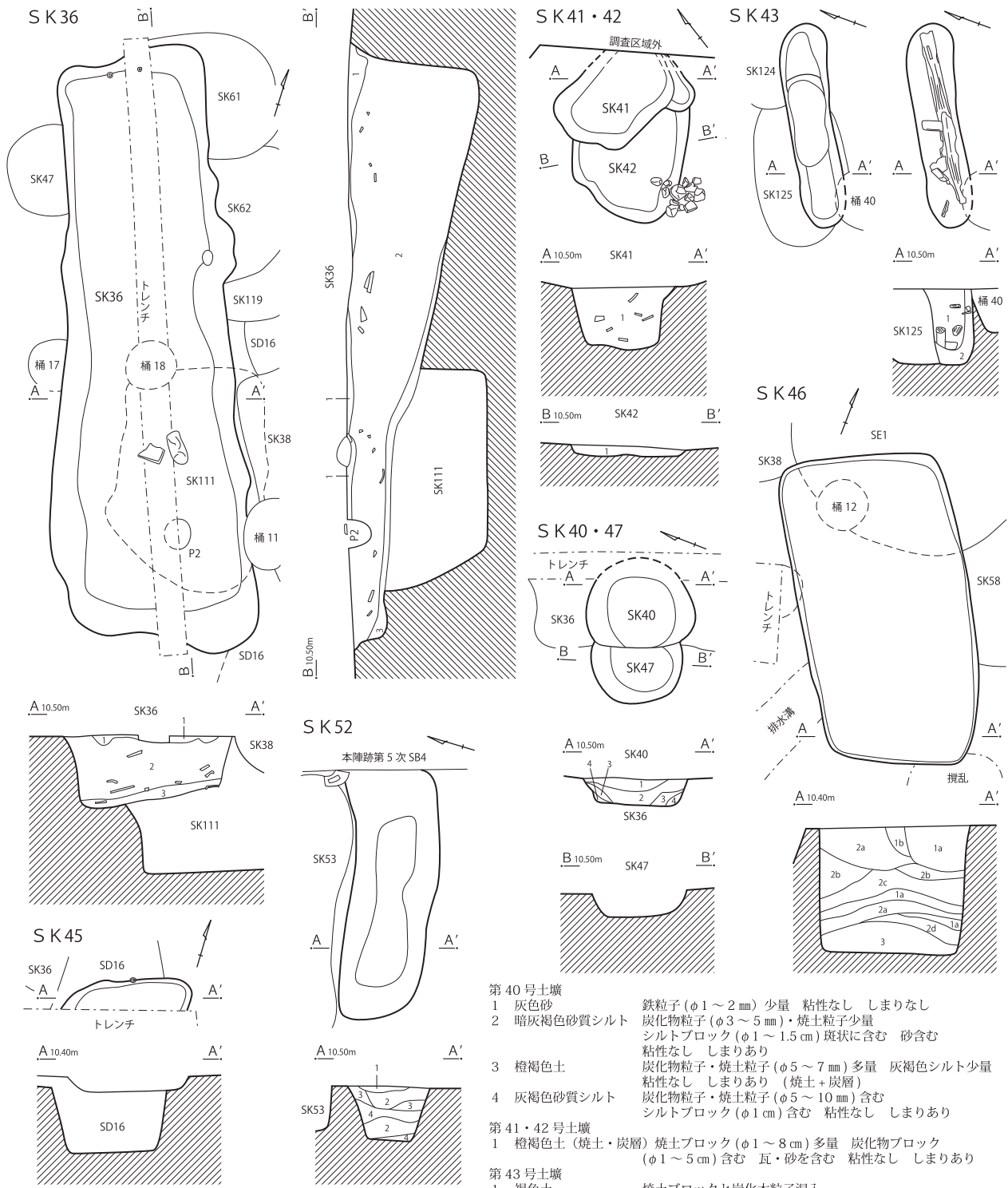


第 101 図 土壌 (5)

第 7 号土壌 (第 97 図)

D 6-C 2・D 2 グリッドに位置する長さ 4.6m 程の火災処理土壌である。調査区西際に、街道と並行するように検出された。覆土は焼土で充填される。

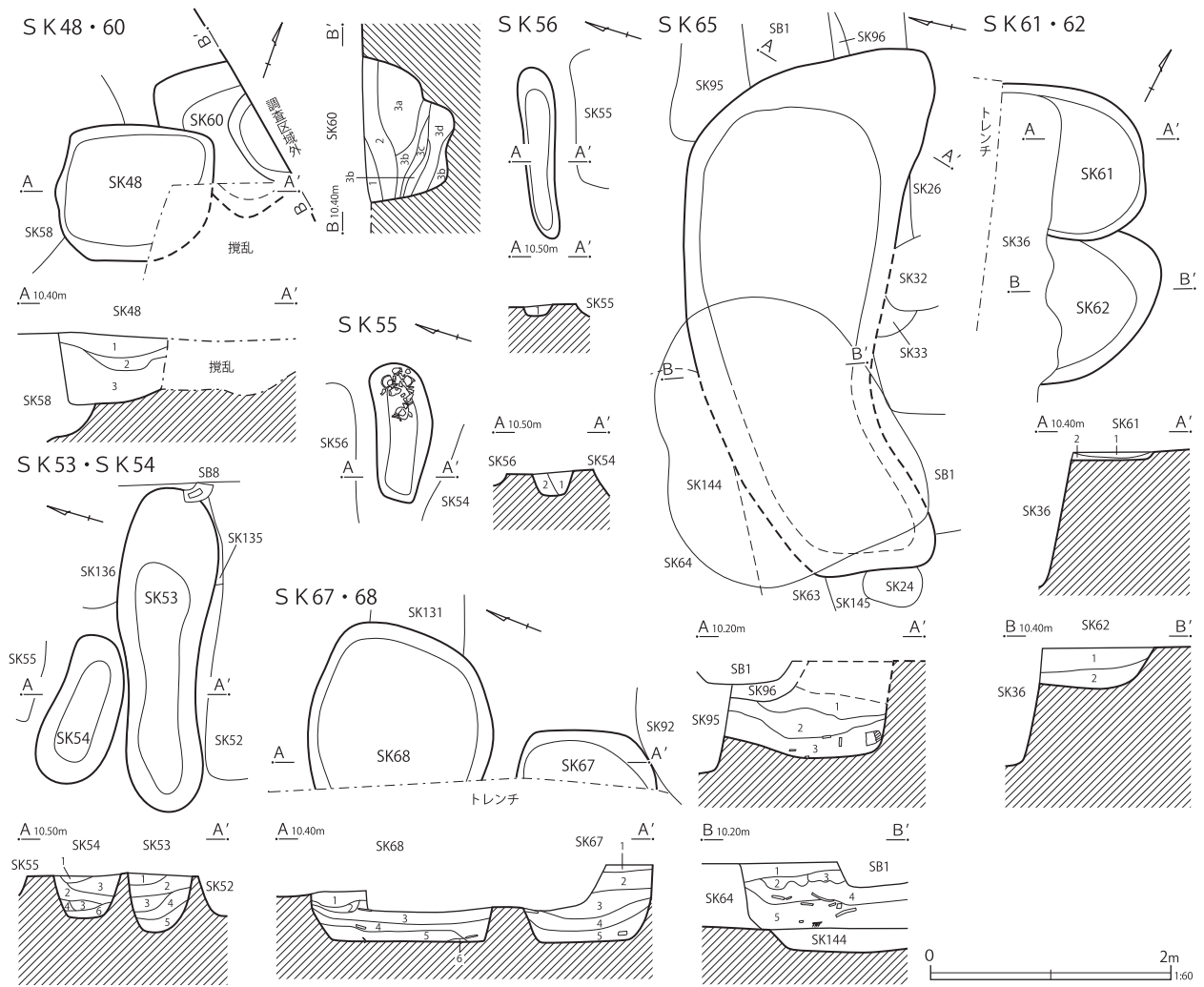
第 133~135 図 131~195 に出土した陶磁器を示す。131~133 は肥前系磁器半球碗の身・蓋が被熱・溶着したものである。複数の破片があるが、個体数の推定には至らなかった。瀬戸美濃系の磁器もいくつか出土しており、138 の端反碗



- 第36号土壌
 1 灰褐色砂質土 炭化物粒子(φ3~5mm)・焼土粒子(φ3~5mm)少量 シルトブロック(φ1~10cm)斑状に含む砂多量 粘性なし しまりあり
 2 橙褐色土 炭化物、焼土ブロック(φ1~4cm)極多量 瓦多量 粘性なし しまり弱
 3 灰褐色砂質シルト 炭化物粒子(φ3~5mm)・焼土粒子(φ3~5mm)少量 シルトブロック(φ3~5mm)斑状に含む 粘性なし しまりあり

- 第40号土壌
 1 灰色砂 鉄粒子(φ1~2mm)少量 粘性なし しまりなし
 2 暗灰褐色砂質シルト 炭化物粒子(φ3~5mm)・焼土粒子少量 シルトブロック(φ1~1.5cm)斑状に含む 砂含む 粘性なし しまりあり
 3 橙褐色土 炭化物粒子・焼土粒子(φ5~7mm)多量 灰褐色シルト少量 粘性なし しまりあり(焼土+炭層)
 4 灰褐色砂質シルト 炭化物粒子・焼土粒子(φ5~10mm)含む シルトブロック(φ1cm)含む 粘性なし しまりあり
- 第41・42号土壌
 1 橙褐色土(焼土・炭層) 焼土ブロック(φ1~8cm)多量 炭化物ブロック(φ1~5cm)含む 瓦・砂を含む 粘性なし しまりあり
- 第43号土壌
 1 褐色土 焼土ブロックと炭化木粒子混入
 2 赤褐色土 焼土ブロック主体 炭化木大ブロック多量
- 第46号土壌
 1 灰褐色土 砂質土主体 焼土ブロック・炭化木混入 地山土を埋戻し bは灰色砂質土の量が少ない
 2 赤褐色土 焼土・炭化木ブロックで構成 瓦多量
 3 黒褐色土 aからbに向かって焼土ブロックが減少し瓦の出土量が増す
 2層に類似するが炭化木が多い 瓦多量
- 第52号土壌
 1 灰白色土 灰白色粘質土主体 炭化木微量
 2 赤褐色土 ほぼ焼土の純層で焼土ブロック主体 炭化木混入
 3 赤褐色土 焼土ブロック主体 炭化木多量
 4 黒色土 炭化木主体 焼土ブロック混入

第102図 土壌(6)



第 48 号土壇

- | | |
|-------------|---|
| 1 明灰色砂質土 | 炭化物粒子 (φ2~5 mm)・シルトブロック (φ2~3 mm) 少量 粘性なし しまり弱 |
| 2 灰褐色砂質土 | 炭化物粒子 (φ2~3 mm) 含む 焼土粒子 (φ2~3 mm) 少量 小石・木材多量 粘性あり しまりあり |
| 3 暗灰褐色砂質シルト | 炭化物粒子 (φ2~3 mm)・シルトブロック (φ3~5 cm) 少量 粘性弱 しまりなし |

第 53・54 号土壇

- | | |
|---------|------------------------|
| 1 赤褐色土 | 焼土ブロック主体 炭化木多量 |
| 2 黒色土 | 炭化木を主体とし、焼土ブロック混入する |
| 3 赤褐色土 | 焼土ブロック主体 ほぼ焼土の純層 炭化木混入 |
| 4 黒色土 | 炭化木主体 焼土ブロック混入 |
| 5 赤褐色土 | 3層とほぼ同じ土 |
| 6 暗灰褐色土 | 地山土主体 炭化木混入 |

第 55 号土壇

- | | |
|--------|------------------------------------|
| 1 黒褐色土 | 焼土ブロック・炭化ブロック・地山土で構成 |
| 2 黒褐色土 | 焼土ブロック・炭化ブロック・地山土で構成 地山土の量が多い しまり強 |

第 56 号土壇

- | | |
|--------|------------------------------------|
| 1 黒褐色土 | 焼土ブロック・炭化ブロック・地山土で構成 地山土の量が多い しまり強 |
|--------|------------------------------------|

第 60 号土壇

- | | |
|----------|-------------------------------------|
| 1 灰褐色砂質土 | 黄褐色土・暗青灰色土が斑に混在 鉄分以外の混入物なし |
| 2 灰褐色土 | 1層主体 焼土・炭化木少量 |
| 3 褐色土 | 炭化木多量 焼土ブロック少量 a~dにかけて混入する焼土ブロックが減少 |

第 61 号土壇

- | | |
|--------|----------------|
| 1 灰褐色土 | 灰褐色土主体 炭化木少量混入 |
| 2 褐色土 | 炭化木・焼土ブロックで構成 |

第 62 号土壇

- | | |
|--------|-----------------------|
| 1 灰褐色土 | 灰色粘質土・焼土小ブロック少量 炭化木多量 |
| 2 黒褐色土 | 焼土ブロック多量 炭化木混在 |

第 65 号土壇 (A-A')

- | | |
|------------|---|
| 1 灰褐色シルト質土 | 炭化物粒子 (φ2~3 mm) 少量 砂含む 粘性・しまりあり |
| 2 灰褐色シルト質土 | 炭化物粒子 (φ2~3 mm) 少量 粘性・しまりあり |
| 3 暗褐色シルト質土 | 炭化物粒子 (φ2~3 mm) 少量 木質多量 腐食有機物多量 シルト粒子少量 粘性あり しまり弱 |

第 65 号土壇 (B-B')

- | | |
|------------|---|
| 1 灰褐色砂質シルト | 炭化物粒子・焼土粒子 (φ2~3 mm) 含む 灰褐色シルト粒子少量 粘性なし しまりあり |
| 2 暗褐色土 | 炭化物ブロック (φ5~12 mm) 極多量 焼土粒子 (φ2~3 mm) 含む シルト粒子少量 粘性・しまりなし |
| 3 灰褐色砂質シルト | 炭化物粒子 (φ2~3 mm)・鉄粒子 (φ1~2 mm) 含む 粘性なし しまりあり |
| 4 灰褐色砂質シルト | 炭化物粒子 (φ3~5 mm) 含む 鉄粒子 (φ2~3 mm) 少量 木製品含む 粘性弱 しまりあり |
| 5 暗褐色土 | 炭化物粒子 (φ3~5 mm) 多量 焼土粒子 (φ2~3 mm) 少量 灰含む 粘性弱 しまり極弱 |

第 67 号土壇

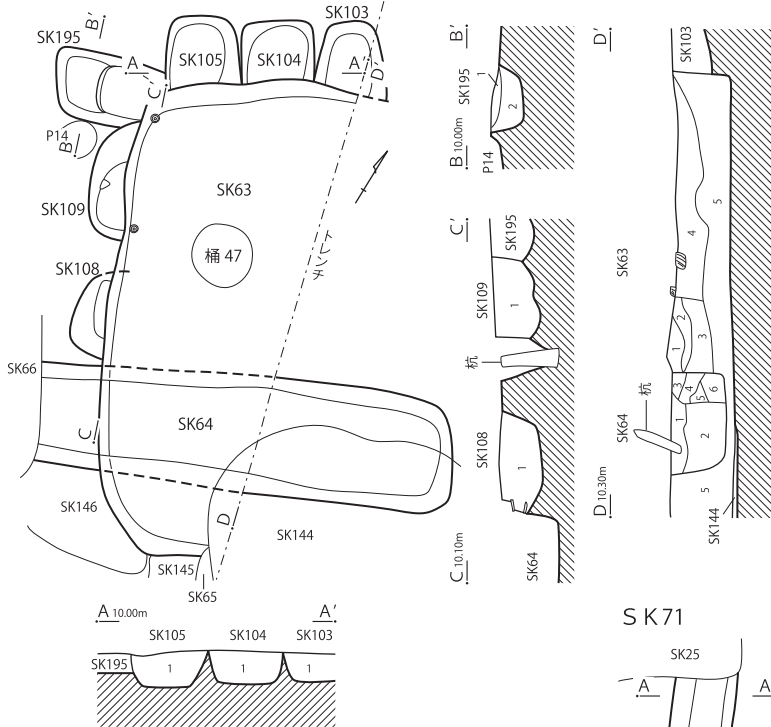
- | | |
|-----------------|---|
| 1 橙褐色土 | 焼土ブロック (φ1~2 cm) 極多量 粘性なし しまりあり |
| 2 灰褐色砂質土 | 鉄粒子 (φ2~3 mm)・炭化物粒子少量 粘性なし しまりあり |
| 3 灰褐色砂質土 | 炭化物・焼土粒子 (φ5~10 mm) 少量 粘性・しまりあり |
| 4 黒褐色砂質土 (炭化物層) | 炭化物 (φ5~10 mm) 極多量 焼土粒子 (φ2~3 mm) 少量 粘性なし しまりあり |
| 5 暗灰褐色土 | 焼土粒子・炭化物粒子 (φ2~3 mm) 含む 木質・陶磁器 含む 粘性・しまりあり |

第 68 号土壇

- | | |
|------------|---|
| 1 灰褐色砂質土 | 焼土粒子 (φ2~3 mm) 少量 粘性なし しまりあり |
| 2 炭化物 | 焼土粒子 (φ2~3 mm) 含む 炭化物粒子 (φ1~2 cm) 極多量 粘性なし しまりあり |
| 3 暗灰褐色砂質土 | 炭化物粒子 (φ5~10 mm) 多量 焼土粒子 (φ2~3 mm) 少量 灰・シルト・木質含む 粘性・しまり弱 |
| 4 灰褐色砂質シルト | 炭化物粒子 (φ2~3 mm)・焼土粒子 (φ2~3 mm)・シルトブロック (φ3~5 mm) 少量 粘性・しまりあり |
| 5 灰褐色砂質シルト | 炭化物粒子 (φ3~5 mm) 含む 焼土粒子 (φ2~3 mm)・シルト粒子 (φ2~3 mm) 少量 粘性・しまりあり |
| 6 灰白色シルト | 褐鉄粒子少量 粘性・しまりあり |

第 103 図 土壇 (7)

S K 63・64・103～105・108・109・195



- 第63号土壌
- 1 明褐色砂質シルト シルト主体 腐食土含む 粘性・しまりあり
 - 2 黒褐色土 腐食土・木質含む 粘性・しまりあり
 - 3 明灰色砂 砂主体 粘性・しまりなし
 - 4 明灰褐色砂質シルト 砂質シルト主体 炭化物ブロック(φ1~2cm)・シルトブロック(φ1~2cm)・褐鉄含む 粘性・しまりあり
 - 5 暗灰褐色砂質シルト 灰色シルトブロック(φ1~2cm)・炭化物粒子(φ2~3cm)少量 木質を含む 粘性・しまりあり

- 第64号土壌
- 1 黒褐色シルト質土(炭化物+焼土) 炭化物粒子(φ5~7mm)極多量 焼土粒子(φ3~17mm)含む シルトブロック少量 粘性・しまりあり
 - 2 暗褐色土(炭化物+焼土) 炭化物粒子(φ3~5mm)極多量 焼土粒子(φ5~7mm)少量 シルト含む 粘性・しまりあり
 - 3 灰褐色砂質シルト 炭化物粒子(φ2~3mm)・炭化物粒子(φ2~3mm)少量 粘性・しまりあり
 - 4 灰褐色砂質シルト 炭化物粒子(φ2~3mm)・シルト少量 粘性・しまりあり
 - 5 明灰褐色砂質土 炭化物粒子(φ1~2mm)少量 粘性あり しまりなし
 - 6 明灰褐色シルト シルト主体 粘性あり しまり弱

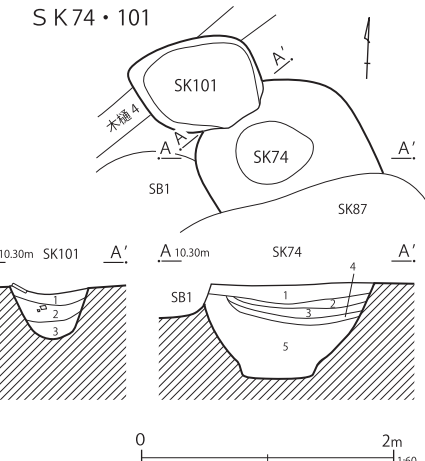
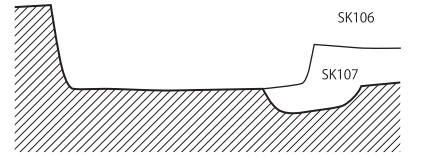
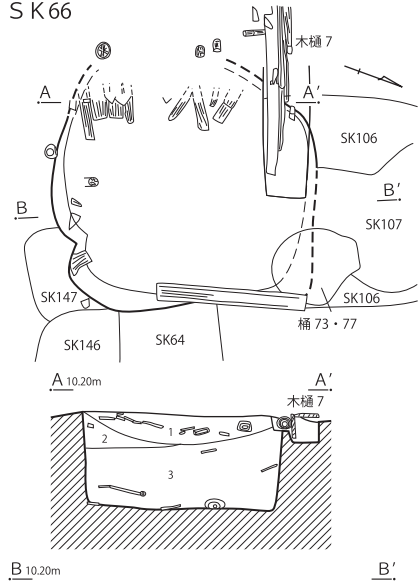
- 第66号土壌
- 1 灰褐色シルト 炭化粒少量 瓦片・材等含む 粘性弱 しまり弱
 - 2 褐色シルト 炭化粒(φ5~20mm)多量 粘性弱 しまりあり
 - 3 暗灰褐色シルト 木片等多量 炭化粒含む 粘性弱

- 第71号土壌
- 1 灰褐色土 灰色粘質土中に炭化木を混在する bは焼土粒子も僅かに混入する
 - 2 赤色土 ほぼ焼土ブロックの純層
 - 3 暗赤褐色土 焼土と炭化木がほぼ同量混入

- 第74号土壌
- 1 明灰褐色砂質シルト 鉄粒子(φ1~2mm)多量 シルト粒子(φ5~10mm)斑状に含む 粘性・しまりあり
 - 2 橙褐色砂質土(焼土+炭層) 焼土粒子(φ3~5mm)・炭化物粒子(φ2~3mm)・シルト粒子(φ5~6mm)含む 粘性あり しまり弱
 - 3 灰褐色シルト 焼土粒子(φ2~3mm)少量 炭化物粒子(φ2~5mm)・φ1~2mm)鉄粒子・砂含む 粘性・しまりあり
 - 4 暗橙褐色シルト質土(焼土+炭層) 炭化物粒子・炭化物ブロック(φ3~15mm)極多量 焼土粒子(φ2~3mm)含む 粘性あり しまりあり
 - 5 暗灰褐色シルト 炭化物粒子(φ2~3mm)少量 粘性あり しまり弱

- 第101号土壌
- 1 灰褐色砂質土 炭化物粒子(φ3~30mm)・焼土粒子(φ2~3mm)・鉄粒子含む 白色粒子(φ5mm)微量 粘性なし しまりあり
 - 2 暗灰褐色砂質土 炭化物粒子(φ5~10mm)層状に多量 砂質シルトの薄い層と互に層になる 鉄粒子(φ1~2mm)多量 木質含む 粘性あり しまり弱
 - 3 暗褐色砂質シルト 炭化物粒子(φ2~10mm)・鉄粒子(φ1~2mm)少量 粘性なし しまりあり

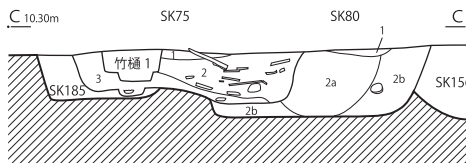
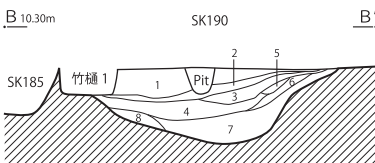
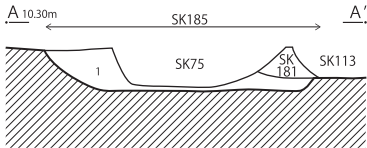
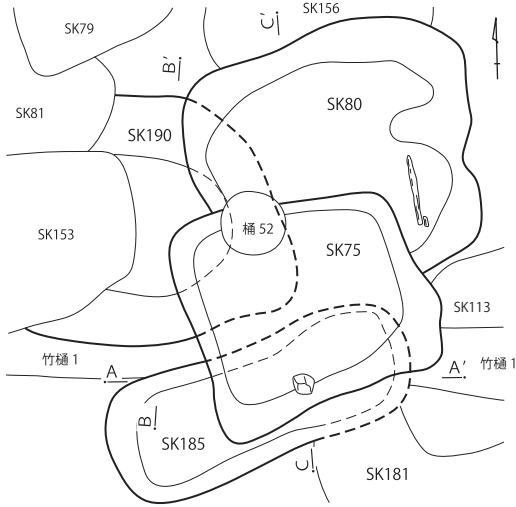
S K 66



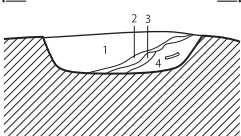
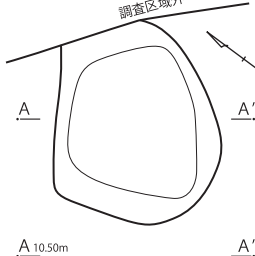
- 第103号土壌
- 1 暗褐色砂質シルト 炭化物粒子(φ2~3mm)・シルトブロック(φ1~5cm)・鉄粒子(φ1~2mm)多量 粘性・しまりあり
- 第104号土壌
- 1 暗褐色砂質シルト 炭化物粒子(φ3~10mm)・シルトブロック(φ1~5cm)多量 鉄粒子(φ1~2mm)少量 下層に木質含む 粘性・しまりあり
- 第105号土壌
- 1 暗灰褐色シルト質土 炭化物粒子(φ3~15mm)・鉄粒子(φ2~3mm)・シルトブロック(φ1~2cm)・木質含む 粘性・しまりあり
- 第108号土壌
- 1 暗灰褐色シルト質土 炭化物粒子(φ3~10mm)含む 焼土粒子(φ2~3mm)少量 シルトブロック(φ2~3cm)多量 粘性あり しまり弱
- 第109号土壌
- 1 暗灰褐色シルト質土 炭化物粒子(φ2~3mm)少量 シルトブロック(φ2~5cm)含む 粘性あり しまり弱
- 第195号土壌
- 1 明灰色シルト 炭化物粒子(φ2~3mm)含む しまり・粘性あり
 - 2 暗灰色シルト 灰褐色シルトブロック(φ2~3cm・未風化)多量 炭化物微量 粘性弱 しまりあり

第104図 土壌(8)

SK75・80・185・190



SK77



第77号土壌

- 1 赤褐色土
- 2 赤色土
- 3 赤褐色土
- 4 黄褐色土

焼土ブロック純層 炭化木微量
被熱壁土ブロックの純層
焼土ブロック純層 炭化木多量
焼土粒子微量

第78号土壌

- 1 褐色土
- 2 灰褐色砂質シルト
- 3 暗灰褐色砂質シルト
- 4 灰褐色砂質シルト

多量の焼土ブロックと炭化木で構成 瓦・陶磁器混入
炭化物粒子(φ3~5mm)・褐鉄粒子含む シルト粒子(φ3~5mm)多量 砂少量 粘性・しまりあり
炭化物粒子(φ5~7mm)・木質・砂含む シルト粒子(φ5~10mm)多量 褐鉄粒子少量 粘性あり
しまり弱
炭化物粒子(φ3~5mm)・褐鉄粒子少量 シルト粒子(φ5~7mm)多量 砂含む 粘性・しまりあり

第80号土壌

- 1 灰色粘質土
- 2 褐色土

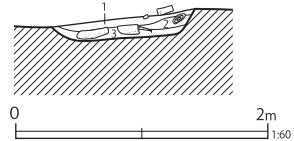
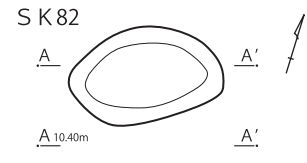
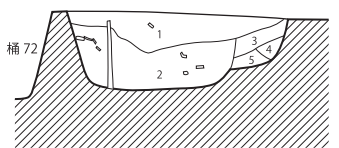
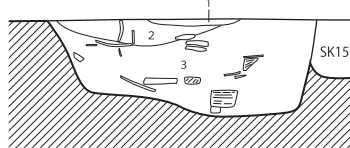
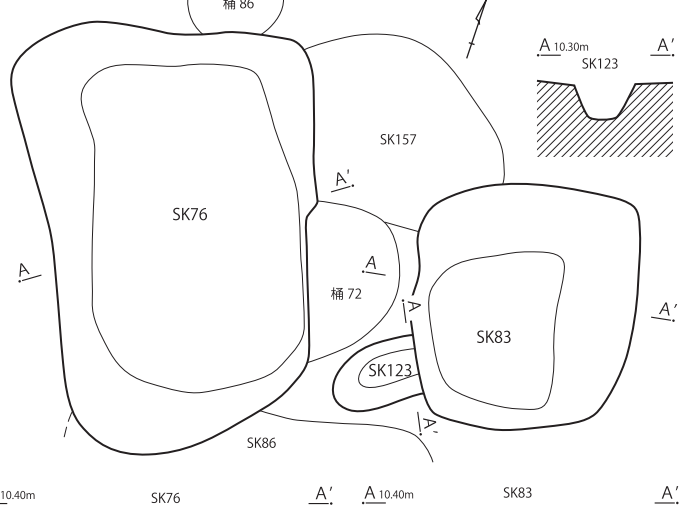
僅かに炭化木・焼土粒子混入 地山土で埋戻し
焼土ブロック主体 瓦・陶磁器
aは焼けた壁土を多量に混入する

第82号土壌

- 1 黒褐色土
- 2 暗褐色土
- 3 黄褐色土

炭化物ブロック斑に混入 粘性なし しまり強
木片混入 粘性弱 しまり強
炭化物少量 粘性弱 しまり弱

SK76・83・123



第75号土壌

- 1 暗褐色土
- 2 褐灰色土
- 3 暗黒褐色土

木片多量
砂質粘土で構成 木片(主に板材)多量
粘土ブロックと砂質土で構成
灰・陶磁器微量

第76号土壌

- 1 灰色粘質土
- 2 褐色土
- 3 褐色土

炭化物微量 地山土で埋戻し
焼土ブロック・炭化木・遺物が混在
板材の出土が顕著
2層と同じだが焼土ブロックが少ない

第83号土壌

- 1 灰褐色シルト質土
- 2 暗褐色シルト質土
- 3 明灰褐色砂質シルト
- 4 黒褐色シルト質土
- 5 明灰色砂質土

黄褐色粒子(φ1~2mm)少量 灰白色シルトブロック(φ1~10cm)斑状に含む
木質・瓦を含む 粘性・しまりあり
シルト少量 腐蝕した木質多量 炭化物粒子(φ1~3cm)・瓦・木質(板材)含む 粘性あり しまりなし
シルト(φ1~2mm)含む 炭化物粒子(φ1~2mm)少量 粘性・しまりあり
炭化物・木質極多量 シルト粒子(φ2~5mm)少量 粘性・しまりあり
炭化物粒子(φ2~3mm)少量 粘性・しまりなし

第185号土壌

- 1 橙褐色シルト質土

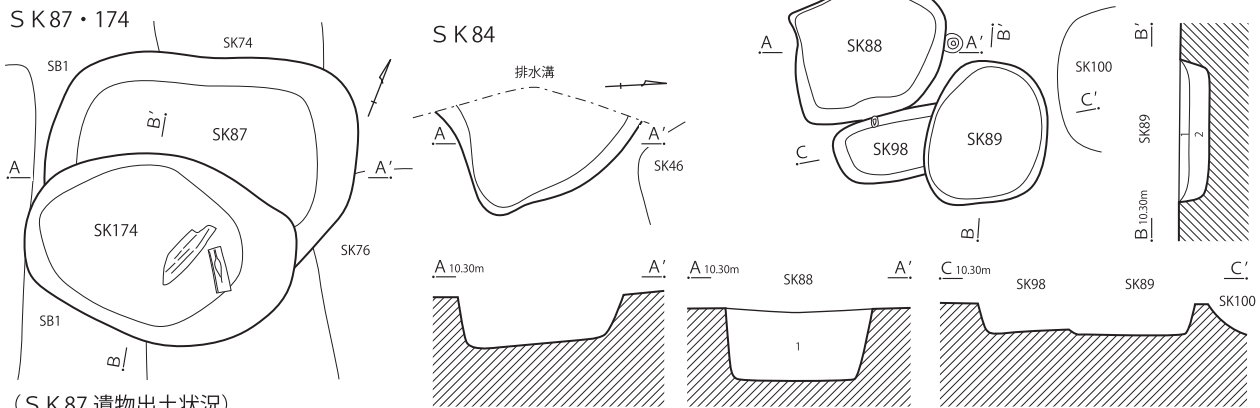
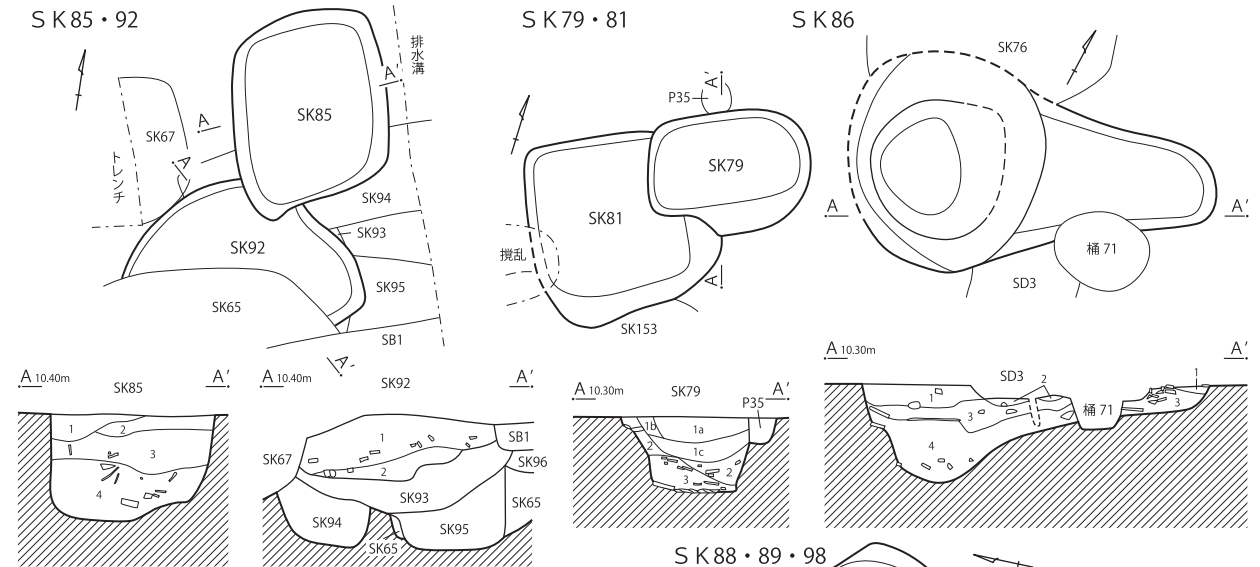
炭化物ブロック・焼土ブロック(φ3~5cm)の混合層
シルト粒子(φ2~20mm)少量 粘性なし しまり極弱

第190号土壌

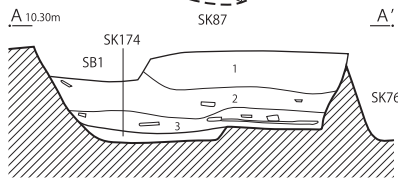
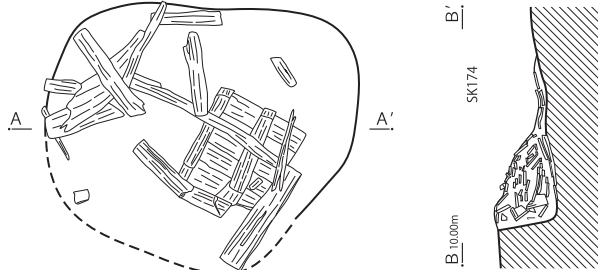
- 1 灰色土
- 2 黄灰色砂
- 3 暗褐色土
- 4 黒褐色土
- 5 黒褐色土
- 6 黄灰色土
- 7 黒褐色土
- 8 黒褐色土

黄色土を霜降り状に混入する 微量の炭化木・砂粒混入
砂の純層であり、上面は鉄分が付着して硬化
焼土粒子を多量に含み赤化 炭化物・砂粒含む
炭化物多量 砂粒少量
均質な層 砂粒多量 色調やや明るい
粘質土で構成され、混入物は極めて少ない
多量の砂粒を含むが、比較的均質な層
多量の砂粒を含むが、比較的均質な層 7層より多くの砂粒を混入する

第105図 土壌(9)



(SK 87 遺物出土状況)

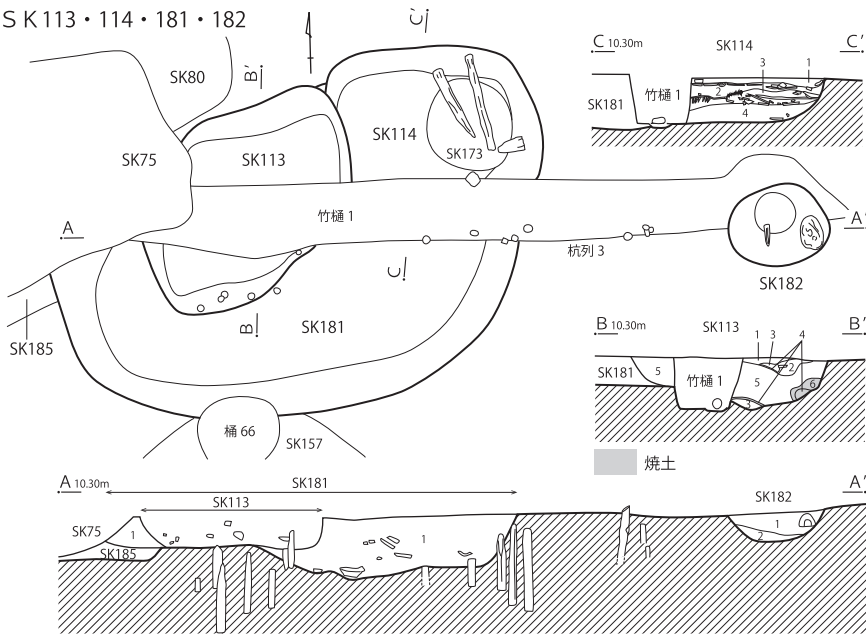


- 第 79 号土壙
1 灰褐色土
炭化木・焼土粒子微量 砂塊が酸化して褐色を呈している
粘土ブロック斑に含む 炭化木少量 地山土で埋戻す
bは灰色の度合いが強い cは淡い黒灰色を呈する
比較的多くの炭化木が混入
2層よりも多く炭化木を含む 板材・タガなど多量
- 第 85 号土壙
1 橙褐色土
焼土層 焼土粒子 (φ3~5mm) 極多量 砂含む
下層に炭化物薄層 粘性なし しまり強
2 明灰褐色砂質土
炭化物粒子 (φ2~3mm) 少量 シルト粒子 (φ3~5mm)
含む 下層に鉄粒子含む 粘性なし しまりあり
3 灰褐色砂質シルト
炭化物粒子 (φ2~10mm) 含む 灰色シルトブロック
少量 粘性なし しまりあり
4 暗灰褐色シルト質土
炭化物粒子 (φ3~5mm)・木質多量 鉄粒子 (φ2~3mm)
少量 砂含む 粘性あり しまり弱

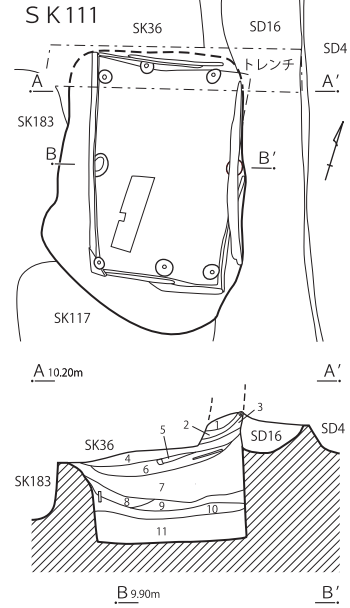
- 第 86 号土壙
1 灰褐色砂質シルト
鉄粒子 (φ2~5mm)・炭化物粒子 (φ2~3mm) 含む
シルト粒子 (φ5~6mm) 少量 粘性あり しまりなし
2 灰色砂質土
シルト含む 炭化物粒子 (φ1~2mm) 少量
粘性なし しまり強
3 灰褐色砂質土
鉄粒子・炭化物粒子 (φ2~3mm) 少量 シルト・木質
含む 粘性・しまりあり
4 暗灰褐色シルト質土
腐植土主体 シルトブロック (φ5~6cm) 少量
粘性なし しまり極弱
- 第 87 号土壙
1 灰褐色砂質シルト
シルトブロック (φ1~2cm) 斑状に多量・砂多量
炭化物粒子 (φ2~20mm)・鉄粒子 (φ1~3mm) 少量
粘性・しまりあり
2 灰褐色砂質シルト
シルト粒子 (φ5~10mm) 斑状に多量 炭化物粒子
(φ2~5mm) 少量 砂多量 鉄粒子含む
粘性・しまりあり
3 暗灰褐色シルト
炭化物粒子 (φ2~3mm) 少量
砂・鉄粒子含む 粘性あり しまり弱
- 第 88 号土壙
1 明灰色砂
粘性・しまりなし
- 第 89 号土壙
1 暗灰褐色シルト
炭化物粒子 (φ2~5mm) 含む 鉄粒子 (φ1~2mm)
多量 粘性極弱 しまりあり
2 明灰褐色砂質シルト
シルト+砂の混合層 炭化物粒子 (φ3~5mm)
含む シルト粒子 (φ3~5mm) 斑状に含む
橙色粒子 (φ3~5mm) 少量 粘性弱 しまりあり
- 第 92 号土壙
1 灰褐色砂質シルト
炭化物ブロック (φ5~20mm) 上層に含む 焼土粒子
(φ5~10mm) 少量 シルトブロック (φ5~20mm)
多量 下層に鉄粒子・瓦多量 粘性なし しまりあり
鉄粒子含む 粘性・しまりなし
2 灰褐色砂
- 第 174 号土壙
1 灰褐色砂質シルト
シルトブロック (φ2~3cm) 斑状に多量
砂・鉄粒子含む 粘性弱 しまりなし

第 106 図 土壙 (10)

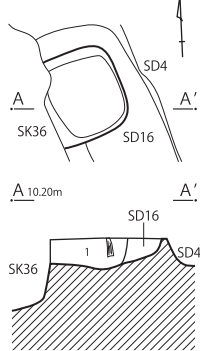
S K 113・114・181・182



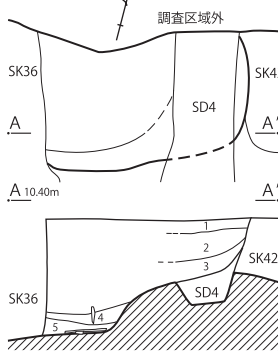
S K 111



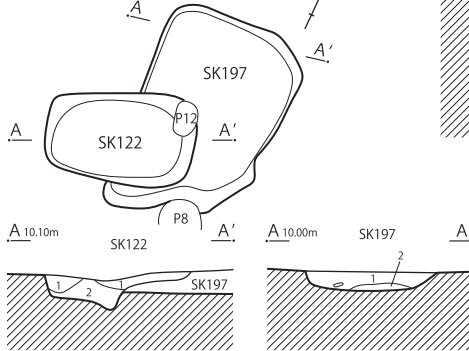
S K 119



S K 120



S K 122・197



第 111 号土壌

- 1 灰褐色シルト
- 2 黒色シルト
- 3 灰色シルト
- 4 暗灰褐色砂質シルト
- 5 灰色土
- 6 暗褐色砂質シルト
- 7 暗灰褐色シルト
- 8 灰色砂質シルト
- 9 暗灰褐色シルト
- 10 明灰色シルト
- 11 灰色砂質シルト

- 炭化物粒 (φ2~3mm) 含む 粘性あり しまり弱
 炭化物粒 (φ2~5mm) 多量 粘性あり しまり弱
 白色粒・漆喰多量 粘性あり しまり弱
 炭化物粒子 (φ2~3mm) 含む 褐鉄粒子 (φ2~3mm) 少量
 粘性・しまりあり
 3層にほぼ同じ
 炭化物粒子 (φ3~10mm)・焼土粒子 (φ5~10mm)
 含む 腐食した木質多量 粘性・しまりなし
 炭化物粒子 (φ2~3mm)・焼土粒子 (φ5mm) 少量
 粘性・しまりあり
 炭化物粒子 (φ2~3mm) 少量 粘性・しまりあり
 炭化物粒子 (φ2~5mm) 含む 焼土粒子 (φ2~3mm)
 少量 粘性強 しまり弱
 炭化物粒子 (φ2~5mm) 少量 シルトブロック
 (φ5~30mm) 含む 粘性強 しまり弱
 炭化物粒子 (φ3~5mm) 少量 粘性強 しまり弱

第 113 号土壌

- 1 灰褐色砂質シルト
- 2 暗褐色砂質シルト
- 3 灰色シルト
- 4 黒褐色シルト質土
- 5 橙灰褐色砂質シルト

- 焼土粒子 (φ3~7mm)・シルト粒子 (φ2~5mm) 含む
 砂多量 粘性なし しまりあり
 焼土含まずシルト主体 砂・鉄粒子含む
 粘性・しまりあり
 鉄粒子含む 粘性・しまりあり
 炭化物層 粘性なし しまりあり
 斑状に含む 焼土粒子 (φ5~30mm) 多量 炭化物粒子 (φ3~20mm)
 斑状に含む シルトブロック・砂を含む
 粘性・しまりあり
 灰を含む 粘性なし しまり極強 焼けて硬化

第 114 号土壌

- 1 灰褐色砂質土
- 2 灰褐色砂質土
- 3 明灰褐色砂質シルト
- 4 橙灰褐色シルト質土

- 焼土粒子 (φ3~5mm) 含む シルト粒子 (φ3~5mm)
 斑状に少量 粘性なし しまりあり
 炭化物粒子 (φ2~3mm) 少量 シルト粒子 (φ3~5mm)
 斑状に含む 木製品多量 粘性あり しまり極弱
 炭化物粒子 (φ2~5mm)・鉄粒子含む
 粘性・しまりあり
 焼土粒子 (φ5~15mm) 多量 炭化物粒子 (φ3~5mm)
 ・シルトブロック含む 木製品・瓦多量 粘性・しまりあり

第 119 号土壌

- 1 橙褐色砂質シルト (焼土・炭の混合層) 焼土ブロック (φ5~25mm)・シルトブロック (φ5~30mm) 多量 炭化物ブロック (φ3~20mm) 含む 粘性極弱 しまりあり

第 120 号土壌

- 1 明灰褐色砂質土 砂主体 シルト粒子 (φ2~5mm)・鉄粒子含む 粘性なし しまりあり
- 2 灰褐色シルト質土 炭化物粒子 (φ2~5mm)・焼土粒子 (φ2~3mm)・シルト粒子 (φ5~7mm) 少量 鉄粒子含む 粘性・しまりあり
- 3 灰褐色シルト質土 炭化物粒子 (φ5~10mm) 多量 鉄粒子 (φ3~5mm) 焼土含む 下層に鉄粒子を含む砂が多量 粘性・しまりあり
- 4 明灰褐色砂質土 砂主体 シルトブロック (φ7~50mm) 少量 鉄粒子含む 粘性なし しまり弱
- 5 暗灰色シルト 明灰色シルト (φ3~25mm・φ5~10mm)・炭化物粒子少量 粘性強 しまり弱

第 122 号土壌

- 1 暗灰褐色砂質シルト 炭化物粒子 (φ2~3mm) 少量 腐食有機物多量 鉄粒子多量 粘性あり しまり弱

第 181 号土壌

- 1 暗灰褐色砂質シルト 炭化物ブロック (φ1~5cm) 含む 焼土粒子 (φ2~15mm) 少量 橙土土粒子 (φ2~3mm) 多量 粘性・しまりあり

第 182 号土壌

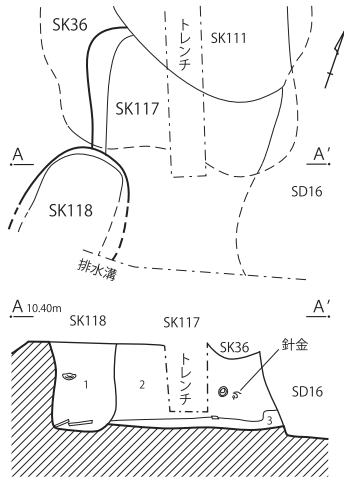
- 1 灰褐色砂質シルト 褐鉄粒子 (φ3~5mm) やや多量 炭化物粒子 (φ2~10mm) 少量 粘性なし しまりあり
- 2 砂層 粘性・しまりなし

第 197 号土壌

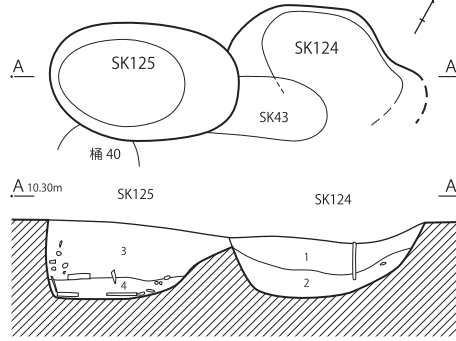
- 1 暗褐色砂質シルト 炭化物粒子 (φ3~5mm) 含む 焼土粒子 (φ2~3mm)・鉄粒子少量 粘性・しまりあり
- 2 灰褐色砂質土 シルト粒子 (φ5~10mm) 含む 炭化物粒子 (φ2~5mm) 少量 粘性極弱 しまり弱

第 108 図 土壌 (12)

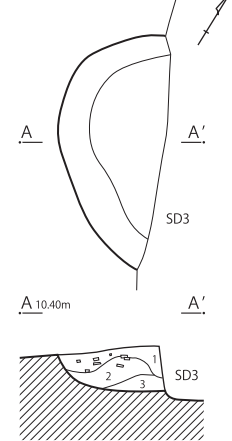
S K 117・118



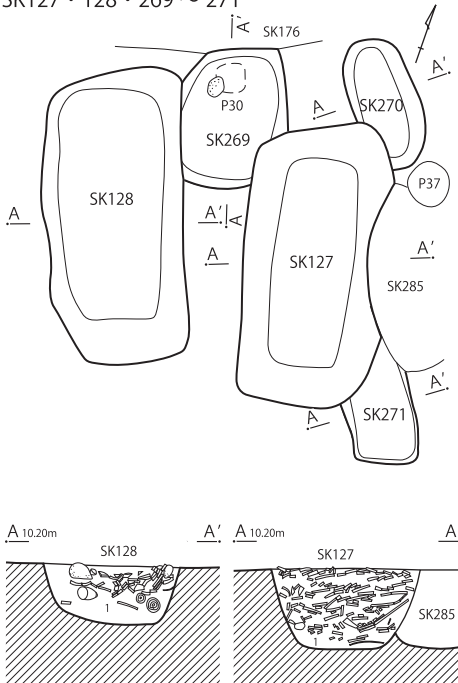
S K 124・125



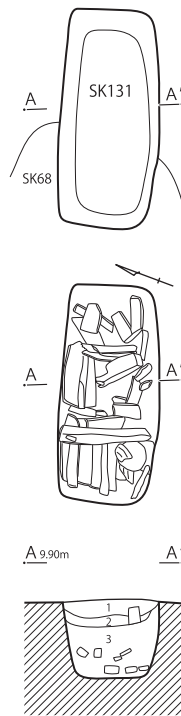
S K 130



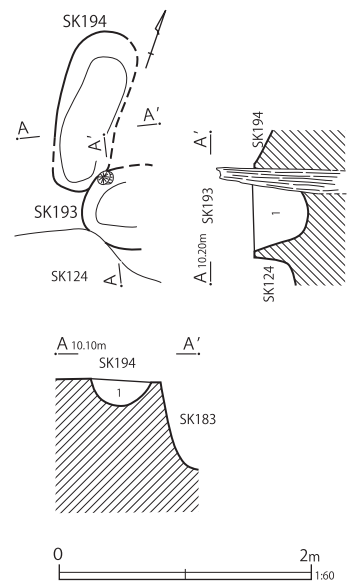
SK127・128・269～271



S K 131



S K 193・194



第 117・118 号土壌

- 1 褐灰色シルト 炭化物・木片多量 焼土粒子少量 粘性弱 しまりあり (SK118)
- 2 灰褐色シルト 炭化物・灰白色シルトブロック (φ1～3 cm) 多量 粘性弱・しまり (SK117)
- 3 暗灰色シルト 炭化物粒少量 灰白色シルトブロック多量 粘性・しまり弱 (SK117)

第 124・125 号土壌

- 1 灰褐色砂質土 焼土粒子 (φ2～3 mm) 少量 炭化物粒子含む シルト粒子 (φ3～5 mm) 少量 粘性あり しまり弱 (SK124)
- 2 暗灰褐色砂質シルト 炭化物粒子 (φ5～7 mm) 多量 焼土粒子 (φ2～3 mm)・シルト粒子 (φ5～7 mm) 含む 粘性・しまりあり (SK124)
- 3 灰褐色砂質シルト 炭化物粒子 (φ3～7 mm) 多量 焼土粒子 (φ3～5 mm) 少量 シルト粒子 (φ5～10 mm) 含む 3 cm厚の炭化物粒子を層状に2～3枚含む 粘性・しまりあり (SK125)
- 4 暗灰褐色シルト 炭化物粒子 (φ2～5 mm)・灰色シルト粒子 (φ5～10 mm) 少量 粘性あり しまり極弱 (SK125)

第 127 号土壌

- 1 混瓦土

第 128 号土壌

- 1 混瓦土

第 130 号土壌

- 1 暗灰褐色砂質シルト 炭化物粒子 (φ2～5 mm) 多量 木質含む 粘性なし しまりあり
- 2 灰褐色砂質土 炭化物粒子 (φ3～5 mm) 多量 木質含む 粘性なし しまりあり
- 3 灰褐色砂 シルト含まない 粘性・しまりなし

第 131 号土壌

- 1 暗灰褐色砂質シルト 炭化粒・焼土粒含む 灰白色粒 (φ5 mm) 多量 木片・土器・磁器片少量 粘性・しまり弱
- 2 灰褐色砂質シルト 炭化物粒少量 木片・土器・磁器片少量 粘性・しまり弱
- 3 黄灰色土 木製品含む

第 193 号土壌

- 1 明灰色砂質土 炭化物粒子 (φ2～3 mm) 少量 鉄粒子含む 粘性・しまりなし

第 194 号土壌

- 1 暗灰褐色砂質シルト 炭化物粒 (φ2～3 cm・未風化) 含む 灰褐色砂質シルトブロック (φ2 cm)・班状の鉄分 (φ1 cm以下) 含む 粘性・しまり弱

第 269 号土壌

- 1 褐色土 酸化鉄粒子斑に混入
- 2 明黒褐色土 暗灰色土と炭化木少量斑に混入

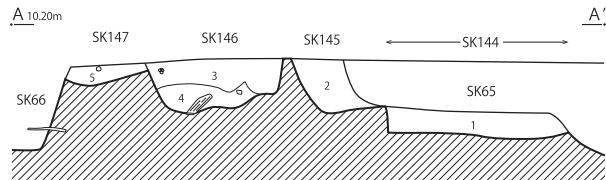
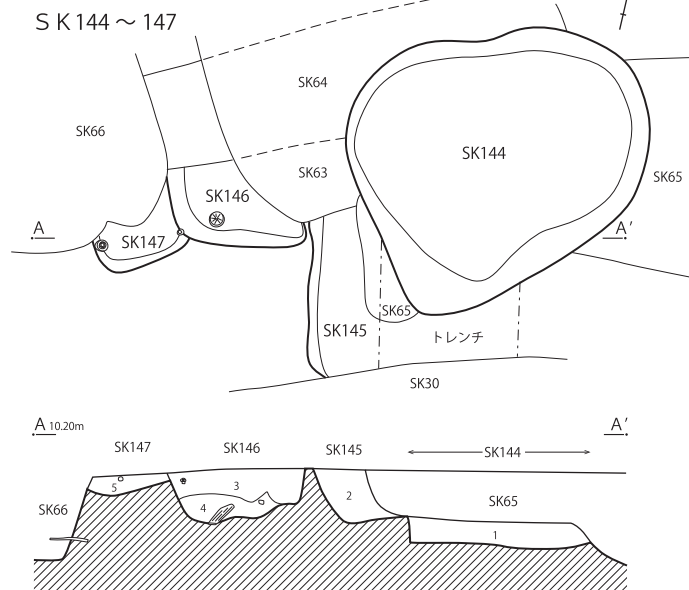
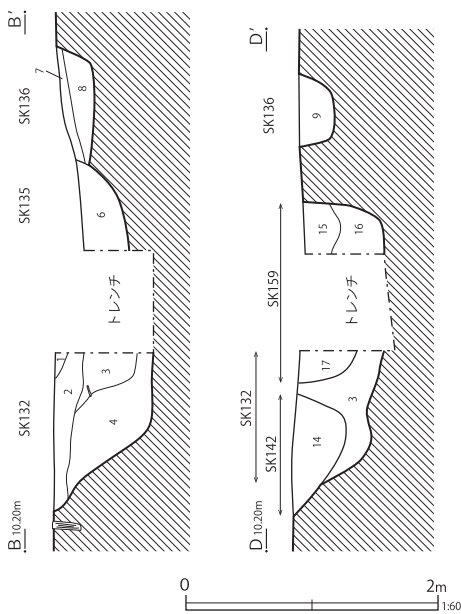
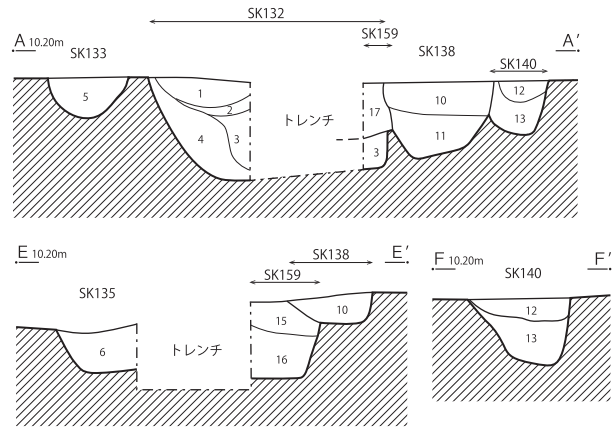
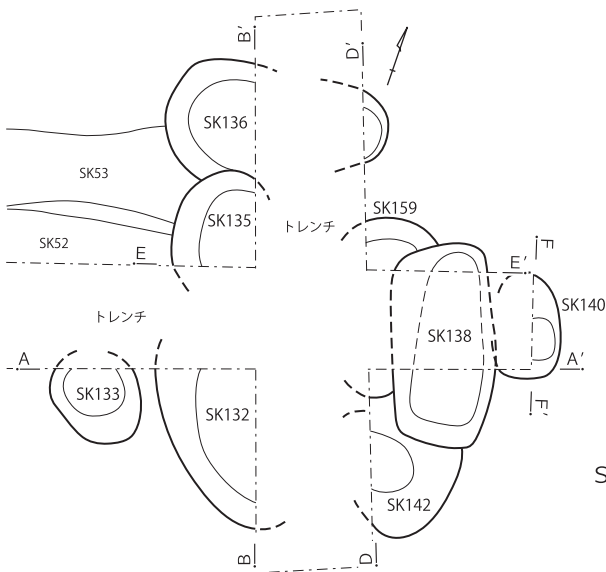
第 270 号土壌

- 1 褐色粘質土 混入物なし

第 271 号土壌

- 1 黒褐色土 灰色砂ブロック混入 炭化物少量

第 109 図 土壌 (13)



第 132・133・135・136・138・140・142・159号土壌

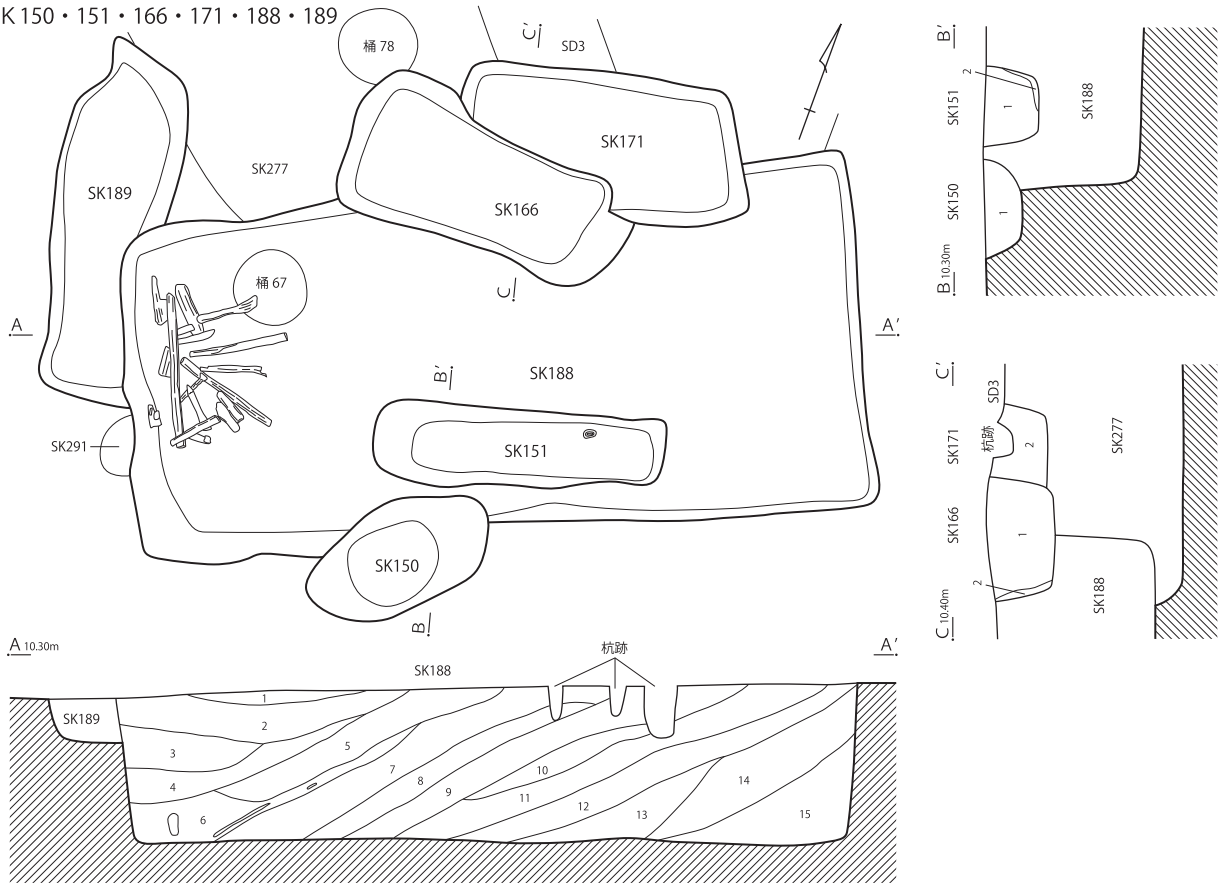
- 1 暗灰褐色砂質シルト シルト粒子(φ3~10mm)斑状に多量 炭化物粒子(φ3~5mm)・鉄粒子(φ2~3mm)含む 粘性弱 しまりあり (SK132)
- 2 暗灰褐色砂質シルト シルトブロック(φ5~30mm)斑状に極多量 炭化物粒子(φ5~20mm)少量 粘性弱 しまりあり (SK132)
- 3 灰褐色砂質シルト シルトブロック(φ5~20mm)斑状に極多量 炭化物粒子(φ2~3mm)・鉄粒子(φ2~3mm)少量 粘性弱 しまりあり (SK132)
- 4 暗灰褐色砂質シルト シルトブロック(φ5~10mm)斑状に含む 炭化物粒子(φ5~10mm)少量 鉄粒子(φ2~3mm)含む 粘性・しまりあり (SK132)
- 5 暗灰褐色砂質シルト シルト粒子(φ3~7mm)斑状に少量 炭化物粒子(φ5~15mm)・鉄粒子(φ1~2mm)含む 粘性・しまりあり (SK133)
- 6 暗灰褐色砂質シルト シルト主体 炭化物(φ3~10mm)含む 粘性・しまりあり (SK135)
- 7 暗灰褐色砂質シルト 炭化物(φ5~10mm)含む 粘性あり しまり弱 (SK136)
- 8 暗灰褐色砂質シルト 炭化物(φ2~3mm)少量 粘性弱 しまりあり (SK136)
- 9 暗灰褐色砂質シルト 灰色シルトブロック(φ5~15mm)斑状に多量 炭化物粒子(φ2~3mm)・鉄粒子少量 粘性・しまりあり (SK136)
- 10 暗灰褐色砂質シルト シルト粒子(φ5~15mm)斑状に多量 炭化物粒子(φ5~15mm)多量 鉄粒子(φ2~3mm)・木質含む 粘性あり しまりなし (SK138)
- 11 砂質土 鉄粒子含む 粘性なし しまり強 (SK138)
- 12 暗灰褐色砂質シルト シルト粒子(φ3~10mm)含む 炭化物粒子(φ2~3mm)・鉄粒子(φ2~3mm)少量 粘性なし しまり強 (SK140)
- 13 明灰褐色砂質土 鉄粒子含む シルトを含まない 粘性なし しまり強 (SK140)
- 14 明灰褐色砂質シルト シルト粒子(φ3~10mm)含む 炭化物(φ5~10mm)少量 粘性弱 しまり強 (SK142)
- 15 灰褐色砂質シルト シルト粒子(φ5~10mm)斑状に多量 炭化物粒子(φ2~3mm)少量 鉄粒子・砂多量 粘性弱 しまりあり (SK159)
- 16 明褐色砂質シルト 炭化物(φ2~3mm)含む 鉄粒子・砂少量 粘性あり しまり弱 (SK159)
- 17 灰褐色砂質シルト シルト粒子(φ3~5mm)含む 炭化物粒子(φ2~3mm)・鉄粒子(φ2~3mm)少量 粘性なし しまりあり (SK159)

第 144 ~ 147 号土壌

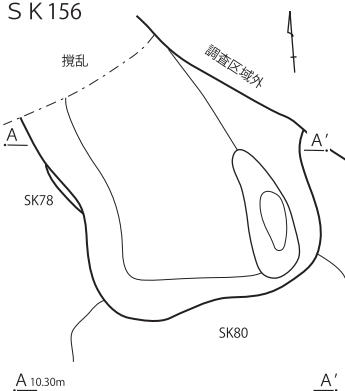
- 1 暗褐色砂質シルト 炭化物粒子(φ3~10mm)多量 焼土粒子(φ5~10mm)少量 粘性・しまりあり (SK144)
- 2 暗灰褐色砂質シルト 炭化物粒子(φ3~7mm)多量 シルト粒子(φ3~5mm)斑状に多量 黄褐色粒子少量 炭化材含む 粘性弱 しまりあり (SK145)
- 3 暗灰褐色砂質シルト 炭化物粒子(φ5~10mm)・黄褐色粒子(φ2~5mm)・鉄粒子含む 焼土粒子(φ3~15mm)少量 シルト粒子(φ5~10mm)斑状に多量 木質多量 しまり弱 (SK146)
- 4 灰褐色砂質シルト シルトブロック(φ5~20mm)斑状に多量 砂・シルトの混合層 粘性あり しまり弱 (SK146)
- 5 暗灰褐色砂質シルト 炭化物粒子(φ2~3mm)少量 黄褐色粒子(φ3~5mm)含む 粘性・しまりあり (SK147)

第 110 図 土 壌 (14)

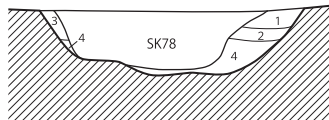
S K 150・151・166・171・188・189



S K 156



A 10.30m



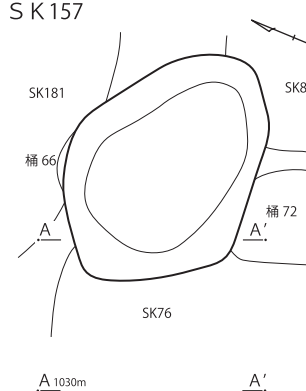
第 150・151 号土壌

- 1 暗灰色土 瓦主体 焼土(壁土)は殆んど含まない 粘性弱
- 2 暗灰色シルト 炭化物多量 瓦細片含む 粘性弱 しまりあり

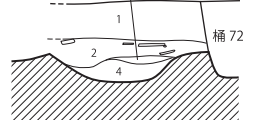
第 156 号土壌

- 1 灰褐色砂質シルト 炭化物粒子(φ1~2mm)・鉄粒子少量 シルト粒子(φ5~7mm) 多量 砂含む 粘性なし しまりあり
- 2 灰褐色砂質シルト 炭化物粒子(φ3~5mm)・鉄粒子含む シルト粒子(φ3~5mm) 多量 砂少量 粘性・しまりあり
- 3 灰褐色砂質土 砂主体 炭化物粒子(φ2~3mm)・シルト粒子(φ2~3mm)・鉄粒子少量 粘性なし しまりあり
- 4 灰褐色砂質シルト 炭化物粒子(φ3~5mm)・鉄粒子少量 シルト粒子(φ5~7mm) 多量 砂含む 粘性・しまりあり

S K 157



A 10.30m



0 2m 1:60

第 157 号土壌

- 1 灰褐色砂質シルト 炭化物粒子(φ2~7mm)多量 鉄粒子(φ3~5mm)・焼土粒子(φ2~5mm)少量 粘性なし しまり強
- 2 暗褐色砂質シルト 炭化物粒子(φ2~5mm)・鉄粒子(φ2~3mm)・焼土粒子(φ1~2mm)少量 木質多量 粘性あり しまり弱
- 3 橙褐色砂質シルト 炭化物粒子(φ3~10mm)多量 鉄粒(φ2~5mm)少量 焼土粒子(φ3~5mm)多量 粘性・しまりあり
- 4 灰褐色砂質シルト 炭化物粒子(φ2~3mm)・鉄粒子(φ2~3mm)・焼土粒子(φ2~5mm)少量 粘性なし しまりあり

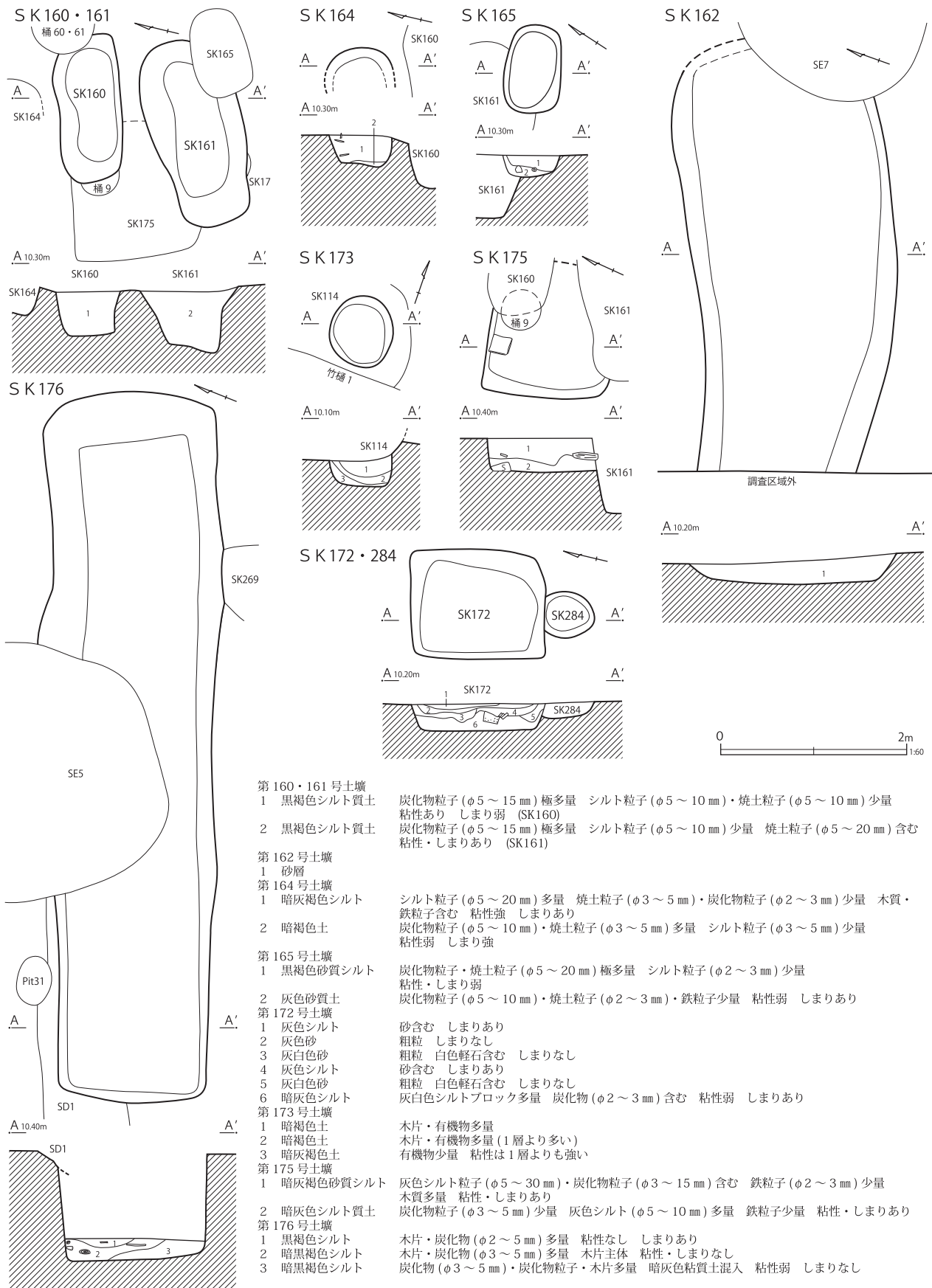
第 166・171 号土壌

- 1 暗灰色土 瓦主体 焼土(壁土)は殆んど含まない 瓦の間の暗灰色土はシルト質 粘性弱
- 2 灰色土 砂 粗い砂+灰白色シルトブロック(φ1~5cm・未風化) 粒径はまばら 埋戻し しまりなし

第 188 号土壌

- 1 暗灰色粘質土 炭化物(φ3~5cm)多量 しまりあり
- 2 暗灰色シルト 焼土(壁土)ブロック(φ3cm)多量 炭化物(φ3cm)含む しまりなし
- 3 暗灰褐色シルト 焼土(壁土)ブロック・灰多量 しまり弱
- 4 灰褐色シルト 焼土(壁土)ブロック・灰多量
- 5 赤褐色土 焼土ブロック(壁土)(φ3cm前後)からなる炭化物(竹)多量 しまりあり
- 6 黒色炭化物 壁土含む 炭は竹が炭化したものが主体 炭化木片含む しまりあり
- 7 灰褐シルト 焼土ブロック(壁土φ3cm以下)・灰褐色シルト(地山土)ブロック含む しまりあり
- 8 赤褐色土 焼土(壁土)ブロック層 しまりあり
- 9 暗褐色シルト 焼土(壁土)ブロック(φ3~5cm)含む 炭化物(竹)・灰含む
- 10 褐色シルト 焼土(壁土)ブロック(φ3~5cm)含む 炭化物(竹)・灰多量
- 11 赤褐色土 焼土ブロック(壁土)・炭主体 炭は竹 しまりあり
- 12 黒色炭化物層 炭化物はφ3cm前後 しまりあり
- 13 黒色土 炭化物ブロック(φ5~10cm)多量 しまりあり
- 14 赤褐色土 焼土ブロック(壁土)多量 φ10cm程度の壁材とわかるものも多い
- 15 黒色土 炭化物ブロック(φ5~10cm)多量

第 111 図 土壌 (15)

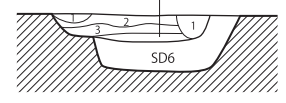
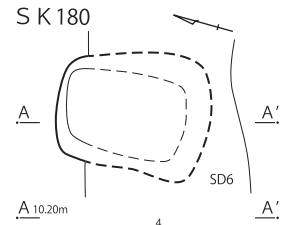
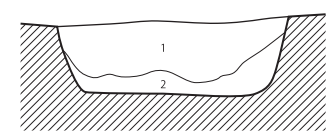
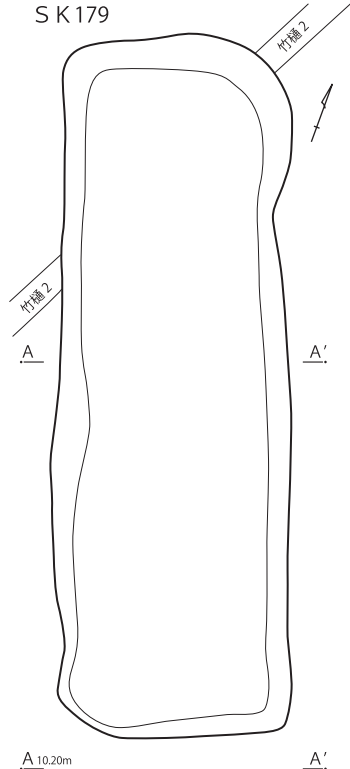
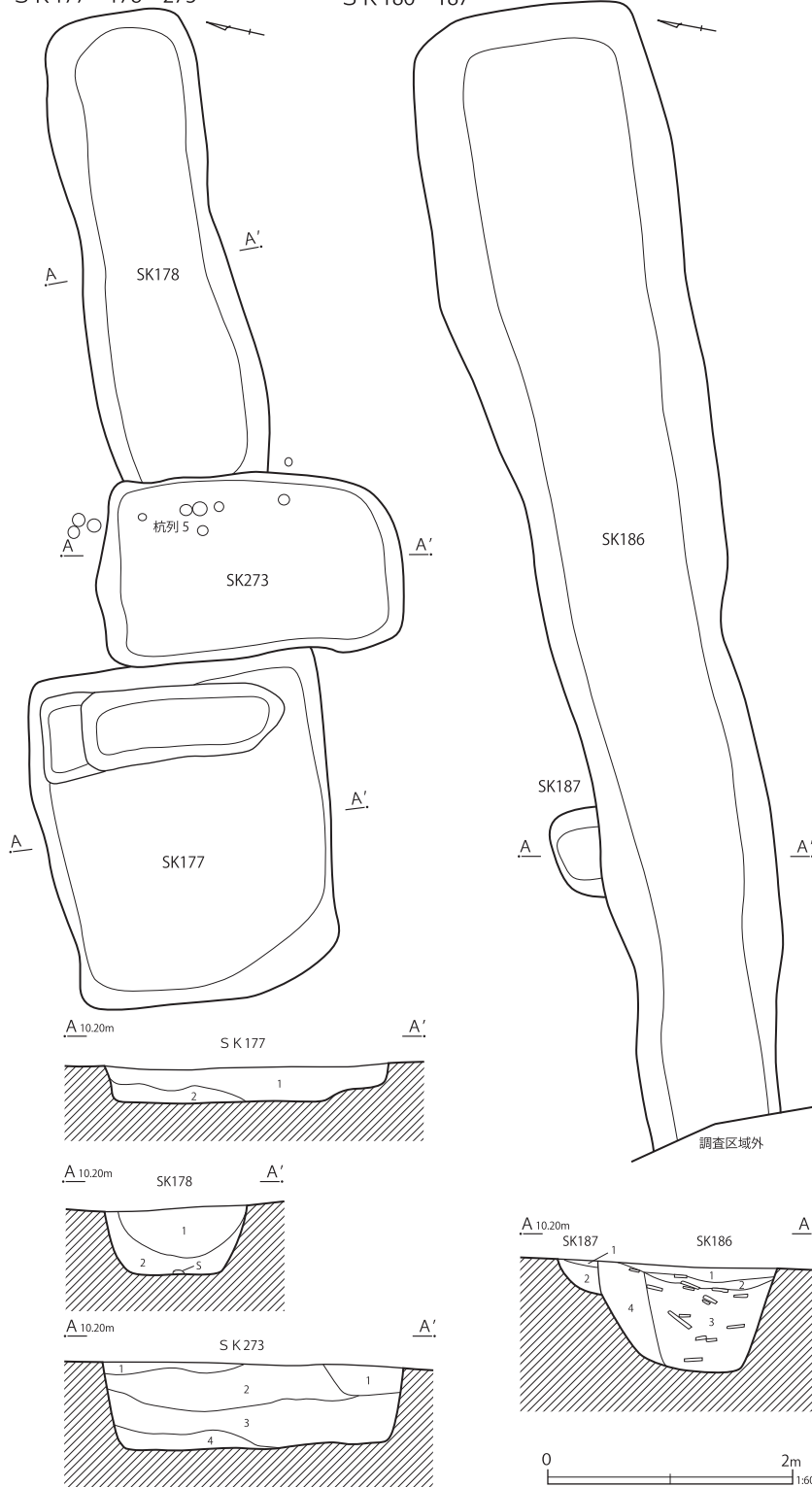


第 112 図 土壌 (16)

S K 177・178・273

S K 186・187

S K 179

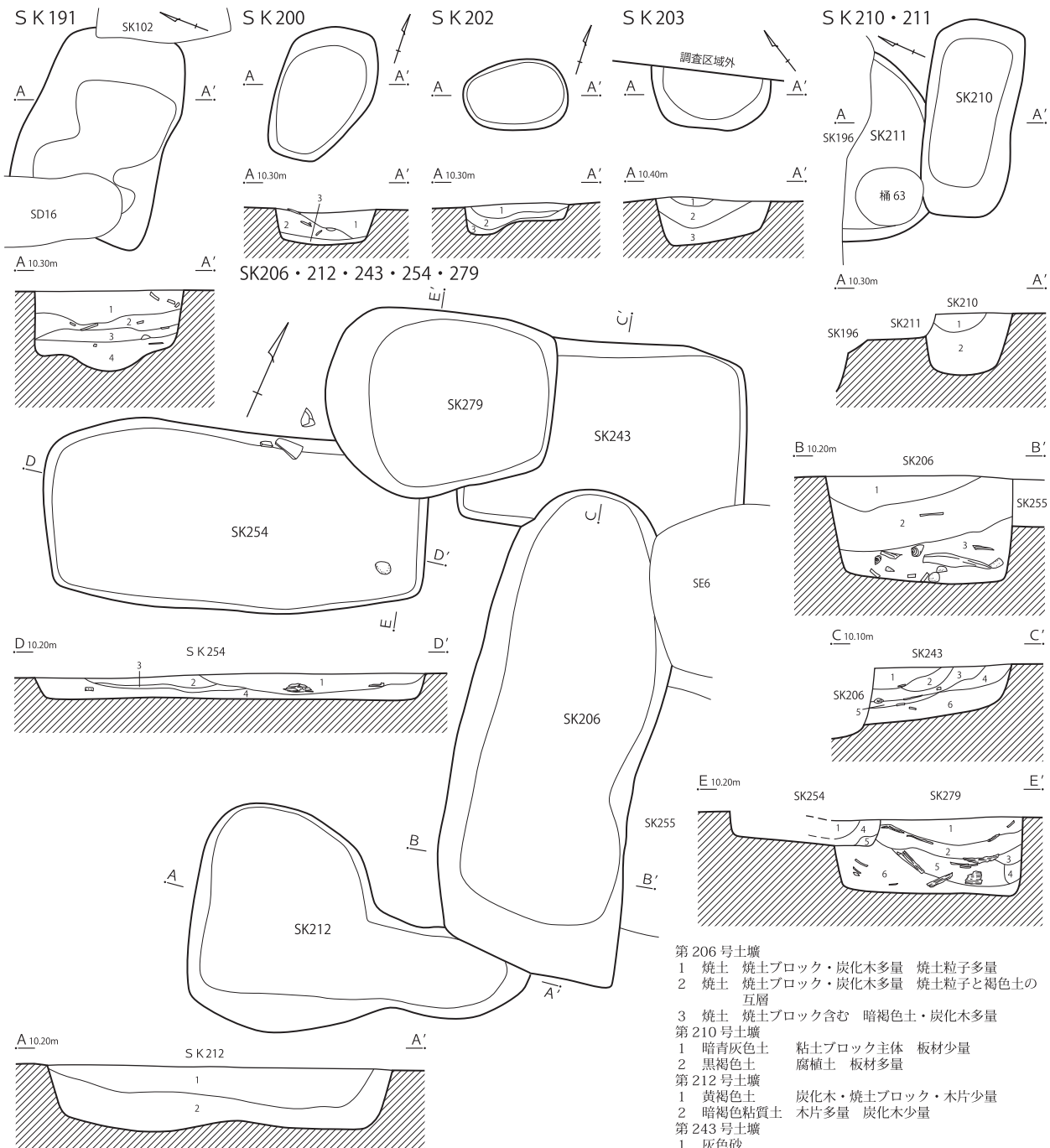


- 第 177 号土壇
 1 灰色砂
 2 褐色シルト
 第 178 号土壇
 1 灰褐色砂
 2 褐色砂
 第 179 号土壇
 1 灰褐色砂
 2 灰色砂

- 灰白色シルトブロック (φ 3~5 mm) 多量 しまりなし 埋戻し
 砂多量 しまり弱
 粗粒 灰褐色シルトブロック (φ 2~3 mm) 含む 埋戻し
 粗粒 灰褐色シルトブロック (φ 2~3 mm) 含む 埋戻し
 灰褐色シルトブロック (φ 3~5 cm・未風化) 多量 しまりなし 埋戻し
 やや粗 灰白色シルトブロック多量 部分的に砂鉄含む

- 第 180 号土壇
 1 灰白色砂 粗い白色の軽石 (A-SA か) 多量 しまりなし
 2 灰褐色シルト 小石 (φ 2 cm の円礫) 含む しまりあり
 3 灰色土シルト 酸化鉄分含む しまりあり
 4 灰褐色シルト 砂質 砂含む しまりあり
 第 186 号土壇
 1 焼土 炭化木・焼土ブロック多量 埋戻し
 2 焼土 黒色炭化木多量 埋戻し
 3 焼土 炭化木・焼土ブロック多量 埋戻し
 4 灰褐色土 炭化木少量
 第 187 号土壇
 1 焼土 焼土ブロック含む
 2 明褐色土 やや砂質で混入物は見られない
 第 273 号土壇
 1 青灰色砂
 2 青灰色砂 酸化鉄含む
 3 青灰色砂
 4 青灰色砂質土

第 113 図 土壇 (17)

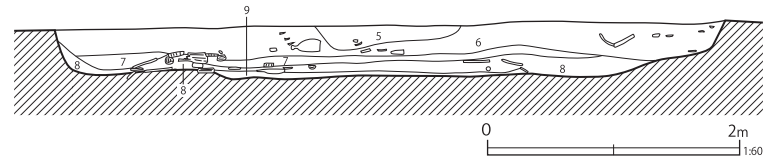
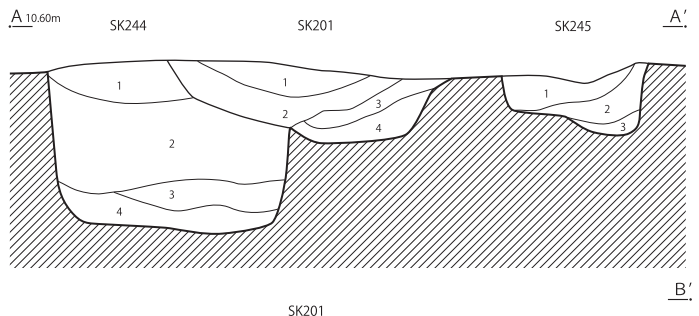
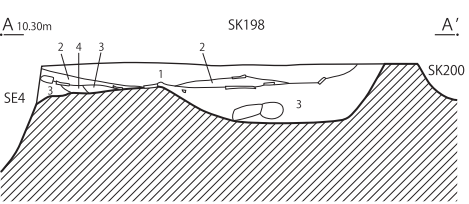
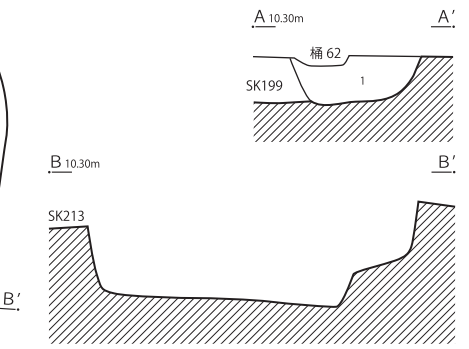
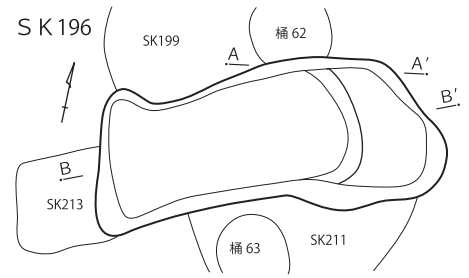
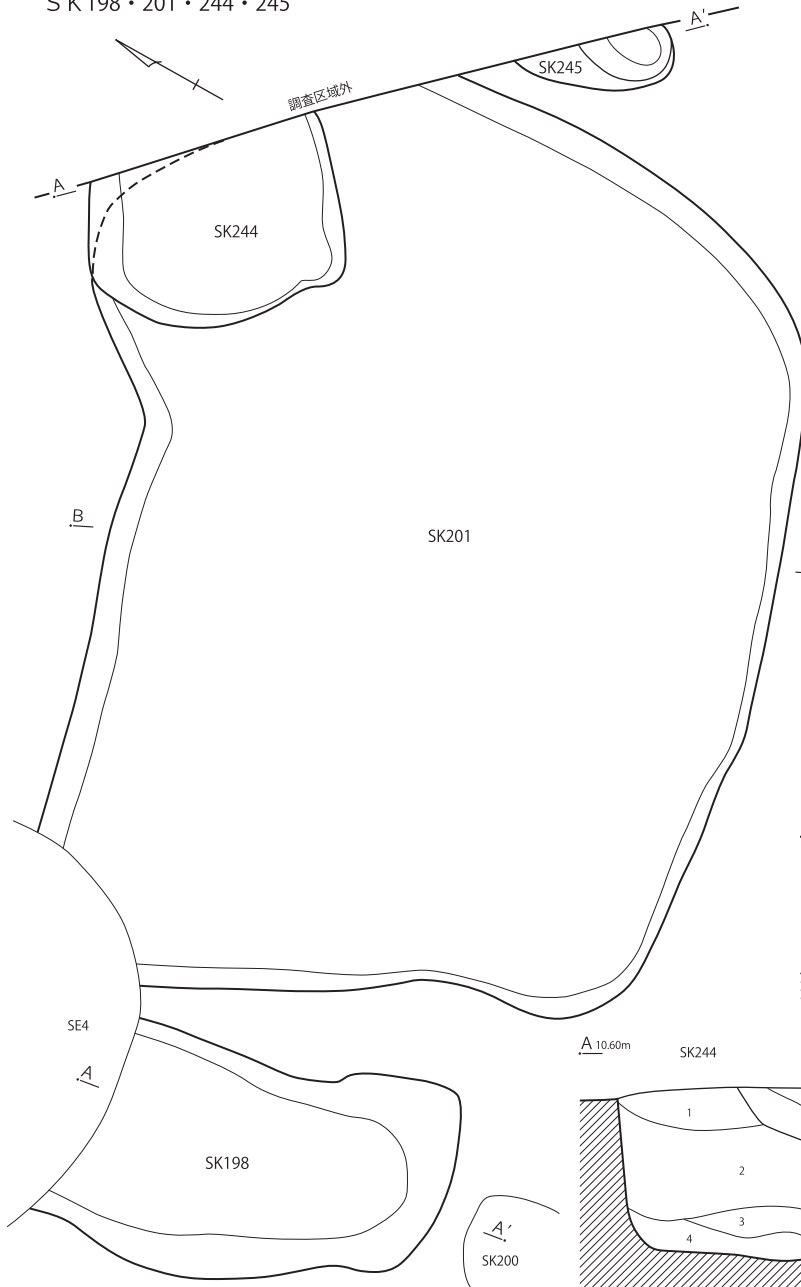


- 第191号土壌
 1 灰褐色砂質シルト 炭化物(φ1cm)含む
 2 暗灰褐色粘質土 灰白色シルトブロック(φ3cm未風化)多量 粘性弱 しまりあり
 3 暗灰褐色粘質土 木片多量 粘性弱 しまりあり
 4 暗灰褐色粘質土 木片・炭化物多量 粘性弱 しまりあり
 5 暗灰褐色粘質土 灰白色シルトブロック(φ2~3cm・未風化)多量
- 第200号土壌
 1 灰褐色粘質土 炭化木・砂粒含む しまりあり
 2 灰褐色土 1層に似るが木片多量に混入
 3 暗青灰色粘質土 還元して青味を帯びる 炭化木・砂粒微量
- 第202号土壌
 1 暗褐色土 炭化物少量 粘性なし しまり強
 2 黒褐色土 炭化物ブロック混入 粘性・しまり弱
 3 黄褐色土 粘性強 しまり弱
- 第203号土壌
 1 黄灰色粘質土 木片・炭化物・焼土粒子多量 粘性強 しまり弱
 2 黒褐色土 木片・炭化物・焼土粒子斑に混入 粘性強 しまり弱
 3 灰褐色土 上層に木片・炭化物少量 焼土粒子斑に混入

- 第206号土壌
 1 焼土 焼土ブロック・炭化木多量 焼土粒子多量
 2 焼土 焼土ブロック・炭化木多量 焼土粒子と褐色土の互層
 3 焼土 焼土ブロック含む 暗褐色土・炭化木多量
- 第210号土壌
 1 暗青灰色土 粘土ブロック主体 板材少量
 2 黒褐色土 腐植土 板材多量
- 第212号土壌
 1 黄褐色土 炭化木・焼土ブロック・木片少量
 2 暗褐色粘質土 木片多量 炭化木少量
- 第243号土壌
 1 灰色砂
 2 褐色土 炭化物・焼土密に多量 木片含む
 3 暗褐色土 木片多量 炭化物・焼土・小礫少量
 4 黒褐色土 炭化物・木片少量 5層より色調淡い
 5 黒褐色粘質土 木片多量 瓦含む
 6 暗褐色粘質土 木片少量 鉄分・土器含む
- 第254号土壌
 1 黒褐色土 木片多量 炭化物・焼土ブロック微量
 2 灰褐色土 粘土ブロック密に多量 炭化物少量
 3 暗褐色土 炭化物少量
 4 灰褐色土 粘土ブロック多量 炭化物少量
 5 黒褐色土 木片微量
- 第279号土壌
 1 明灰色土 炭化物・焼土ブロック少量 酸化鉄含む
 2 暗褐色土 木材多量 炭化物少量 瓦含む
 3 暗褐色土 木片少量
 4 黒褐色土 木片多量 酸化鉄含む
 5 黒褐色土 木材・木片・酸化鉄多量 炭化物少量
 6 黒褐色土 陶磁器混入 木材・木片多量 炭化物少量 瓦含む

第114図 土壌 (18)

S K 198・201・244・245

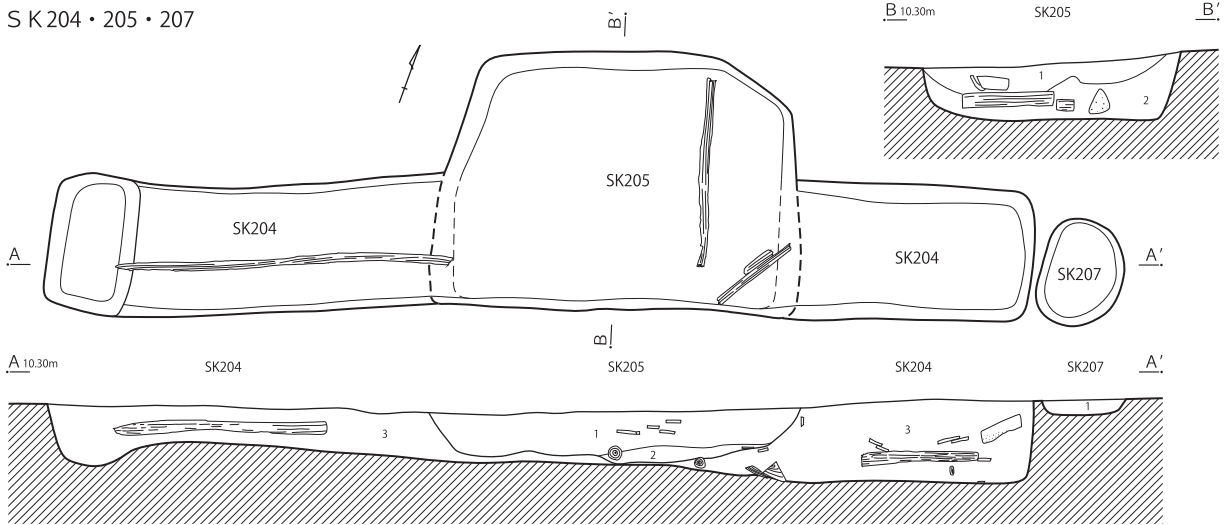


- 第 196 号土壌
 1 暗褐色砂質シルト 炭化物粒子 (φ3~5mm) 多量
 砂含む 粘性あり しまりなし
- 第 198 号土壌
 1 黒褐色土 黄色粘質土・焼土小ブロック・
 炭化木ブロック混入 しまり強
 2 褐色土 焼土粒子多量 赤色化
 3 黒色土 炭化木を主体 樹皮など混入
 4 黒色土 炭化木を主体 樹皮など混入
 粘土ブロック混入
- 第 201 号土壌
 1 黒褐色粘質土 炭化木少量混入
 2 黒褐色土 1層より多くの炭化木・遺物(瓦)を包含
 3 黒褐色土 炭化木微量
 4 黒褐色土 炭化木微量 3層より砂質
 5 灰褐色土 炭化物少量 粘性なし しまり強
 6 暗褐色土 炭化物・木片多量 焼土ブロック少量 粘性弱 しまり強
 7 赤褐色土 粗粒あるいはおが屑のようなもの多量に堆積 粘性・しまり弱
 8 灰色粘質土 炭化物少量 南側に一部黄褐色砂が堆積 粘性強・しまり弱
 9 黒色粘質土 目立った混入物なし 粘性強 しまり弱

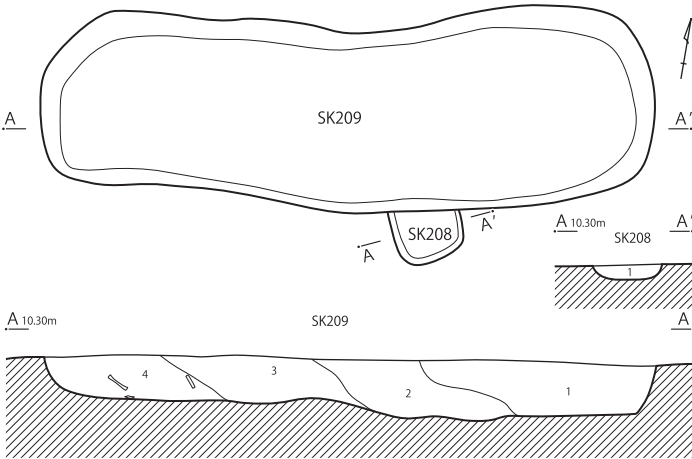
- 第 244 号土壌
 1 赤褐色土 焼土ブロック主体 炭化木含む
 黒色土や粘土が水平堆積
 2 瓦層 ほとんど瓦で埋戻される
 3 木材層 表面が炭化した柱材が堆積
 4 暗赤褐色粘質土 焼土・炭化木含む
- 第 245 号土壌
 1 黒褐色土 焼土・炭化木で構成
 2 赤褐色土 焼土主体 灰色土混入
 2 赤褐色土 焼土主体 灰色土・焼土ブロック混入

第 115 図 土壌 (19)

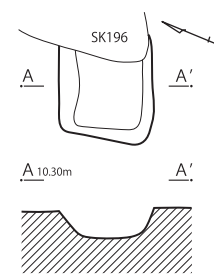
S K 204・205・207



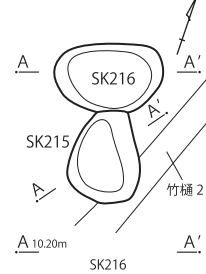
S K 208・209



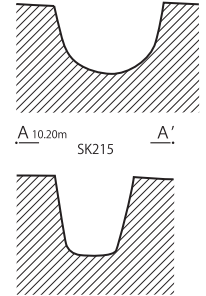
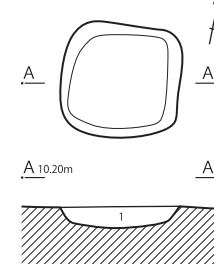
S K 213



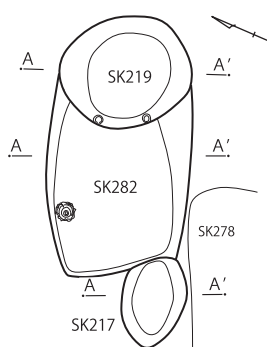
S K 215・216



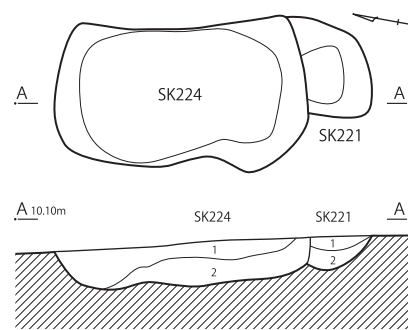
S K 214



S K 217・219・282



S K 221・224



第 205・204 号土壌

- 1 灰褐色土 炭化木・焼土ブロック少量 (SK205)
- 2 黄灰色土 炭化木多量 焼土ブロック微量 木片少量 粘性弱 (SK205)
- 3 焼土層 焼土ブロック・粘土ブロック・炭化木含む 瓦多量 (SK204)

第 207 号土壌

- 1 暗褐色土 炭化木・木片含む

第 208 号土壌

- 1 褐色土 炭化木・黄色粒子多量

第 209 号土壌

- 1 灰褐色土 粘土ブロック主体 炭化木・焼土ブロック多量
- 2 黒褐色土 木片・炭化木・焼土ブロック・粘土ブロック多量
- 3 黒褐色土 炭化木・焼土ブロック・粘土ブロック密に多量
- 4 黒色土 炭化木密に多量 焼土ブロック多量 粘土ブロック含む

第 214 号土壌

- 1 明褐色土 炭化木少量 木片含む

第 221 号土壌

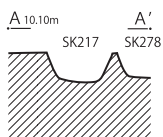
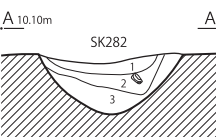
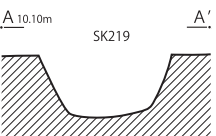
- 1 黒褐色土 炭化木・焼土粒子少量
- 2 黒褐色粘質土 炭化木・焼土粒子微量 1層より色調淡い

第 224 号土壌

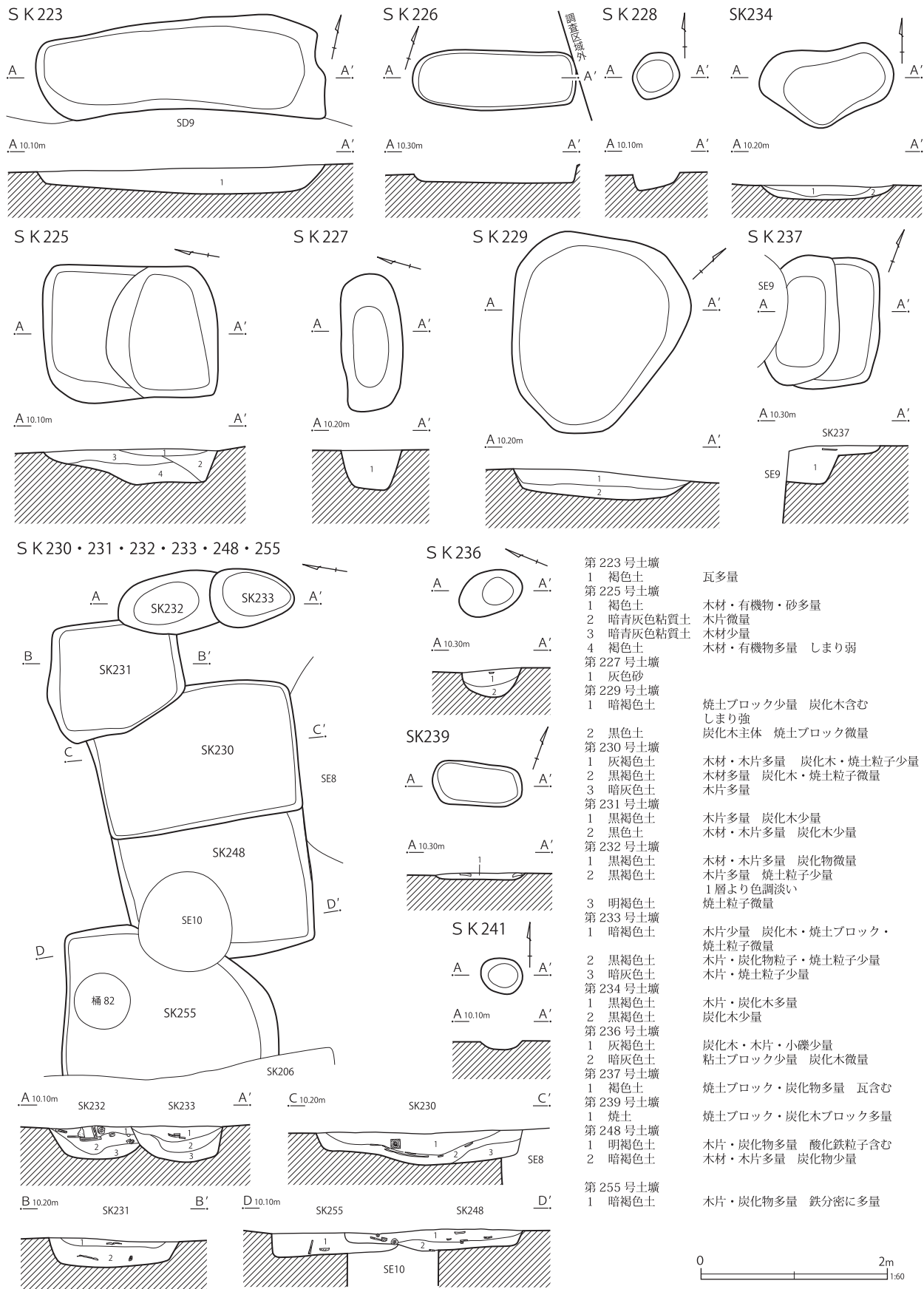
- 1 黒褐色土 炭化木・焼土粒子・木材多量 しまり弱
- 2 黒褐色土 木材・有機物多量 しまり弱 1層より色調暗い

第 282 号土壌

- 1 暗褐色砂
- 2 暗褐色土 炭化物・焼土ブロック少量 木片多量
- 3 明褐色砂質土 炭化物・焼土ブロック微量 酸化鉄含む

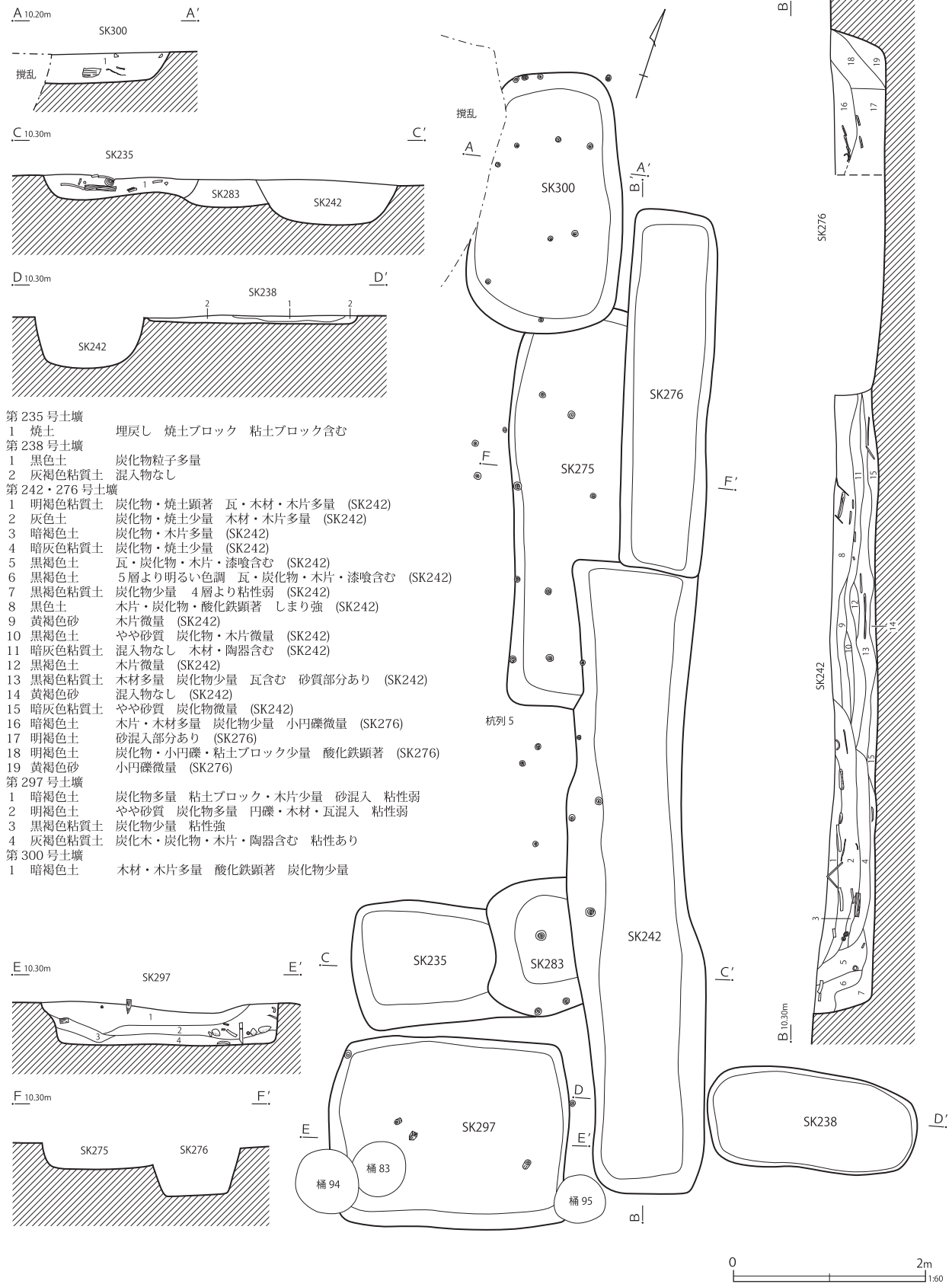


第 116 図 土壌 (20)



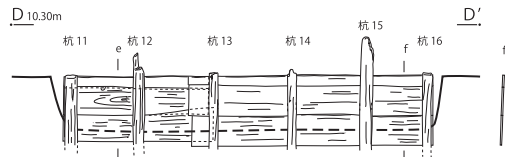
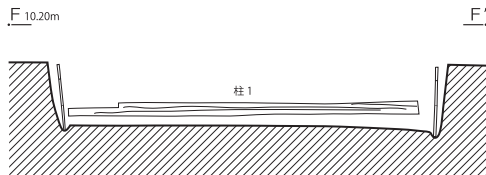
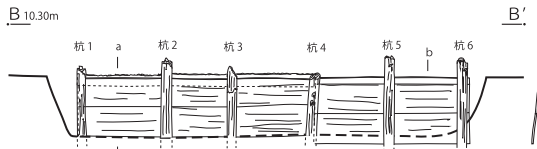
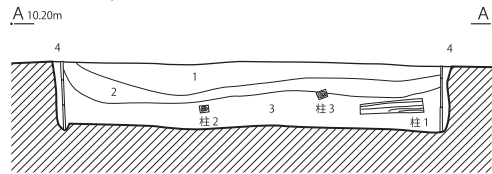
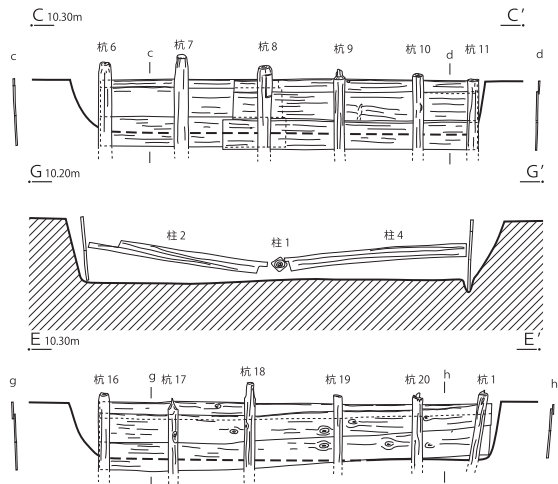
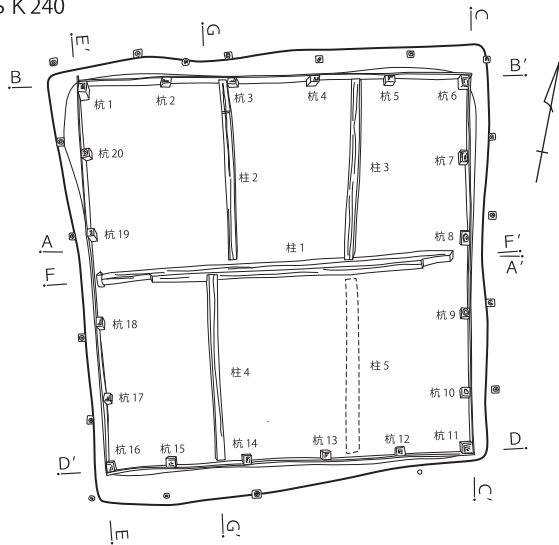
第 117 図 土層 (21)

S K 235・238・242・275・276・283・297・300

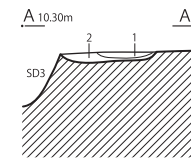
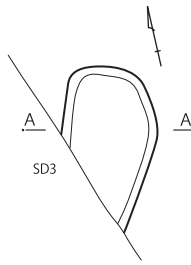


第 118 図 土壤 (22)

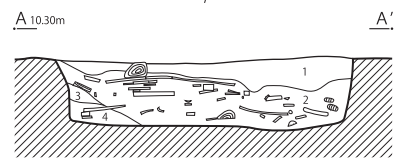
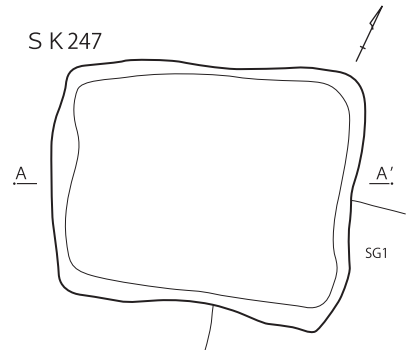
S K 240



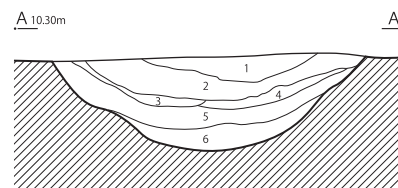
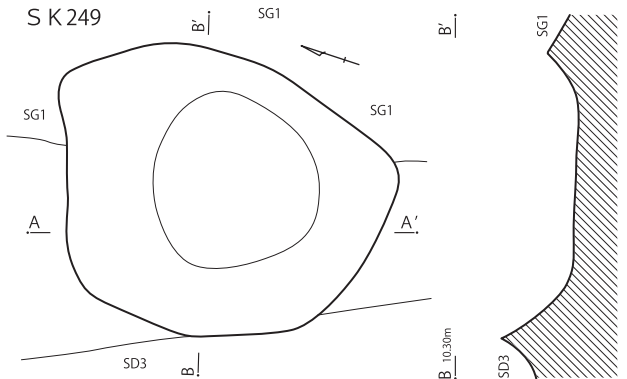
S K 246



S K 247



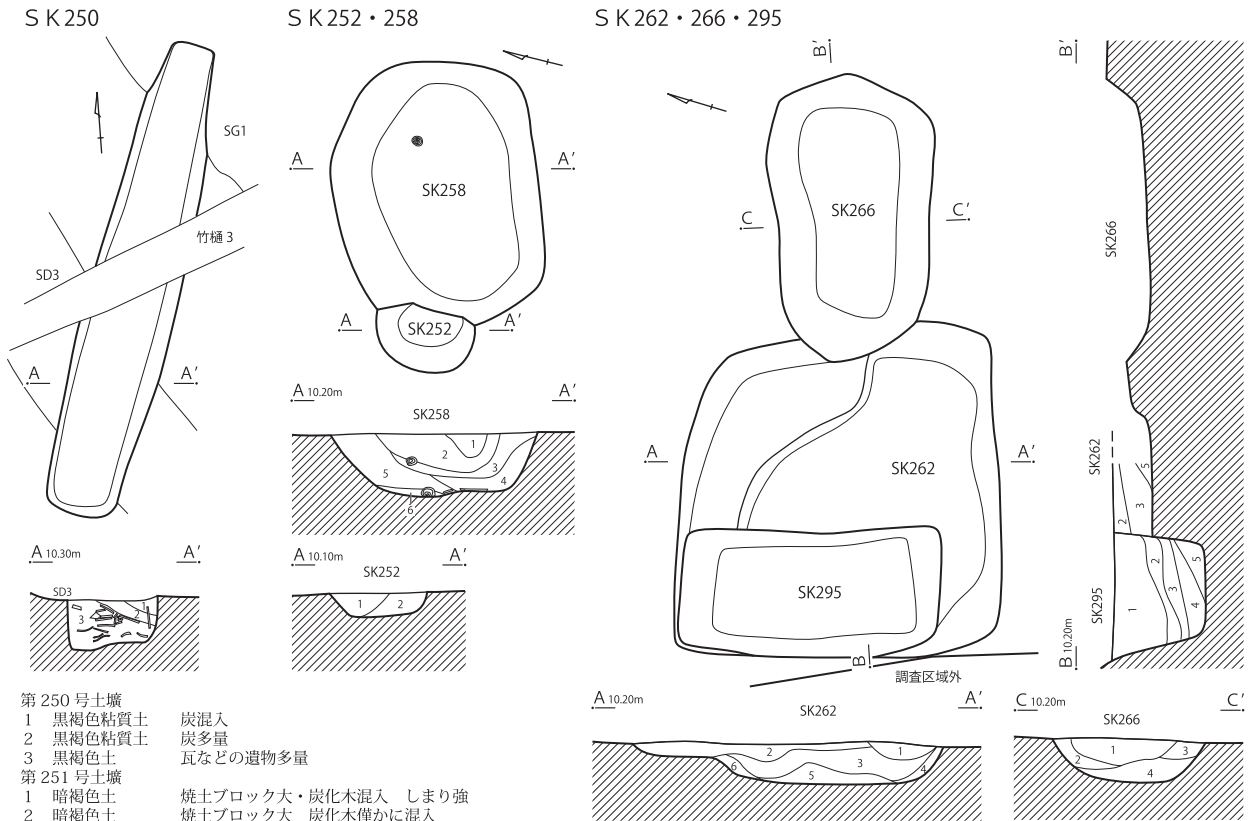
S K 249



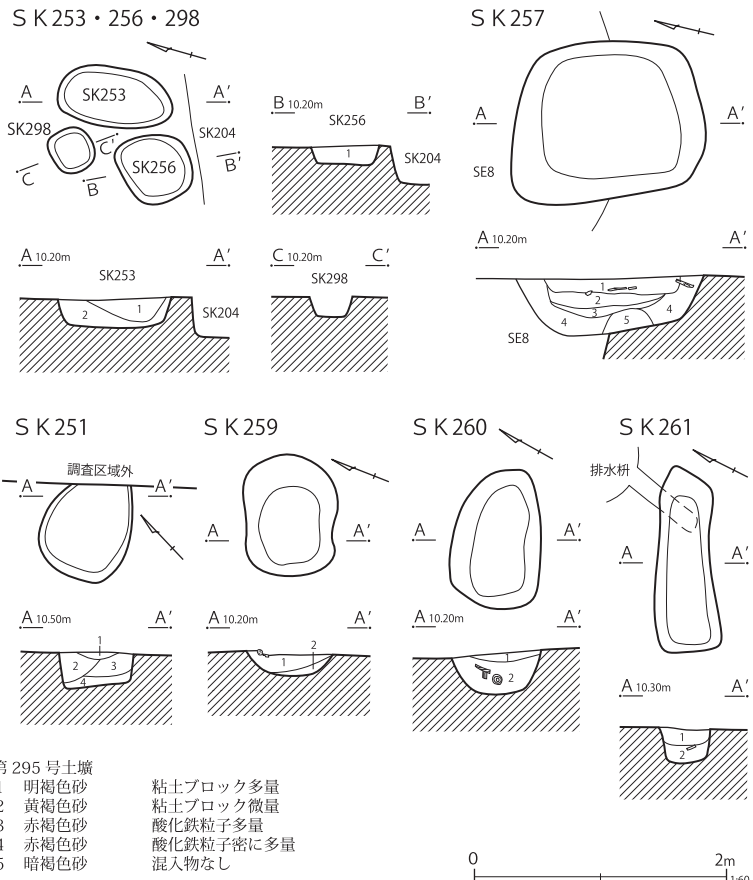
- 第 240 号土壇
 1 黒色土 未腐食の木材・遺物多量
 2 黒色土 未腐食の木材・遺物多量 1層より土多量
 3 暗青灰色土 還元 木材・陶磁器混入
- 第 246 号土壇
 1 褐色土 木屑などの腐植物多量
 2 黒褐色土 砂多量 黄褐色粘質土斑状に少量
- 第 247 号土壇
 1 黄褐色土 粘土粒子・砂粒で構成 多量の炭化木斑状に混入
 2 黒褐色土 砂粒・木材多量 陶磁器・瓦少量
 3 黒褐色粘質土 混入物なし
 4 黒褐色粘質土 3層より暗色 混入物なし
- 第 249 号土壇
 1 黒褐色土 砂質土主体 炭化木・木屑・陶磁器・瓦混入
 2 黒褐色土 砂質土主体 炭化木・木屑・陶磁器・瓦混入
 3 灰色土 微砂粒主体 黒色土斑状に混入
 4 灰色土 微砂粒主体
 5 黒褐色土 炭化物小ブロック多量 遺物混入
 6 黒褐色土 5層より暗色 炭の小ブロック・木屑多量 遺物混入

0 2m 1:60

第 119 図 土壇 (23)



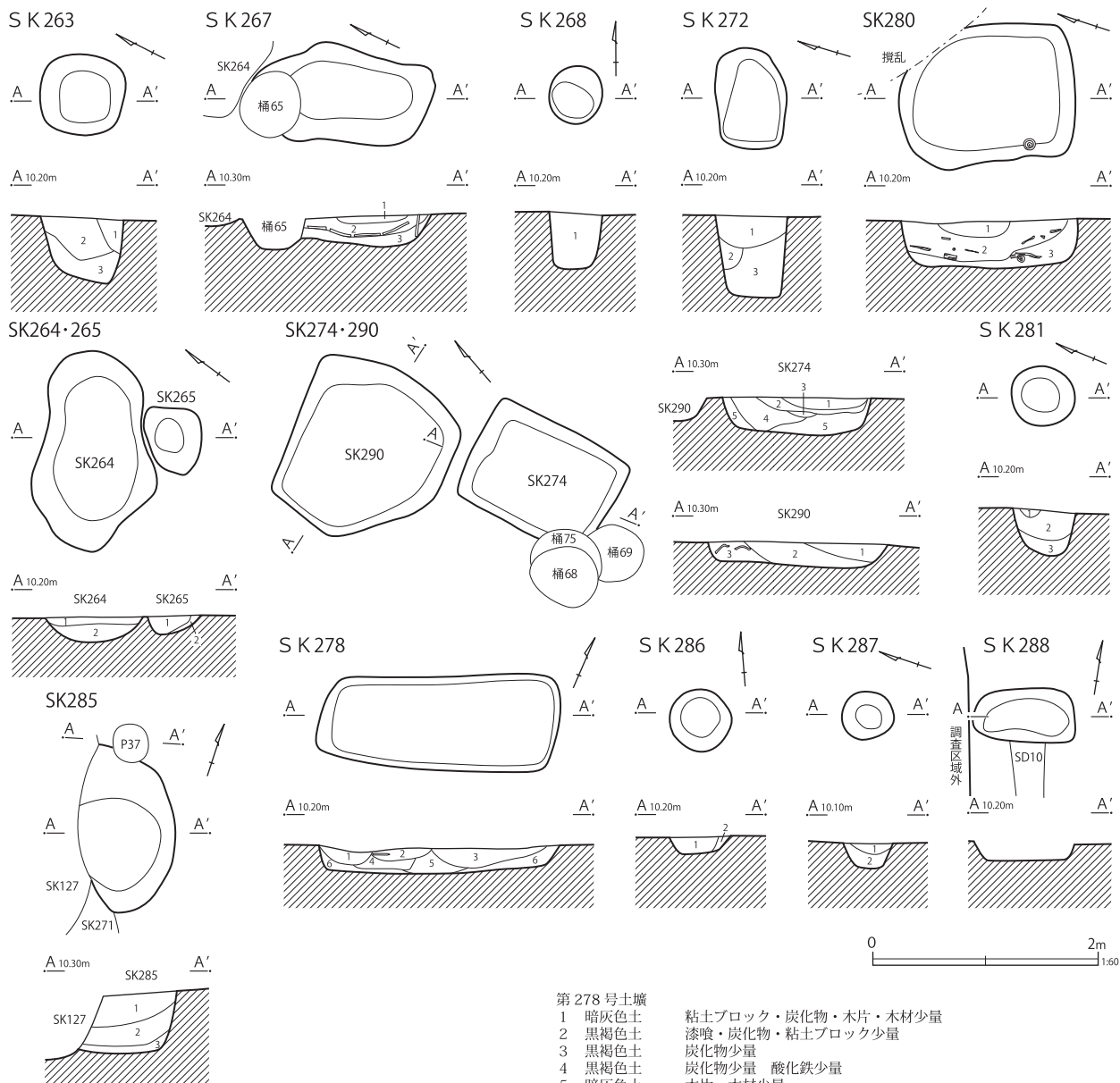
- 第 250 号土壇
 1 黒褐色粘質土 炭混入
 2 黒褐色粘質土 炭多量
 3 黒褐色土 瓦などの遺物多量
- 第 251 号土壇
 1 暗褐色土 焼土ブロック大・炭化木混入 しまり強
 2 暗褐色土 焼土ブロック大 炭化木僅かに混入 しまり強
 3 暗褐色土 焼土ブロック大・炭化木多量 しまり弱
 4 暗褐色土 焼土ブロック大・炭化木・砂多量混入 しまり弱
- 第 252 号土壇
 1 黒褐色土 粘土ブロック少量
 2 黒褐色土 炭化物少量 1層より色調淡い
- 第 253 号土壇
 1 明褐色砂 炭化物微量
- 第 256 号土壇
 1 暗褐色土 炭化物・焼土ブロック微量 しまり強
- 第 257 号土壇
 1 暗褐色土 炭化物・焼土ブロック少量 木片多量
 2 黒褐色土 炭化物少量 木片多量
 3 黒褐色土 木片多量 2層より色調暗い
 4 黒色土 焼土ブロック・炭化物微量
 5 黒色土 しまり強
- 第 258 号土壇
 1 灰褐色土 酸化鉄多量
 2 暗灰色土 炭化物微量 酸化鉄多量
 3 黒色粘質土 木片多量
 4 黒色粘質土 木片密に多量
 5 暗灰色粘質土 木材含む
 6 灰色粘質土 混入物なし
- 第 259 号土壇
 1 黒褐色土 炭化木・遺物少量
 2 黒褐色土 炭化木多量 遺物なし
- 第 260 号土壇
 1 黒褐色粘質土 砂多量
 2 黒色土 板材・木屑多量 少量の遺物出土
- 第 261 号土壇
 1 黒褐色土 砂粒を含む粘質土 炭化木多量
 2 黒褐色砂質土 多量の砂斑に混入
- 第 262 号土壇
 1 明褐色土 炭化物微量
 2 褐色土 炭化物・焼土ブロック少量
 3 暗褐色土 粘土ブロック多量
 4 黒色土 炭化物・焼土ブロック少量
 5 暗灰褐色土 粘土ブロック含む
 6 明褐色土 炭化物・焼土ブロック微量
 炭化物微量
- 第 266 号土壇
 1 灰色土 炭化物微量 酸化鉄含む
 2 灰褐色粘質土 鉄粒子含む しまり強
 3 明褐色粘質土 鉄含む
 4 明灰褐色粘質土 焼土ブロック微量 鉄含む



- 第 295 号土壇
 1 明褐色砂 粘土ブロック多量
 2 黄褐色砂 粘土ブロック微量
 3 赤褐色砂 酸化鉄粒子多量
 4 赤褐色砂 酸化鉄粒子密に多量
 5 暗褐色砂 混入物なし

0 2m 1:60

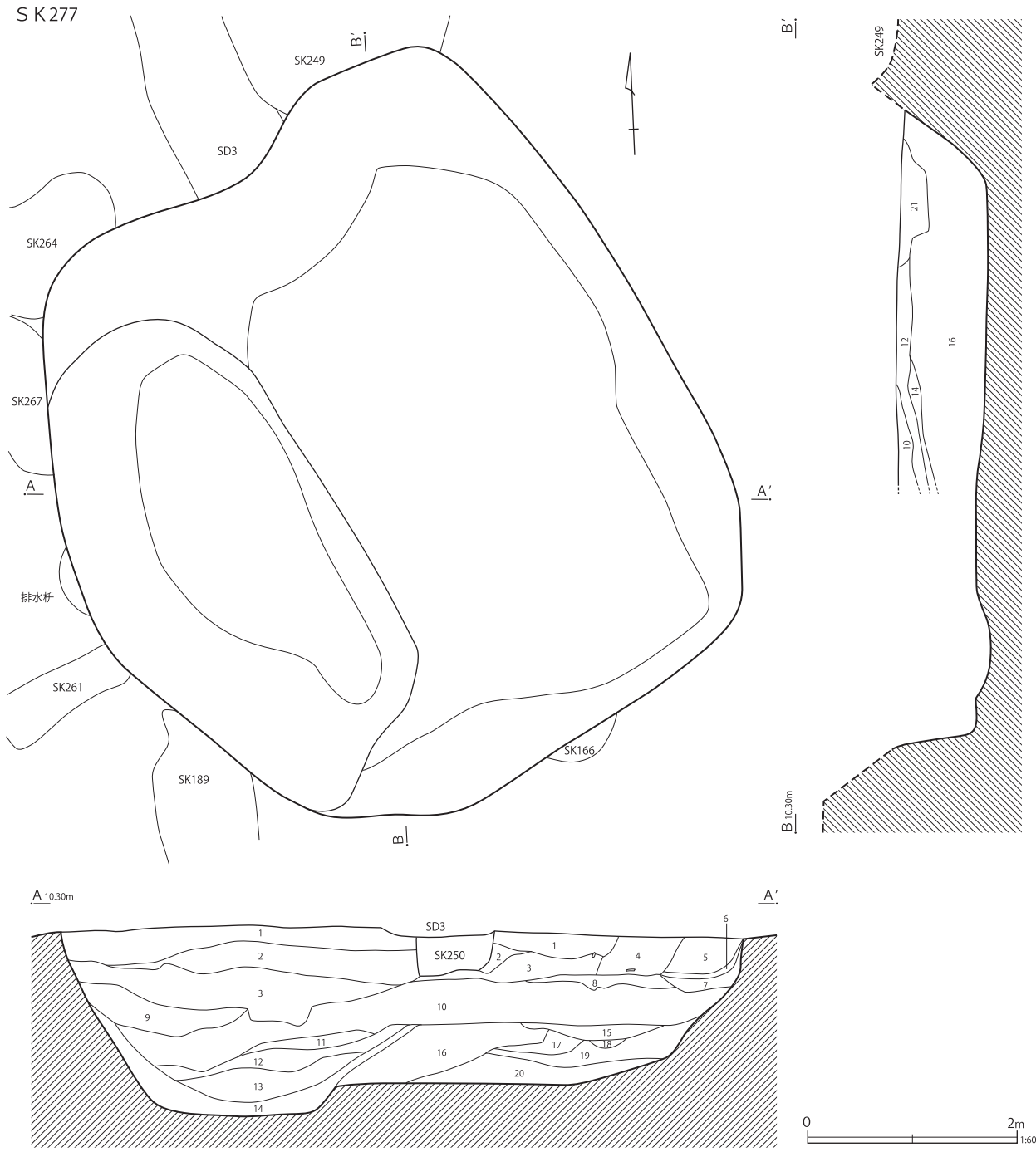
第 120 図 土壇 (24)



- 第 263 号土壌
 1 褐色土 砂粒子・酸化鉄多量
 2 褐色土 砂粒子多量
 3 褐灰色土 砂粒子多量 1~3層の変化は極めて漸移的
- 第 264 号土壌
 1 暗褐色土 砂・木屑・陶磁器混入
 2 褐灰色土 砂多量混入
- 第 265 号土壌
 1 暗褐色土 板材・木屑多量 しまりなし
 2 褐灰色土 砂多量 炭化木少量
- 第 267 号土壌
 1 暗褐色土 炭化木混入
 2 暗褐色土 板材・木屑・陶磁器多量 しまりなし
 3 暗褐色土 炭化木・砂多量 陶磁器少量混入
- 第 268 号土壌
 1 明褐色土 粒子細かい土主体 明灰色土ブロック混入
- 第 272 号土壌
 1 褐色粘質土 焼土粒子・炭化物粒子微量
 2 暗青灰色粘質土 焼土粒子・炭化物粒子微量 酸化鉄多量
 3 暗青灰色粘質土 焼土粒子・炭化物粒子微量
- 第 274 号土壌
 1 灰褐色土 砂主体 炭化木少量
 2 黒色土 ほぼ炭の純層だが焼土ブロック少量入る
 3 暗褐色土 炭化物粒子と暗青灰色砂層の縞状互層
 4 暗褐色土 炭化木屑と暗青灰色砂層の縞状互層
 5 暗青灰色砂 砂主体 暗褐色木屑層を縞状に挟む

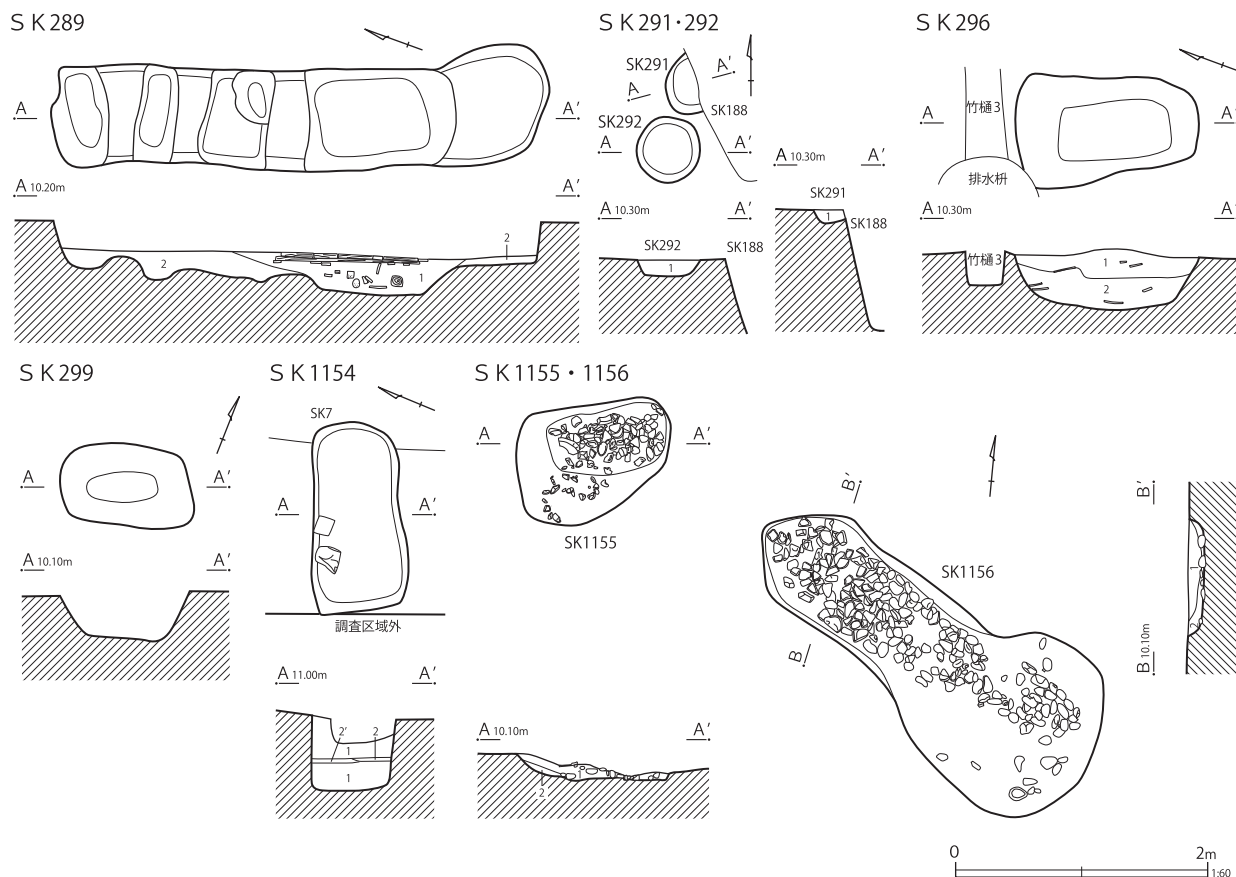
- 第 278 号土壌
 1 暗灰色土 粘土ブロック・炭化物・木片・木材少量
 2 黒褐色土 漆喰・炭化物・粘土ブロック少量
 3 黒褐色土 炭化物少量
 4 黒褐色土 炭化物少量 酸化鉄少量
 5 暗灰色土 木片・木材少量
 6 灰褐色土 混入物なし
- 第 280 号土壌
 1 黄灰色土 炭化物・木片多量
 2 黒褐色土 炭化物・木片・木材・炭化木多量 焼土微量
 3 黒褐色土 炭化物・酸化鉄少量 2層より色調淡い
- 第 281 号土壌
 1 焼土 炭化物・焼土ブロック多量
 2 明褐色土 焼土ブロック多量 炭化物少量
 3 明褐色粘質土 炭化物少量
- 第 285 号土壌
 1 灰褐色土 灰白色シルトブロック(φ2cm)多量 炭化物(2mm)含む
 粘性弱 しまりあり
 2 暗灰褐色土 灰白色シルトブロック(φ2cm)・炭化物粒子・焼土ブロック含む
 粘性弱 しまりあり
 3 暗褐色土 灰白色シルトブロック(φ1~2cm)含む 酸化鉄粒子斑に多量
 粘性弱 しまりあり
- 第 286 号土壌
 1 黒褐色土 暗黄褐色小ブロック斑に混入
 2 黄褐色土 黒褐色土小ブロック・焼土粒子混入
- 第 287 号土壌
 1 暗青灰色土 砂質 炭化木少量
 2 暗青灰色土
 3 暗褐色土
- 第 290 号土壌
 1 黒褐色土 木材片多量 しまりなし
 2 黒褐色土 砂多量 板材・炭化物小ブロック少量
 3 暗灰色土 陶器・瓦・板・角材・大粒の炭化物多量に混入

第 121 図 土壌 (25)



- | | | | |
|-----------|---|-----------|--|
| 第 277 号土壌 | | | |
| 1 黒褐色粘質土 | 炭混入 しまり強 | 12 炭化物層 | 焼土ブロック (φ2 ~ 20 mm)・炭化物 (φ1 ~ 30 mm) 主体
黄灰色土混入 |
| 2 黒色土 | ほぼ炭の純層 | 13 炭化物層 | 炭化物粒子・炭化物 (φ3 ~ 10 mm) 主体 黄灰色土ブロック
(φ3 ~ 20 mm) 含む 焼土ブロック (φ3 ~ 10 mm) 少量 |
| 3 黒色土 | 砂多量 炭層が数枚縞状に水平堆積 | 14 灰色粘質土 | 炭化物 (φ10 mm前後) 少量 |
| 4 黒褐色土 | 均一な層 砂粒多量 遺物は混入しない | 15 黒褐色土 | 黄褐色砂少量 黄灰色ブロック (φ3 ~ 15 mm) 多量 |
| 5 明褐色砂 | 鉄分で酸化した砂の純層 | 16 黄褐色砂質土 | 炭化物 (φ2 ~ 5 mm) 少量 しまり弱 |
| 6 明褐色砂 | 鉄分で酸化した砂の純層 | 17 黄灰色土 | 黒褐色粘土ブロック (φ5 ~ 50 mm) 少量 黄灰色土
ブロック (φ3 ~ 50 mm)・鉄分含む シルト質土混入 |
| 7 暗黄褐色土 | 細砂・炭化物多量 | 18 暗灰褐色土 | シルト主体 黄褐色砂・黄褐色土少量 炭化物 (φ2 ~
10 mm) 微量 黒褐色粘土ブロック (φ10 ~ 100 mm) 混入 |
| 8 黄褐色砂質粘土 | 炭少量 | 19 暗灰色粘質土 | 鉄分が筋状にみられる |
| 9 炭化物層 | 黄灰色土・同色ブロック (φ2 ~ 100 mm) 含む
炭化物 (φ1 ~ 15 mm) 多量 焼土ブロック (φ3 ~
20 mm) 少量 | 20 暗灰色砂質土 | やや粘質 炭化物 (φ2 mm) 少量 |
| 10 炭化物層 | 炭化物 (φ2 ~ 20 mm) 9層より多量 黄灰色土ブロック
(φ2 ~ 50 mm) 多量 焼土ブロック (φ3 ~ 10 mm) 含む | 21 炭化物層 | 灰色粘質土混入 炭化物 (φ2 mm) 少量 |
| 11 黒色炭化物層 | 炭化物粒子主体 炭化物 (φ2 ~ 10 mm) 微量
焼土ブロック (φ2 ~ 10 mm)・黄灰色土ブロック
(φ2 ~ 5 mm) 少量 | | 灰色土混入 黄褐色砂少量 |

第 122 図 土壌 (26)



第 289 号土壌

- 1 黒褐色土
 - 2 褐色土
- 第 291・292 号土壌
- 1 暗褐色土
- 第 296 号土壌
- 1 暗灰褐色シルト質土
 - 2 黒褐色シルト質土

板・角材・陶磁器・瓦・焼土ブロックの埋戻し
 板材小片主体

炭化木・焼土微量 均質な層 遺物なし

砂・炭化物(φ5~10mm)多量 粘性弱 しまりあり
 木片(厚さ2mm以下)・炭化物(φ5mm以下)多量
 粘性あり しまり弱

第 1154 号土壌

- 1 黒褐色土
 - 2 黒色土
- 第 1155・1156 号土壌
- 1 明褐色土
 - 2 褐色土

砂・炭多量 焼土小ブロック少量
 堅緻で版築状を呈する 2' はより明るい色調

比較的均質な層であり、混入物は殆んど含まない
 1層に類似するが僅かに粘質土ブロックを混入する

第 123 図 土壌 (27)

や141の坏に被熱が認められる。一方で143・144の坏は被熱しておらず、後世の混在と判断される。148~150の肥前系磁器小皿は、非掲載遺物に同文の底部2個体分があり、計5個体以上がある。151・152の肥前系磁器小皿も、別の1個体の底部破片がある。176・177は磁器製の根付けと考えられる。このうち176は、瑠璃釉淡彩の地に貼り付けで花文と蜂を立体的に表現する。

180は陶器碗類の蓋で、緑釉と鉄絵が施される。強い熱を受けて緑釉が赤く変色している。184は、平面形方形の陶器で、板作り成形である。激しく被熱し、産地等は不詳である。185・188はともに炆器質の陶器で、備前系陶器と考えられる。

陶磁器は全体に被熱、細片化していた。近代の混入遺物が一定量あるが、被熱資料では瀬戸美濃系磁器の端反碗が最新であり、第2・9号土壌との位置関係からも文化・文政期の火災処理土壌と想定される。第224図1は中国清朝磁器の薬瓶で唐葉の容器とされる。全体に青味がかった釉が掛けられ、露胎とする底部に煤が顕著に付着する。栗橋宿跡からの出土は初見である。江戸遺跡では37例が確認されており、19世紀第3四半期の例が多いとされる(堀内2010・長佐古2013)。

第228図19~21、第235図16~18は瓦である。第235図18は棧瓦端面に「○」の刻印がある。同じ刻印は第18・36・174号土壌(第236図31、第239

SK 1



第124図 土壌出土遺物(1)

図61・62)にみられる。本陣跡以外ではあまり出土していないようだが、刻印が目立たない位置にあるため、今後は注意が必要である。

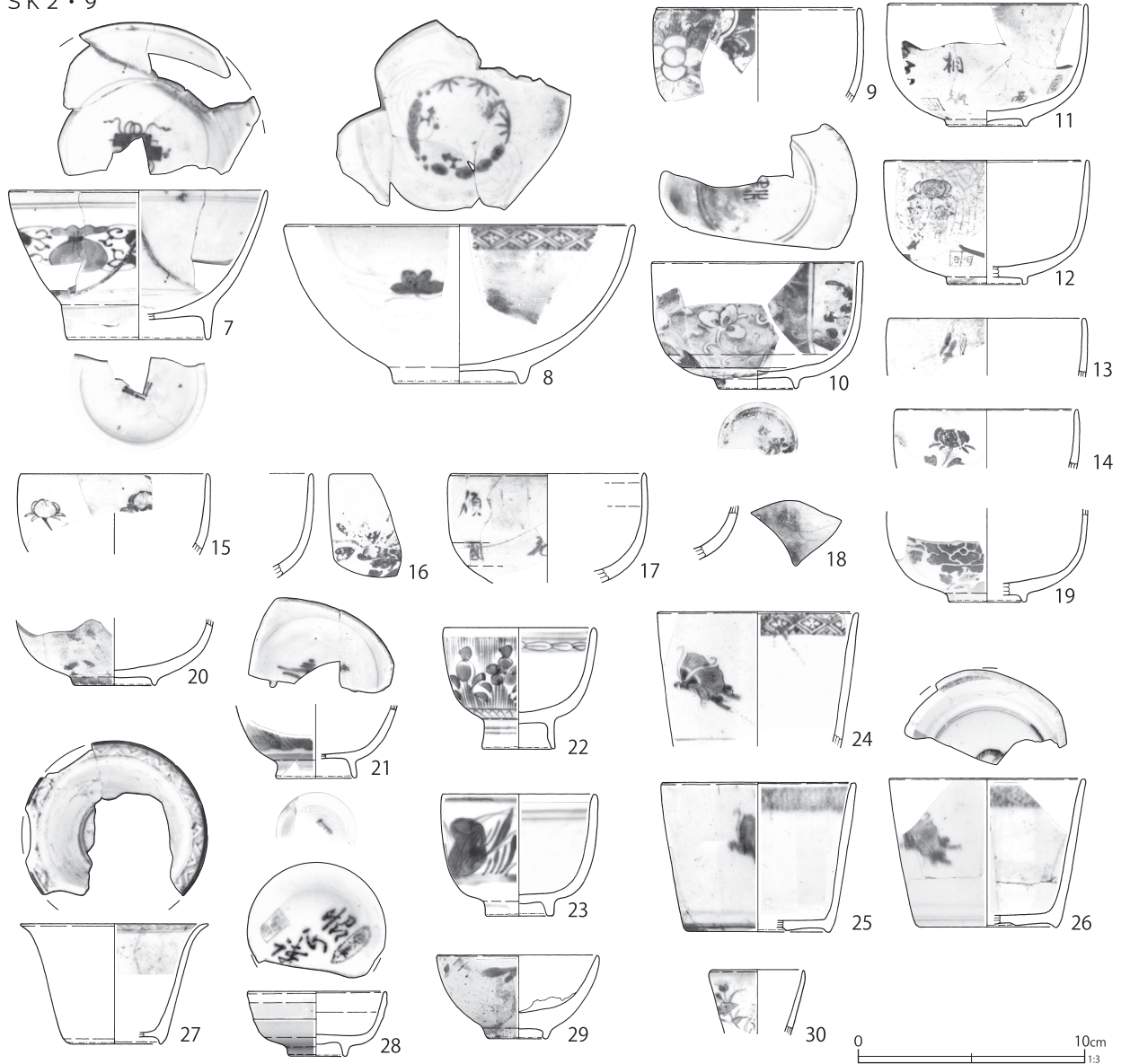
第260図6・7は石製品で、7は厚手の砂岩製硯である。第263図62～65は基石、66は髪飾り類の玉であろう。

第13号土壌 (第98図)

C6-C2グリッドに位置する隅丸長方形の土壌で、覆土上層は遺物をあまり含まない砂質シルト、下層は木製品、樹皮等を含むシルト層で構成される。底面付近に網代状の編み物の広がりが見

出され、それに被覆されて曲げ物に入った状態の種子が出土した。種子は自然科学分析の結果、ワタ種子225個体分であることが判明した(第V章-3参照)。詳細な用途は分からないが、本陣敷地南側に近接する町屋地区からは「栗橋 綿屋彦三郎殿」の墨書木札が出土しており、注意される(『本陣跡I』参照)。なお、栗橋地域では昭和前半期まで畑で綿を栽培し、綿布を織っていたという(栗橋町教育委員会2008)。第137図215～219は出土した陶磁器類で、磁器にはグラデーション状の染付を施す湯呑形碗(215)や卵殻手

SK 2・9



第125図 土壇出土遺物(2)

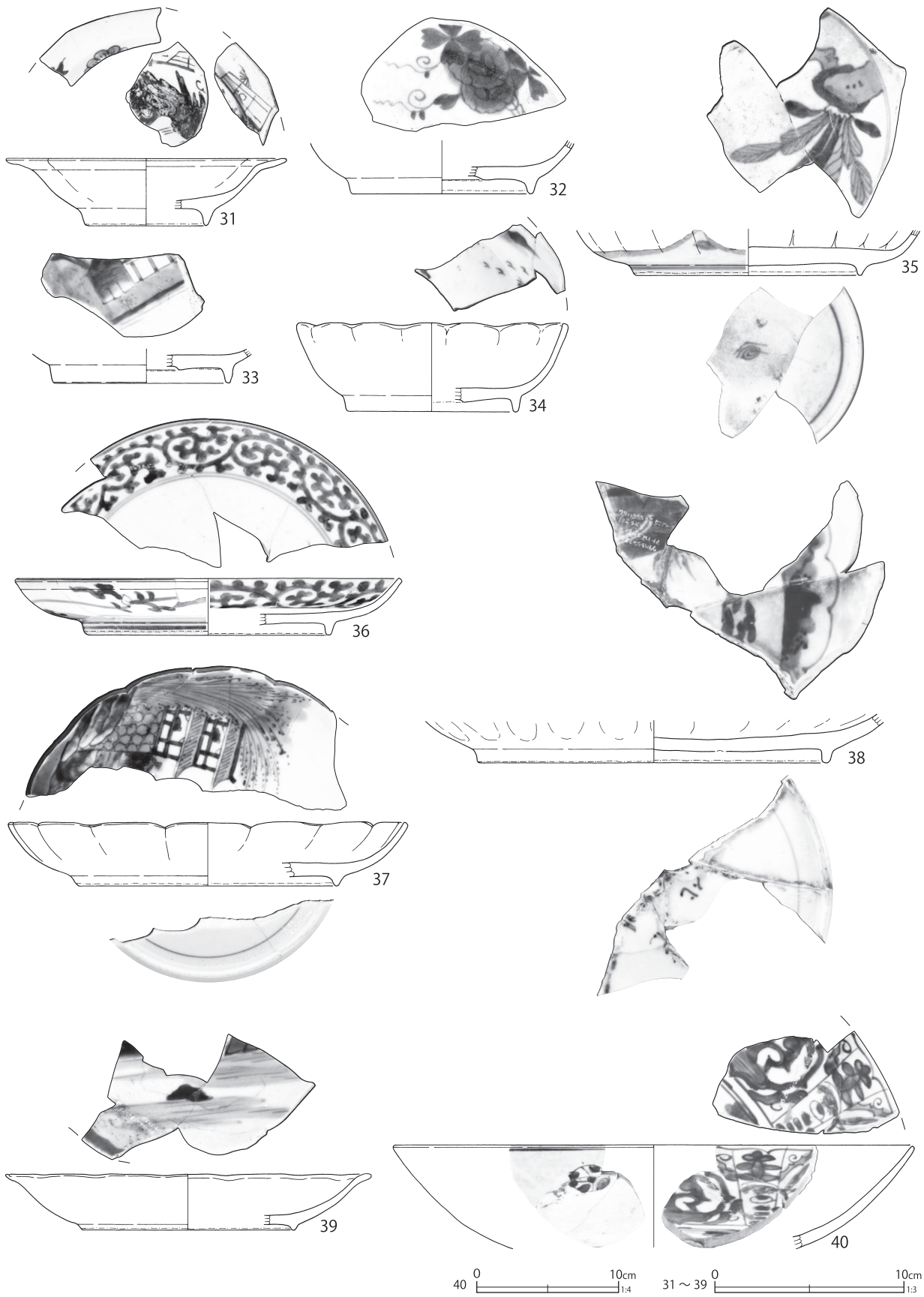
坏(216)がある。19世紀前葉に帰属する。

第16号土壇(第98図)

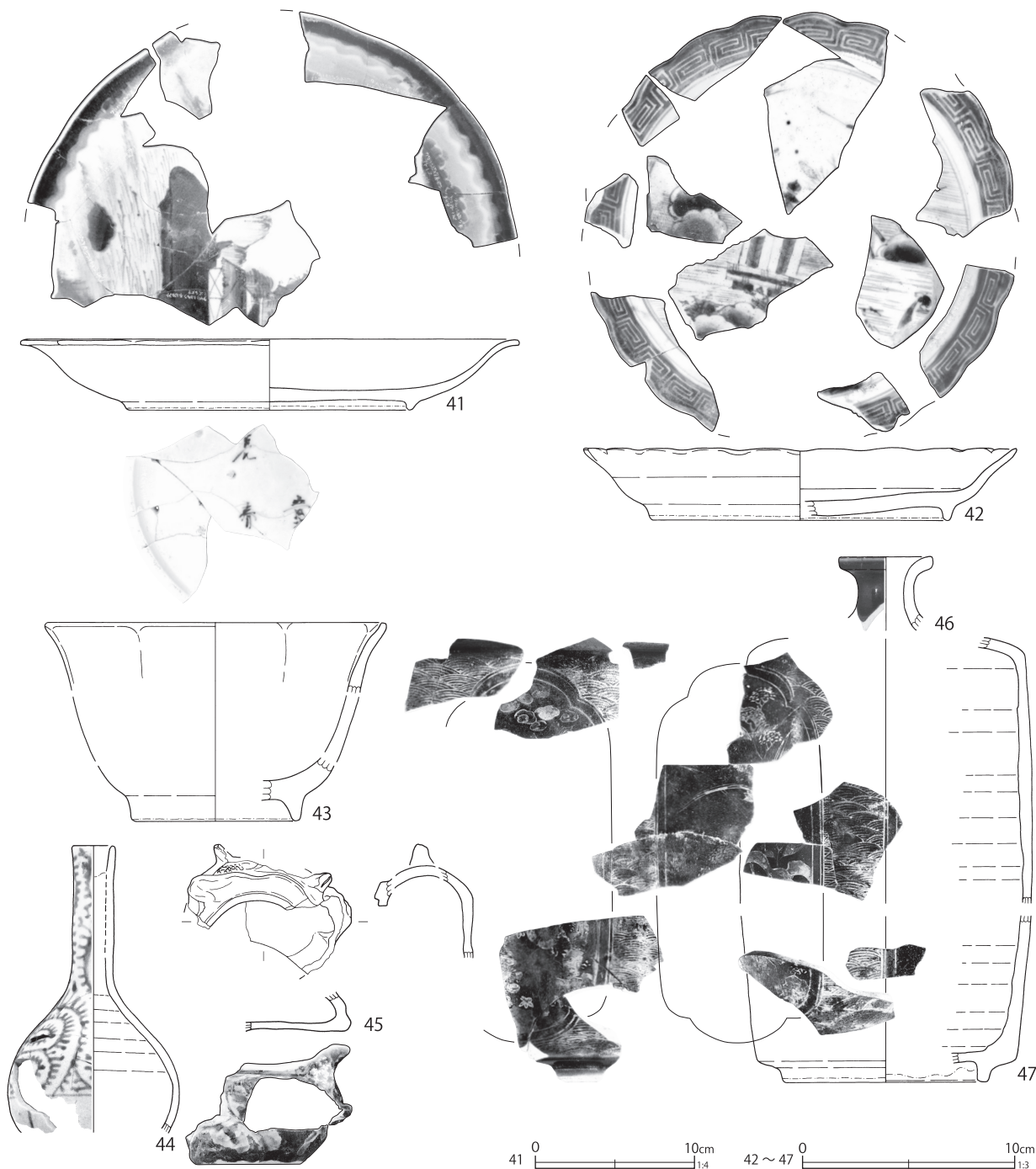
C 6-B 2・C 2グリッドに位置する火災処理土壇である。長さ4m弱の楕円形の土壇で、覆土下層は炭化木と焼土主体の土層である。上層は埋め戻しによる粘質土で被覆される。被熱した陶磁器が多く出土し、第64・161号土壇と顕著に接合した。なお、瓦の包含はほとんどみられなかった。

陶磁器の一部を第137～143図220～314に示す。本跡では、肥前系磁器の粗製碗、皿・筒形碗・猪口等が組物で出土している点特徴的である。

非掲載資料を含めた最小個体数は、227～231の大碗が6個体、234の小形半球碗は2個体、241～245の筒形碗は5個体、240の筒形碗は7個体、247～250の猪口は4個体、252～260の猪口は9個体、261～263の小皿が6個体、264・265の小皿が4個体、267～269の皿が5個体、276・277の変形皿が6個体、278・279の変形皿が4個体である。270～274の皿は模様や裏銘に微妙な差があるが、少なくとも271・272と同文の皿が他に1個体ある。なお、瀬戸美濃系磁器端反碗・湯呑形碗・丸碗・爛徳利が出土しているが、被熱が



第 126 図 土壙出土遺物 (3)



第127図 土壇出土遺物(4)

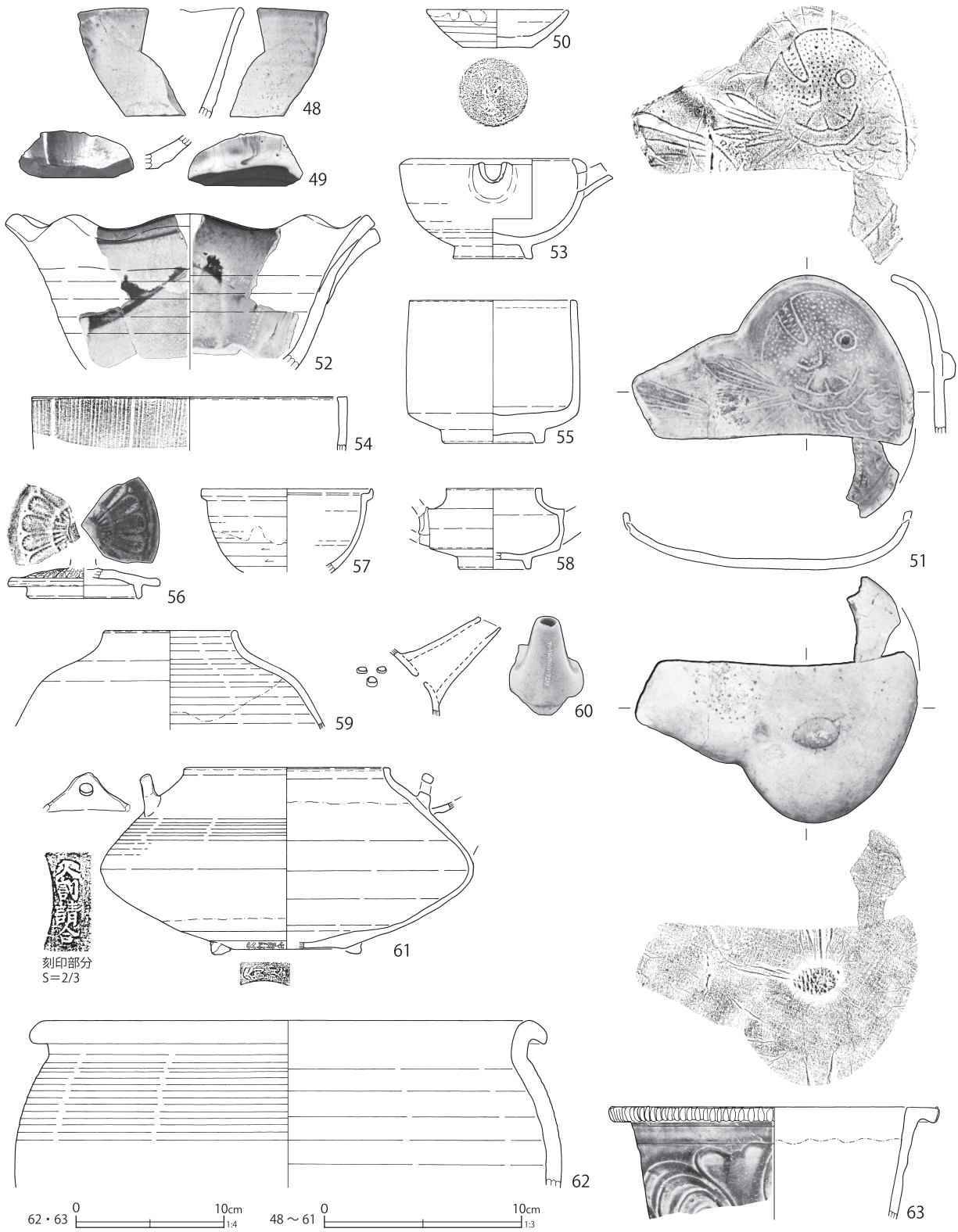
認められず、後世の混入である。総体的には18世紀代の陶磁器が主体で、他の火災土壇より若干古い様相を示す。ただし、遺構間接合が顕著な第64号土壇の時期を鑑みれば、本跡は19世紀初頭～前葉の帰属と思われる。

第25号土壇 (第100図)

C6-A1グリッドの調査区壁際に検出された

方形の火災処理土壇である。直上が近代に攪乱されており、調査区壁面の焼土層との関係は把握できない。覆土は斜方向に堆積し、南側から瓦等を含む焼土で埋められている。

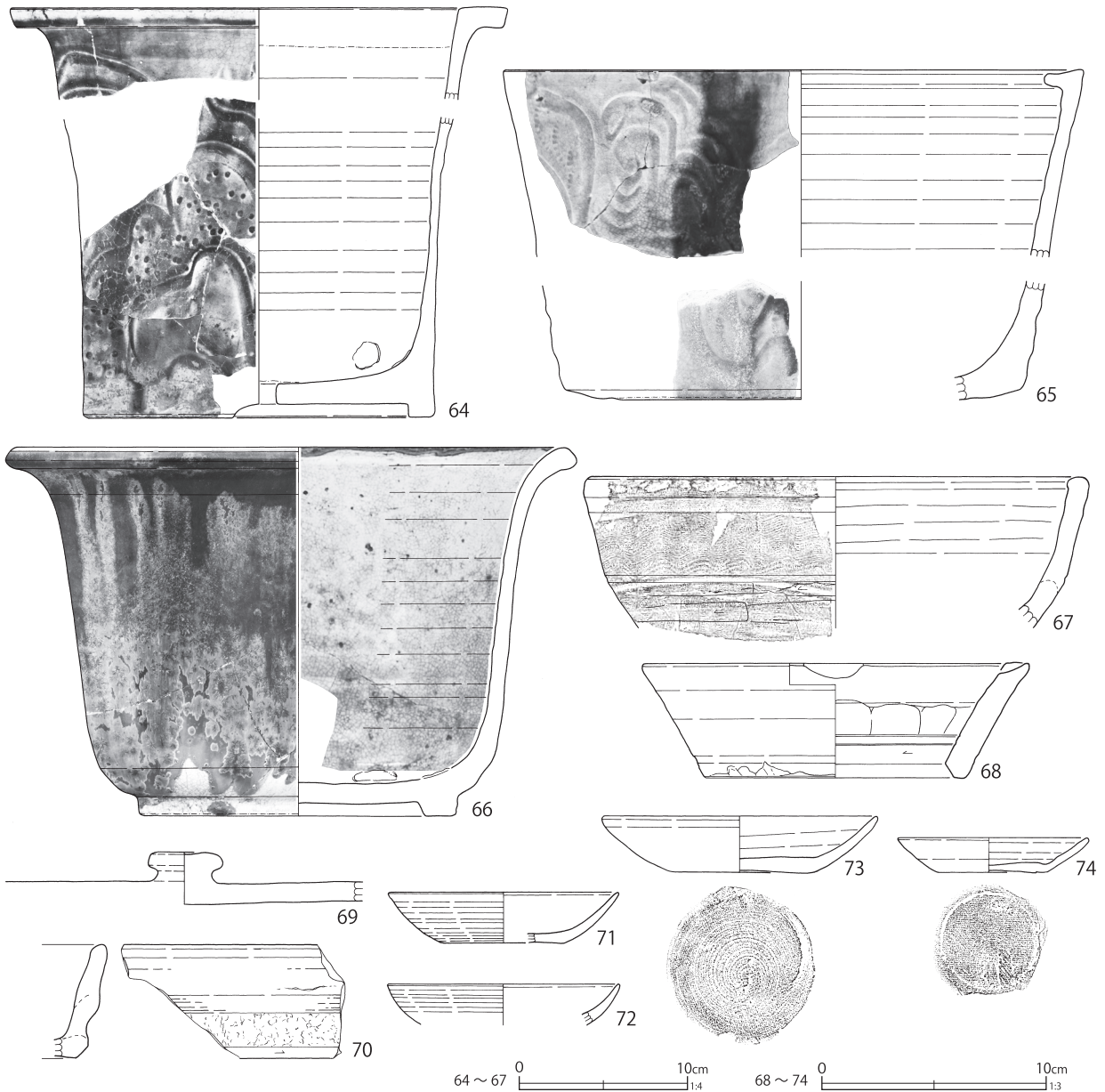
出土した陶磁器を第144～147図329～383に示す。全体としては磁器広東碗(332)の身・蓋が多い。大振りの磁器多角形鉢(346～348)や



第128図 土壙出土遺物(5)

蓋物類(349~354)、灰落し(356)も多かった。京都信楽系陶器土瓶(380)は3個体以上あり全て被熱する。360は肥前三川内系陶器の水注

で、円形刺突文で加飾される。同タイプが第634号土壙(『本陣跡Ⅰ』報告)と、近接する本陣跡第5次調査区第8号土壙(『栗橋宿跡Ⅴ』報



第129図 土壙出土遺物(6)

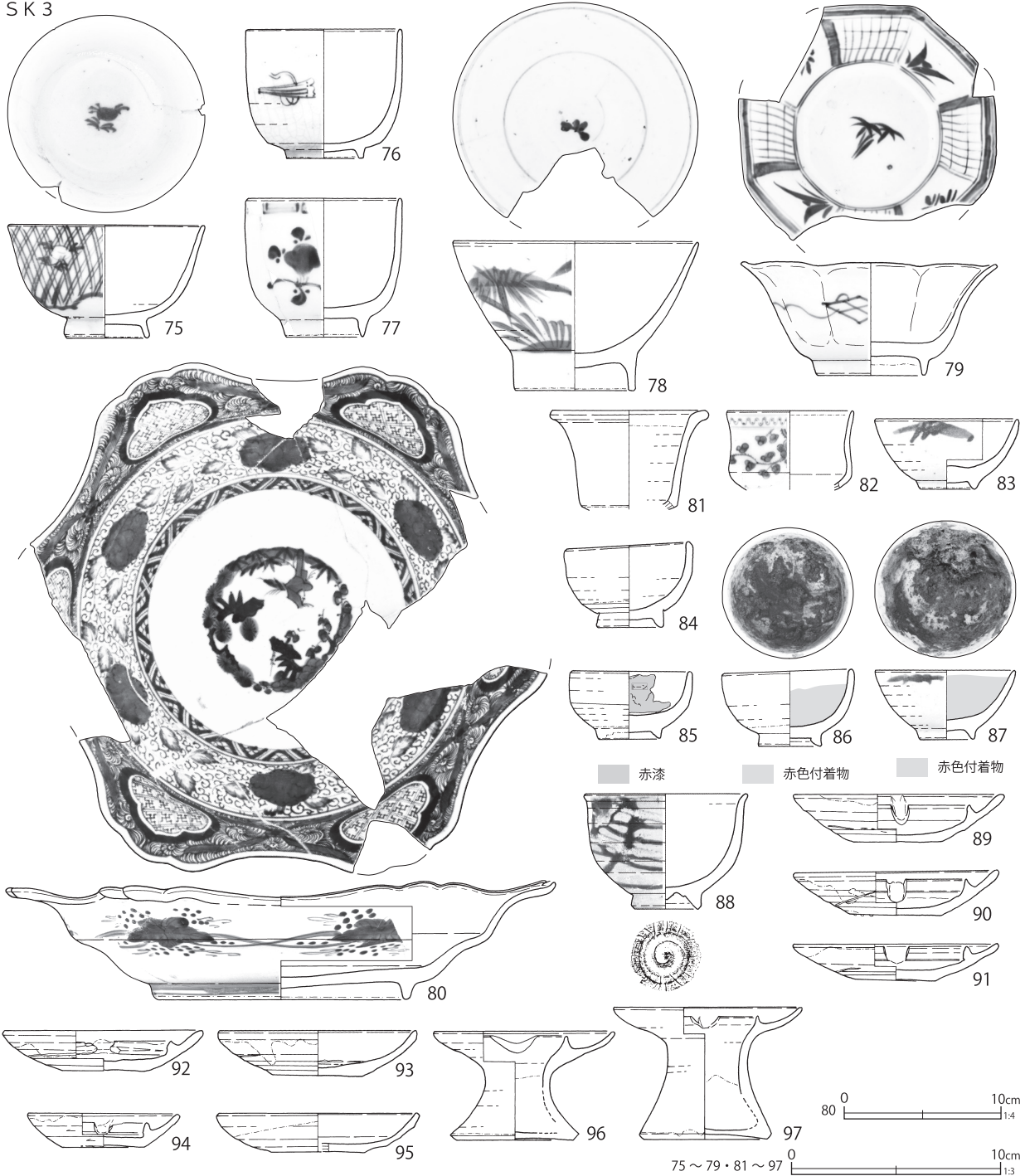
告)で出土している。銭貨では天保通宝(1835年初鑄)が1枚出土している。後世の混在の可能性もあるが、本跡に伴う遺物であれば、文政5年(1822)の火災より新しい時期となる。なお、他の火災処理土壙との遺物の遺構間接合はほとんど確認されなかったが、第26号土壙出土の信楽系陶器壺(第148図388)と同一個体の細片が1点含まれていた。

第26号土壙(第99図)

C6-B2グリッドに位置する。東西両端が攪

乱、遺構等にかかり全体形が不明だが、長方形の土壙と考えられる。覆土の記録が無いが、出土遺物から火災処理土壙と考えられる。ただし、近代の陶磁器もかなり混入している。第148図388は信楽系と考えられる陶器壺で底面に墨書がある。器壁には発泡した長石粒が顕著にみられる。被熱しており、第9・25・39号土壙から同一個体と考えられる破片が出土している。同種の壺は池状遺構でも出土しており、やはり墨書がある(第74図56)。主に茶壺として使用されたもの

SK3



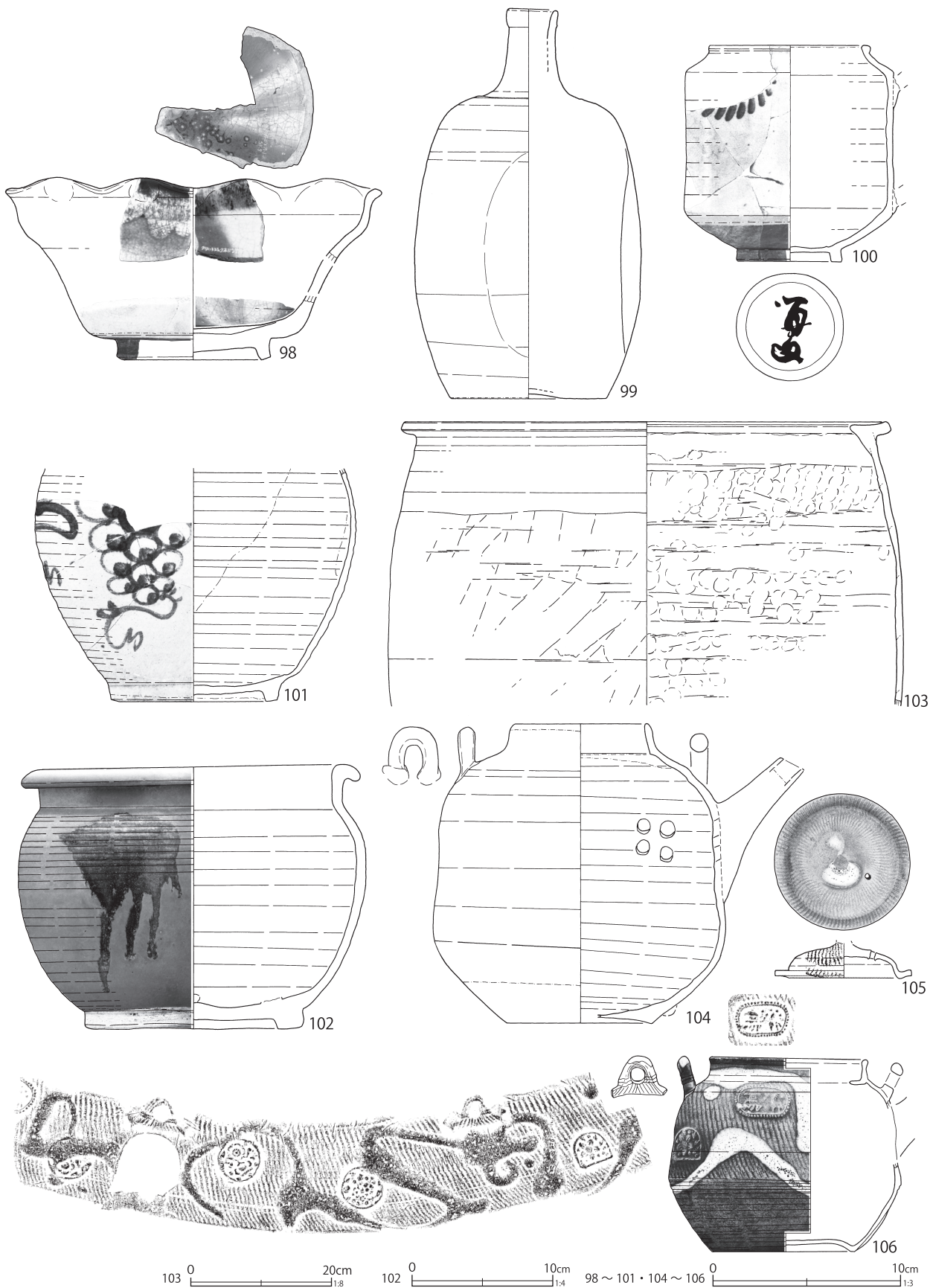
第130図 土壌出土遺物(7)

であろう。第229図28～34に軒瓦、第236図32～41にその他の瓦を示す。第237図42は3つのパーツからなる大形の鬼瓦で、被熱している。側面の孔を用いて各パーツを組み合わせるもので、全高56.0cm、幅84.3cmが残る。池田家家紋の「揚羽蝶文」を表す。遺物の混在が多く、いつの火災

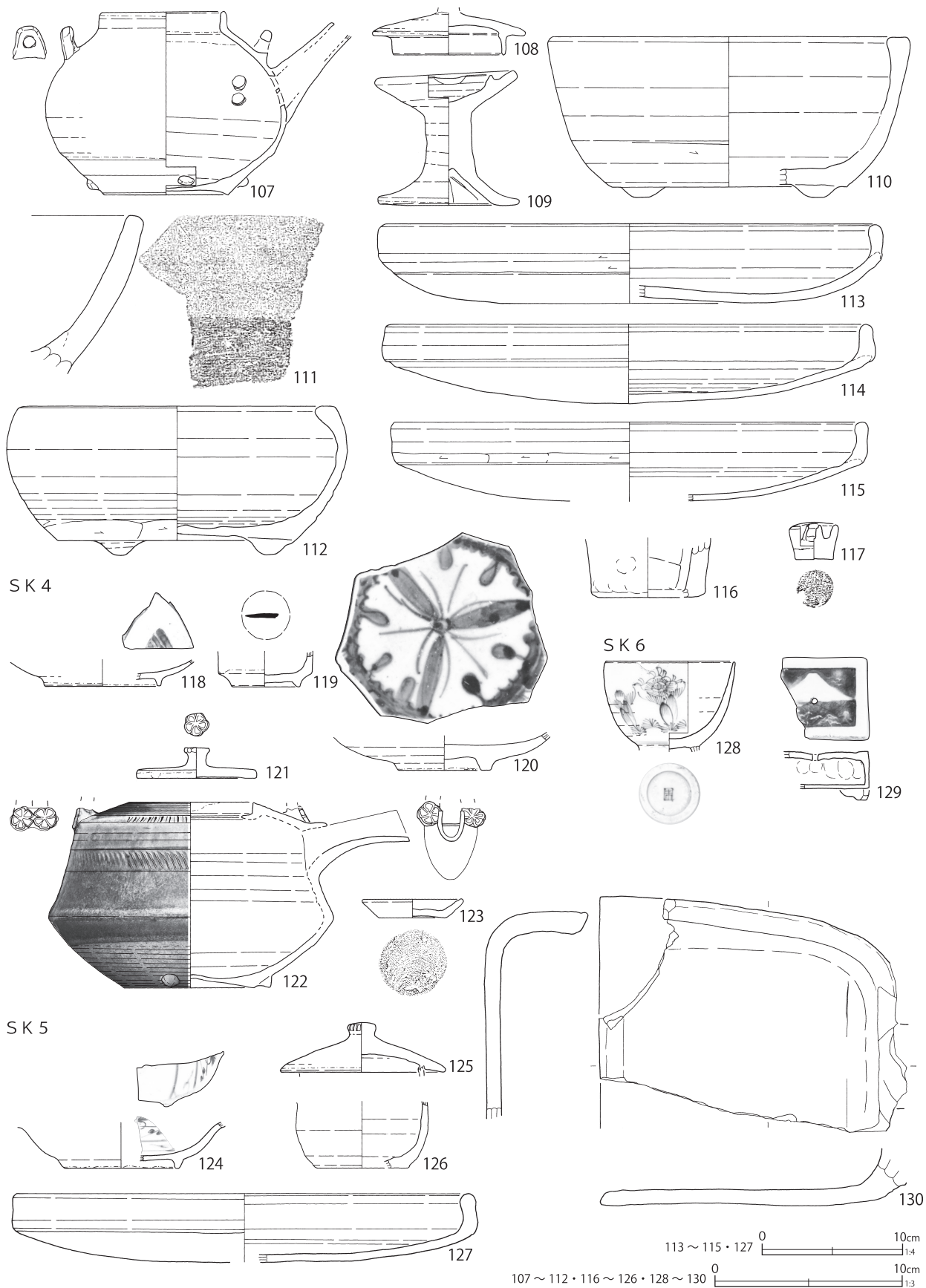
に伴う土壌か詳らかでは無いが、陶磁器様相から19世紀第1～2四半期に帰属する可能性が高い。

第29号土壌(第101図)

調査区北東部のC6-A1・2グリッドで検出された遺構で、木製柵形穴蔵と考えられる。遺存長1.94m、幅1.38mの掘方内に、長さ1.8m、幅

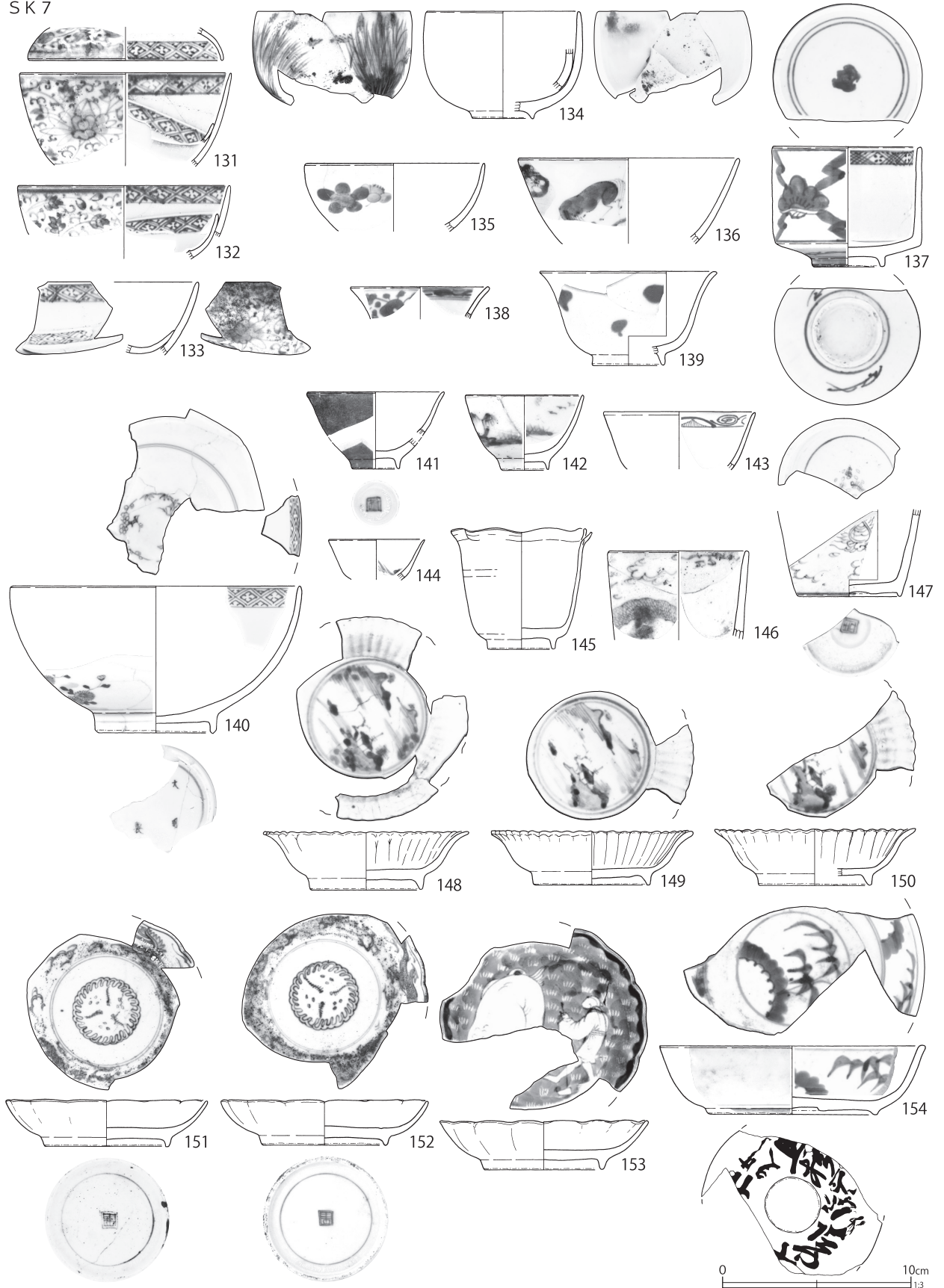


第 131 図 土壙出土遺物 (8)

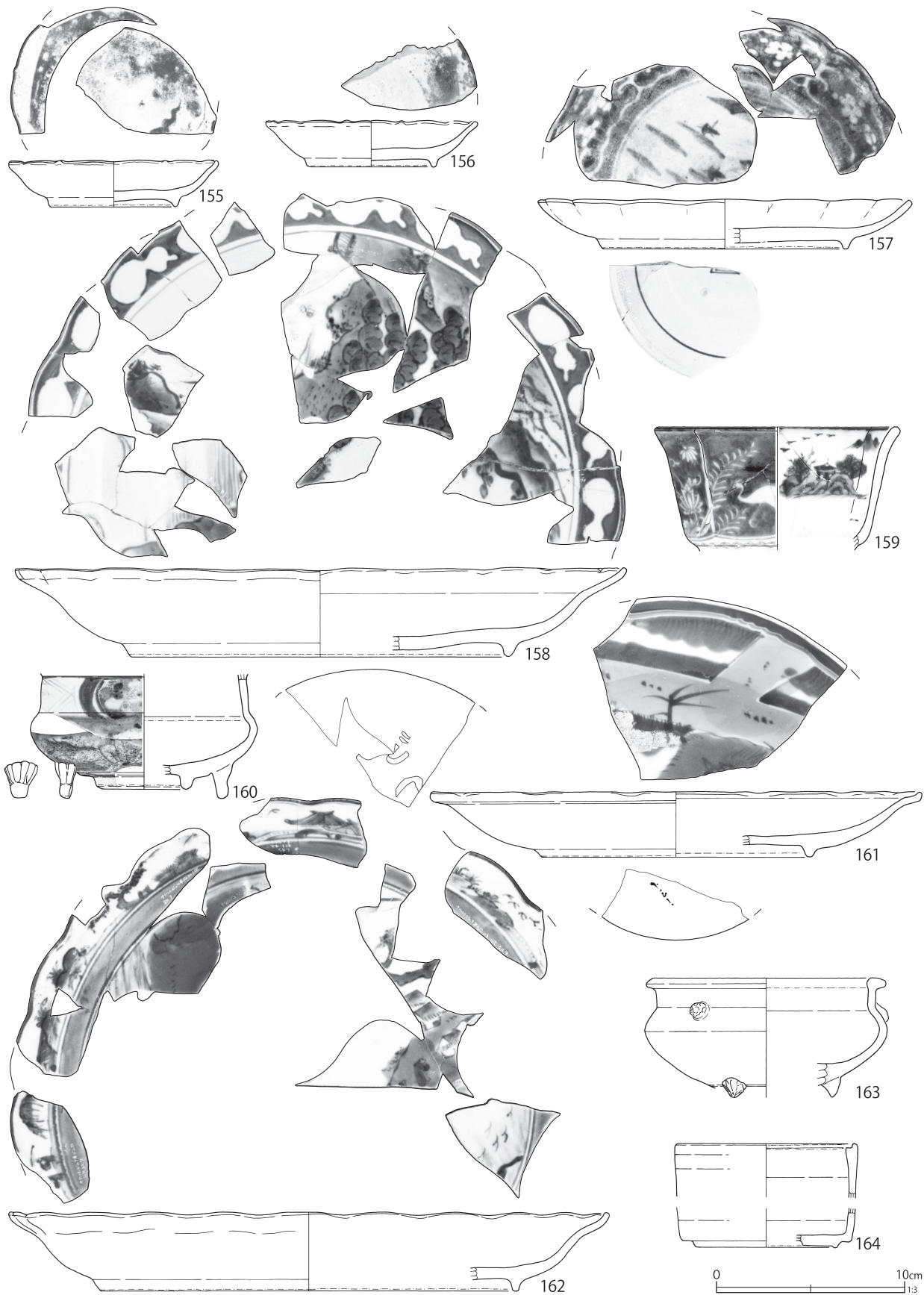


第 132 図 土壙出土遺物 (9)

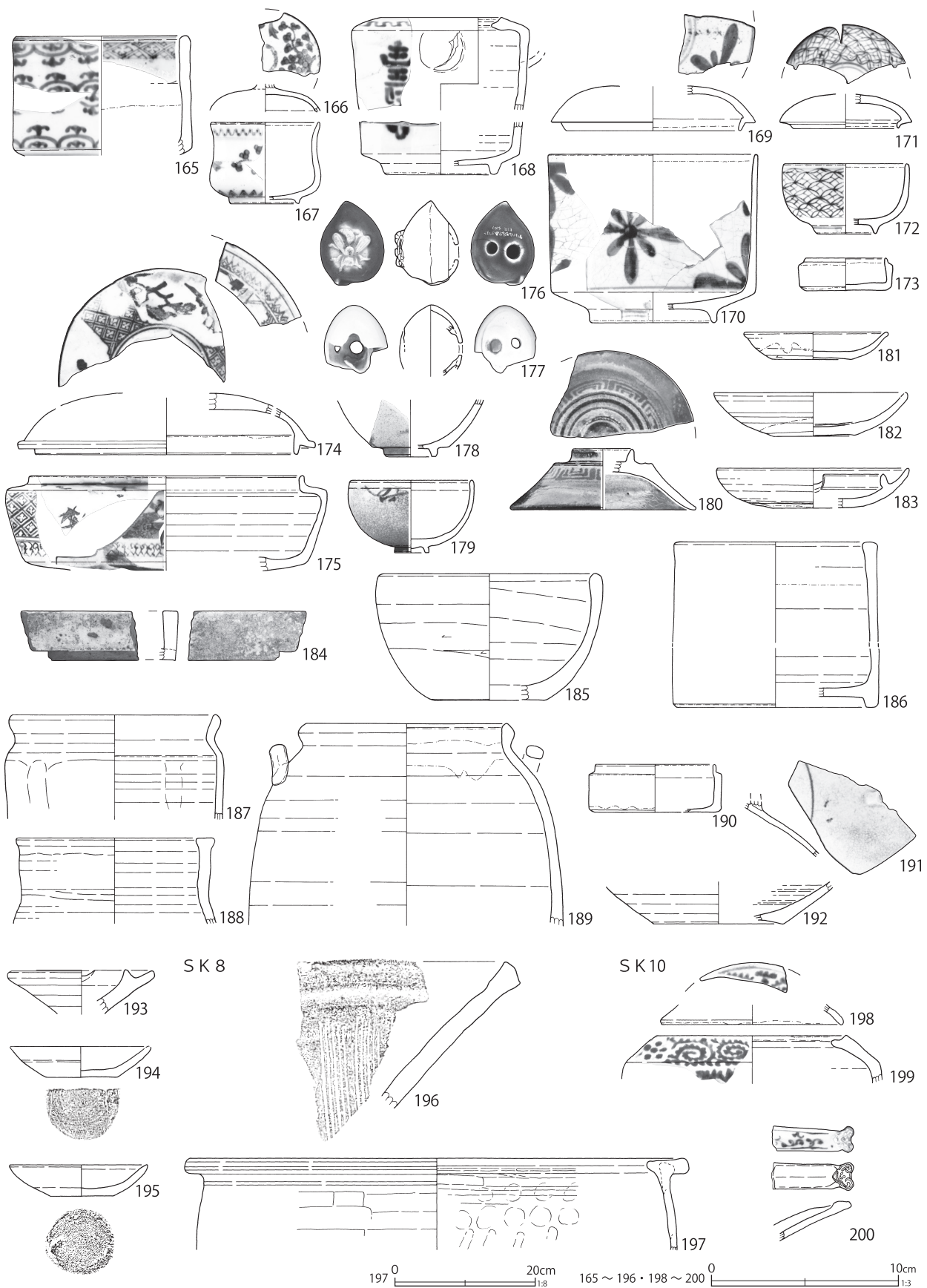
SK 7



第 133 图 土壙出土遺物 (10)

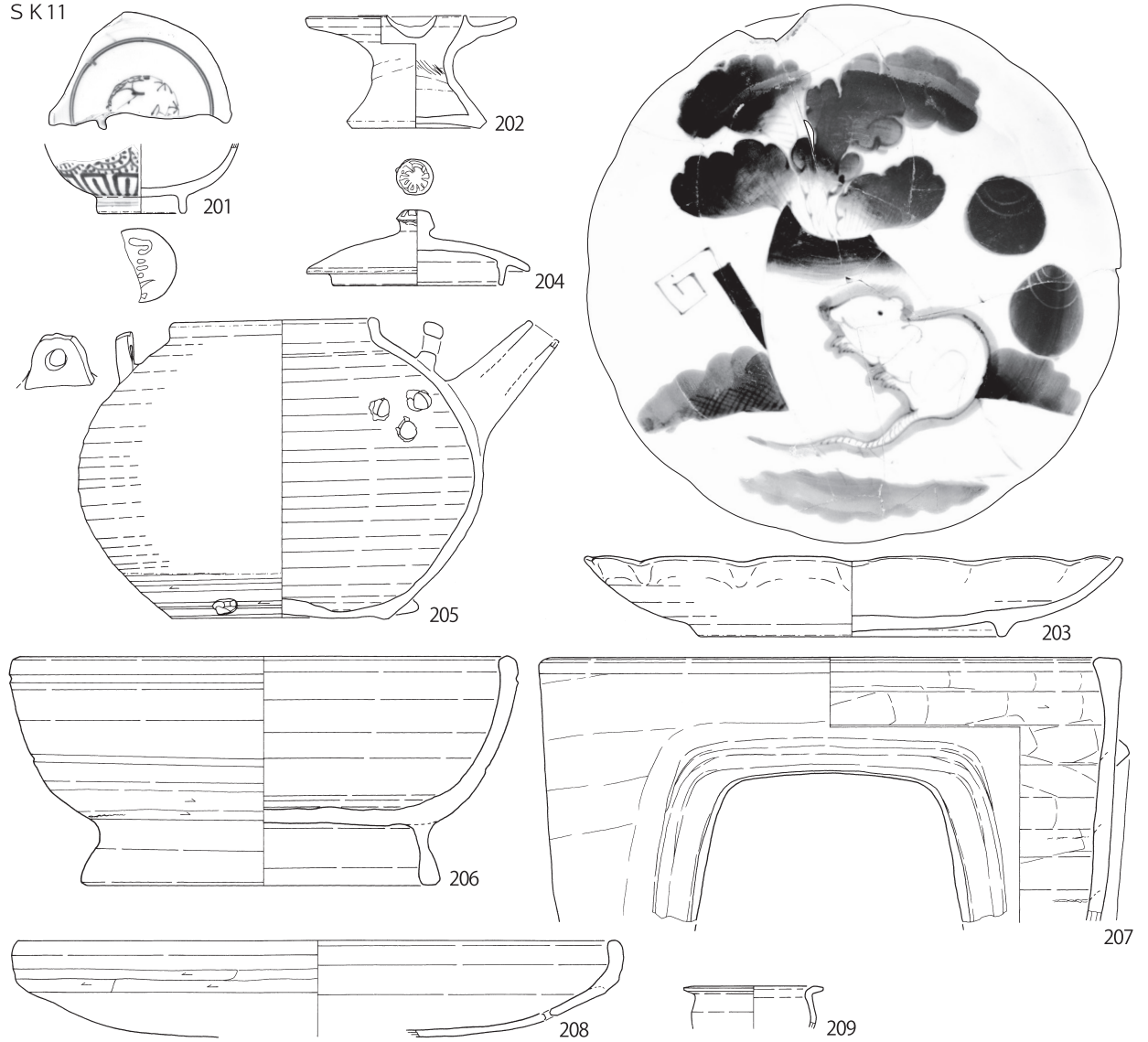


第 134 図 土壙出土遺物 (11)

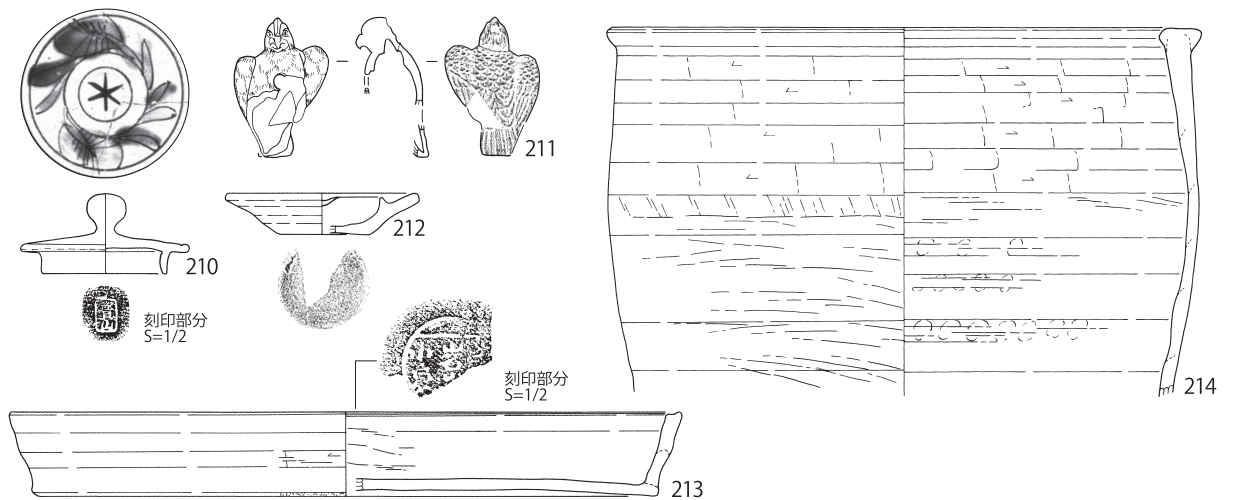


第 135 図 土壙出土遺物 (12)

SK11



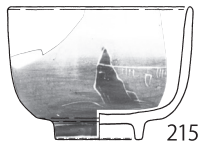
SK12



214 0 20cm 1:8 206 ~ 208 · 213 0 10cm 1:4 201 ~ 205 · 209 ~ 212 0 10cm 1:3

第 136 図 土壙出土遺物 (13)

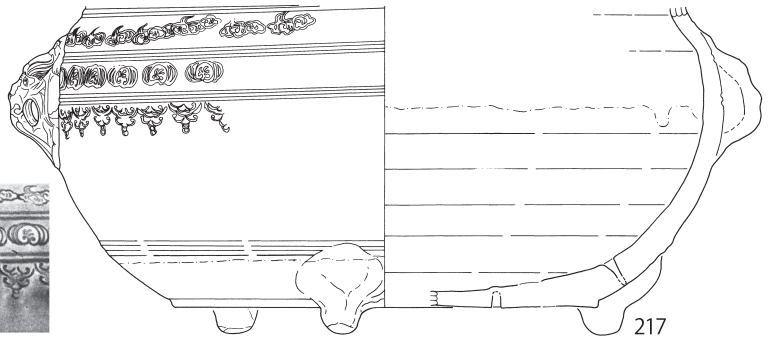
SK13



215



216



217



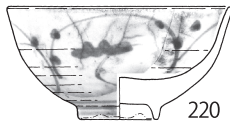
218



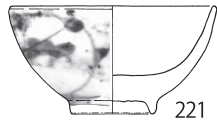
219



SK16



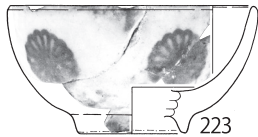
220



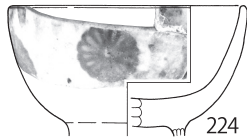
221



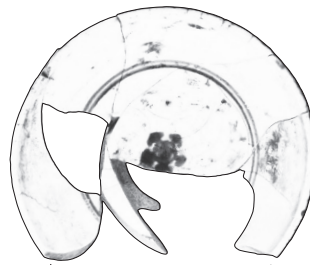
222



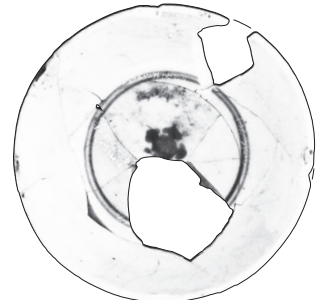
223



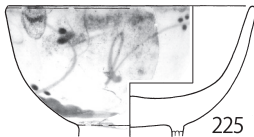
224



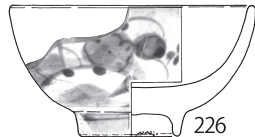
227



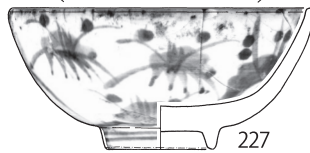
228



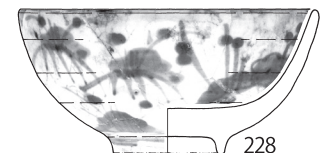
225



226



227



228



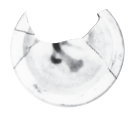
225



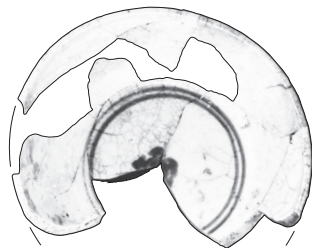
226



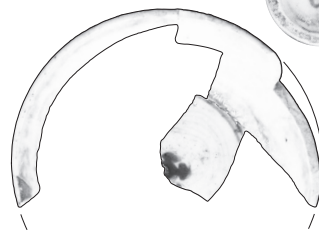
227



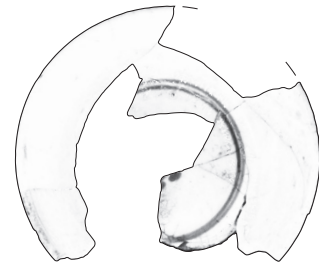
228



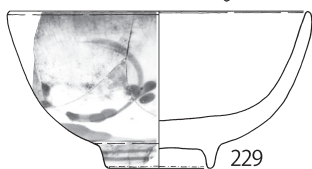
229



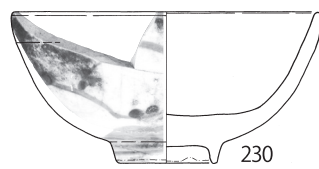
230



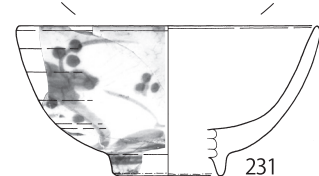
231



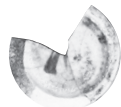
229



230



231



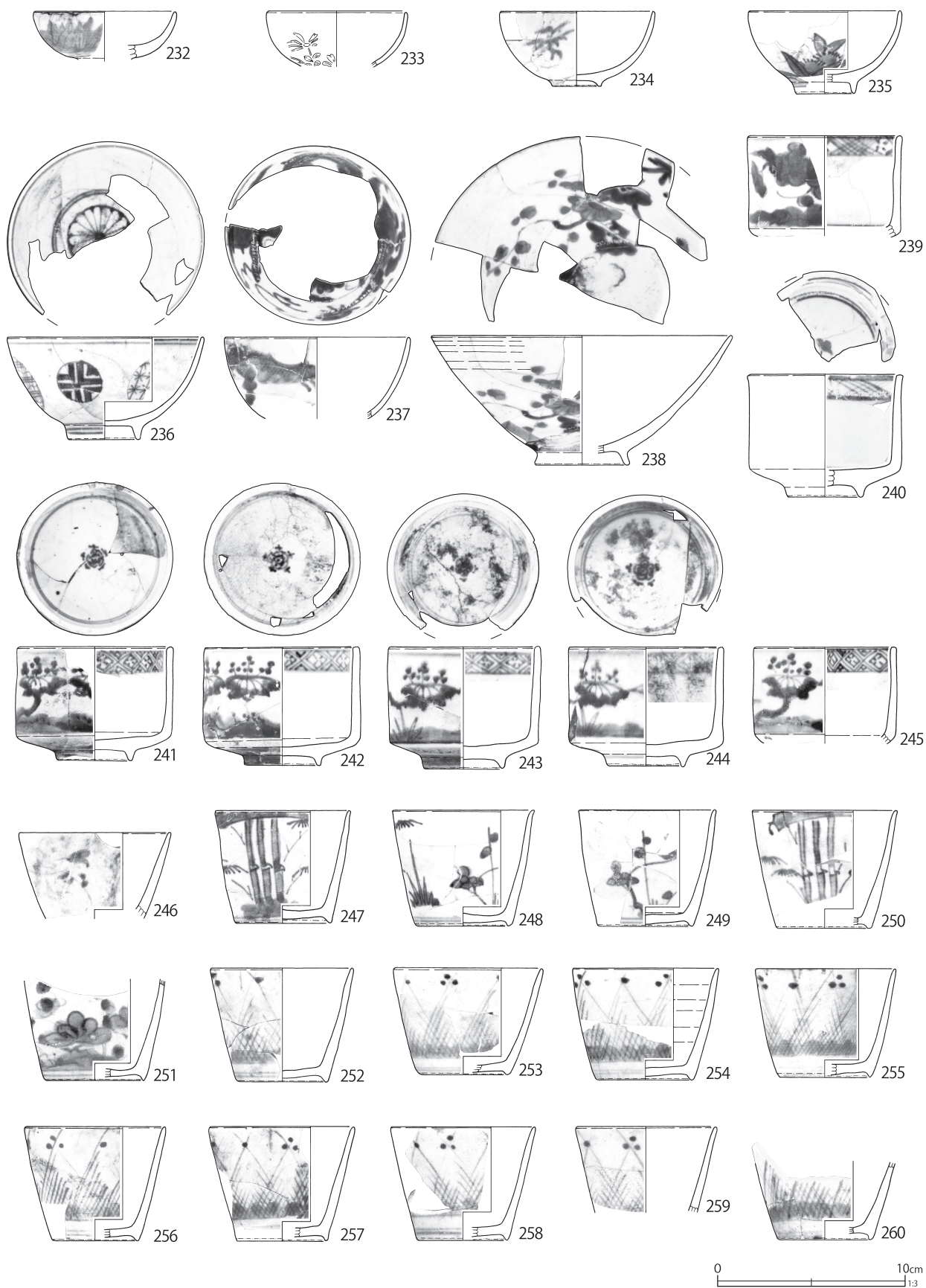
229



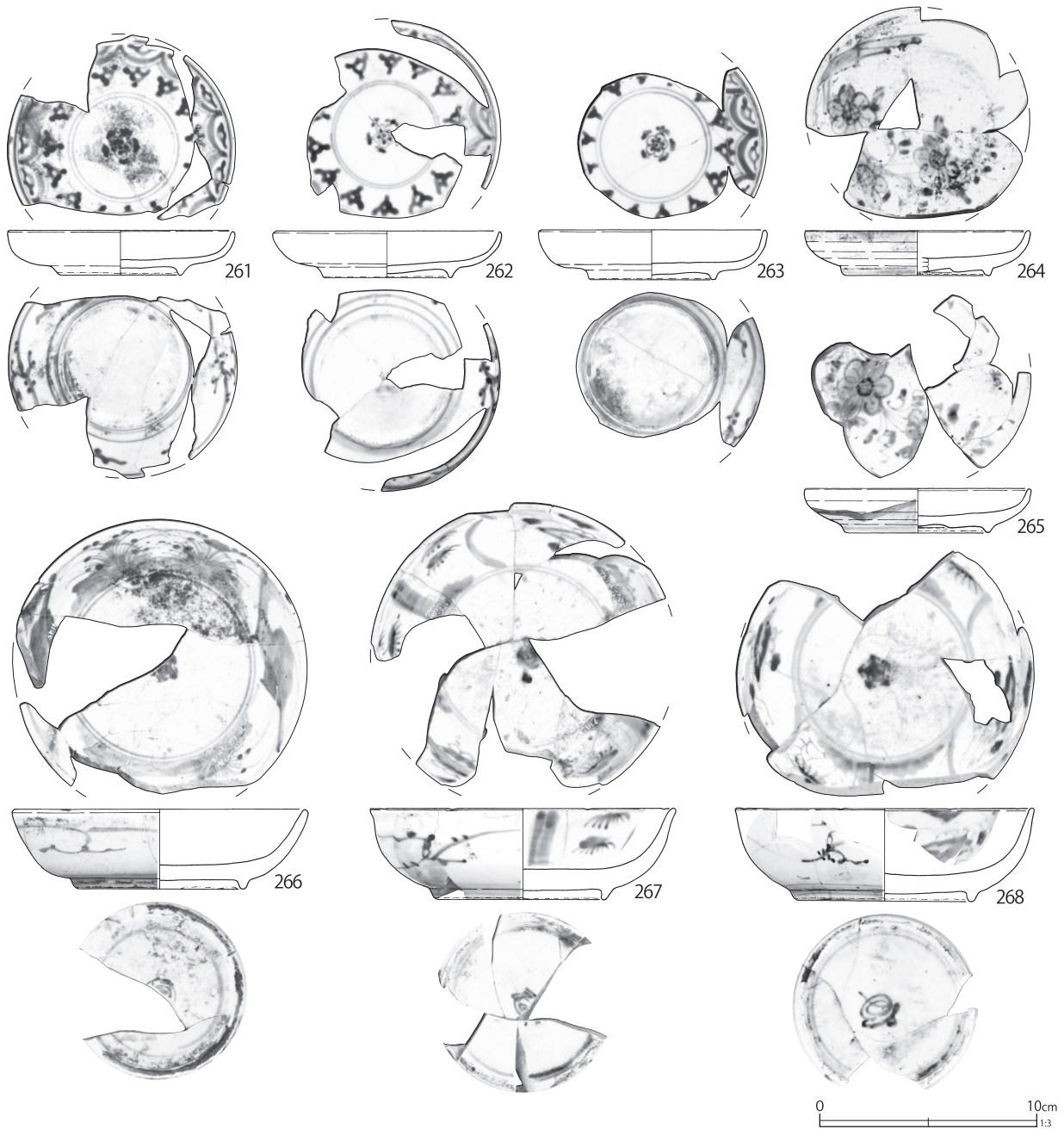
230



第 137 图 土壙出土遺物 (14)



第 138 図 土壙出土遺物 (15)

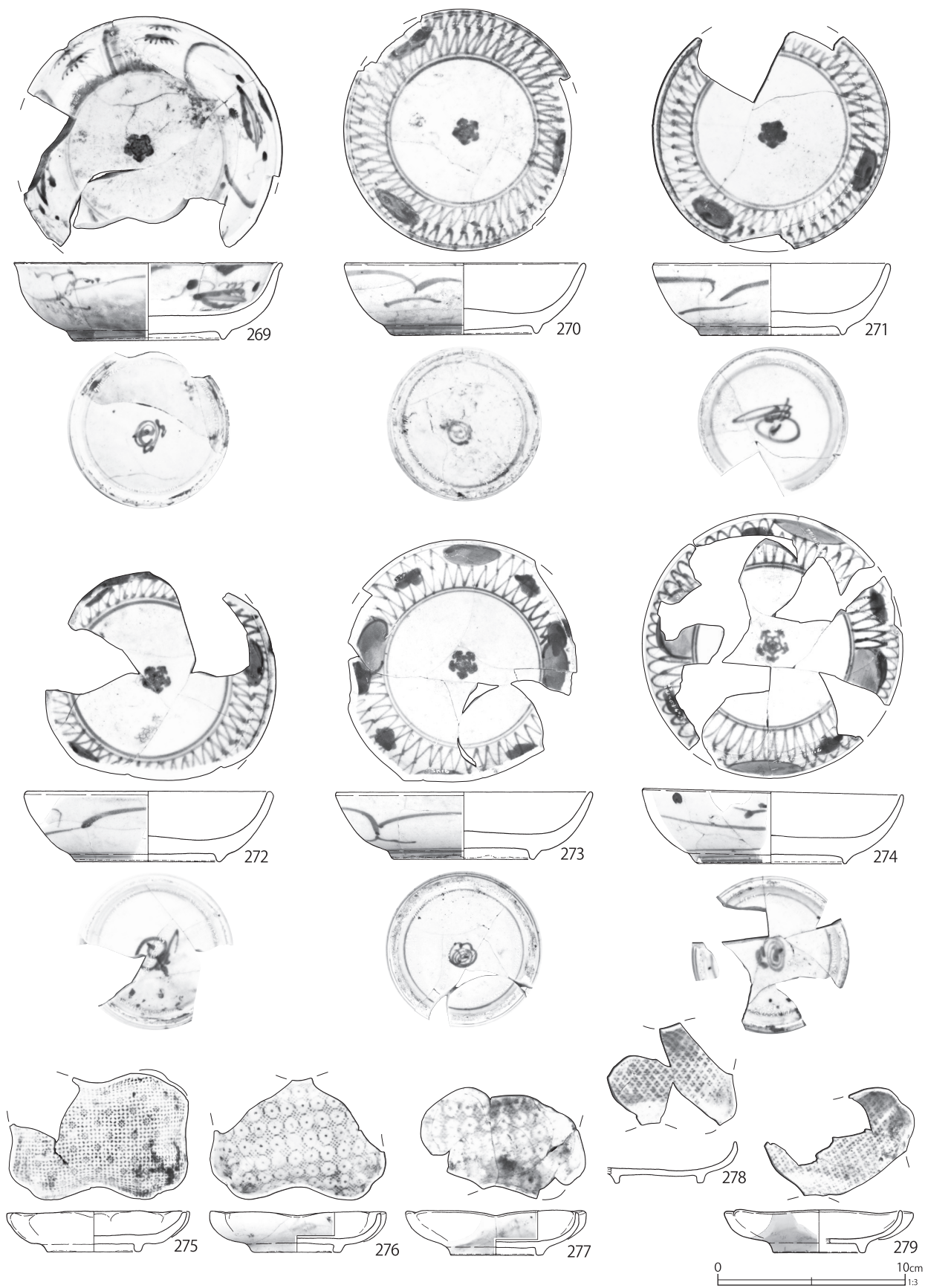


第139図 土壙出土遺物 (16)

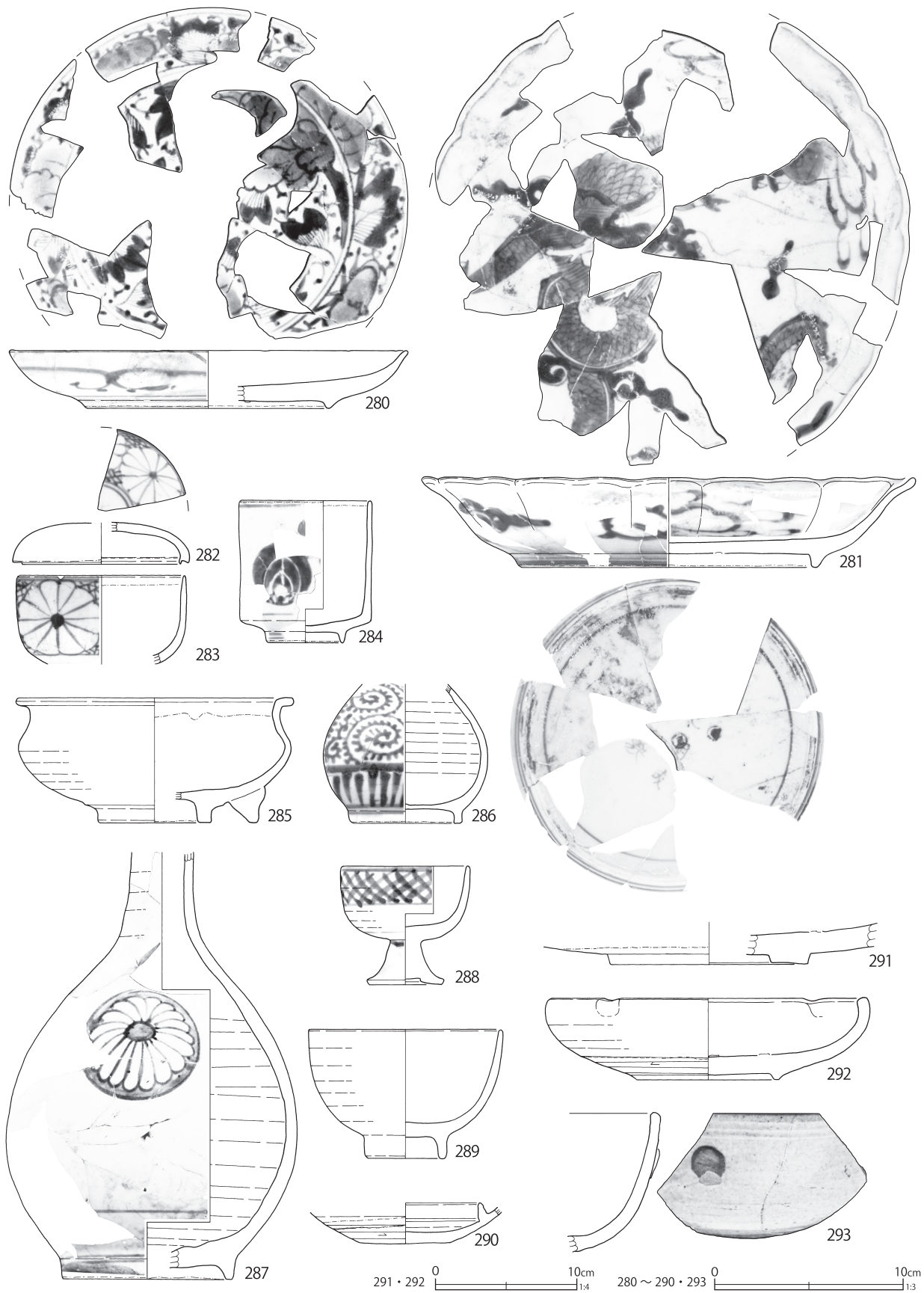
77cmの木組みを構築する。壁板は2枚以上の板を上下に組み、底板は計8枚の板を敷くが、西側に向かって傾斜し低くなる。壁板、底板は2.5～3mm前後の厚みで、埋釘等は確認されていない。木製枅形穴蔵は第6地点第203号建物跡（『栗橋宿跡Ⅲ』参照）で確認されているが、本跡のほうが一回り小さく構造も簡略である。

床面直上を中心に多量の遺物が出土した。出土

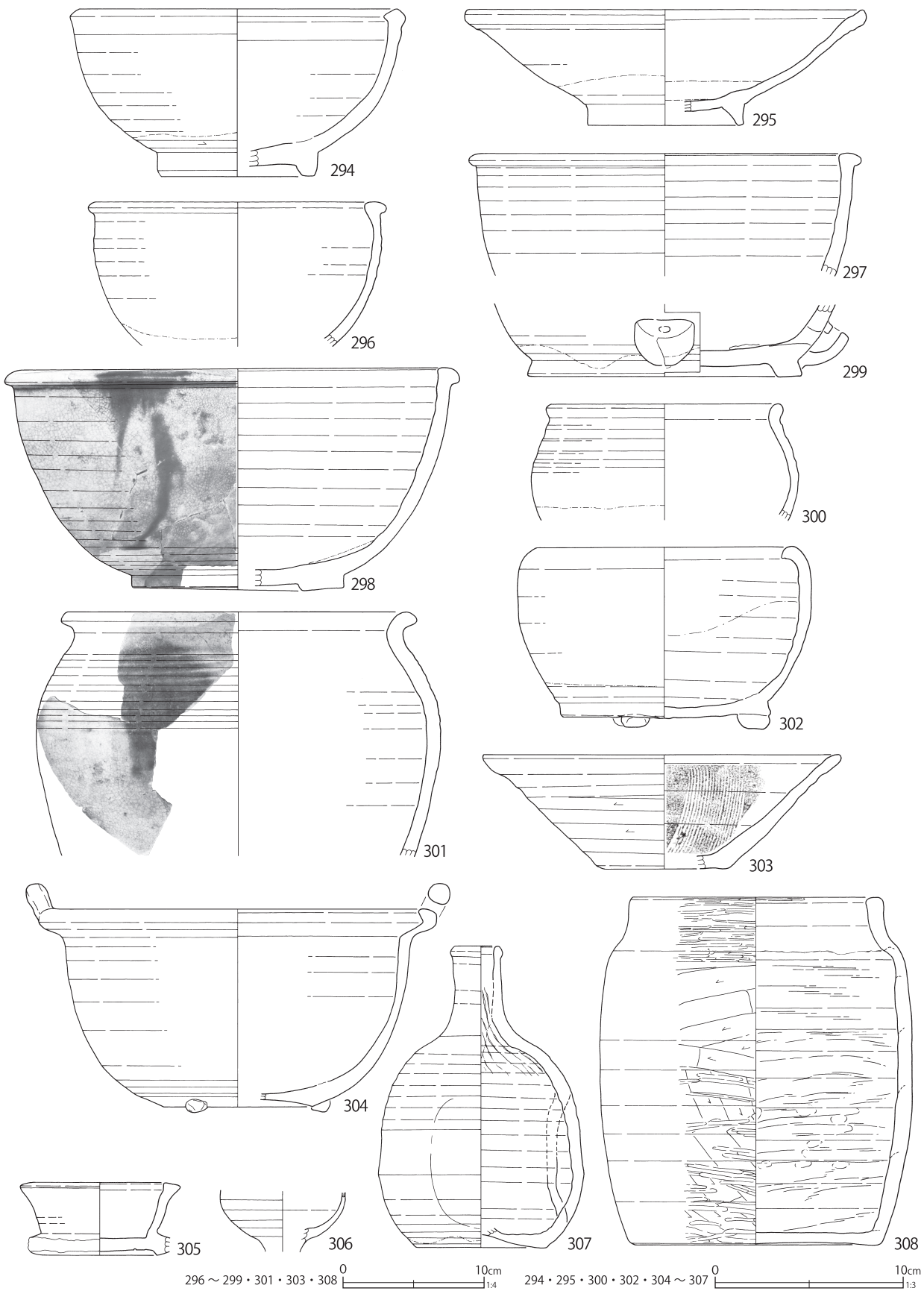
状況を第101図、陶磁器を第148図395～405、土製品人形を第226図4、木製品獅子頭を第243図43、金属製品を第255図20～25、角閃石安山岩製の磨石を第264図89～91、硝子製品髪飾り類を第270図1・2に示した。特徴的なのは、何らかの要因で遺構の廃絶時に残された多量の銭貨類（第258・259図）である。縉状に溶着したものも複数みられた。推定枚数は767枚で、天保通宝



第 140 图 土壤出土遺物 (17)



第141图 土壙出土遺物(18)



第 142 図 土壙出土遺物 (19)